A collective project aimed at distributing scans relating to archival fashion to the public - for free.

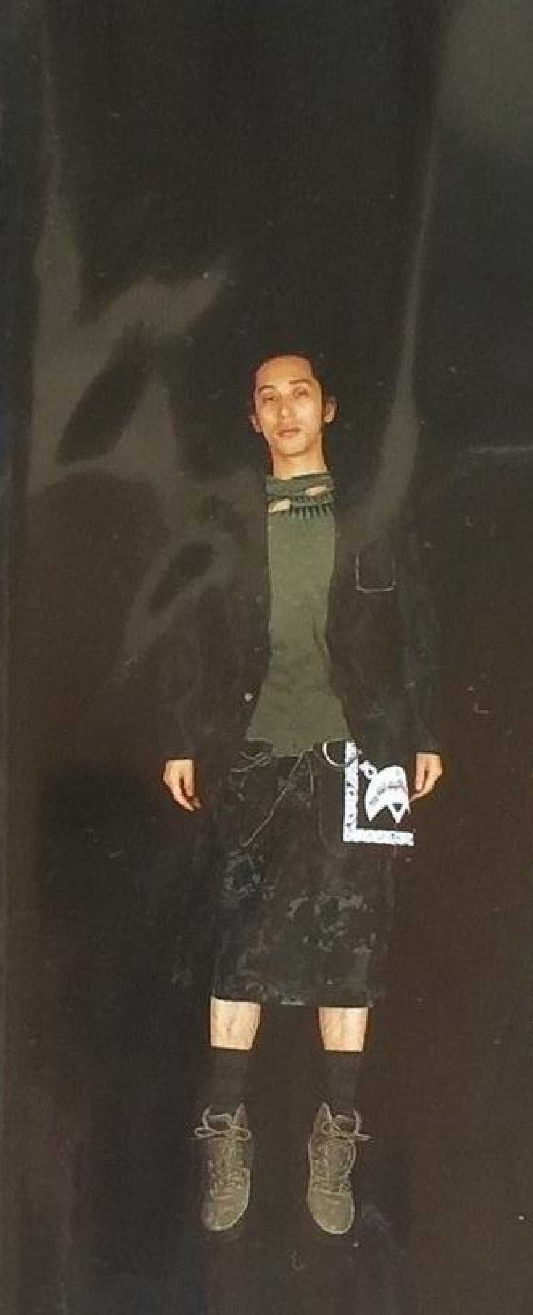
— archive-pdf.tumblr.com —
— Instagram: @archivepdf —

ARCHIVE.pdf
presents:

UNDERCOVER
U-ism Scan Collection

Provided by UUU Archive (@uuu.archive)
Edited by Casino Riv (@casino_riv)

U.S. $0.00 Can. $0.00
NON-FICTION
ISBN 678-0-307-26638-7
40788
6 78030 47228
S



2003 SPRING/SUMMER COLLECTION

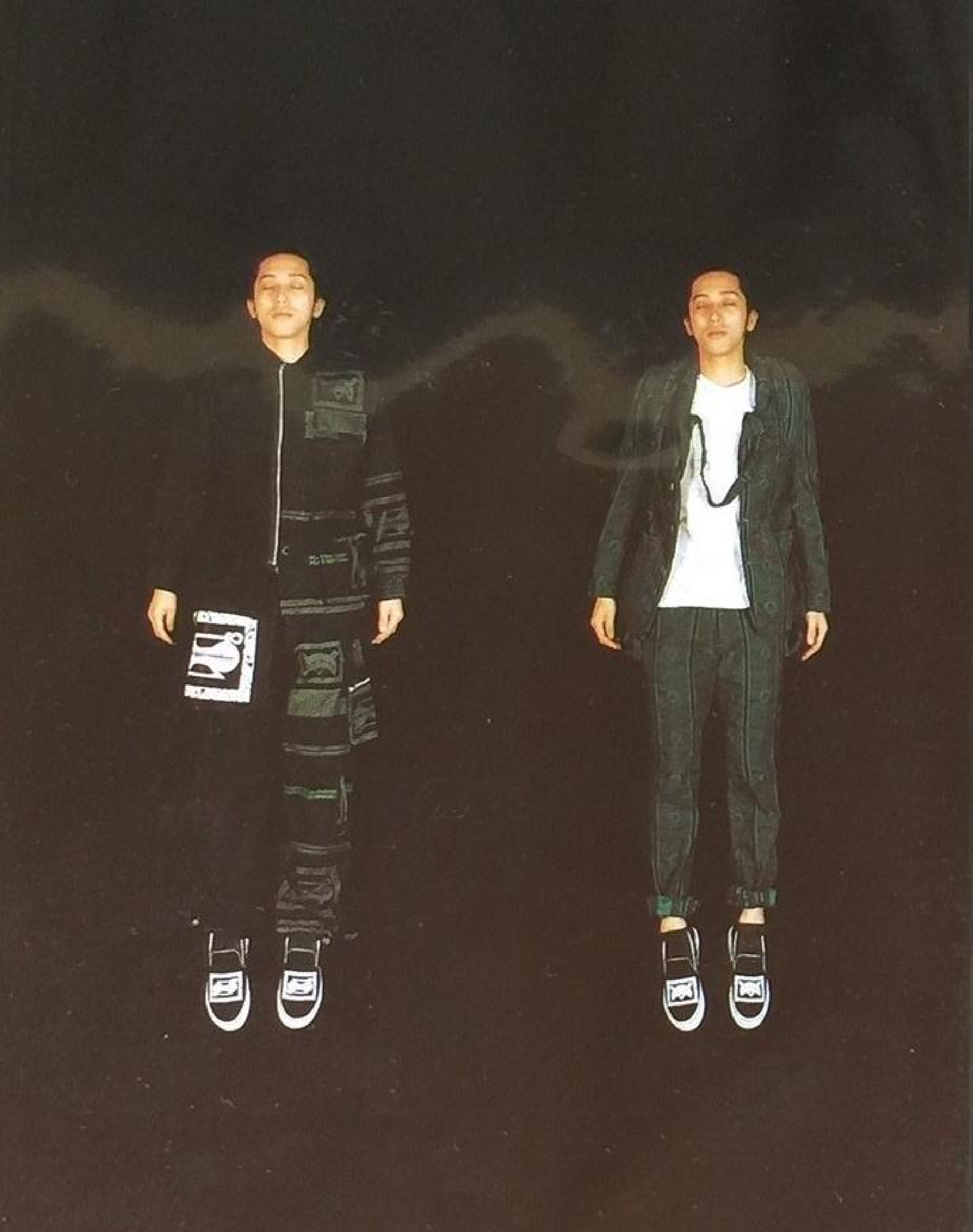
UNDERCOVERIS

アンダーカバイズム、
「かさぶた」に込められたメッセージ。

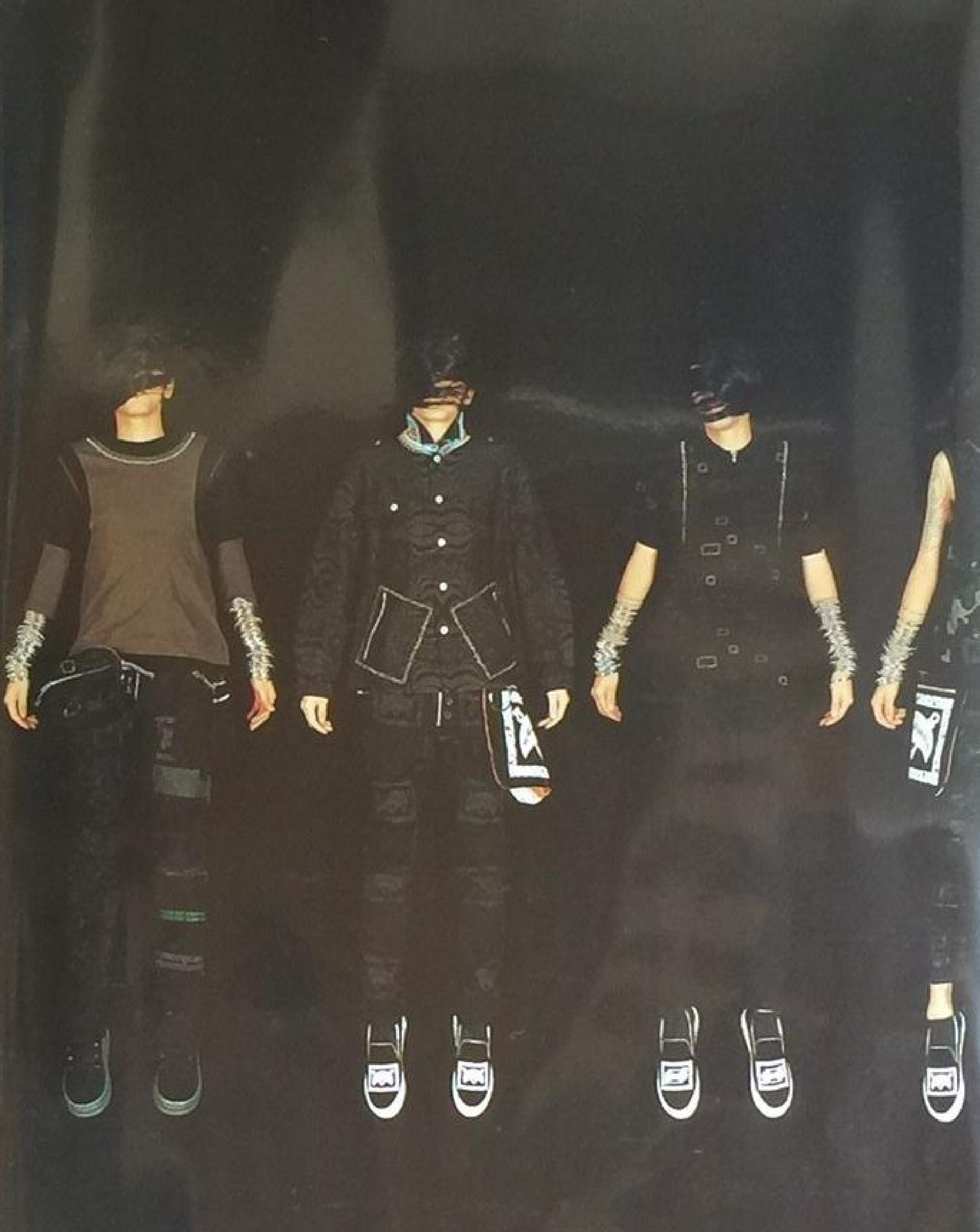
パリに発表の場を求めたレディースラインのUNDER COVERと同様、"SCAB"をテーマに展開されるメンズラインのUNDERCOVERISM。"SCAB"とは、すなわち「かさぶた」のこと。コレクションに込められたブランドからのメッセージ、そしてスピリットをここから感じとってほしい。

PHOTOGRAPHY: **HAL TOMIOKA**
STYLING: **UNDER COVER**
MODEL: **YOSHIYUKI KURAMOTO**

ジャケット¥58,000、Tシャツ¥15,000、キルトスカート¥34,000、ソックス¥2,200、ブーツ¥38,000、バッグ¥18,000／すべてUNDERCOVERISM



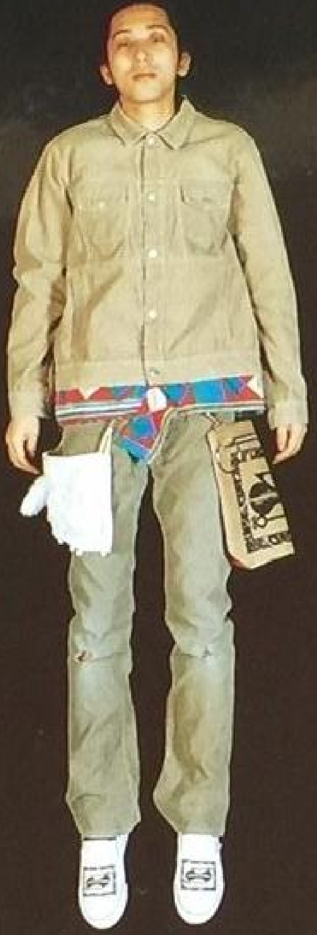
[右]ジャケット¥62,000、Tシャツ¥13,800、パンツ¥32,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800 [左]ブルゾン¥66,000、アーミーパンツ¥37,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800、バッグ¥18,000／すべてUNDERCOVERISM



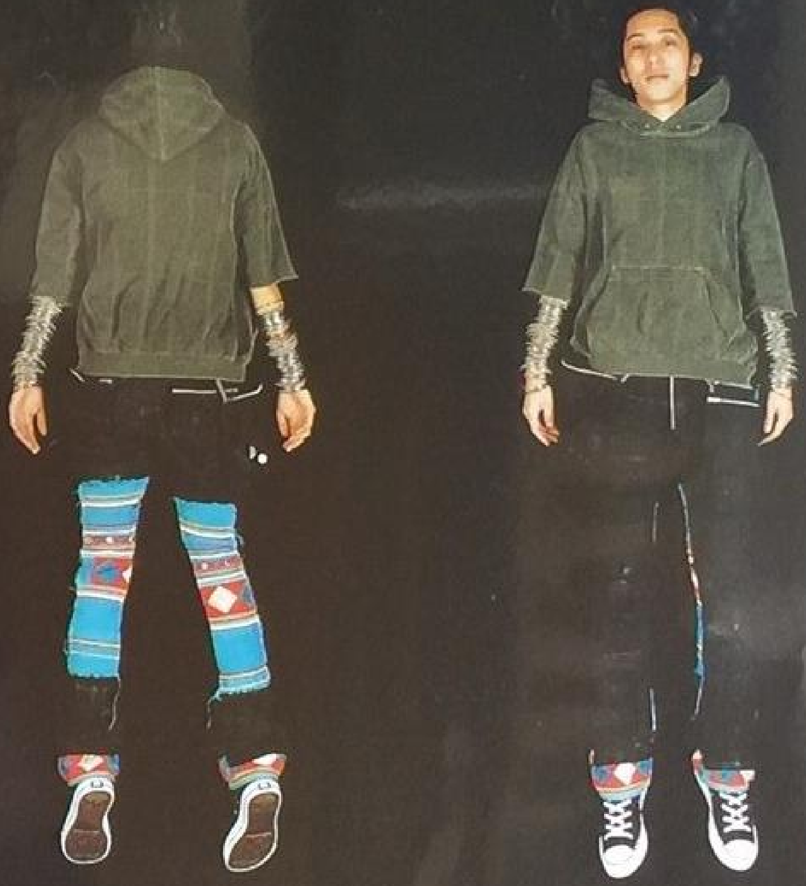
［右］ノースリーブTシャツ¥18,000、パンツ¥80,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800、バッグ¥18,000／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH ［右中］ポロシャツ¥22,000、パンツスカート¥40,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH ［左中］ブルゾン¥50,000、パンツ¥34,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800、バッグ¥18,000／UNDERCOVERISM ［左］カットソー¥24,000、パンツ¥50,000、ブーツ¥38,000、ウエストポーチ¥20,000、バッグ¥16,000／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH

［右］シャツブルゾン¥38,000、パンツ¥34,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800、バッグ¥18,000／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH ［右中］シャツ¥27,000、キルトスカート¥32,000、ソックス¥2,200、ブーツ¥38,000、バッグ¥22,000／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH ［左中］ニット¥34,000、パンツ¥30,000、ブーツ¥38,000、バッグ¥22,000／UNDERCOVERISM ［左］ノースリーブTシャツ¥18,000、パンツ¥80,000、アンクルソックス¥1,600、スリップオン¥10,800、バッグ¥16,000／UNDERCOVERISM、ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER×TRASH

UNDERCOVERIS



ブルゾン¥52,000、パンツ（青山店のみ）¥30,000、スリップオン¥10,800、バッグ（右）¥18,000、バッグ（左）¥22,000／UNDER COVERISM

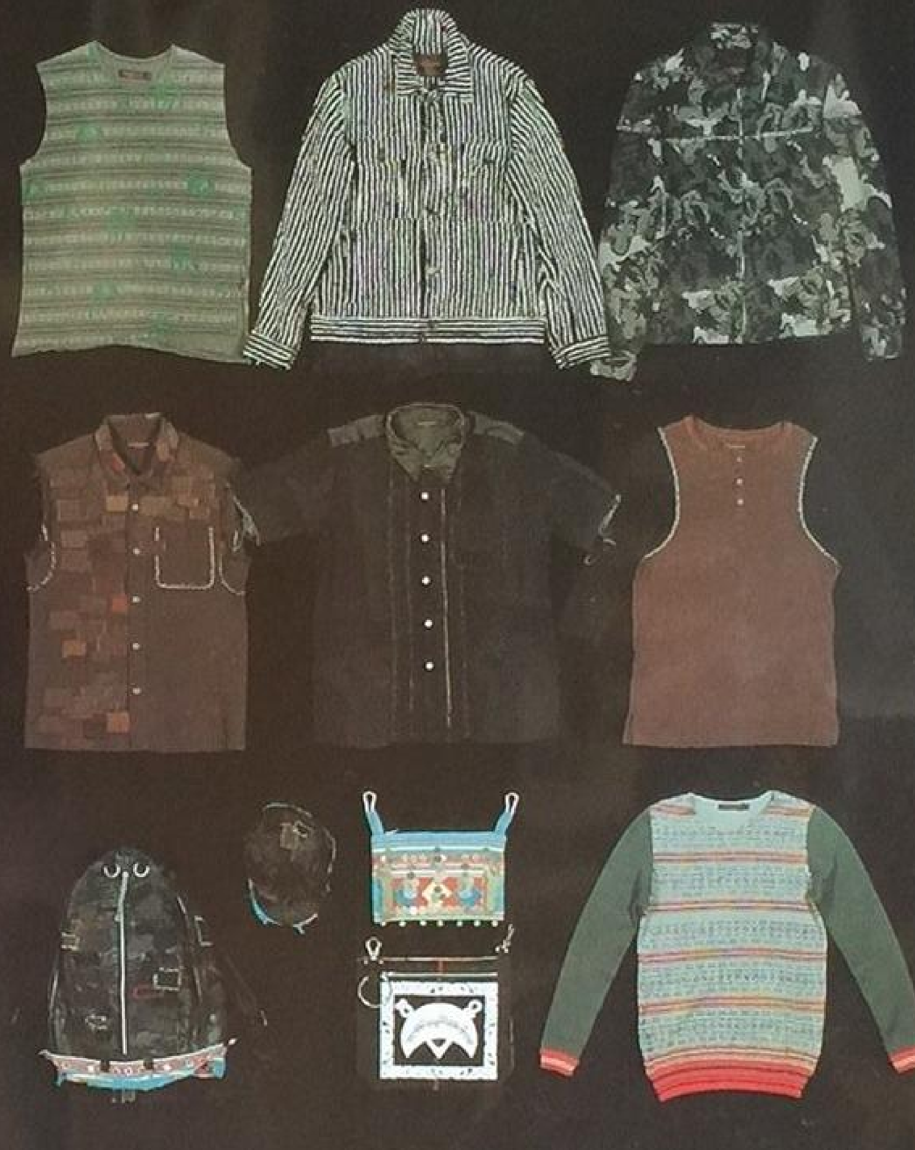


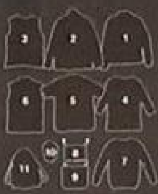
［右・左］パーカ¥34,000、パンツ¥66,000、スニーカー¥25,000、バッグ（右）¥16,000、バッグ（左）¥22,000／UNDERCOVERISM　ブレス（40本セット）¥29,000／UNDER COVER × TRASH

2003 SPRING/SUMMER COLLECTION

UNDERCOVERISM

ハンドステッチで縫いつけられた無数の布、エスニックなイメージのパターンやプリント。どれも存在感の強いアイテムばかりだが、コーディネイトにうまく取り入れてほしい。

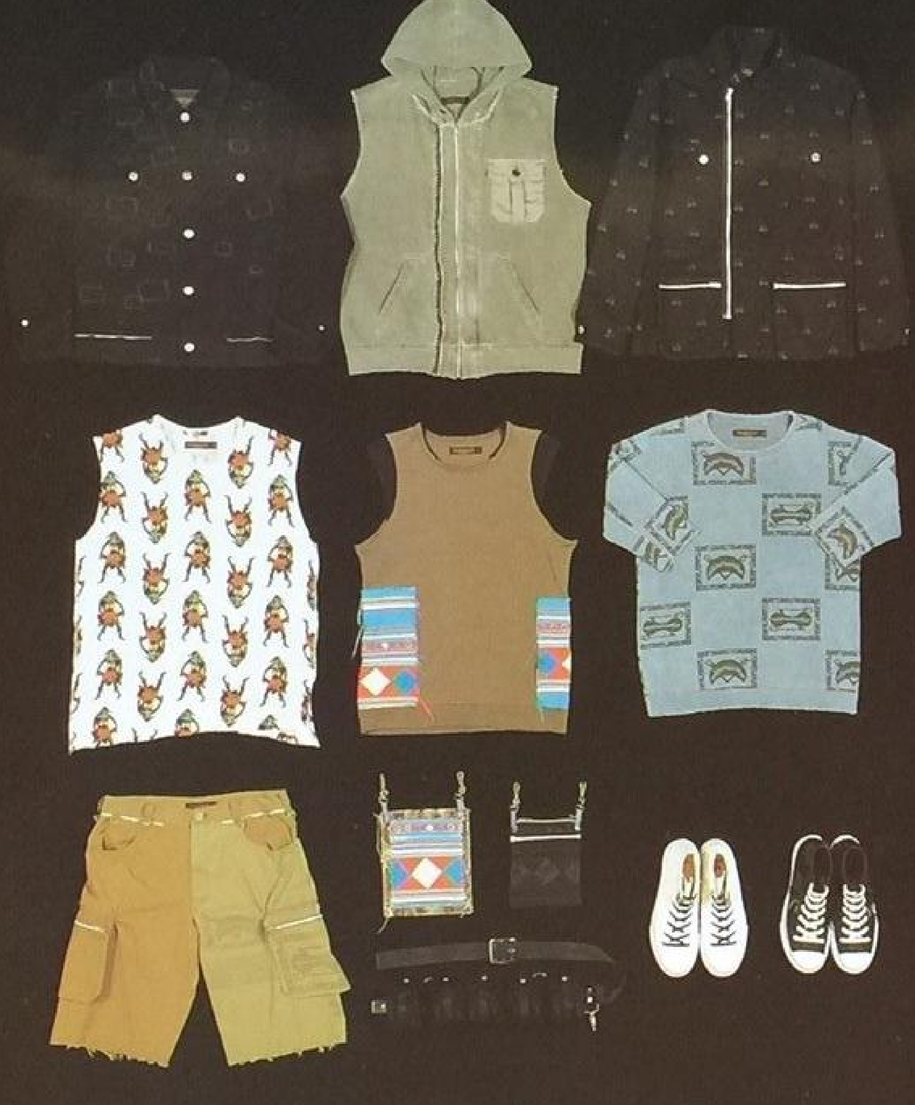


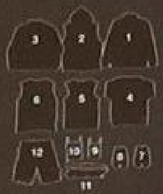


[1] 人をかたどったカモフラージュがプリントされたブルゾンは、タイトに着こなしたい。¥48,000 [2] ストライプのパイル地を使用したブルゾン。襟部分につけられた羽毛がアクセントに。¥54,000 [3] エスニックテイストのファブリックに、やはり人をかたどったプリントが施されている。¥11,800 [4] ネックとショルダーのステッチがポイントになっているヘンリーネックのプルオーバー。¥20,000 [5] レースの切り替えに切りっ放しのスリーブ。絶妙のバランスを醸し出せるプリントシャツ。¥28,000 [6] シャツに縫いつけられた無数の小さな布に、"SCAB"のイメージを重ねているのだ。¥42,000 [7] エスニック調のパターンがプリントされたニット。合わせやすいアイテムと言えるだろう。¥32,000 [8] すべて手作業でつけられたコインやファーでデコレートされたバッグ。他に白と黒がある。¥22,000 [9] フロントに鏡、バックは動物のような生地が使用されたバッグは、スタイリングの鍵になる。¥16,000 [10] HECTICとのコラボレーションにより生まれたキャップ。つば部分の刺繍もポイントに。¥18,000 [11] ここまで存在感のあるバックパックは見たことないだろう。実際に手にとってみてほしい。¥48,000／すべてUNDERCOVERISM

UNDERCOVERISM SHOP LIST

北海道	MELODY NELSON	☎011-209-8419
青森	UNDER COVER AOMORI	☎0177-32-4608
青森	CENTO	☎0172-34-8486
岩手	M.E.O	☎019-652-3509
宮城	UNDER COVER SENDAI	☎022-723-6985
群馬	NOWHERE MAEBASHI	☎027-260-6061
静岡	KALA	☎053-455-1813
山形	ALBIDE	☎0562-24-6219
長野	FILTER	☎0262-22-1138
長野	CLIMB UP	☎026-223-2505
愛知	PAZZESCHAT UNDER COVER	☎052-56-7967
愛知	DOODLE BATCH UNDER COVER	☎052-261-1958
岐阜	STREET CHA CHA MARKET	☎058-265-1904
石川	UNDER COVER KANAZAWA	☎076-263-4437
福井	¥	☎0776-21-6112
富山	UNDER COVER TOYAMA	☎076-423-8677
大阪	UNDER COVER OSAKA	☎06-4390-6154
京都	FACTORY UNDER COVER	☎075-256-5830
兵庫	TWICE	☎078-334-9226
三重	UP STAIRS	☎0596-25-4464
広島	UNDER COVER HIROSHIMA	☎082-545-4629
愛媛	UNDER COVER MATSUYAMA	☎089-904-2155
高知	FIVER	☎088-882-6049
福岡	UNDER COVER FUKUOKA	☎092-736-6244
長崎	247	☎095-828-1398
熊本	#CITY	☎0965-26-6750
熊本	RIPPLELAND	☎096-354-6325
佐賀	JAMS	☎0952-24-4684
鹿児島	FARM YARD	☎099-239-1236
東京	UNDERCOVERISM	☎03-5778-4805





[1] ライダースのようなディテールを持ったブルゾン。よく見れば、鎖をモチーフとしたプリントが。¥46,000 [2] スウェットのボディにサーマルのフード。レイヤードにも最適なノースリーブパーカ。¥32,000 [3] "SCAB"をイメージした布を裏に縫いつけ、ステッチが目立つようデザインされている。¥56,000 [4] 加工されたスウェットの生地に、ハンドステッチが施された5分袖のプルオーバー。¥32,000 [5] レイヤード調にアレンジされたノースリーブT。この存在感に負けないコーディネイトを。¥18,000 [6] インパクトのあるプリントのノースリーブTは、インナーからチラリとのぞかせても効果的。¥11,800 [7] [8] 人気の高いUNDERCOVERISMのスニーカー。今季は"SCAB"をイメージした生地が使用されている。このタイプは写真の白黒、ハイカットのみの展開となっている。各¥25,000 [9] ダイヤをモチーフとしたステッチによるバッグ。アクセサリー感覚で着けてもいいだろう。¥16,000 [10] こちらはエナメルやレザーのベースを使用したシリーズ。コーディネイトのアクセントに。¥18,000 [11] ミリタリーアイテムを連想させるポケット付きのベルト。オーバーベルトとして活用したい。¥28,000 [12] 左部分のファブリックのみ加工。プリントを施したショートパンツ。¥30,000／すべてUNDERCOVERISM

小物からシューズまでトータルコーデ可能な洗練されたアイテムが揃う!!

[illegible]

本気モード全開で人気を独占する実力派の真骨頂

昨年のショップ移転、独立を契機とするかのように、情報発信地としての存在感を強烈にアピールしているのがアンダーカバーだ。'94年秋冬の東コレへの参加以来、ストリートにおけるメインストリームから遠ざかっていた時期もあった。しかし'00年夏のB・BONEモチーフあたりから、再びストリートでの注目を集め出し、今年に入ってからは、ホツレ加工の"かさぶた"モチーフで、一躍シーンのトップに躍り出た。

「ありそうでなかったものをデザイン化することの巧みさは、すでにモード界でも実証済み。"かさぶた"モチーフにしても"反戦"ものにしても、ブランドのメッセージ性が明確ですよね。だからインパクトも大きいし、デザインに変なためらいがない分、着る側も思い切って着られる。だからカッコ良くスタイリングできるわけで、何だかアンダーカバーの真骨頂を見せつけられた感じですよね」（ステイ246　松島勝征さん）

［アンダーカバー］
UNDERCOVER

UNDERCOVER 人気モチーフ大集合!!

人気の中心はホツレ加工の"かさぶた"モチーフ。しかも着目すべきは、見た目のボロさと品質の確かさのギャップだ。この人気は秋冬モノにも続きそうな予感。

ホツレ加工SCAB T
9800円
ヘウンズ

ホツレ加工UロゴT
9800円
カンフル大阪

セディション柄シャツ
3万9800円
フールズジャッジ

ホツレ加工ラジカセベアーT
1万2000円
PX

ホツレ加工クローバープリントT
1万2800円
ステイ246

ホツレ加工SCABシャツ
3万4800円
フールズジャッジ

パッチワークパンツ
8万4800円
PX

'02AWスウェットデニム切り替えしパンツ
4万4000円／ロッドマーズ

アーミーパンツ
4万4800円
PX

かさぶたウエストバッグ
4万9800円／PX

〈通常ボディータイプ〉

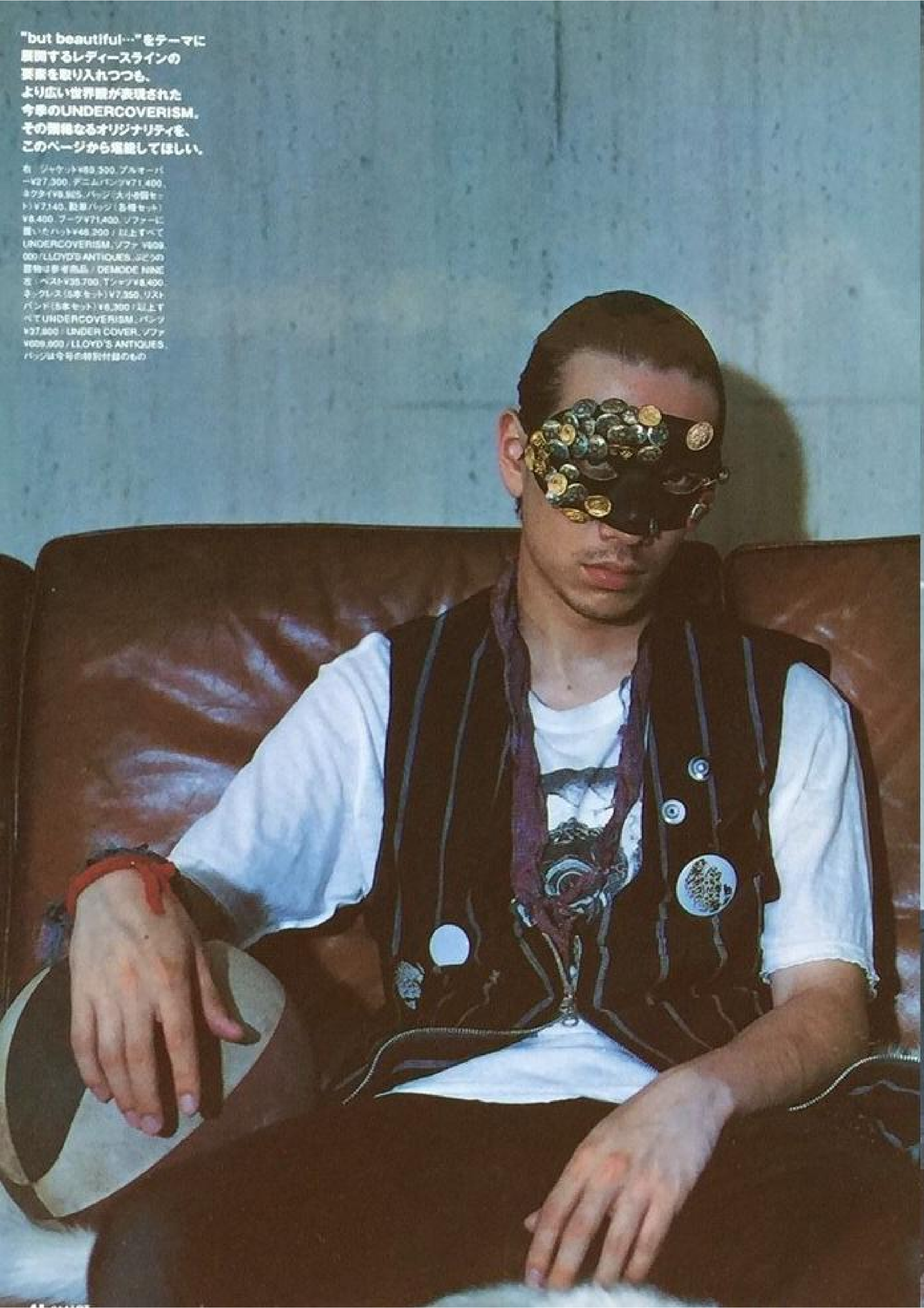
[illegible]

'94s フライヤーT
1万4800円
ロッドマーズ

NOAP ヘロハゲT
9800円
フールズジャッジ

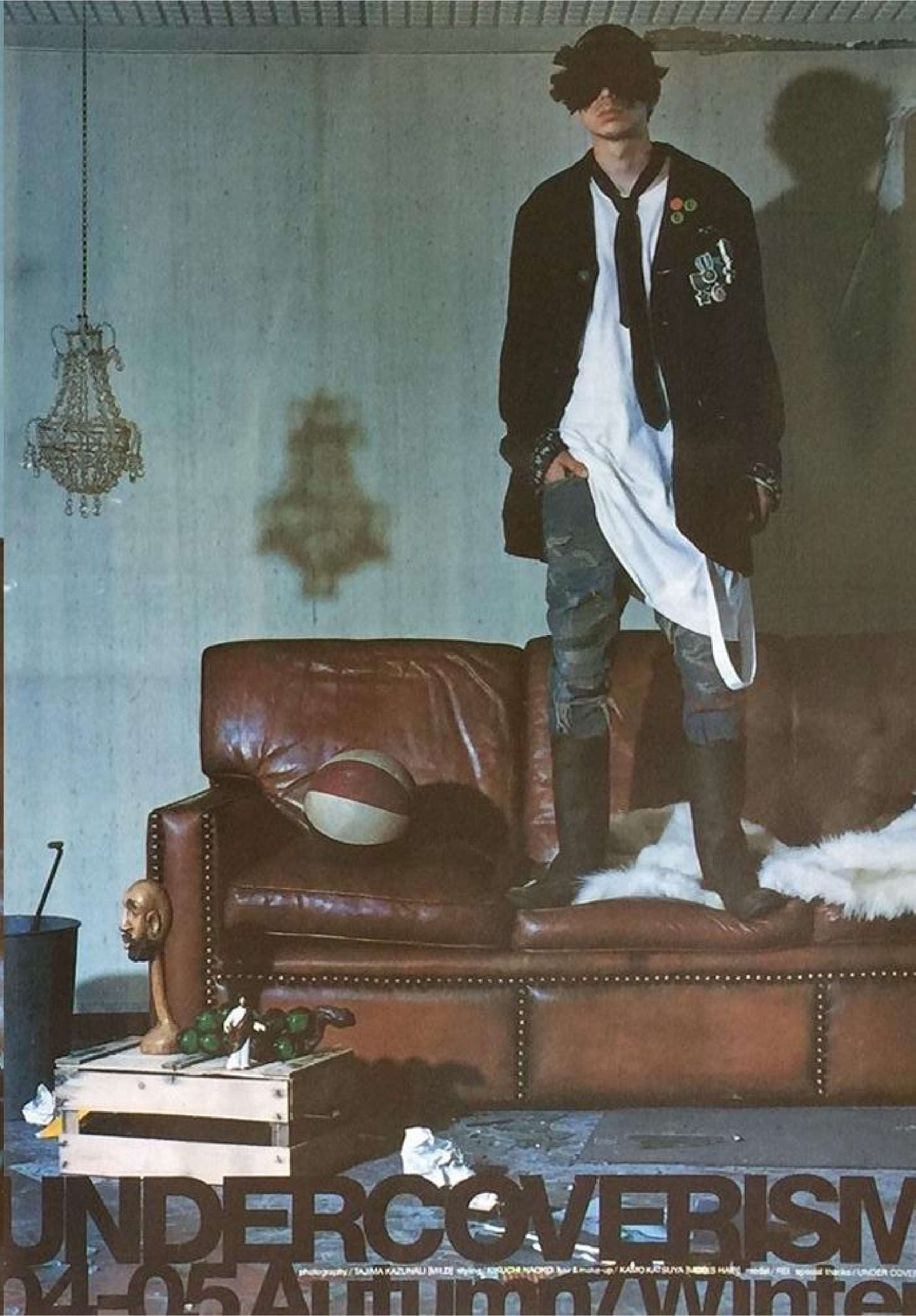
ステルス FUNK OUT T
9800円
ヘウンズ

クロスT
9800円
ヘウンズ



"but beautiful…"をテーマに
展開するレディースラインの
要素を取り入れつつも、
より広い世界観が表現された
今季のUNDERCOVERISM。
その独特なるオリジナリティを、
このページから堪能してほしい。

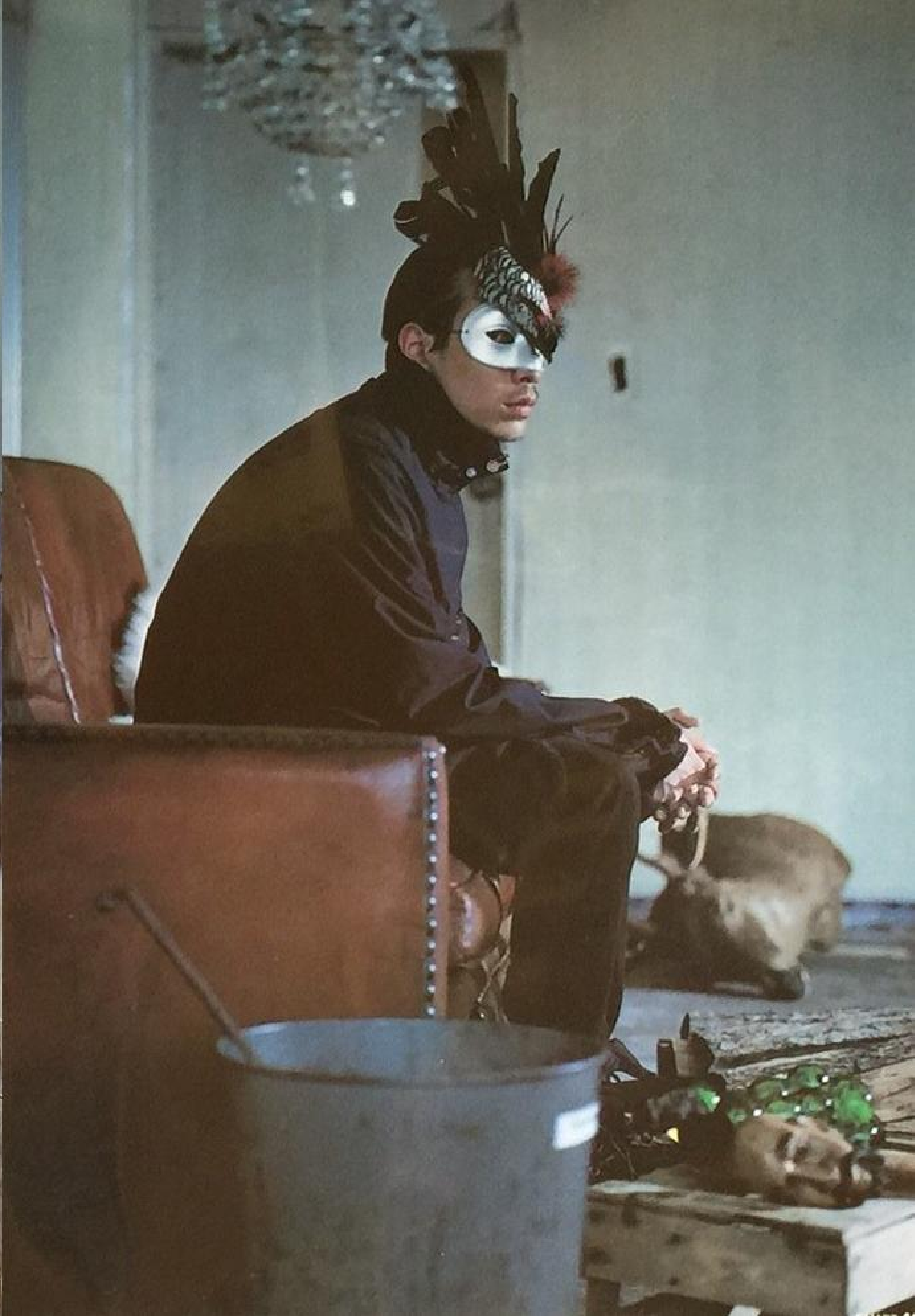
右：ジャケット¥89,300、プルオーバー¥27,300、デニムパンツ¥71,400、ネクタイ¥9,975、バッジ（大小8個セット）¥7,140、勲章バッジ（各種セット）¥8,400、ブーツ¥71,400、ソファーに置いたハット¥46,200／以上すべてUNDERCOVERISM、ソファ ¥609,000／LLOYD'S ANTIQUES、ぶどうの置物は参考商品／DEMODE NINE
左：ベスト¥35,700、Tシャツ¥8,400、ネックレス（5本セット）¥7,350、リストバンド（5本セット）¥6,300／以上すべてUNDERCOVERISM、パンツ¥37,800／UNDER COVER、ソファ¥609,000／LLOYD'S ANTIQUES、バッジは今号の特別付録のもの

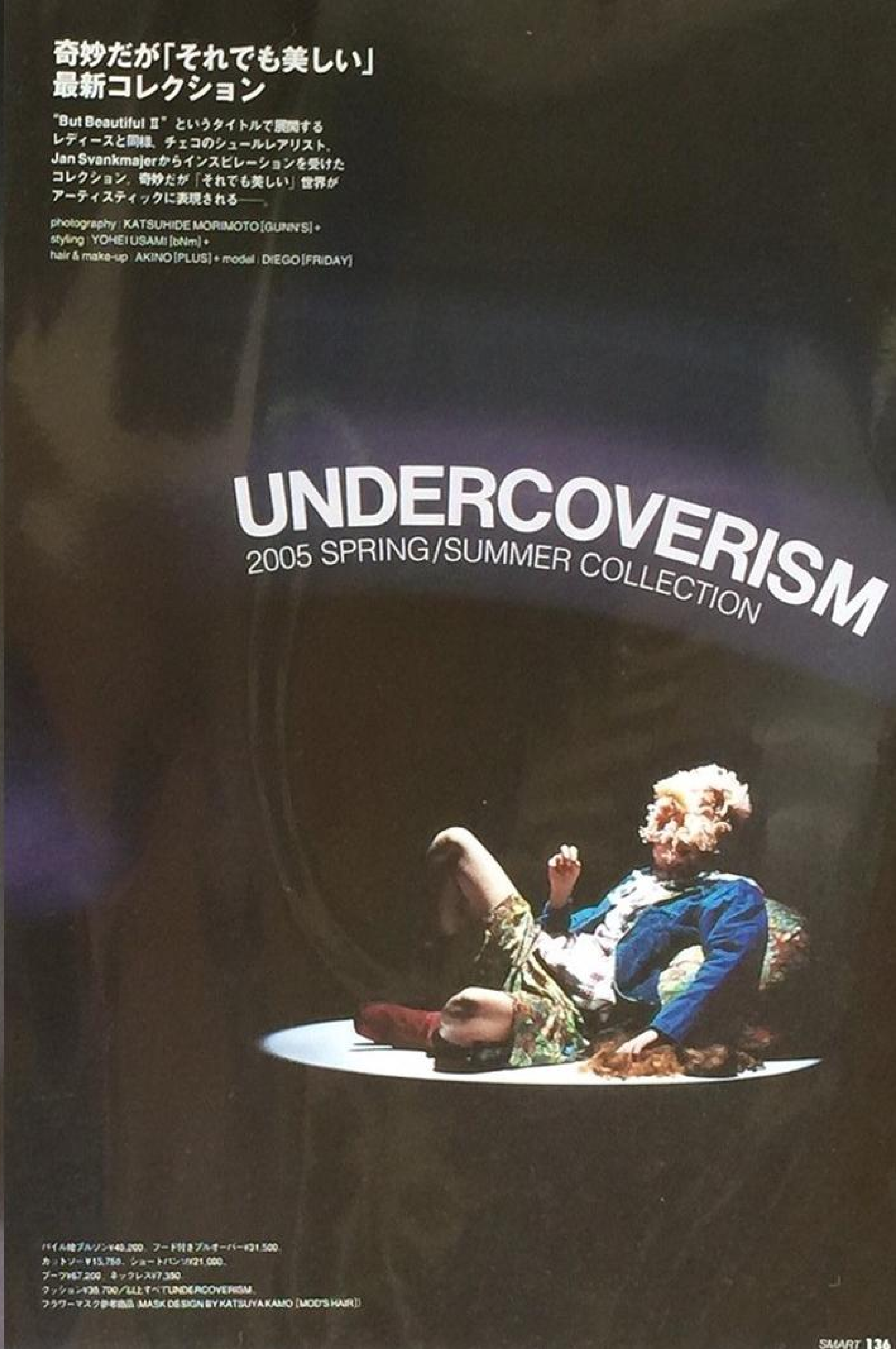


UNDERCOVERISM
04-05 Autumn/Winter

photography / TAJIMA KAZUNALI [MILD] styling / KIKUCHI NAOKO hair & make-up / KATO KATSUYA [MOD'S HAIR] model / REI special thanks / UNDER COVER

右：トレンチコート¥75,600 パンツ¥27,300, レースアップブーツ¥56,700／以上すべてUNDERCOVERISM, ソファ¥309,000／LLOYD'S ANTIQUES, ぶどうの置物は参考商品／DEMODE NINE
左：ナポレオンジャケット¥59,850 デニムパンツ¥54,600／ともにUNDERCOVERISM





奇妙だが「それでも美しい」最新コレクション

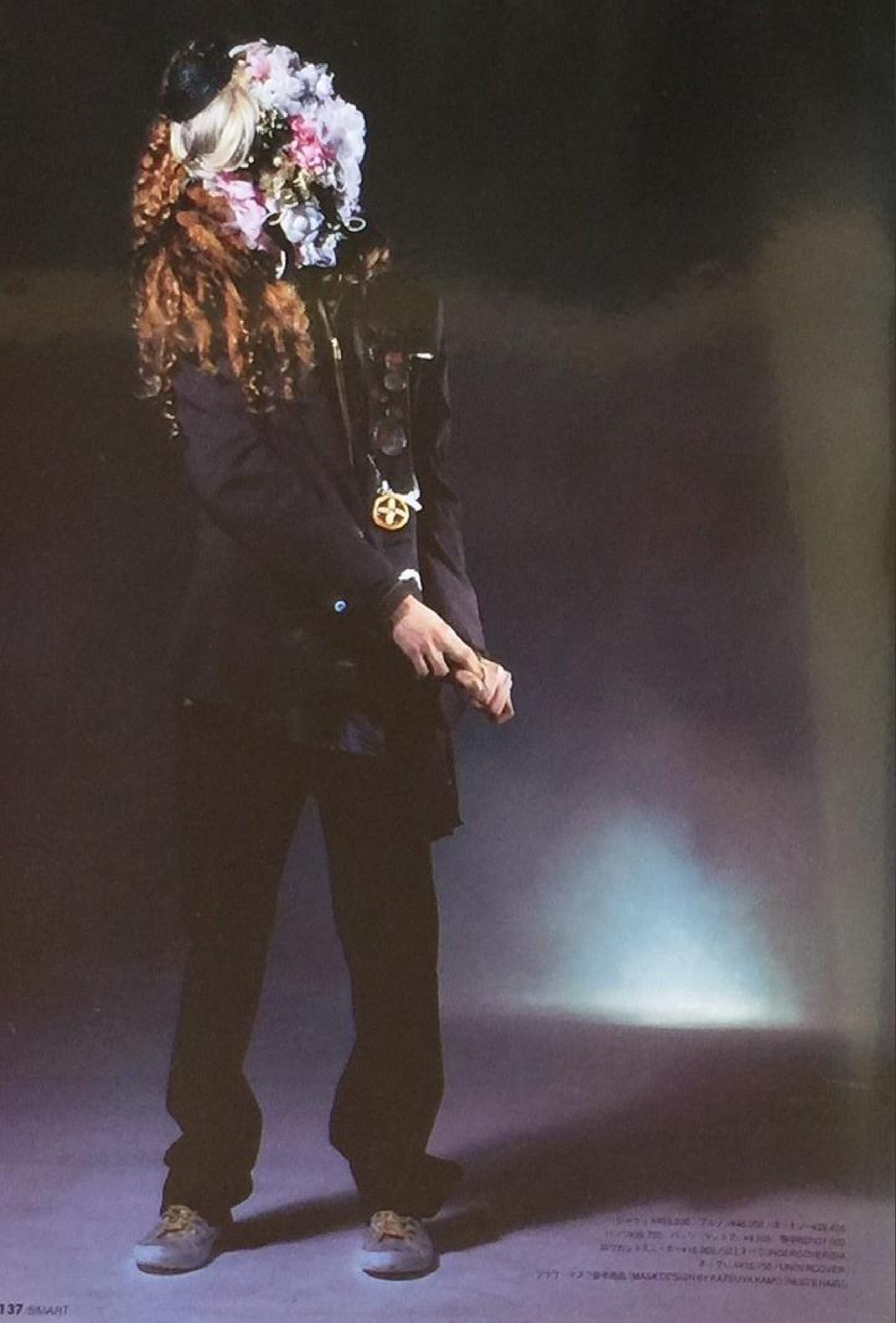
"But Beautiful Ⅱ" というタイトルで展開する
レディースと同様、チェコのシュールレアリスト、
Jan Svankmajerからインスピレーションを受けた
コレクション、奇妙だが「それでも美しい」世界が
アーティスティックに表現される――

photography | KATSUHIDE MORIMOTO [GUNN'S] +
styling | YOHEI USAMI [bNm] +
hair & make-up | AKINO [PLUS] + model | DIEGO [FRIDAY]

UNDERCOVERISM

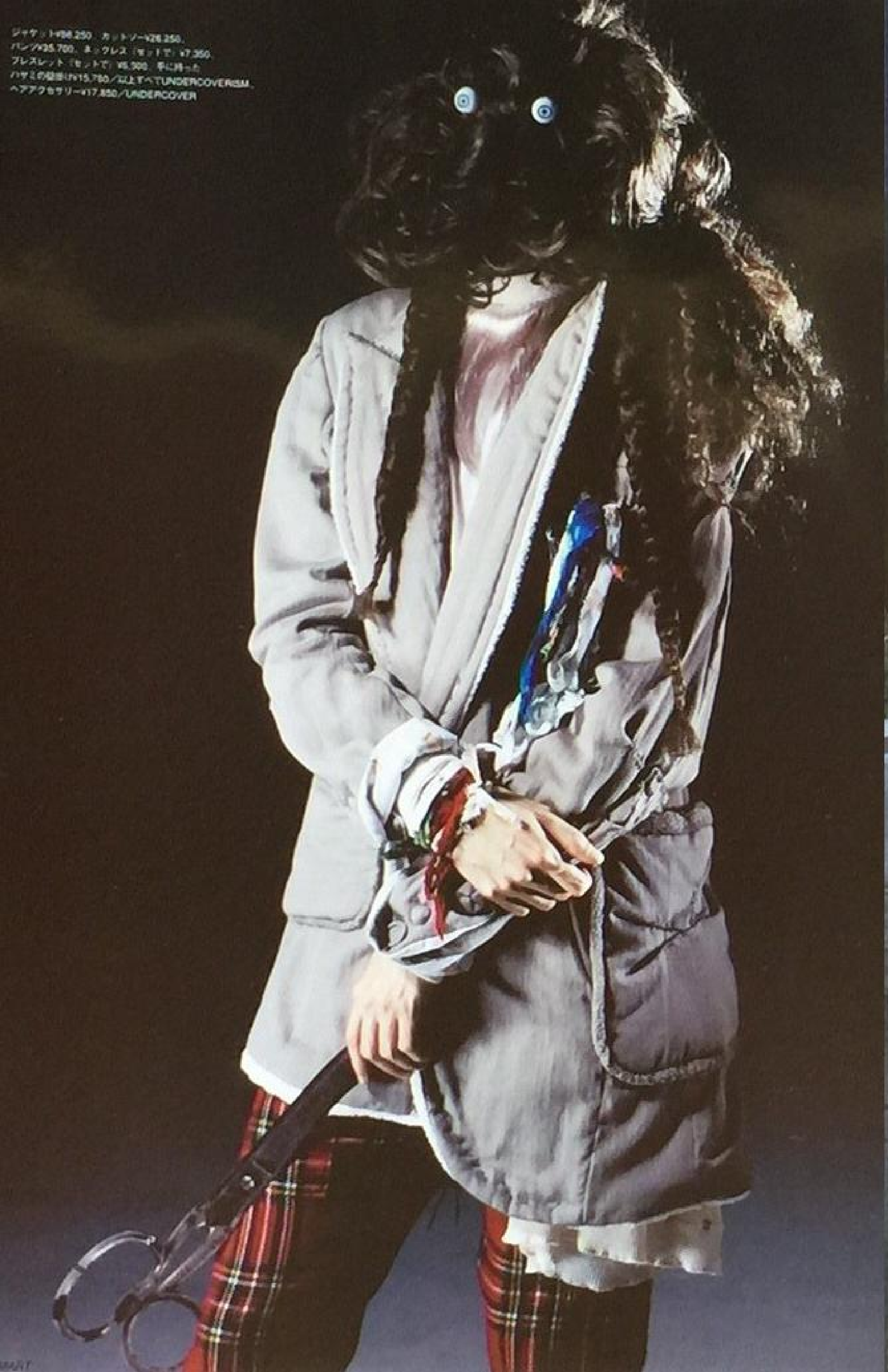
2005 SPRING/SUMMER COLLECTION

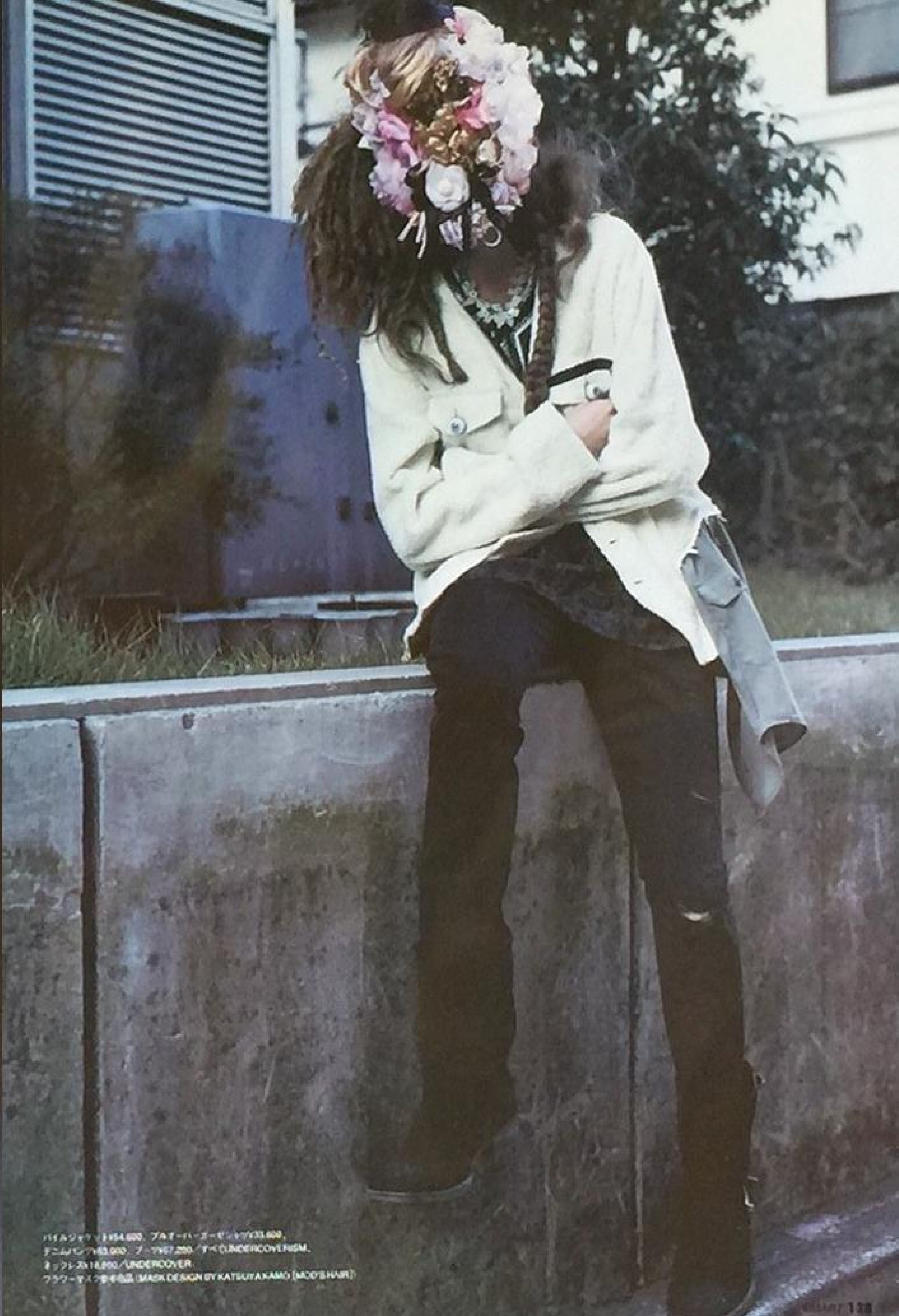
パイル地ブルゾン¥40,200、フード付きプルオーバー¥31,500、
カットソー¥15,750、ショートパンツ¥21,000、
ブーツ¥67,200、ネックレス¥7,350、
クッション¥30,700／以上すべてUNDERCOVERISM、
フラワーマスク参考商品 MASK DESIGN BY KATSUYA KAMO [MOD'S HAIR]



ジャケット¥[illegible]、ブルゾン¥[illegible]、カットソー¥[illegible]
パンツ¥[illegible]、パンツ、[illegible]¥[illegible]、帽子¥[illegible]
[illegible]スニーカー¥[illegible]／以上すべてUNDERCOVERISM
ネックレス¥[illegible]／UNDERCOVER
フラワーマスク参考商品 MASK DESIGN BY KATSUYA KAMO [MOD'S HAIR]

ジャケット¥98,250、カットソー¥26,250、
パンツ¥35,700、ネックレス（セットで）¥7,350、
ブレスレット（セットで）¥6,300、手に持った
ハサミの型紙¥15,750／以上すべてUNDERCOVERISM、
ヘアアクセサリー¥17,850／UNDERCOVER





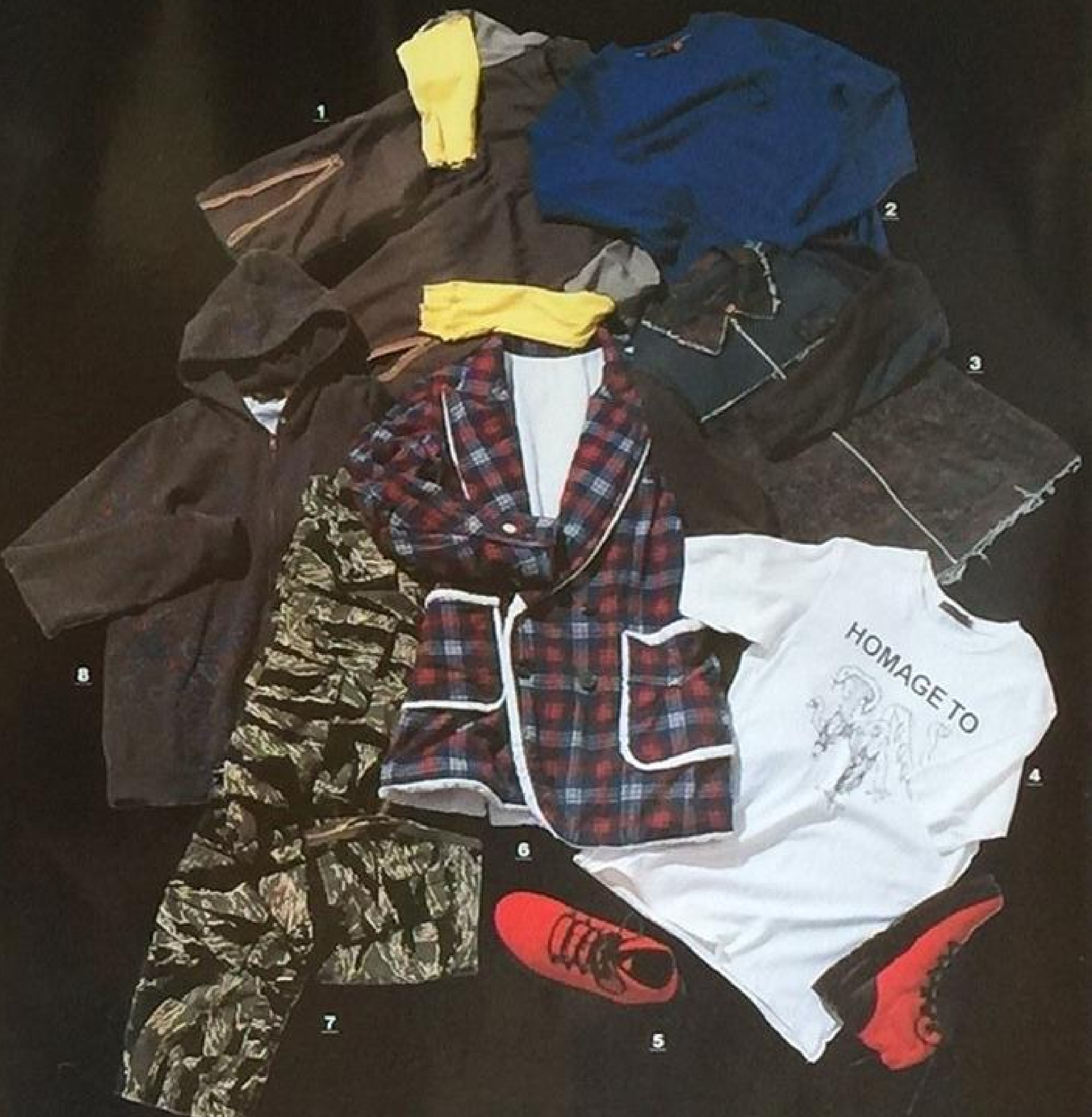
パイルジャケット¥54,600、プルオーバーシャツ¥33,600、
デニムパンツ¥43,050、ブーツ¥67,200／すべてUNDERCOVERISM、
ネックレス¥18,690／UNDERCOVER
フラワーマスク参考商品（MASK DESIGN BY KATSUYA KAMO［MOD'S HAIR］）

UNDERCOVERISM

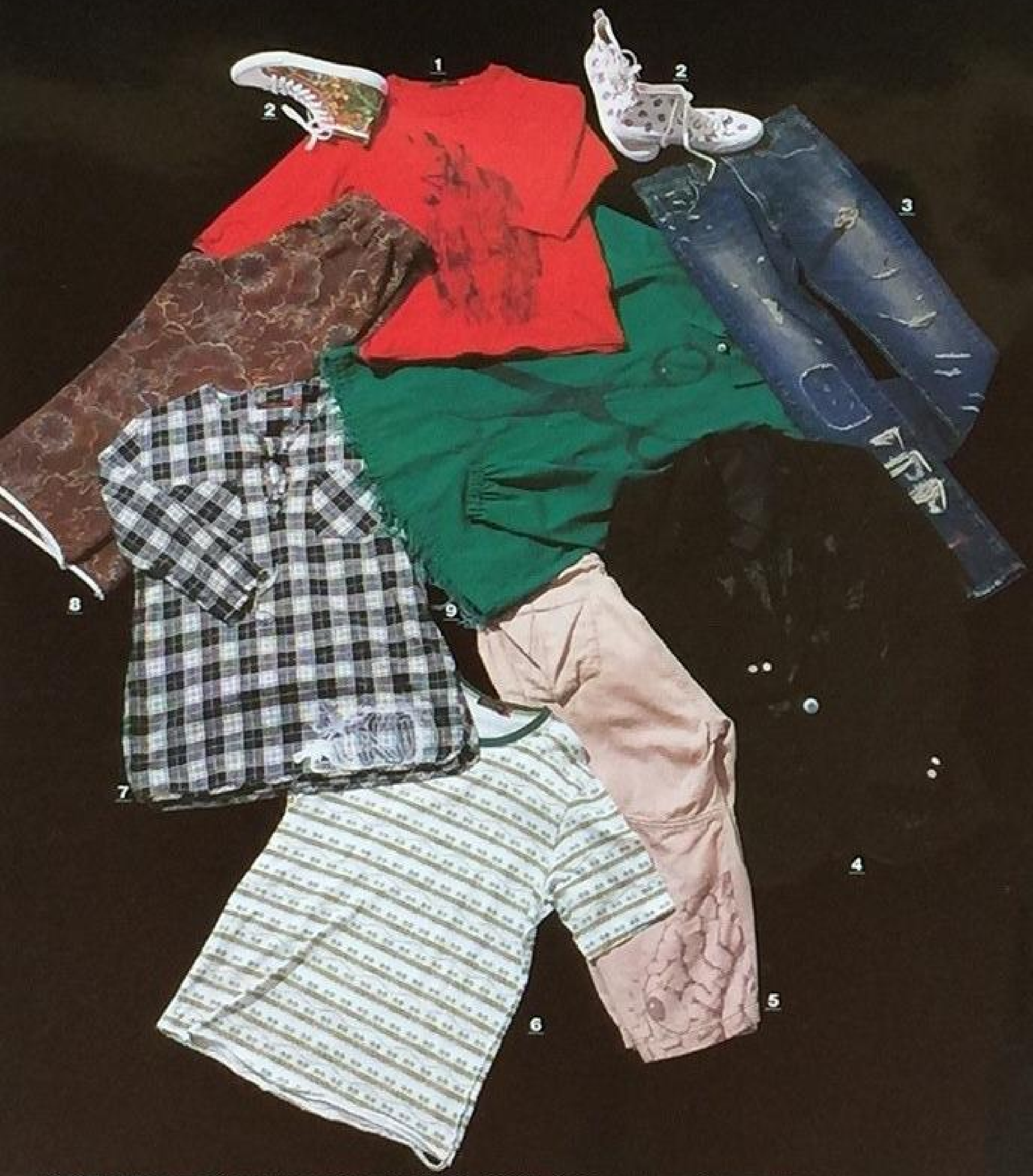
2005 SPRING/SUMMER COLLECTION

より深く今季の世界観を理解するためのアイテム・コレクション。ひび割れた壁のようなアレンジやインパクトのあるグラフィックは、レディースと共通するディテールである。

photography : KEISUKE NAKAMURA + styling : YOHEI USAMI [bNm]



1.サイドに紐が付いたハーフパンツは、レイヤード感覚で着こなしたい。¥30,000 2.発色のいいブルーが目を引くスウェットシャツ。肩から袖のアレンジが効いている。¥33,600 3.切り替えがポイントになったジップアップブルゾン。デニムパンツと相性がよさそうだ。¥44,100 4.バリエーション豊富なTシャツから、文字とイラストのバランスが絶妙な一品。¥8,400 5.HIKARU氏とのコラボレーションにより、色を変えて再登場したブーツ。¥38,640/BOUNTY HUNTER × UNDERCOVERISM 6.パンクな香りの強いチェックのダブルジャケット。¥68,250 7.ディテールまでこだわりを感じさせるミリタリーパンツ。¥34,650 8.赤いカラーリングのスウェットパーカは、なにかと重宝しそう。¥29,400/以上、表記のあるもの以外、すべてUNDERCOVERISM



1.幅広く着回せる七分袖のTシャツ。プリントはかなりのインパクトもの。¥12,600 2.グラフィックが施されたハイカットスニーカーは、コーディネイトのハズしに最適だ。各¥21,000 3.センスのよいアレンジが加えられたデニムパンツ。クオリティの高さはハンパない。¥63,000 4.ひび割れたようなデザインが強烈な印象を与えるジャケット。¥79,800 5.脳をモチーフにしたキャラクター(!)がプリントされているショートパンツ。¥29,400 6.さり気なく着られそうなボーダーTシャツ。よく見れば、かなり変わったパターンだぞ―。¥15,750 7.七分袖のプルオーバーシャツは、細部にまでブランドのクリエイティヴィティが感じられるだろう。¥29,400 8.花柄がプリントされたスウェットパンツ。春夏のコーディネイトに取り入れてほしいアイテムだ。¥27,300 9.フロントに大きくハサミがプリントされたコーチジャケット。ストリートフィーリング溢れるアイテムと言えよう。¥39,900/以上すべてUNDERCOVERISM

素材感も色使いも
他では成し得ない傑作！

どこか懐かしいぬくもりを持つ、フエルト素材を使ったジャケットは、まるで人形の服のようなかわいらしさ。全体的にはクラシカルな雰囲気のコーディネイトだが、ネクタイ柄のニットや水玉模様のウエスタンブーツなど、遊び心がたっぷり。原色のグリーンを差し色とした、秋のお出かけスタイルが完成。

テーラードコート¥31,500、ネクタイ柄タートルネックニット¥18,900、千鳥格子のサスペンダー付きパンツ¥21,000、キャスケット¥10,290、ウエスタンブーツ¥29,400／以上アンダーカバー

SENSE定番企画

アンダーカバイズムの「ファミリースタイル」'05 秋冬

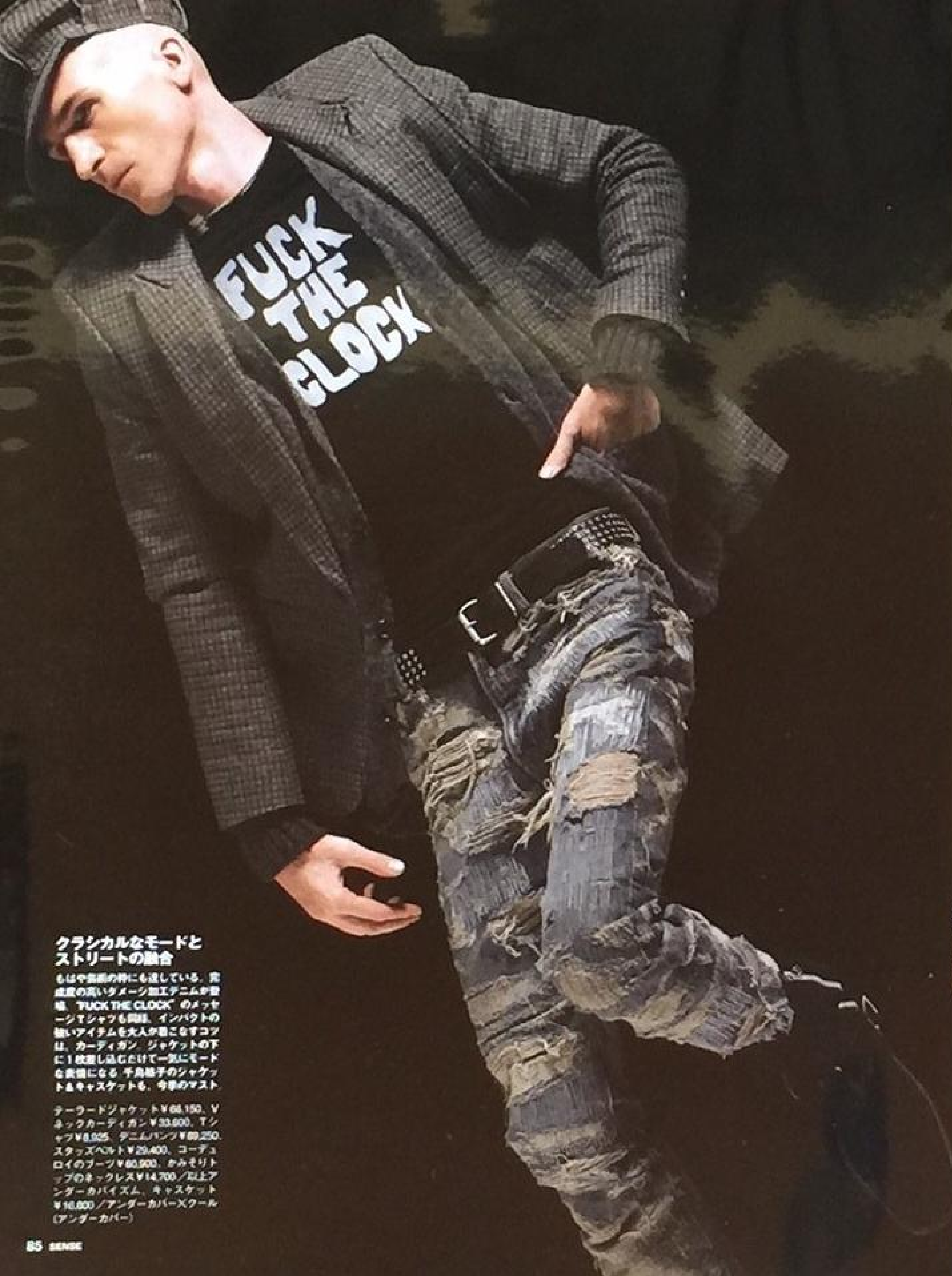
「Art & Craft」をテーマに、より独創的且つパンキッシュな世界を創造した今季は、ジャケットスタイルから、休日の遊び着までキッズラインもますます充実。この特集を心待ちにする読者諸君に、満を持してお届けします！

半沢 健（人物）、吉田雅彦（M-focus）＝写真
橋本 敦＝スタイリング　冨沢ノボル（CUBE）＝ヘアメイク
photographs TAKESHI HANZAWA　MASAHIKO YOSHIDA(M-focus)
styling ATSUSHI HASHIMOTO　hair&make-up NOBORU TOMIZAWA(CUBE)

UNDERC

コワイイ、アンダーカバイズム。 先シーズンに[illegible]、[illegible]BEAUTIFUL[illegible]というテーマを掲げて[illegible]
今季はプラハで[illegible]するアーティスト、[illegible]

アルワンピース¥231,000／UNDER COVER、以下セットに使用したもの、クッキーネックレス時計¥21,000／UNDERCOVERISM、アンティークチェア各¥71,400／natural、アンティークチェア¥29,400／カントリーモール テポー38



クラシカルなモードとストリートの融合

もはや芸術の域にも達している、完成度の高いダメージ加工デニムが登場。"FUCK THE CLOCK"のメッセージTシャツも同様。インパクトの強いアイテムを大人が着こなすコツは、カーディガン、ジャケットの下に1枚差し込むだけで一気にモードな表情になる。千鳥格子のジャケット＆キャスケットも、今季のマスト。

テーラードジャケット¥66,150、Vネックカーディガン¥33,600、Tシャツ¥8,925、デニムパンツ¥89,250、スタッズベルト¥29,400、コーデュロイのブーツ¥60,900、かみそりトップのネックレス¥14,700／以上アンダーカバイズム、キャスケット¥16,800／アンダーカバー×クール（アンダーカバー）

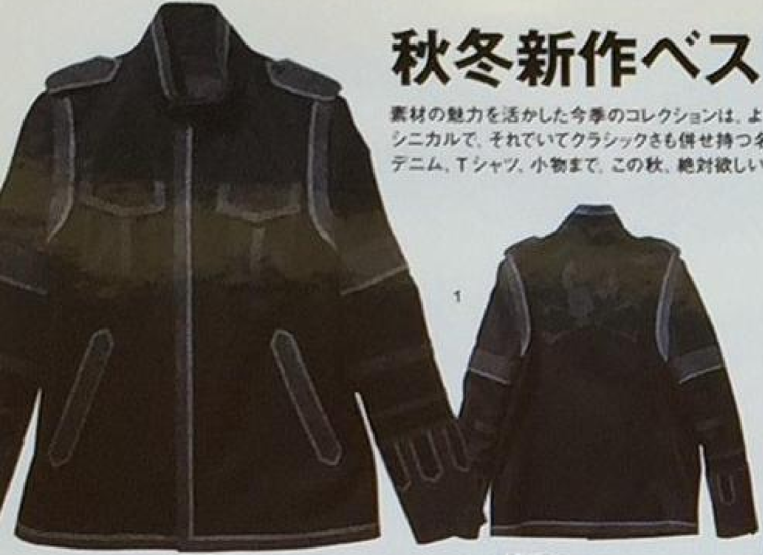
レザー＆レオパードのパンキッシュファミリー

レザーのアウターを持っている人にも、2着目としておすすめなのが、こちらのレザーブルゾン。シワが生まれやすいのが上質の証。着込んで自分の味を出したい。ウィットに富む、キッズの細タイ柄のタイプが、いかにもアンダーカバーらしい。

ダディ）ラムレザーブルゾン¥136,500、中に着たネルシャツ¥37,800、デニムパンツ¥89,250、ブーツ¥71,400／以上アンダーカバイズム、ハット¥37,800／アンダーカバー×クール（アンダーカバー）キッズ）カーディガン¥23,100、ネックレスプリントのTシャツ¥5,775、サスペンダー付きフェルトパンツ¥18,900、タイツ¥4,725、ネックレス¥9,450／以上アンダーカバー

秋冬新作ベストバイ！

素材の魅力を活かした今季のコレクションは、よりアーティスティックでシニカルで、それでいてクラシックさも併せ持つ名作ばかり。アウターからデニム、Tシャツ、小物まで、この秋、絶対欲しいアイテムを一挙公開！


1

2

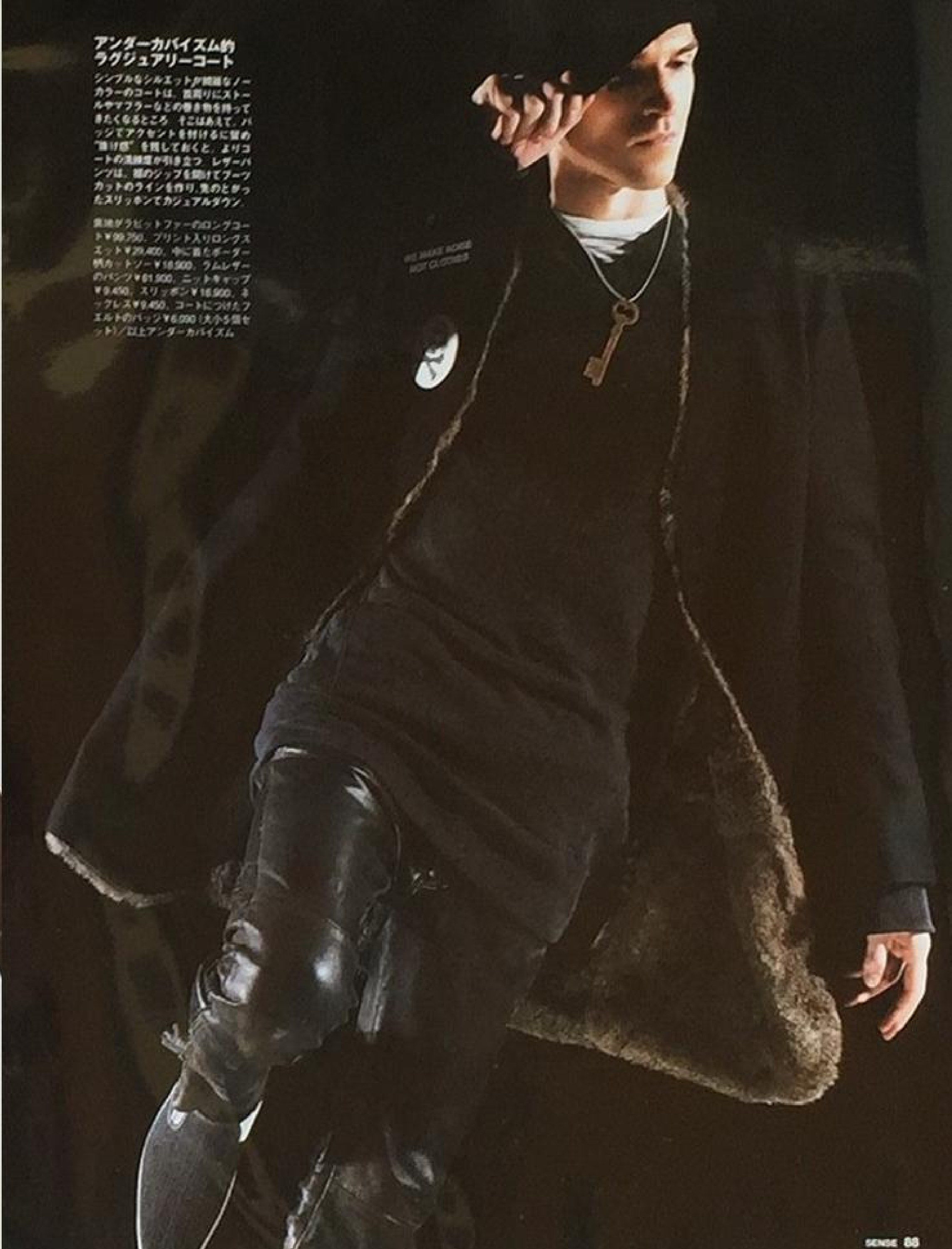
3

4

5

6

1.フエルトのブルゾン　センセーショナルなデザインと、相反するクラフト感が今季のアンダーカバイズムを象徴する。比翼仕立てのジップアップで、見た目以上にリアルクローズな一着。背中のスカルがロックな印象。¥75,600／**2.コットンパンツ**　両膝上に施したピンタックが、タイトなシルエットをますます綺麗にみせてくれる。¥31,500／**3.シャツ**　カラーとショルダーライン、センター、カフスにフエルト地を使った大人仕様の白シャツ。ただ綺麗なだけじゃなく、カフスボタンはスカルだったり、胸元にはうっすらとダークなプリントがデザインされていたりと、ギミックが利いている。¥27,300／**4.テーラードジャケット**　柔らかなラムレザーを採用。ラペルの加工やそでのシワなど、全体に程良い味出し加工が施されている。ポケットのスタッズも、ハードというよりは"大人のたしなみ"。¥115,000／**5.デニムパンツ**　色落ち具合が秀逸。右のポケット下の、スカルのフエルトのアップリケがポイントになった、細身のストレートタイプ。やや外側についたポケットなど、バックスタイルにも凝っている。¥39,900／**6.ムートンブルゾン**　真冬もいけるヘビーアウター。パーカをインナーに着ているかのように仕立てた、スエットのフード付き。フードのジップを開けると、中からはナイロンのフードが出てくるという、マトリョーシカ的遊び心も。¥168,000



アンダーカバイズム的ラグジュアリーコート

シンプルなシルエットが洒脱なノーカラーのコートは、首周りにストールやマフラーなどの巻き物を持ってきたくなるところ。そこはあえて、バッジでアクセントを付けるに留め"抜け感"を残しておくと、よりコートの高級感が引き立つ。レザーパンツは、裾のジップを開けてブーツカットのラインを作り、先のとがったスリッポンでカジュアルダウン。

裏地がラビットファーのロングコート¥99,750、プリント入りロングスエット¥29,400、中に着たボーダー柄カットソー¥18,900、ラムレザーのパンツ¥81,900、ニットキャップ¥9,450、スリッポン¥16,800、ネックレス¥9,450、コートにつけたフエルトのバッジ¥6,090（大小5個セット）／以上アンダーカバイズム

レザージャケット¥115,000、ノースリーブフーデッドパーカ¥26,700、中に着たブローケンノースリーブカットソー¥18,900、ブローケンデニム¥89,250、スカルモチーフのストール¥36,750、レザーブーツ¥71,400／以上すべてUNDERCOVERISM

UNDERCOVERISM

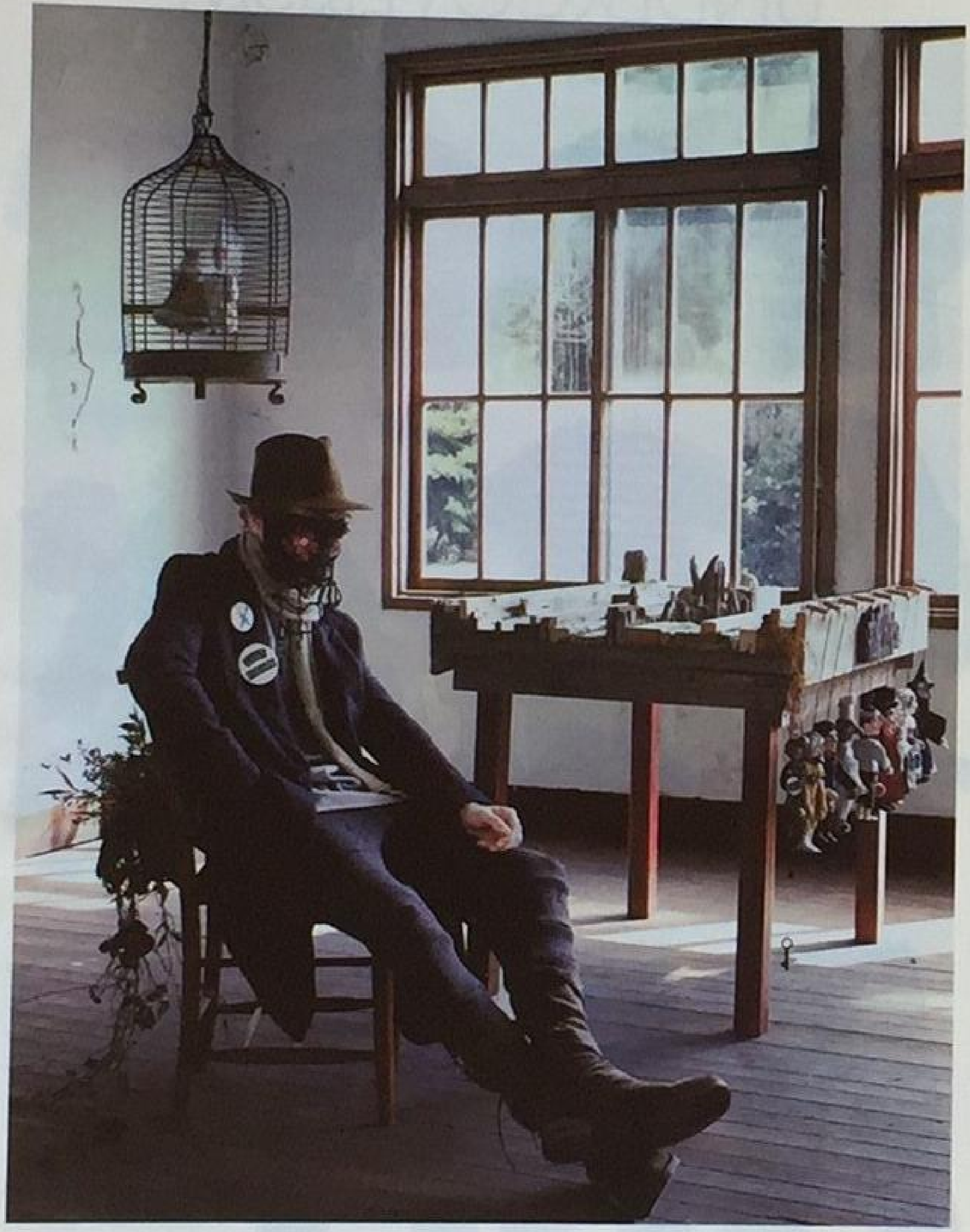
2005-06 AUTUMN/WINTER COLLECTION

子供っぽくも大人っぽい、新しい “Arts & Crafts”

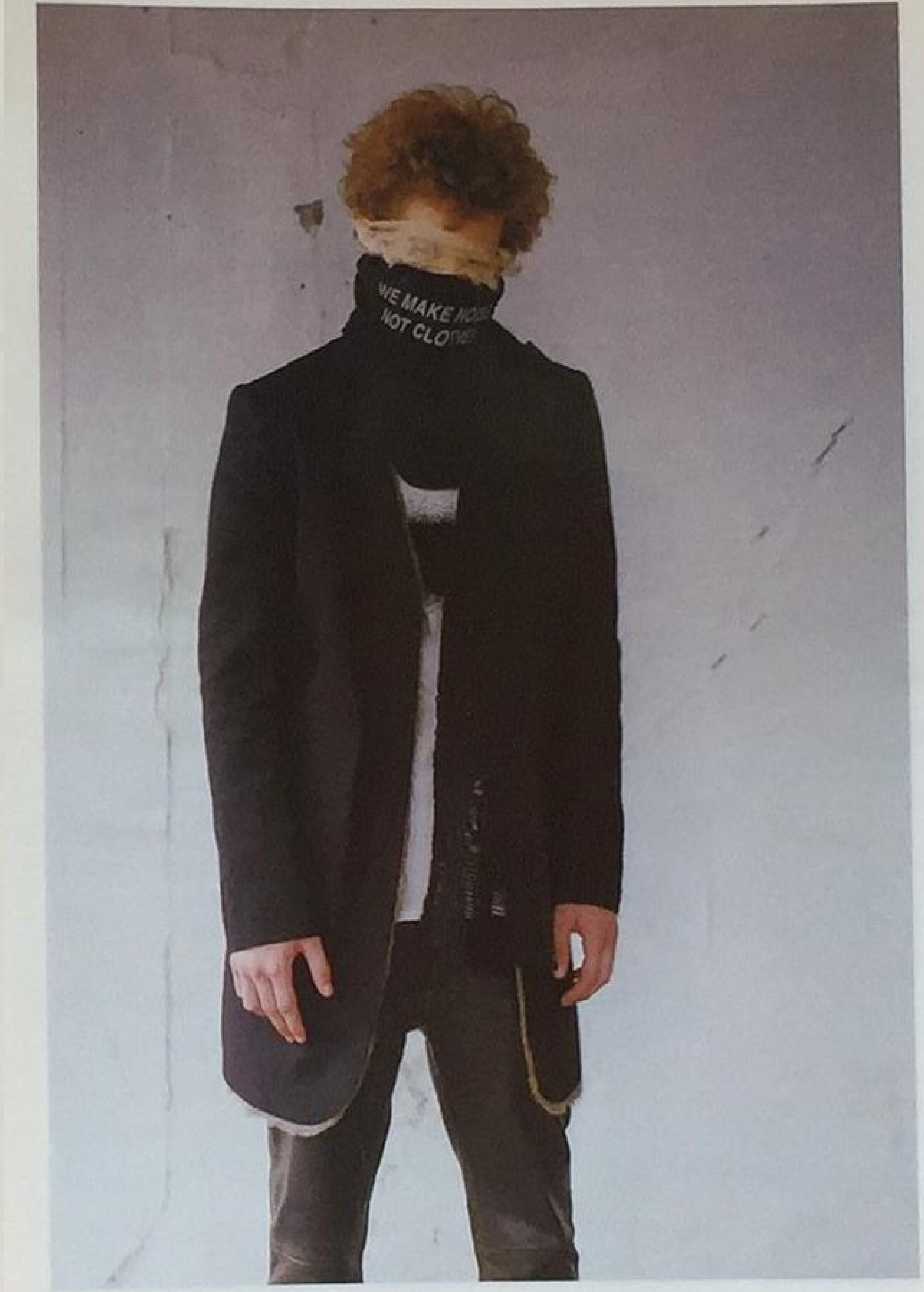
今季のUNDERCOVERISMは、"Arts & Crafts（美術工芸品）" をテーマに展開。まるで子供が図画工作の授業で切ったり貼ったりするように、フェルトを用いて作られたその服は、シルエットやカラーリングといったディテールで大人っぽく表現されている。

photography : KATSUHIDE MORIMOTO (GUNN'S) + styling : YOHEI USAMI ([illegible]) +
hair : KATAYAMA (GUNN'S) + make-up : UDA (GUNN'S) + art : ENZO + model : ROCH

フェルトジャケット¥89,250、フェルトピンタックシャツ¥26,750、綿麻パンツ¥33,600、ネックウォーマー¥8,240／以上すべてUNDERCOVERISM、ハット¥37,800／UNDER COVER×coeur（UNDERCOVERISM）


WE MAKE NOISE NOT CLOTHES

ロングコート¥67,200、スカルプリントハイネックニット¥33,900、ニットパンツ¥39,900、カシミアストール¥36,750、ネックレス¥9,450、フェルトバッジ（大小3個セットで）¥6,090、ブレスレット¥3,990、コーデュロイブーツ¥68,900／以上すべてUNDERCOVERISM、ハット¥37,800／UNDER COVER×cover（UNDERCOVERISM）

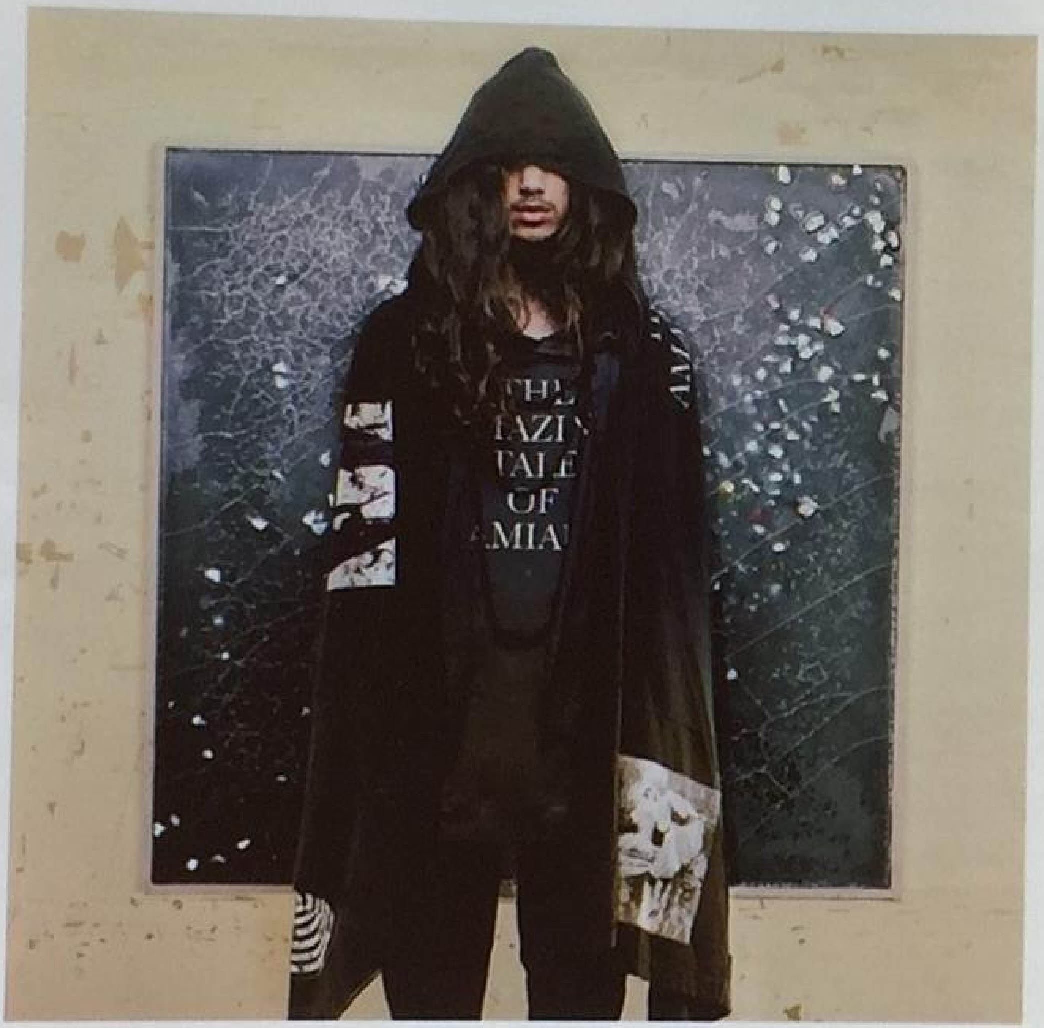

WE MAKE NOISE
NOT CLOTHES

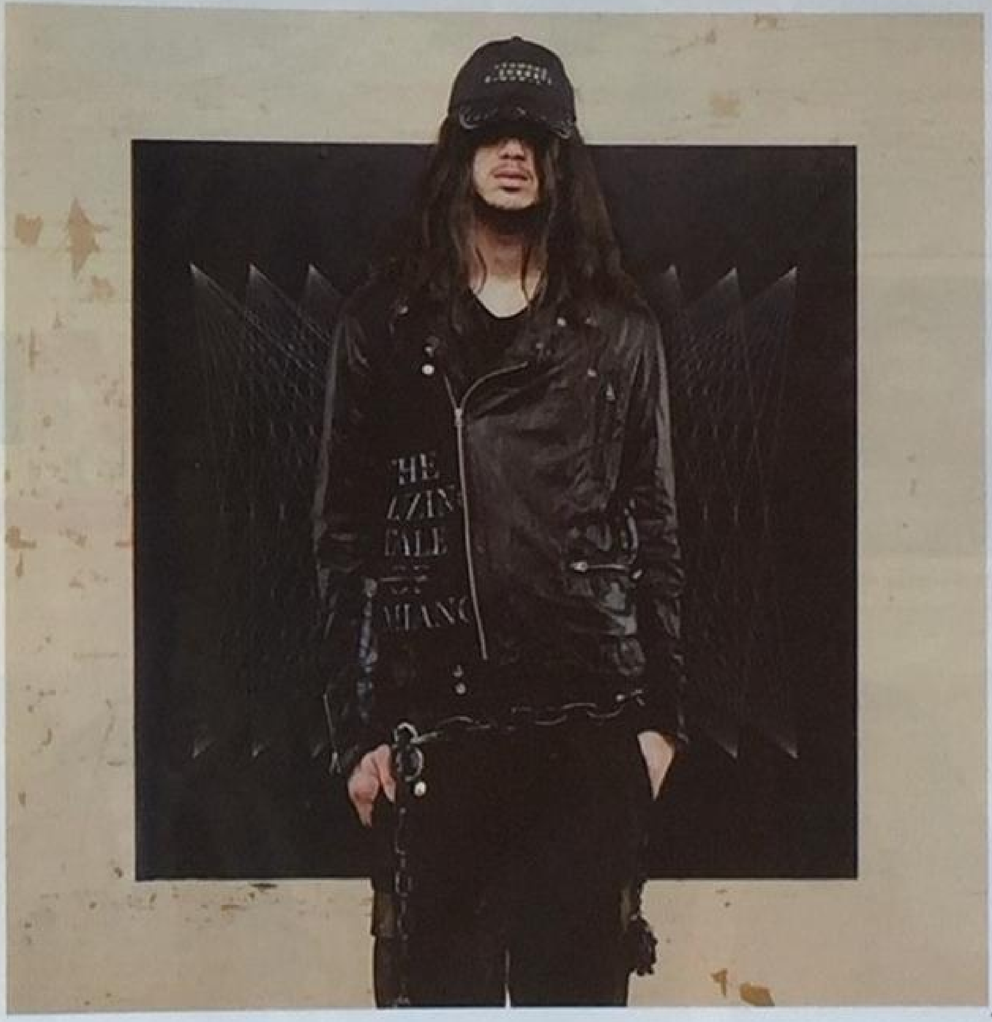
ノーカラーコート¥99,750、プリントTシャツ¥6,825、レザーパンツ¥81,900、腰に巻いたTシャツ¥8,925、ブロークンマフラー¥18,900／以上すべてUNDERCOVERISM

2006 SPRING / SUMMER COLLECTION

UNDERCOVERISM

photography : KATSUHIDE MORIMOTO [GUNN'S] • styling : YOHEI USAMI [bNm] •
hair & make-up : TAKE [DADA CuBiC] • model : YASUTAKA MORI [bNm] • art : ENZO

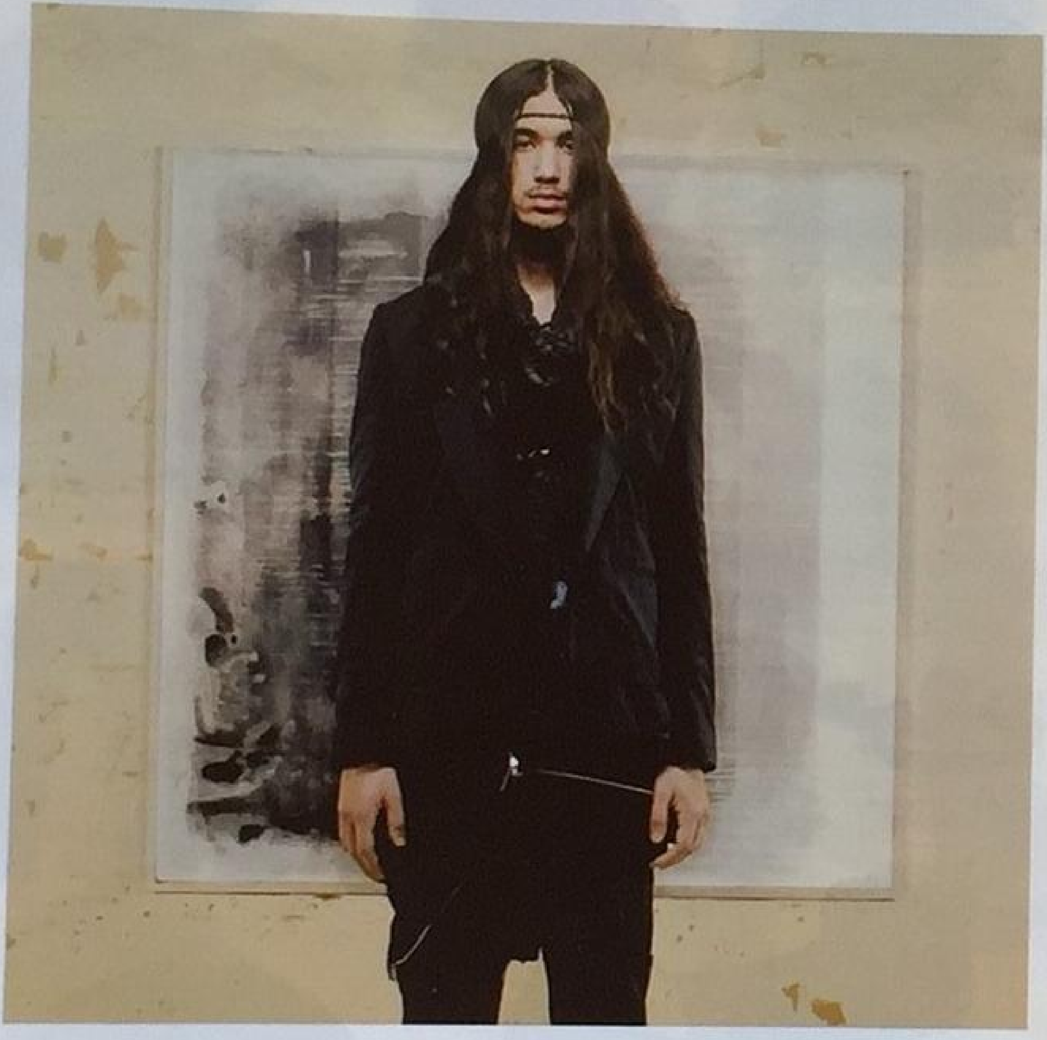




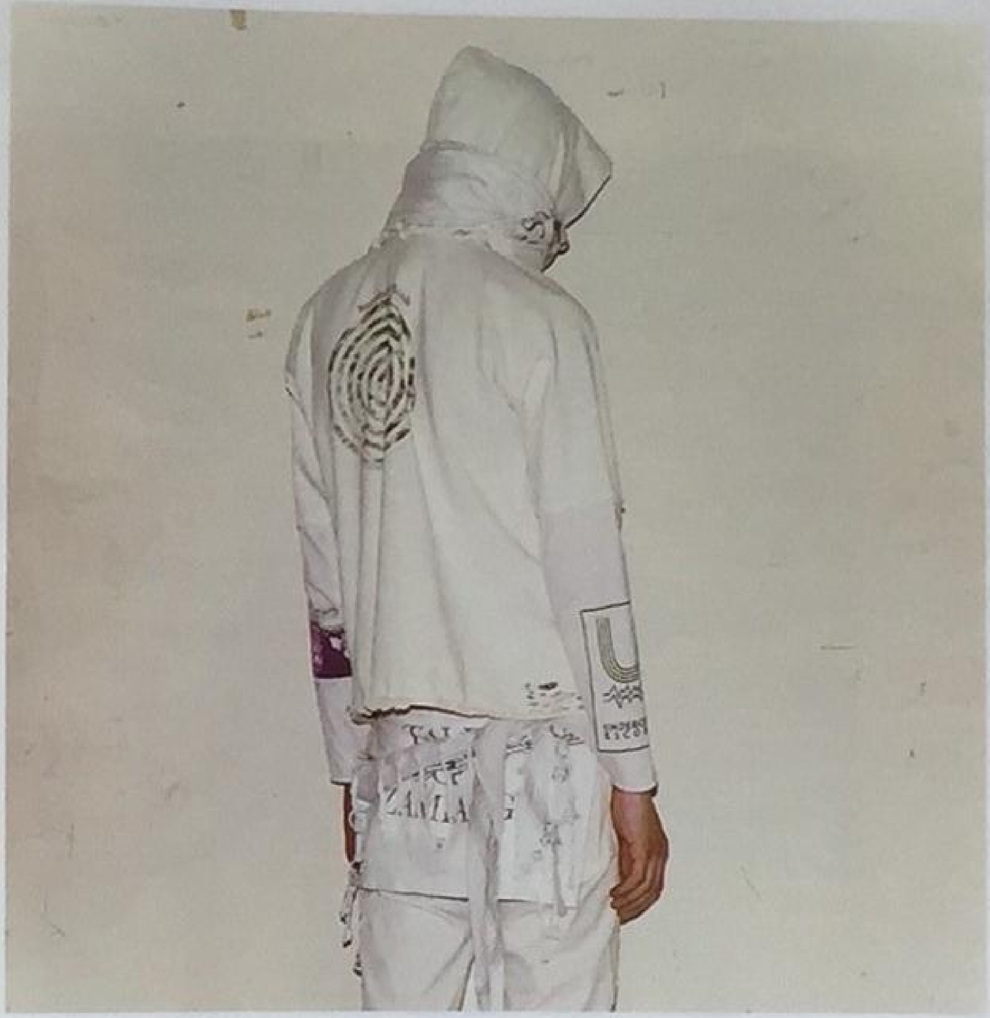
右：レザー×コットンのライダースジャケット¥105,000、七分袖のネットカットソー¥29,400、ネットショートパンツ¥29,400、
中に穿いたブッシュパンツ¥35,700、スタッズ付きキャップ¥12,600、スカルネックレス¥18,900、
チェーンベルト¥52,500、スカル付きのウォレットチェーン¥29,400／以上すべてUNDERCOVERISM
左：ポンチョ¥47,250、フード付きレイヤードカットソー¥48,300、パンツ¥33,600／以上すべてUNDERCOVERISM
つなげたパールネックレス各¥14,700／UNDER COVER

ジャーマン・プログレッシブ・ロックから生まれた、新しいスタイル。

今季のコレクションテーマは"T."。そのアイデアソースとなったジャーマン・プログレッシブ・ロックと同様、様々な要素を取り入れることによって生まれた、まったく新しいスタイルを提案する。



フード付きジャケット¥95,100、中に着たジャケット¥54,600、Vネックシャツ¥35,700、オールインワン¥63,000、スタッズ付きストール¥23,100／以上すべてUNDERCOVERISM、バングル各¥21,000／HYSTERIC GLAMOUR×UNDER COVER（UNDERCOVERISM）、その他／参考商品



フード付きブロークンスウェット地カットソー¥37,800、ガーゼパンツ¥35,700、Tシャツ地ストール¥21,000、腰に巻いたスタッズ付きストール¥23,100、チェーンベルト¥50,400、鍵付きウォレットチェーン¥29,400／以上すべてUNDERCOVERISM、パールネックレス各¥14,700／UNDER COVER

2006 SPRING / SUMMER COLLECTION

UNDERCOVERISM

アウターからアクセサリーまで、今季の注目アイテムを一挙に公開。ASH RA TEMPELやCANといったジャーマン・プログレッシブ・ロックを代表するバンドのオフィシャルTシャツにも注目を。

photography : MASAYUKI SUZUKI • styling : YOHEI USAMI (bNm)

架空のバンドのひとつであるCHUUUTのTシャツは、プリントの入り方が絶妙な一品だ。¥8,925

フードが付いたショートスリーブのボーダーカットソーは、春夏のレイヤードスタイルに。¥25,200

迷彩のフードとさりげなく入ったグラフィックプリントがポイントのモッズパーカ。¥71,400

ジップとスタッズを施した重厚な作りのブーツ。ブラックもあるが、ここではホワイトを。¥77,700

UNDERCOVERISMのスタイルには欠かせないアイテムのひとつ、スタッズベルト。¥29,400

かすれたようなプリントが雰囲気を高めるブルゾン。春から夏にかけて、長く着られるはずだ。¥52,500

The SSSSSもまた架空のバンドの名前。らせん状のコラージュがアーティスティックだ。¥8,925

こちらもCHUUUTをモチーフとしたもの。目のない顔のフォトプリントがなんとも不気味。¥8,925

今季のコレクションのトップスなら、選ばず合わせられそうなジップポケット付きのパンツ。¥33,600

独自なデザインが目を引くウールのショートジャケットは、ブルゾン感覚で合わせて。¥65,100

ポップなプリントが施された半袖シャツは、コーディネイトのアクセントとして活用を。¥31,500

先鋭的なスタイルに生まれ変わったビルケン。¥28,350／BIRKENSTOCK × UNDER COVER

クレジットのあるもの以外、このページの商品はすべてUNDERCOVERISMのものです。
問い合わせ先はすべてUNDERCOVERISMになります。

ブラックボディのジップアップブルゾンは、タイトな着こなしをオススメしたいアイテム。¥52,500

こんなヴィヴィッドなカラーのアイテムを加えれば、コーディネイトにも深みが出てくる。¥33,600

パッチやプリントはもちろんのこと、ディテールにまでこだわりを感じさせるブルゾン。¥56,700

こちらのプリントTは、架空のバンドやミュージシャンをモチーフとするシリーズからの一枚。¥8,925

CAN
JUNE 1968

ジャンルを超えて、現在のシーンにも多大な影響を与えるCANのオフィシャルTシャツ。¥10,500

架空のバンドのグラフィックを使用した缶バッジで、着こなしに差をつけて。(4個セットで) 各¥1,050

塗装がはがれたようなデザインのバングル。各¥21,000／HYSTERIC GLAMOUR × UNDER COVER

たくさんの鍵がデザインされたウォレットチェーンは、幅広いスタイルに対応するアイテム。¥16,800

スラックスタイプのストライプパンツは、ポケット部分のスタッズ使いで差別化を図る。¥31,500

フロントはシンプルながら、バックはTシャツ地にアレンジされ、今季を象徴する一本に。¥37,800

ジップとスタッズでアレンジしたキャンバススニーカーからは、退廃的な雰囲気が漂う。¥30,450

らせん状の模様が施されたニット。一枚で着てもそのインパクトは相当なものだろう。¥31,500

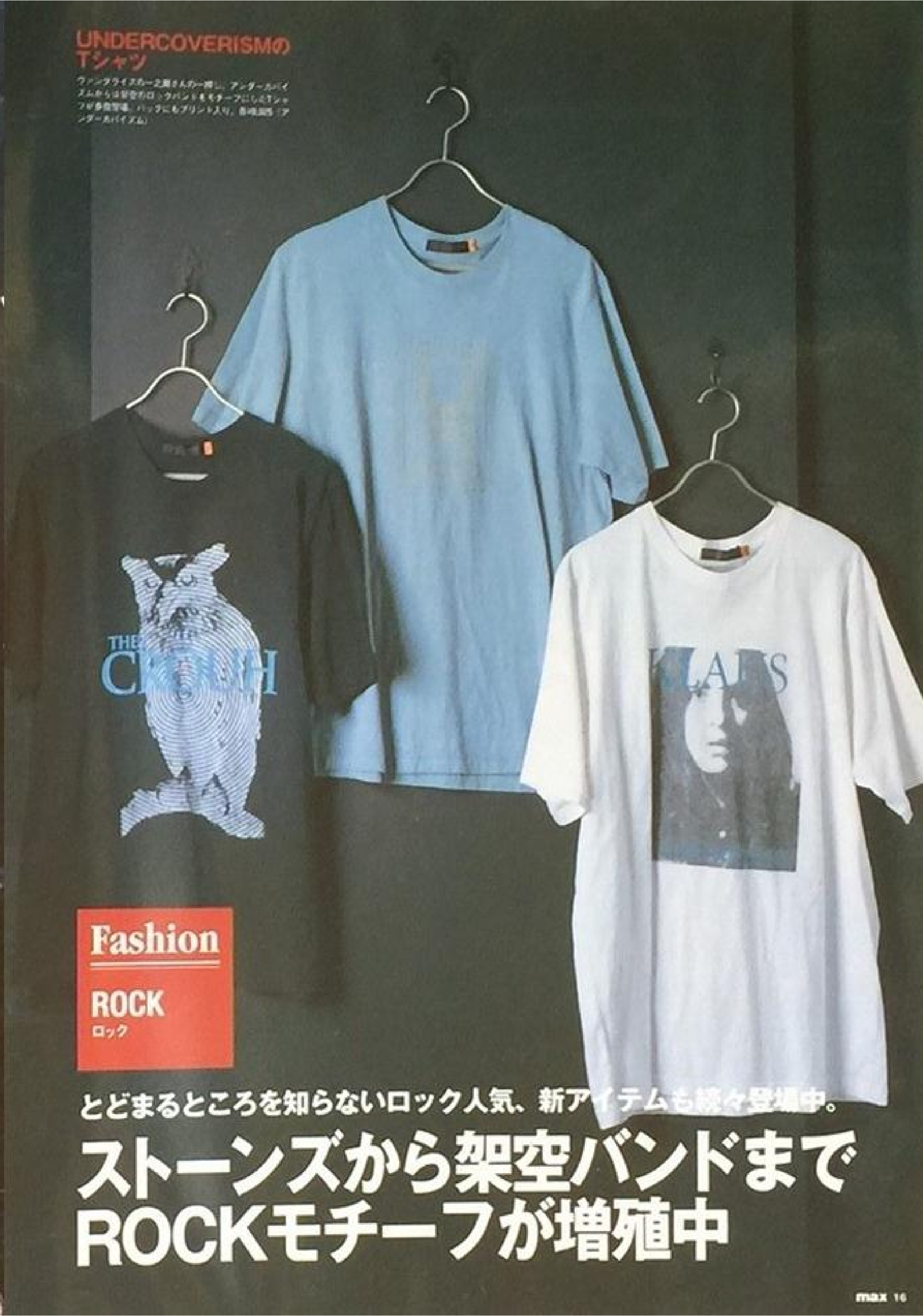
浅野忠信：俳優としてはもちろん、自身のブランド"ジーン ディアディム"の活動も注目を集める。ブランドについての情報はwww.jeandiadem.comまで。「海外などでアンダーカバーの服を着ている時に限って、イイ感じの人が話しかけてきて、『その服はどこのだ？ 俺も欲しい』とよく言われます」

つなぎ¥63,000、中に着たTシャツ¥8,925、腰につけたストール¥23,100、ブーツ¥77,700／以上すべてアンダーカバイズム

UNDERCOVERISM
×
浅野忠信

UNDERCOVERISMのTシャツ

ヴァンダライズの一之瀬さんの一押し。アンダーカバイズムからは架空のロックバンドをモチーフにしたTシャツが多数登場。バックにもプリント入り。各¥8,925（アンダーカバイズム）



Fashion

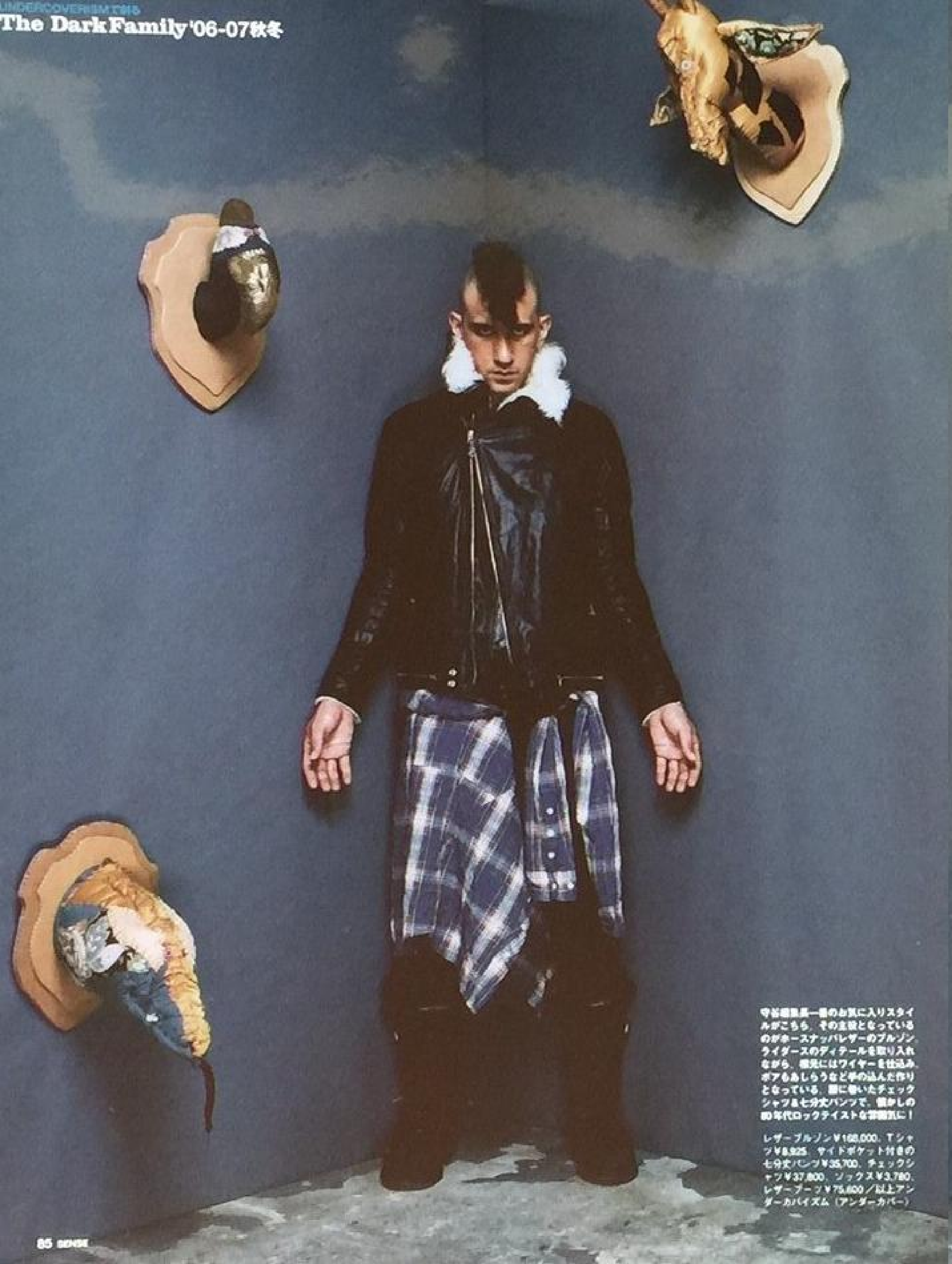
ROCK
ロック

とどまるところを知らないロック人気、新アイテムも続々登場中。

ストーンズから架空バンドまでROCKモチーフが増殖中

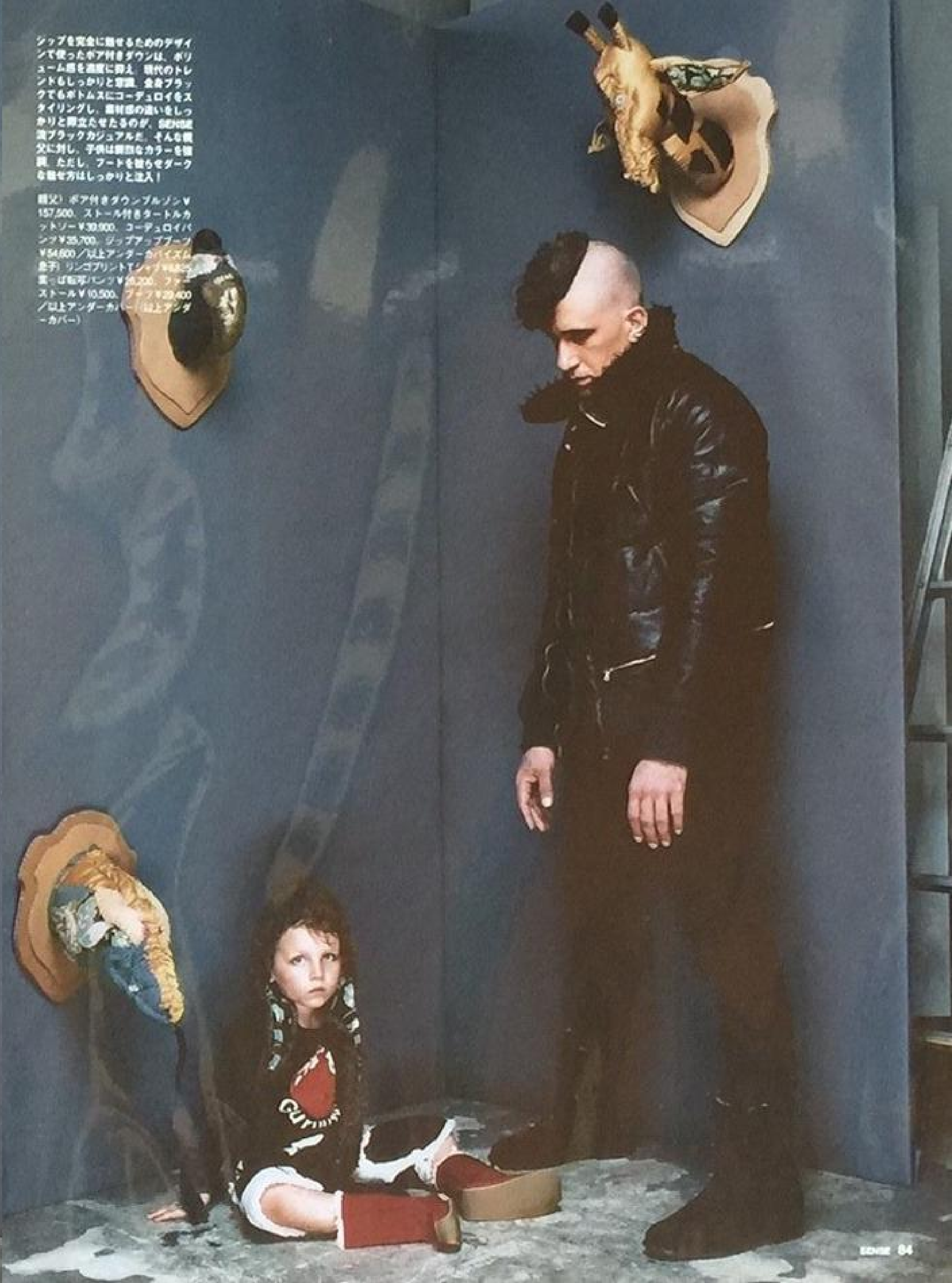
UNDERCOVERISMで創る

The Dark Family '06-07秋冬



守谷編集長一番のお気に入りスタイルがこちら。その主役となっているのがホースナッパレザーのブルゾン。ライダースのディテールを取り入れながら、袖先にはワイヤーを仕込み、ボアもあしらうなど手の込んだ作りとなっている。腰に巻いたチェックシャツ＆七分丈パンツで、懐かしの80年代ロックテイストな雰囲気に！

レザーブルゾン¥168,000、Tシャツ¥8,925、サイドポケット付きの七分丈パンツ¥35,700、チェックシャツ¥37,800、ソックス¥3,780、レザーブーツ¥75,600／以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）



ジップを完全に隠すためのデザインで使ったボア付きダウンは、ボリューム感を適度に抑え、現代のトレンドもしっかりと意識。全身ブラックでもボトムスにコーデュロイをスタイリングし、素材感の違いをしっかりと際立たせたるのが、SENSE流ブラックカジュアルだ。そんな親父に対し、子供は鮮烈なカラーを強調。ただし、フードを被らせダークな魅せ方はしっかりと注入！

親父）ボア付きダウンブルゾン¥157,500、ストール付きタートルカットソー¥30,900、コーデュロイパンツ¥35,700、ジップアップブーツ¥54,600／以上アンダーカバイズム 息子）リンゴプリントTシャツ¥[illegible]、裾っぱ刺繍パンツ¥[illegible]、ファーストール¥10,500、ブーツ¥29,400／以上アンダーカバー（以上アンダーカバー）

ダークファミリーに決まる
最新コレクション

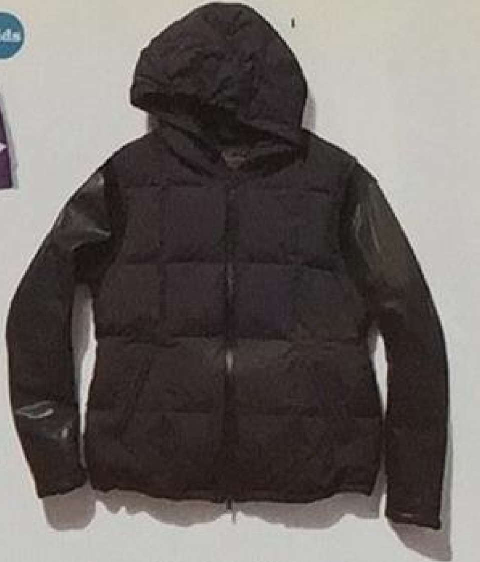
UNDERCOVERISM&UNDERCOVER

ウエアから小物まで、この秋冬最新から、
本誌定番のダークファミリーに変身出来るアイテムを
編集部で徹底的に厳選コレクション！

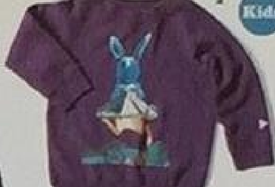
吉田雅彦(M-focus) = 写真　本郷誠 = 取材・文
photographs MASAHIKO YOSHIDA(M-focus) text MAKOTO HONGO

1.レザートップスにパーカ型のダウンベストをレイヤードしたかのようなルックス。スリーブをホースレザーで切り替えた、大胆かつ斬新なマテリアルアレンジが面白い。フーデッドダウンレザーブルゾン¥75,600　2.キッズのワードローブは、デザイン性はもちろんだが、機能性の良し悪しも重要なセレクト基準。こちらは、裏起毛の素材を使用しているので、保温性が高い。for KIDS スウェット¥6,825／アンダーカバー　3.レザーで仕上げた珍しいバックパック。ホースレザーのソフトな光沢感とパーツのすべてをブラックで統一したシックな世界観が印象的。今季のキーカラーはエレガントなブラック。［W28×H42×D14cm］¥56,700　4.クラシックなガーメントの新しいカタチ。本来ノーブルなルダンゴトを、ラフなニュアンスの縮絨ウールでカジュアルダウン。シェイプはタイトにフィッティングされている。ロングコート¥73,500　5.スウェット地、ワイドシルエット、超ロングレングスなどボリューム感抜群の仕立てが特徴的。写真のように裾をたっぷりとためて、ラインに変化を持たせた穿きこなしが正解。コットンワイドパンツ¥29,400　6.ボタンを多用した前立て、カットオフの襟や袖、ポケットの縁の刺繍。「アンダーカバイズム」のアバンギャルドなエスプリが凝縮された一枚。ブラック、オフホワイト、カーキの3色でリリース。¥31,500　7.シルクの上品な光沢に、鋼鉄と鎖の刺繍デザインが遊び心。自分らしいドレスアップに個性的なアクセサリーを厳選したい。太いレジメンタルストライプと細いレジメンタルストライプがある。タイ各¥8,925　8.今秋冬のテーマ"GURUGURU"を、某有名アーティストのポップアートを彷彿とさせるようなグラフィックで表現したTシャツ。ブラックボディにホワイトのコントラストが存在感を強調する。¥8,925　9.ファブリックの柔らかな表情は、アラン編みを転写プリントしたもの。フードの量感、カンガルーポケット、ダブルジップなど細部まで配慮が行き届いたこだわりの意匠。for KIDS パーカ¥18,900／アンダーカバー

1

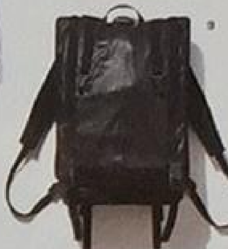


2

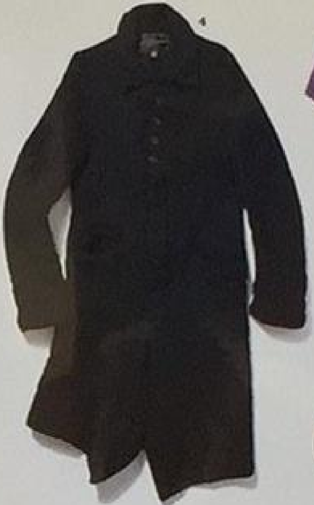


Kids

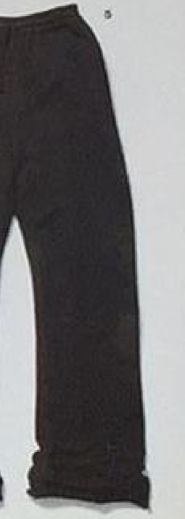
3



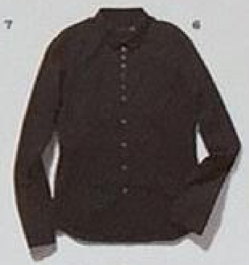
4



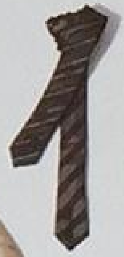
5



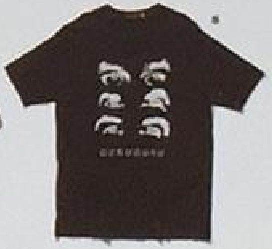
6



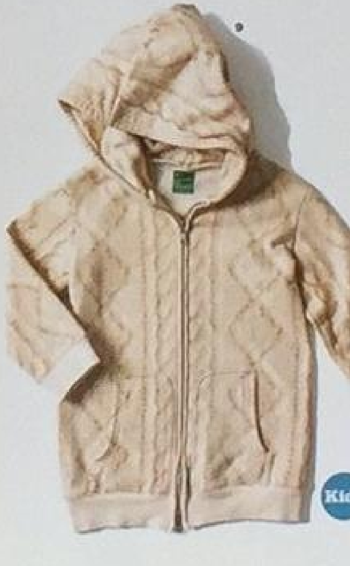
7



8



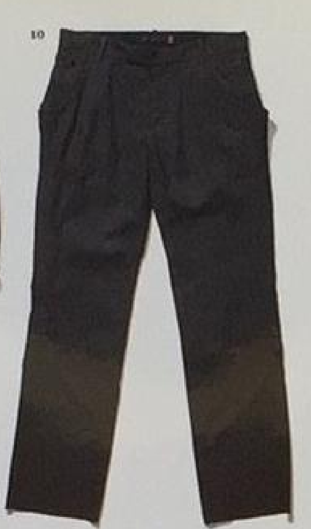
9



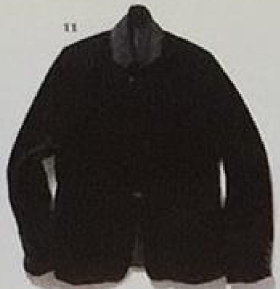
Kids

10.ポケットのカッティングでウエスト周りにボリューム感を持たせ、さらに裾部を切り替えた独特のテーパードシルエット。ドレッシーなワードローブのデイリーな提案。スラックスパンツ¥39,900　11.ピークドラペルのエレガントな1Bをスタンドカラーにアレンジした、自由奔放なクリエイティビティが光る秀作。胸のポケットには髑髏の刺繍が入っている。ベルベットジャケット¥71,400　12.ラムスエードを使用したグローブ。ランダムな裁ち切りの袖は、シャツのカフスを入れてハードに決めるも良し、弛ませて量感をアクセントにするも良し。様々な表情が楽しめる一品。¥25,200　13.コットン×シルク×ウールの混紡テキスタイルに、ダメージ加工。裁ち切り処理で何年も使い込んだかのような風合いを実現。ブラック、オフホワイト、ベージュの全3色展開。ストール¥23,100　14.エキセントリックなストリートウエアを発表する「ヴァンダライズ」とのコラボレーションTシャツ。ジーザスを着脱可能なビーズチェーンでデコレート。¥18,900／アンダーカバイズム×ヴァンダライズ　15.レディースのテーマ"GURUGURU"を踏襲した2006-07A/Wのメンズコレクション。縮絨ウールのジップパーカーのフードから伸びたディテールは、マフラーのようにグルグルと巻いて着用。¥67,200　16.メルヘンチックで、どこかセクシーなアートワークを多彩なカラーリングで表現。子供服にもファーストラインと同じブランド哲学が宿っている。for KIDS Tシャツ¥5,775／アンダーカバー　17.このモヘアニットは、ウール、カシミア、アンゴラを用いた上品な素材感が魅力。モノトーンのジオメトリックパターンもシックな個性。ブラックベースとブラウンベースを用意。¥35,700　18.右裾にあしらった目玉のバッジがキュートなアクセント！　ラフなムードを持つローゲージは、シャツやカットソーなどとのレイヤードも楽しい。for KIDS ニットベスト¥18,900／アンダーカバー（以上アンダーカバー）　※14.を除き、指定外はすべてアンダーカバイズム

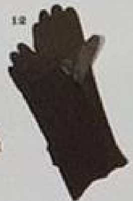
10



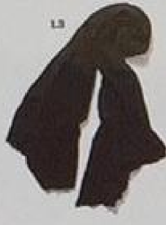
11



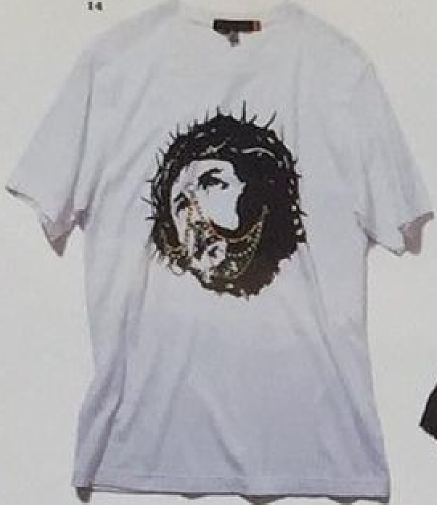
12



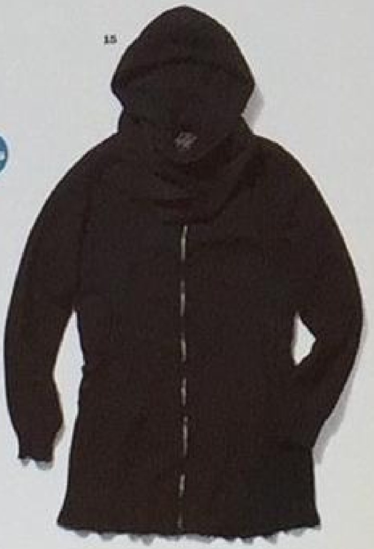
13



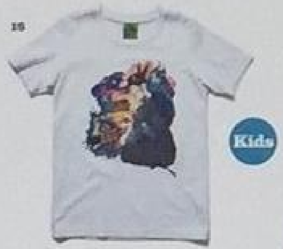
14



15

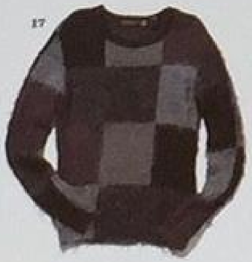


16

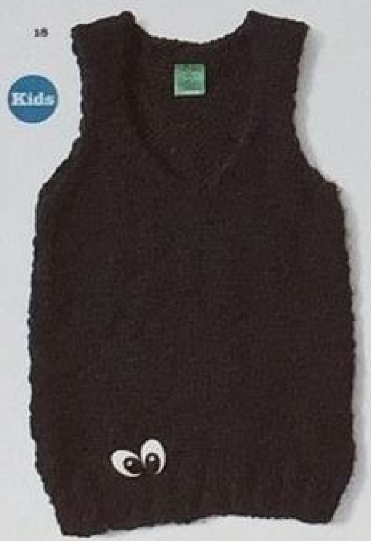


Kids

17



18



Kids

「アンダーカバイズム」で魅せる定番企画

クリーンでダークな Family Style'07S/S

よりシンプルなクリエイションを見せた春夏の「アンダーカバイズム」、
豊富な色の表現で、静かな主張を発する「アンダーカバー」。
今回も本誌恒例のファミリースタイルで、その競演による進化した
世界観を公開する。ピースな2ショットには適度な"毒"が存在する。

photographs : MUGA MIYAHARA (image)
styling : ATSUSHI HASHIMOTO
hair&make-up : NOBORU TOMIZAWA (CUBE)
special thanks : Ohana☎0460-6-8222

ミリタリー[illegible]に見られるパイピ[illegible]、多くの[illegible]ムに見られる刺繍的なディテール。素材は着心地のよいキュ[illegible]。これはすべての[illegible]に採用されている。落ち着いた印象の親父に対して、キッズのカーディガンにはラメ糸、バッグは型押しレザーという素材が施される。カラーコントラストがキュートな[illegible]

[illegible]ジャケット¥44,100、ジャ[illegible]¥36,750 [illegible]¥58,800／[illegible]ネックニット[illegible]アンダーカバイズム[illegible]ー¥11,550、ネックレス¥37,800／以上アンダー[illegible]

The Dark Family '06-07秋冬

ウールを縮絨させたジャケットがクラシカルな雰囲気を醸し出す。インナーに組み合わせたグレンチェックのブルゾンは随所に切りっ放しなどを施し、アンダーカバイズム"らしさ"が凝縮。ジャケット×ブルゾンのレイヤード。これもグルグルの一環なのである。

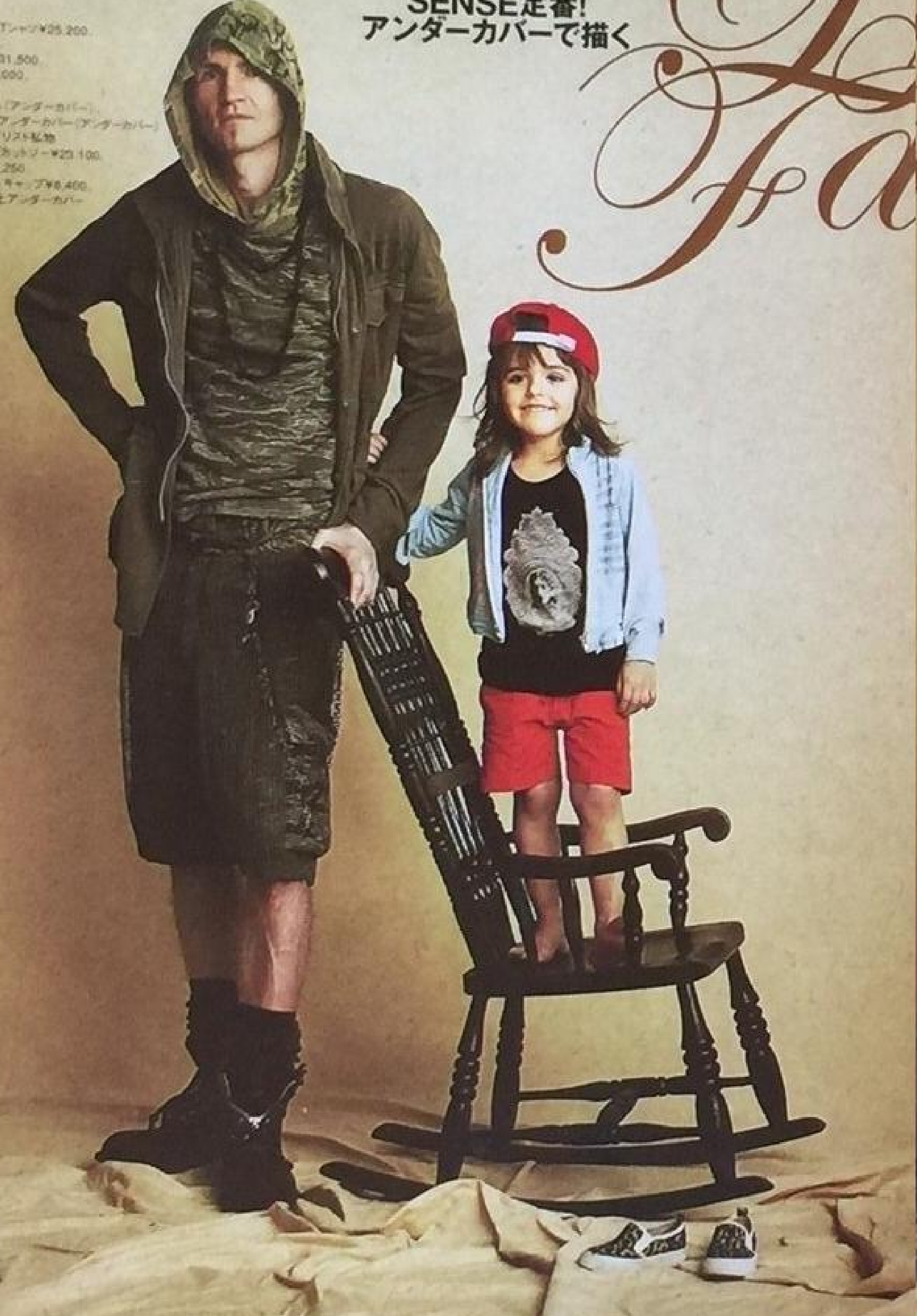
ウールジャケット¥79,800、グレンチェックのストール付きブルゾン¥58,800、グルグルストール付きカットソー¥42,000、後ろにバックが付いたコットンパンツ¥39,900、レザーブーツ¥75,600／以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）

SENSE定番!
アンダーカバーで描く Bad Family!

もはや完全な定番企画となった「アンダーカバー」の
ファミリースタイル。ダークでポップな二人の様は
いい意味での"バッド"さが一番の魅力。
親父はブラックからミリタリーまで、テーマに沿って
レイヤードしてみました。早速、ご覧あれ。

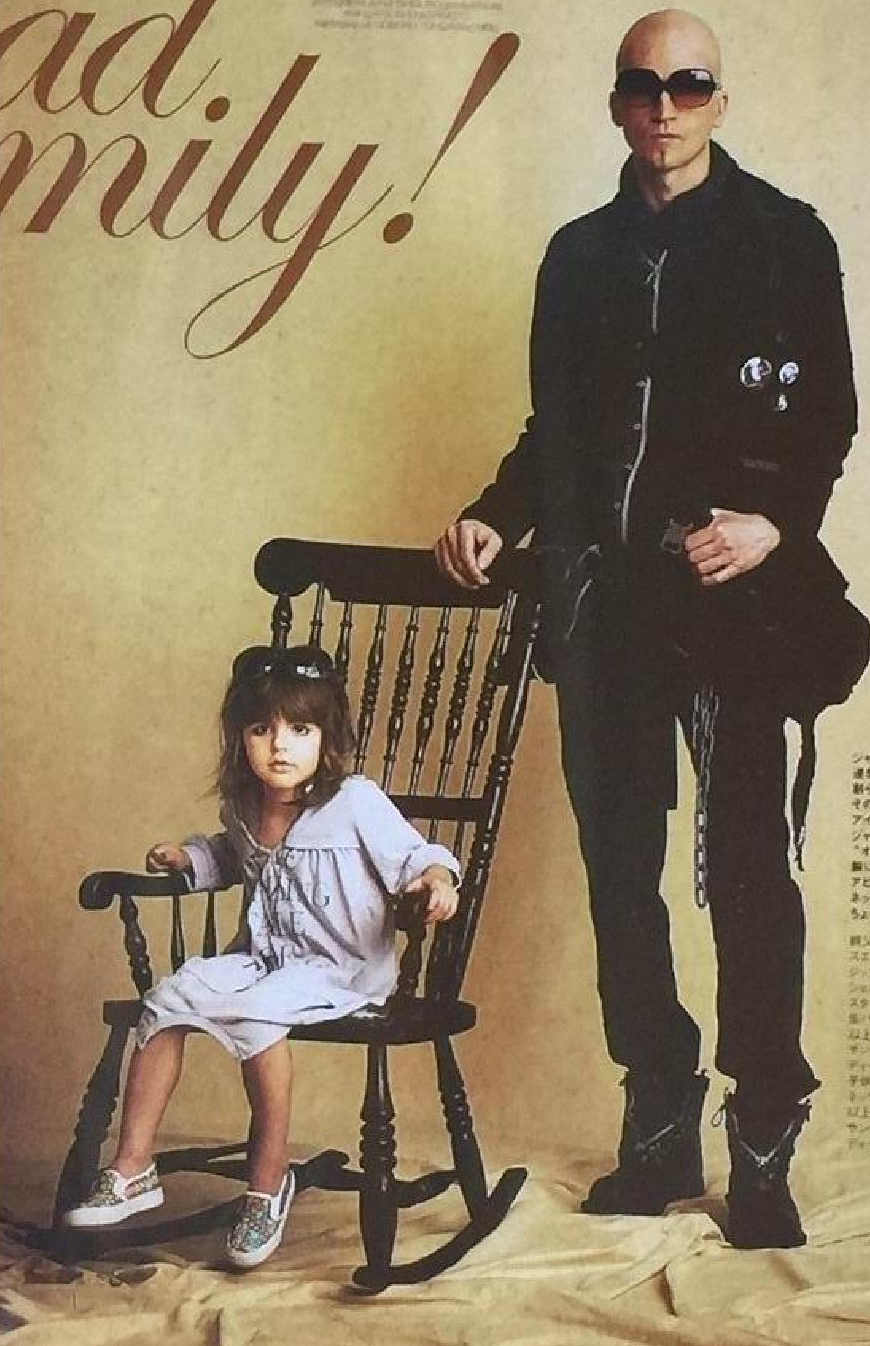
石黒淳二（[illegible]）＝写真　橋本敦＝スタイリング
富沢ノボル（CUBE）＝ヘアメイク

[illegible]



全身ミリタリーという難易度が高いコーディネイトも、同系色、カモフラージュ柄の組み合わせで慎重に対応することでビギナーも意外と挑戦出来る。なかでも注目はパンツのレイヤード。スエットパンツに、ネットをデザインアクセントに付けたコットンパンツをオンさせる、という魅せ方は今トレンドのロックスタイルでも応用したい上級テクだ。

親父）M-65¥54,600
フード付ショートスリーブTシャツ¥25,200
スエットパンツ¥25,200
ネット付ショートパンツ¥31,500
2連キー付チェーン¥21,000
ジップブーツ¥77,700
以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）、
総ネックレス¥14,700／アンダーカバー（アンダーカバー）
レッグウォーマー／スタイリスト私物
子供）プリント入りジップカットソー¥23,100
ロング丈ノースリーブ¥5,250
ショートパンツ¥12,600、キャップ¥8,400
スリッポン¥6,825／以上アンダーカバー
（アンダーカバー）

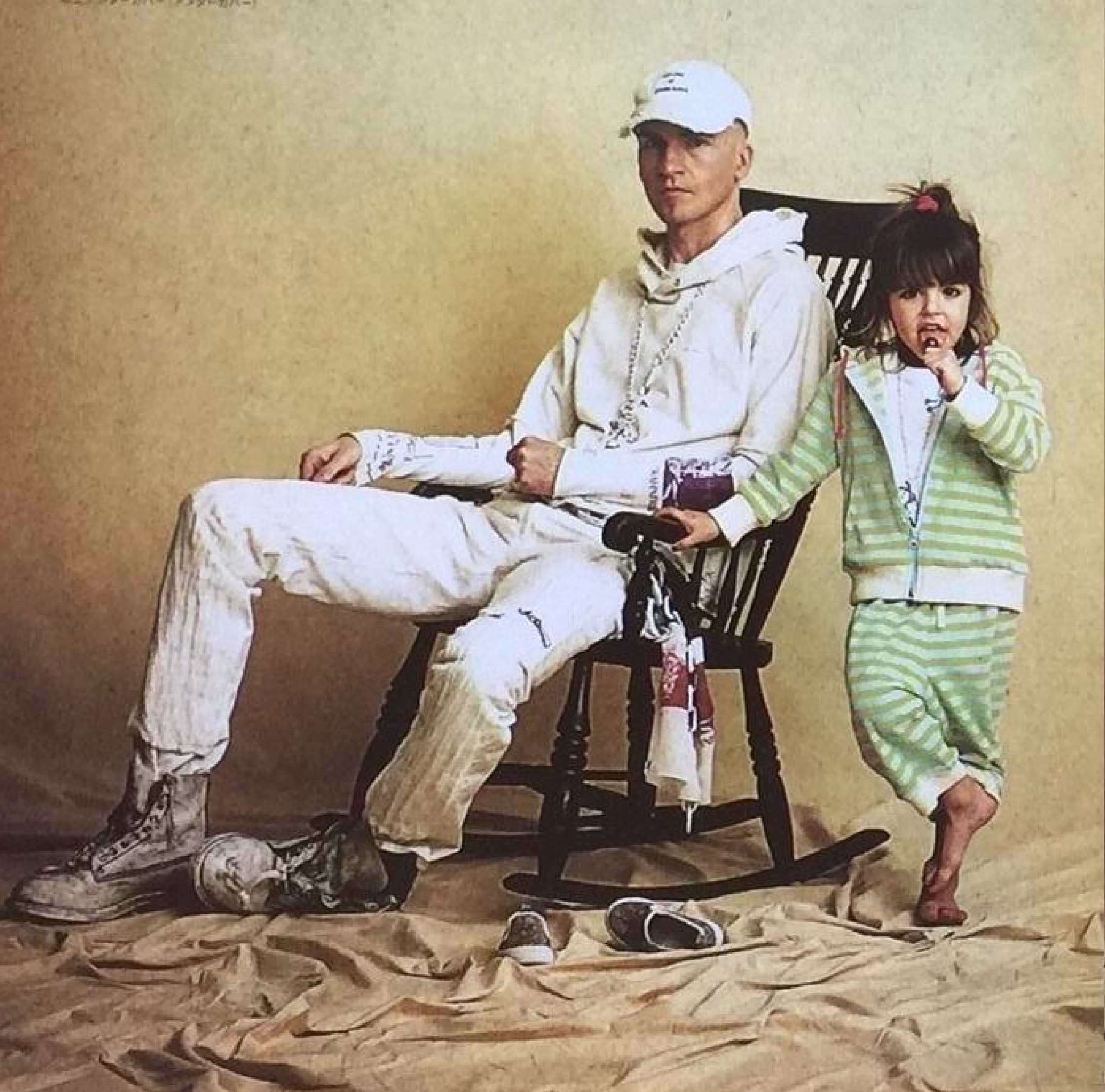


ジャーマンプログレッシブから連想した仮想ロックバンドをもとに創られた今季春夏。その中で本誌編集部一押しのアイテム、ツナギに同色のジャケットを合わせ、ダークさを"オールブラック"で表現したスタイル。胸につけた缶バッジが親父のロック気分をアピールしている証拠。子供はネックレス＆サングラスを加える事で、ちょっと大人びたイメージで！

親父）ツナギ¥63,000、ジップシャツ¥35,700
スエットジャケット¥35,700
ジップブーツ¥77,700、チェーン¥50,400
ショルダーバッグ¥39,900
スタッズ付きストール¥23,100
缶バッジ4個セット¥3,990／
以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）、
サングラス¥33,600／
ディータ×アンダーカバー（アンダーカバー）
子供）ワンピース¥21,000、スリッポン¥6,825
ネックレス¥18,900／
以上アンダーカバー（アンダーカバー）、
サングラス¥31,500／
ディータ×アンダーカバー（アンダーカバー）

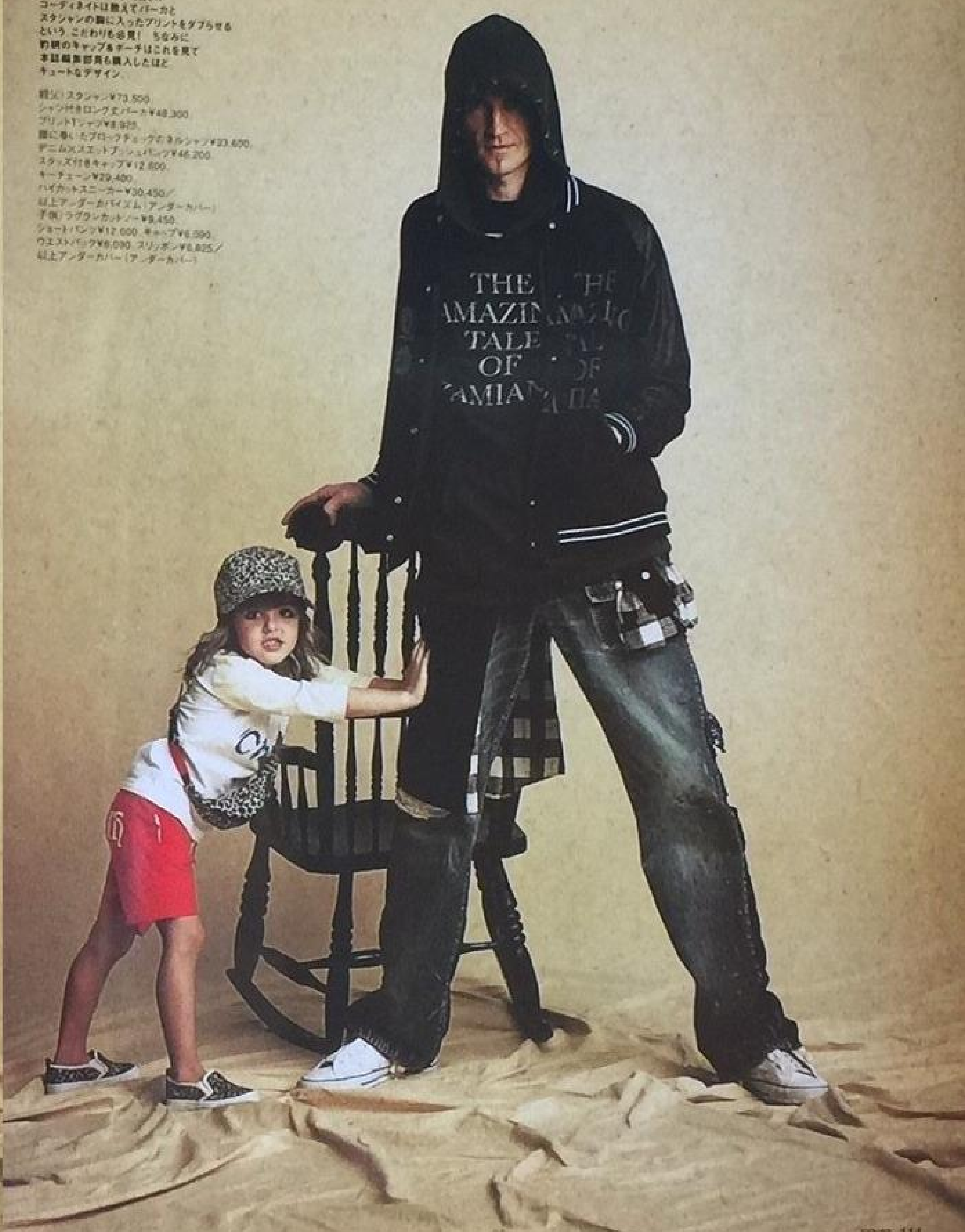
いかにも春夏らしいポップな
ボーダースエットを着させた子供は、
ヘアもしっかりアレンジさせて、
ちょっと小生意気な印象に！
一方、親父は「白」のレイヤードスタイルで、
ダークさの中に"クリーンさ"をプラス。
服はもとより、アクセからシューズまで、
基本すべて「白」で揃え、
差し色を潔く腰に巻いたスカーフ1点に
留めたことが成功の要因だ。

親父／ダメージ加工を施したパーカ¥37,800、
ガーゼ付きパンツ¥35,700、
ジップブーツ¥77,700、
スタッズ付きキャップ¥12,600、
腰に巻いたチェーン¥52,500、
キー付きチェーン¥16,800／
以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）
プリントTシャツ¥7,875、
腰に巻いたスカーフ¥15,750／
ともにアンダーカバー（アンダーカバー）
子供／ボーダーのジップパーカ¥18,600、
ボーダーパンツ¥13,650、Tシャツ¥5,775、
スリッポン¥8,925、ネックレス¥18,900／
以上アンダーカバー（アンダーカバー）



デニム×スタジャンの親父に対し
子供は豹柄をアクセントに
どちらもベースはアメカジをイメージングして
スタイリング。しかも、親父の
コーディネイトは敢えてパーカと
スタジャンの胸に入ったプリントをダブらせる
という、こだわりも必見！　ちなみに
豹柄のキャップ＆ポーチはこれを見て
本誌編集部員も購入したほど
キュートなデザイン。

親父／スタジャン¥73,500、
ジップ付きロング丈パーカ¥48,300、
プリントTシャツ¥8,925、
腰に巻いたブロックチェックのネルシャツ¥23,600、
デニム×スエットブッシュパンツ¥46,200、
スタッズ付きキャップ¥12,600、
キーチェーン¥29,400、
ハイカットスニーカー¥30,450／
以上アンダーカバイズム（アンダーカバー）
子供／ラグランカットソー¥9,450、
ショートパンツ¥12,600、キャップ¥6,090、
ウエストバッグ¥8,090、スリッポン¥8,925／
以上アンダーカバー（アンダーカバー）



カ¥34,000、Tシャツ¥22,000、
イパンツ¥34,000、スニーカー¥18,000
ンダーカバイズム／アンダーカバー）

BRAND Close-Up

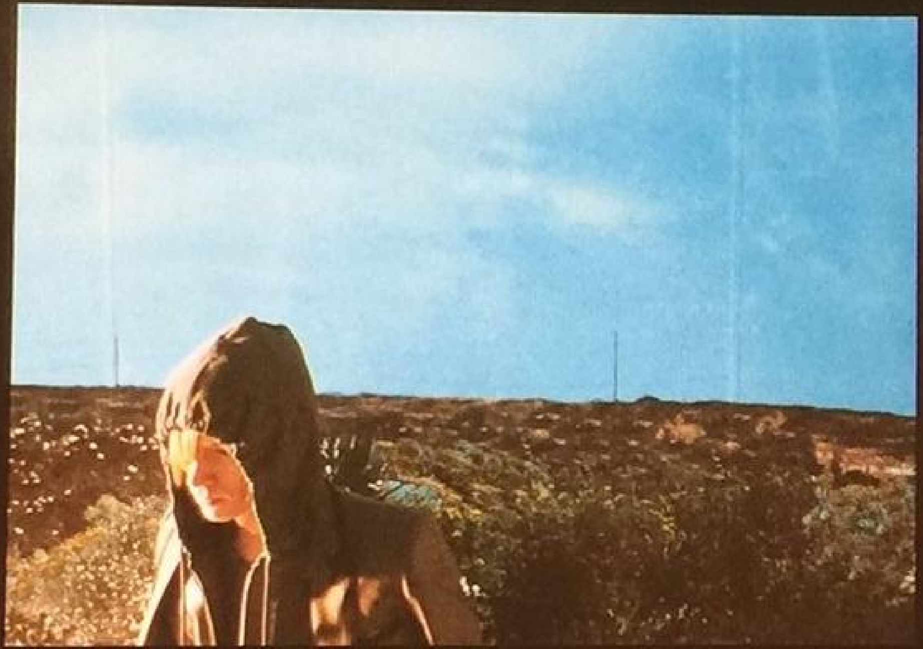
UNDERCOVERISM

触発するインディペンデンス

ベーシックなフォルムを引き伸ばし、歪ませる、
“Languid” をキーワードにした挑発的なラフネスは、
斬新かつ強靭なリアリティを放っていた。
心に響く、溢れんばかりの自由な空気と、
変わることのない反骨の姿勢。
スピリットが宿った〈アンダーカバイズム〉の服は、
いつだって刺激的で、ひたすらに楽しい。

Photos／Takashi Noguchi Illustration／Jun Takahashi
Hair & Make-up／Katsuura Kano (mod's hair) Model／Rafael
Composition & Text／Toru Ukon, Yasuyuki Takane (EASer)

ジャケット¥60,000、Tシャツ¥20,000、
パンツ¥38,000、スニーカー¥18,000
（すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー）



school jacket¥68,250 parka¥39,900 knit(wear in)¥29,400 (UNDERCOVERISM)

PURPLE HEADS

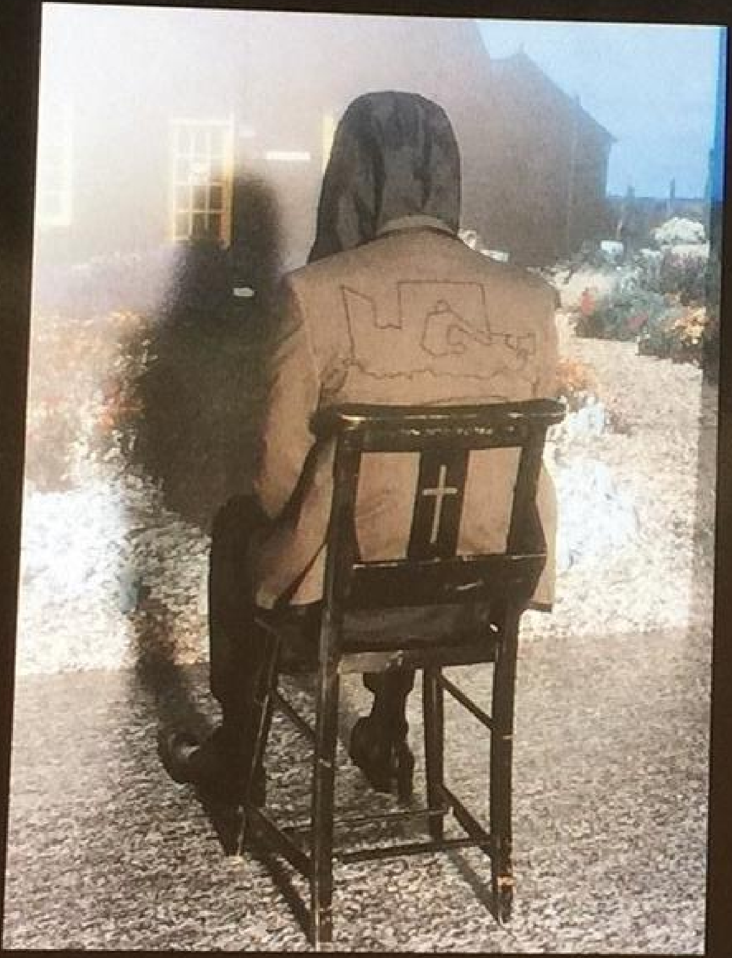
UNDERCOVERISM

Direction & Styling - Jun Takahashi
Photos- Yasutomo Ebisu
Hair & Make-up - Katsuya Kamo (mod's hair)
Models - Danny, Pierre
Edit - Yasuyuki Takase (huge)
Design - UNDER COVER

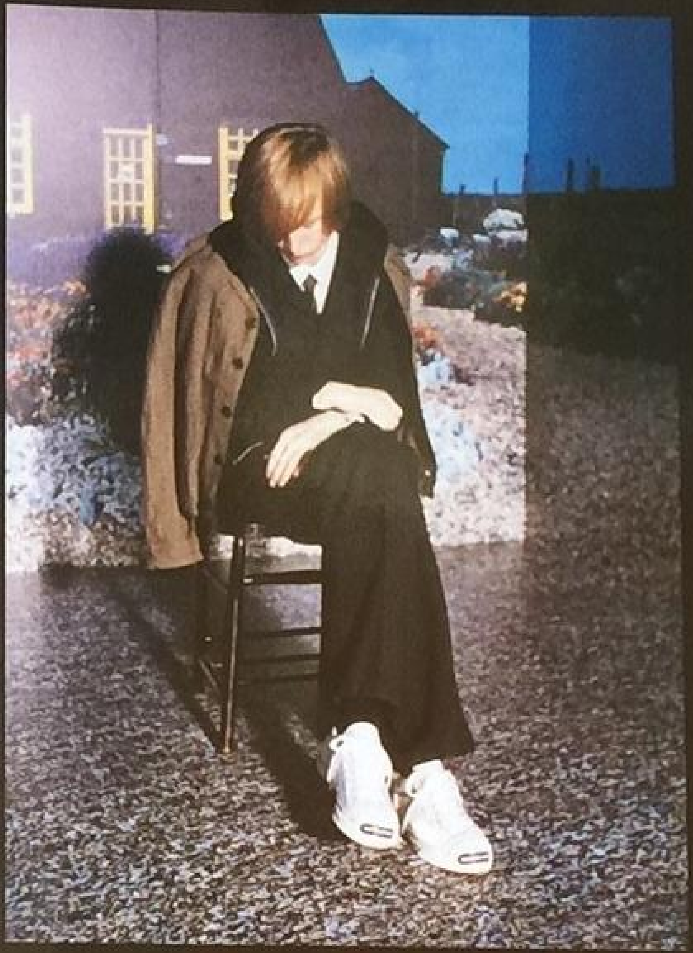
jacket¥71,400 shirt¥29,400 necktie¥9,450 (UNDERCOVERISM)

eeveless shirt (on jacket) ¥33,600 school jacket¥65,100 parka¥25,200 (HYSTERIC GLAMOUR) × (UNDER COVER) pants¥27,300 boots¥58,800 (UNDERCOVERISM)

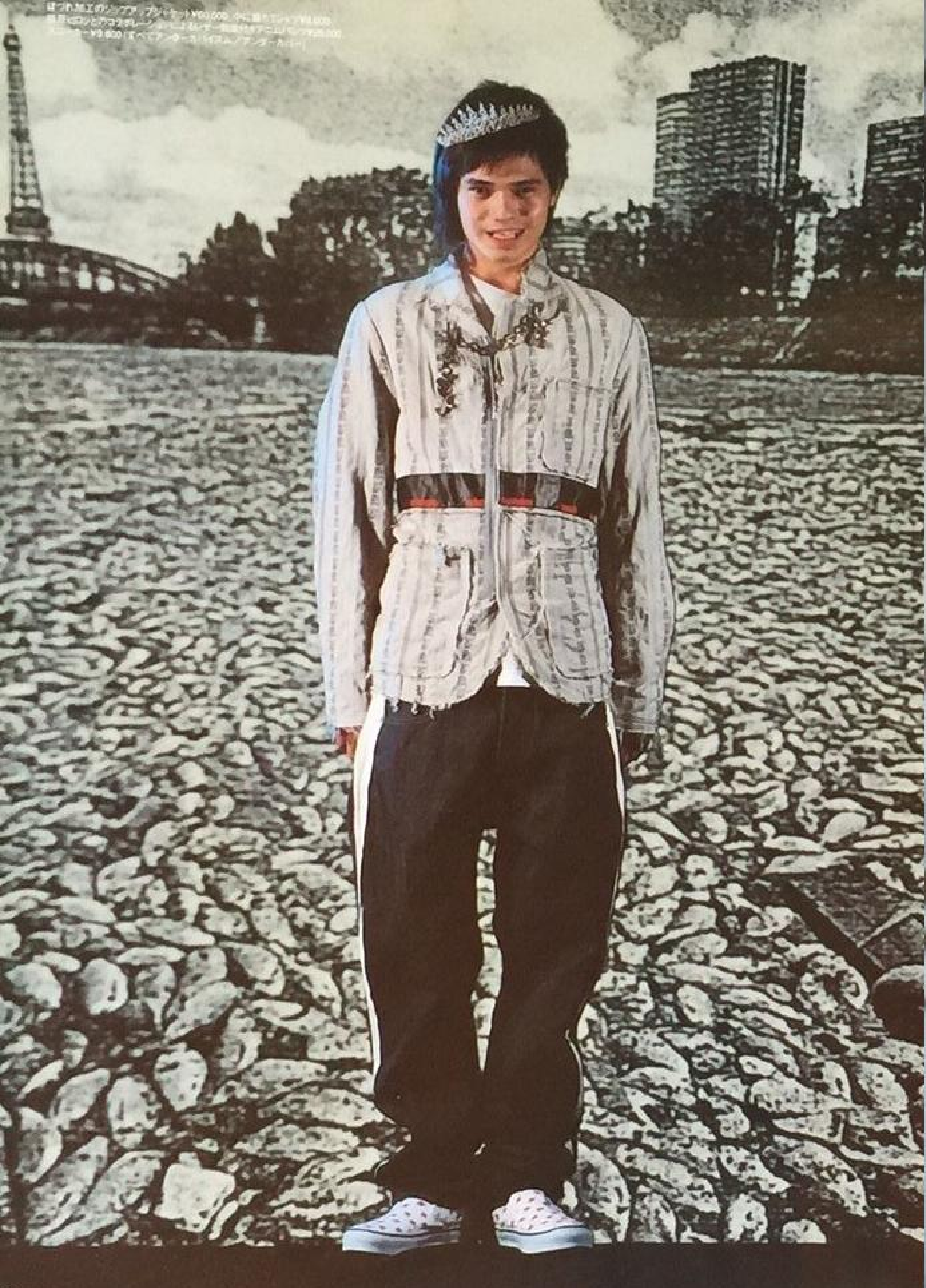
jacket¥71,400 hooded coat¥60,900 pants¥31,500 (UNDERCOVERISM)



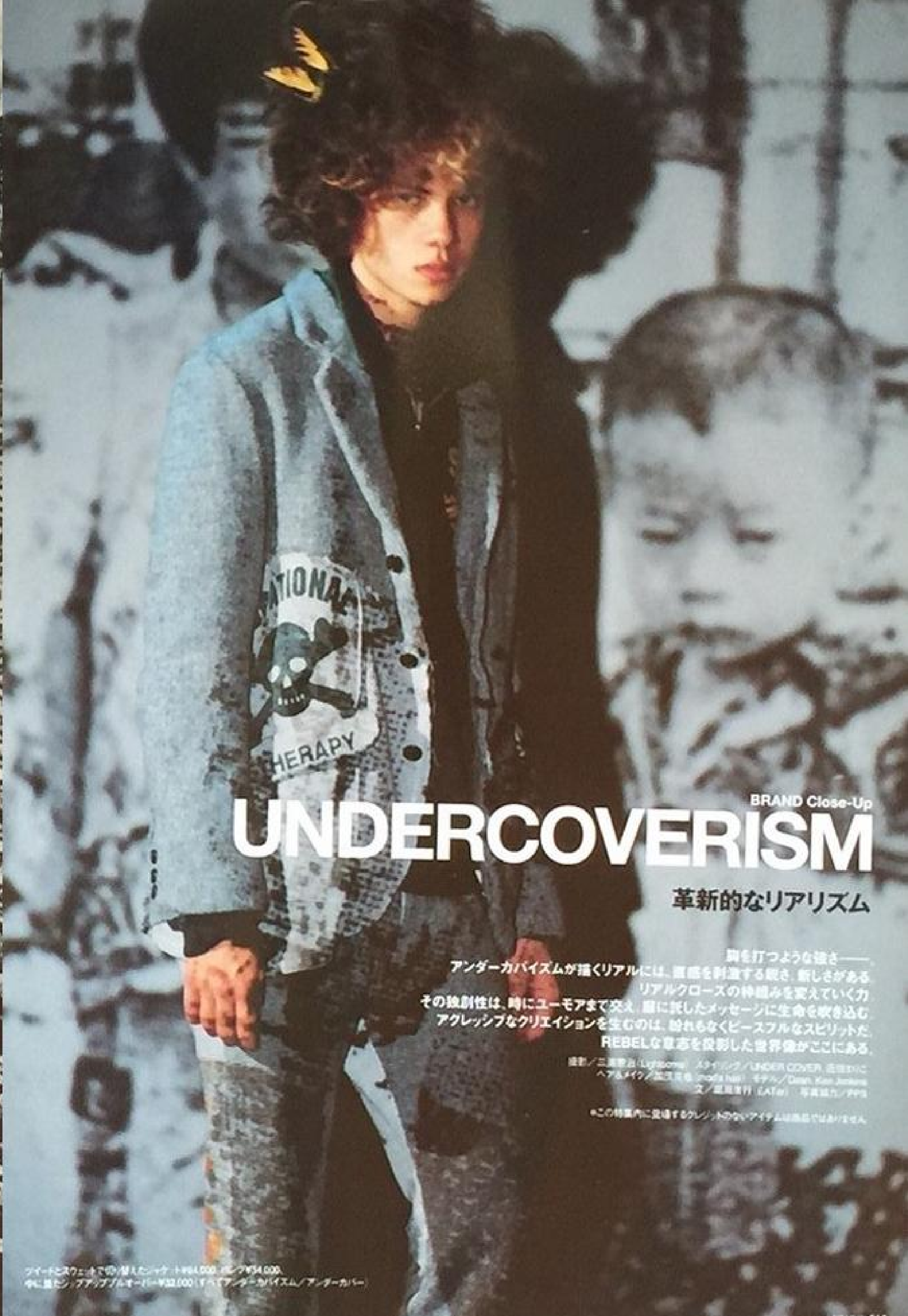
ket¥68,250 hooded coat¥50,400 pants¥33,600 shoes¥50,400 socks¥2,520 (UNDERCOVERISM)



blouson (on shoulder) ¥44,100 hooded jacket¥56,700 shirt¥31,500 necktie¥9,450 pants¥33,600 shoes¥23,100 socks¥2,520 (UNDERCOVERISM)



ほつれ加工のジップアップジャケット¥60,000、中に着たシャツ¥4,000、
[illegible]
スニーカー¥9,800（すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー）



BRAND Close-Up

UNDERCOVERISM

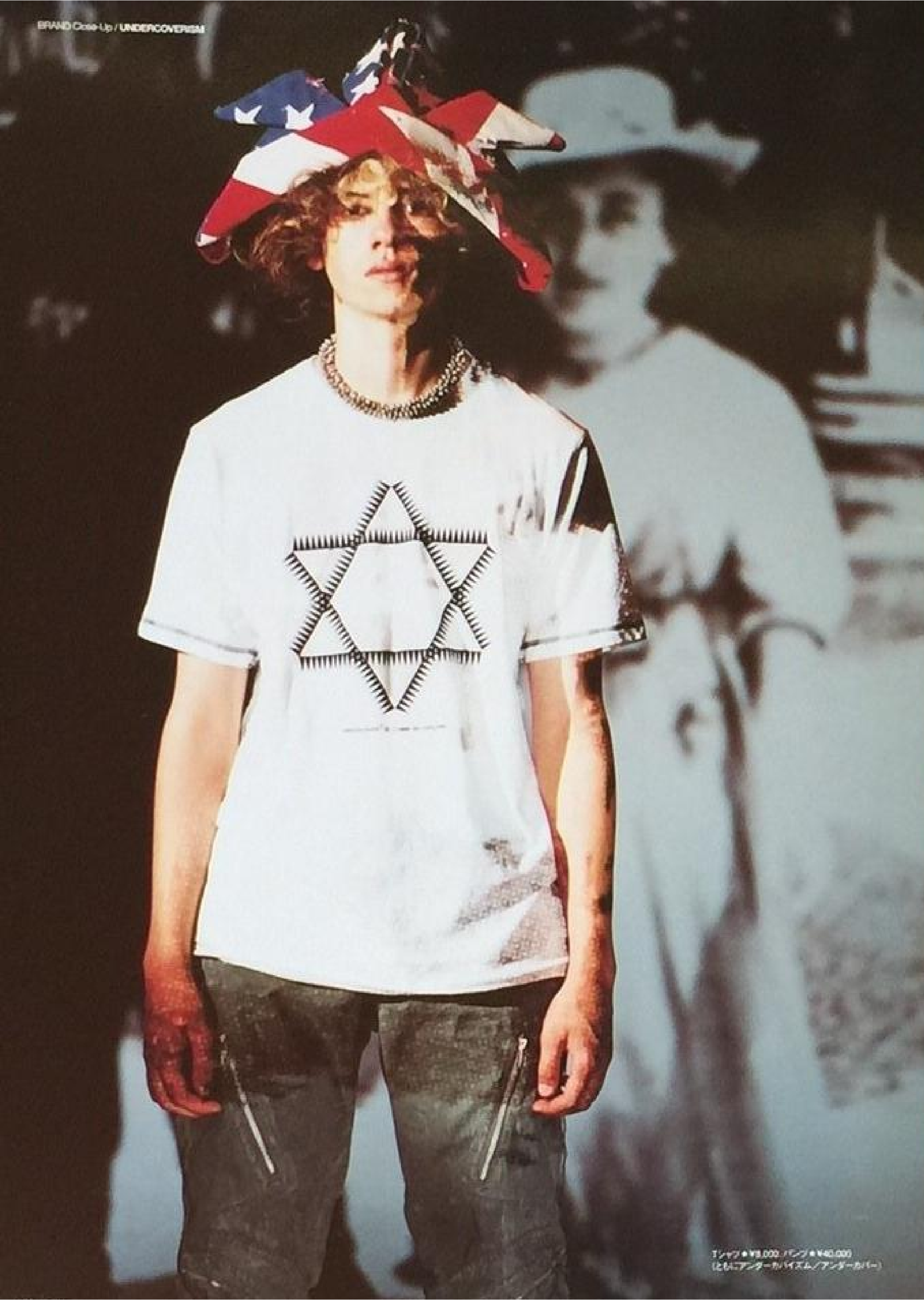
革新的なリアリズム

胸を打つような強さ——
アンダーカバイズムが描くリアルには、直感を刺激する鋭さ、新しさがある。
リアルクロースの枠組みを変えていく力
その独創性は、時にユーモアまで交え、服に託したメッセージに生命を吹き込む
アグレッシブなクリエイションを生むのは、紛れもなくピースフルなスピリットだ。
REBELな意志を投影した世界像がここにある。

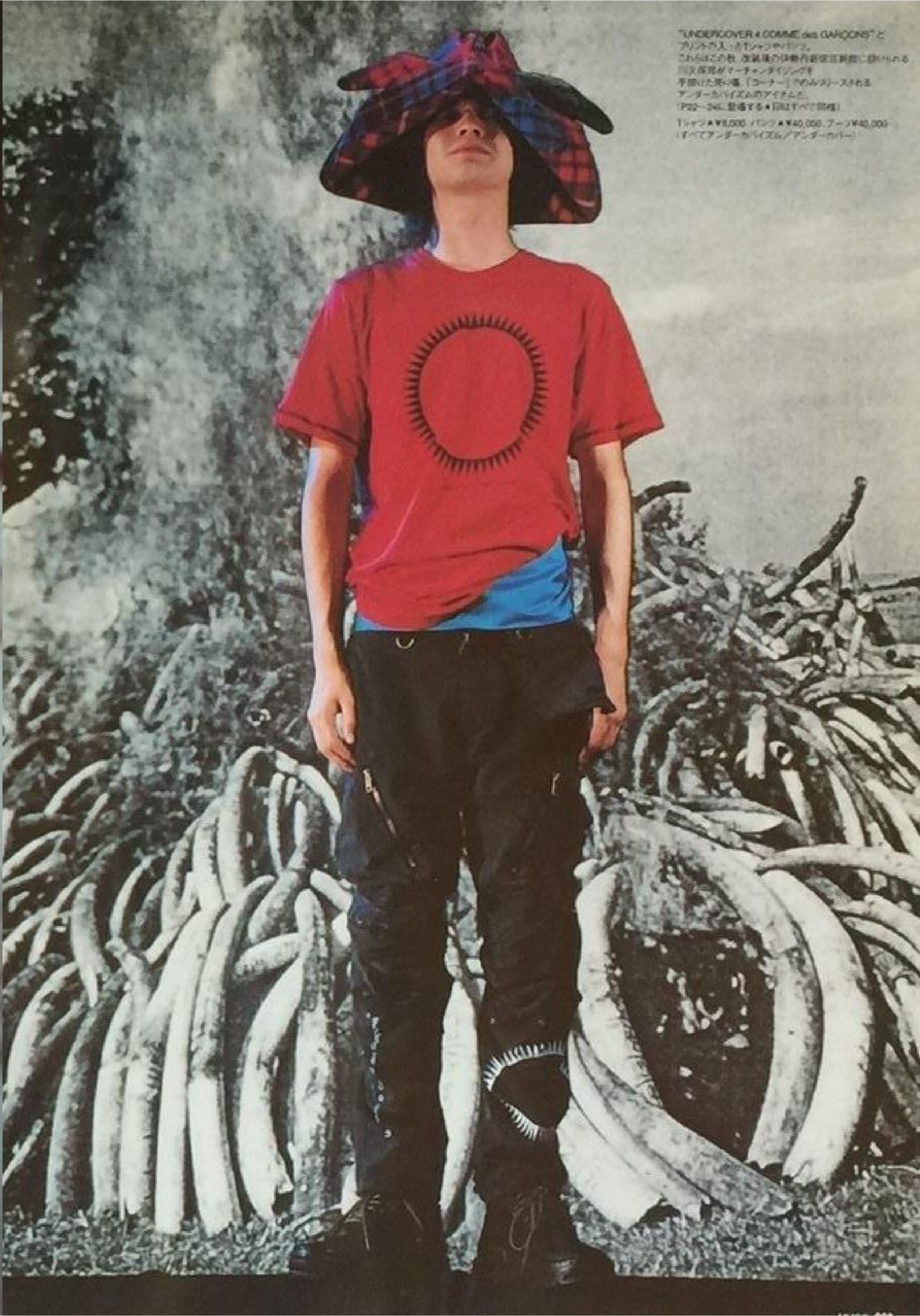
撮影／三浦憲治（Lightsome） スタイリング／UNDER COVER、[illegible]
ヘア＆メイク／[illegible]（mod's hair） モデル／Calan、Kim Jenkins
ス／[illegible]（LA'Ter） 写真協力／PPS

●この特集内に登場するクレジットのないアイテムは[illegible]ではありません。

ツイードとスウェットで切り替えたジャケット¥84,000、パンツ¥34,000、
中に着たジップアッププルオーバー¥32,000（すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー）



Tシャツ★¥8,000、パンツ★¥40,000
(ともにアンダーカバイズム／アンダーカバー)



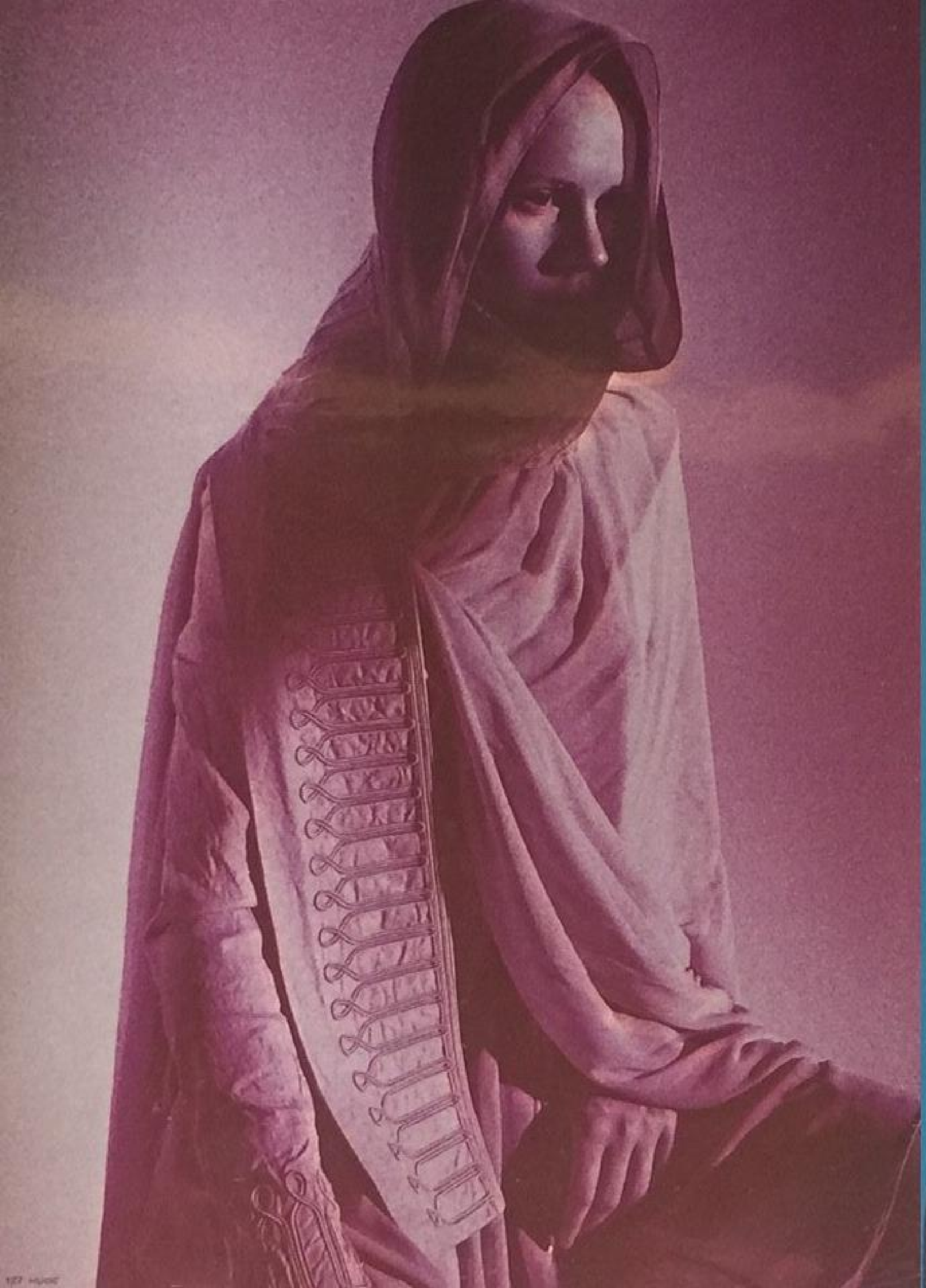
"UNDERCOVER ♯ COMME des GARÇONS" と
プリントが入ったTシャツやパンツ。
これらはこの秋、改装後の伊勢丹新宿本店に設けられる
川久保玲がマーチャンダイジングを
手掛けた売り場「コーナー」で限定リリースされる
アンダーカバイズムのアイテムと。
「P22〜24に登場する★印はすべて同様」

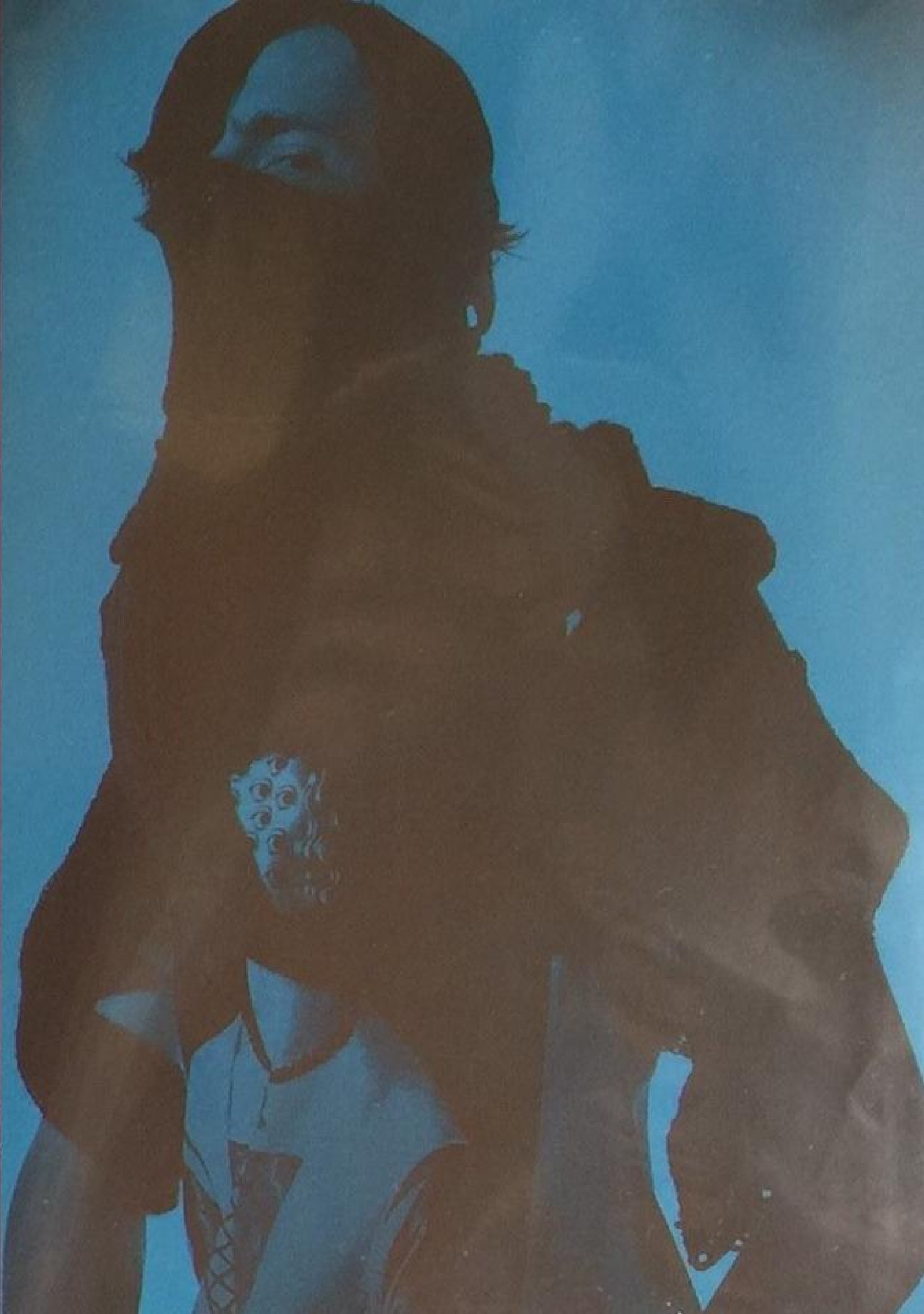
Tシャツ★¥8,000、パンツ★¥40,000、ブーツ¥40,000
(すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー)

GURUGURU

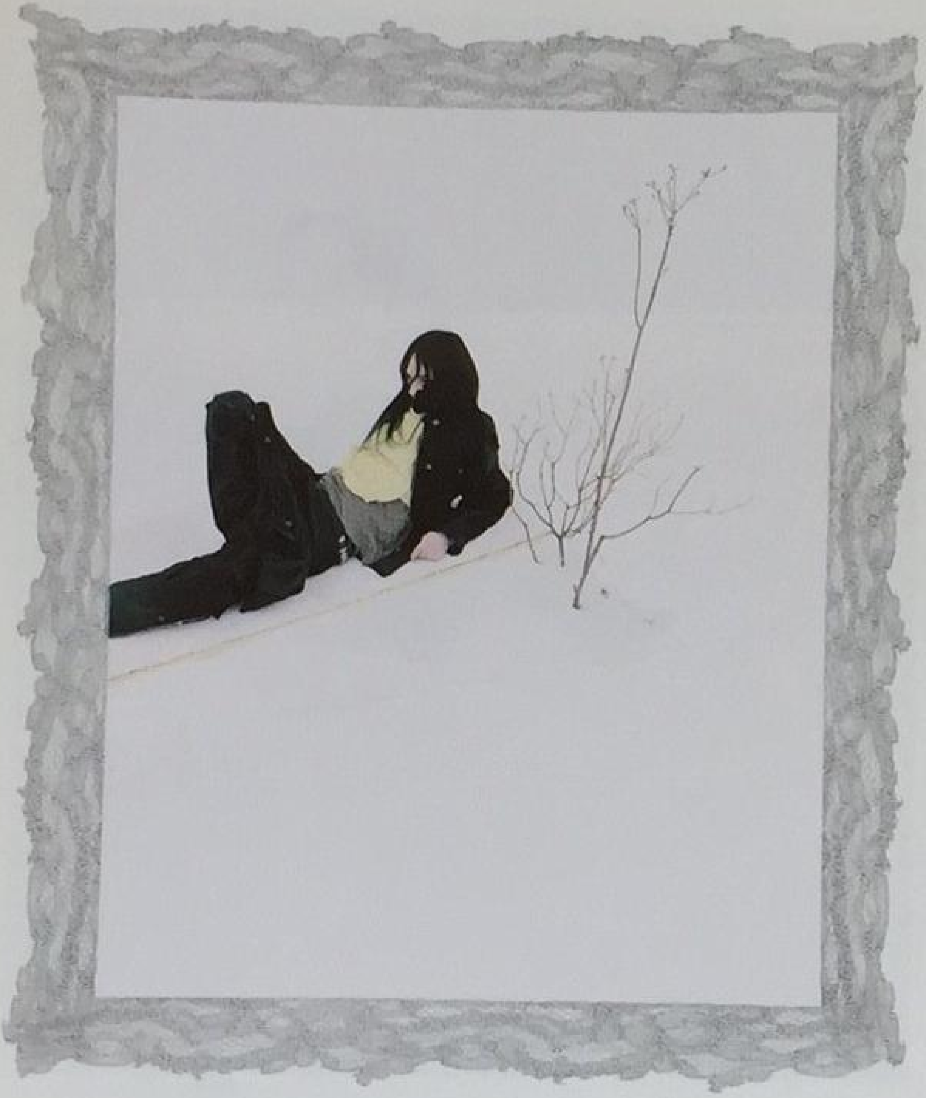
UNDERCOVERISM

Direction & Styling: Jun Takahashi
Photos: [illegible]
Hair & Make up: Katsuya Kamo (mods hair)
Models: [illegible]
Edit: [illegible]
Design: Under Cover





チェコの劇映画作家、ヤン・シュヴァンクマイエルへのオマージュ。
そう題し発表されたレディスとも連なる〈アンダーカバイズム〉の05S/Sコレクションは、
人体のモチーフやひび割れ、さび加工といったアプローチを採用した。
交錯する過激さとユーモア、カオスから、危うい美しさが浮かび上がる。

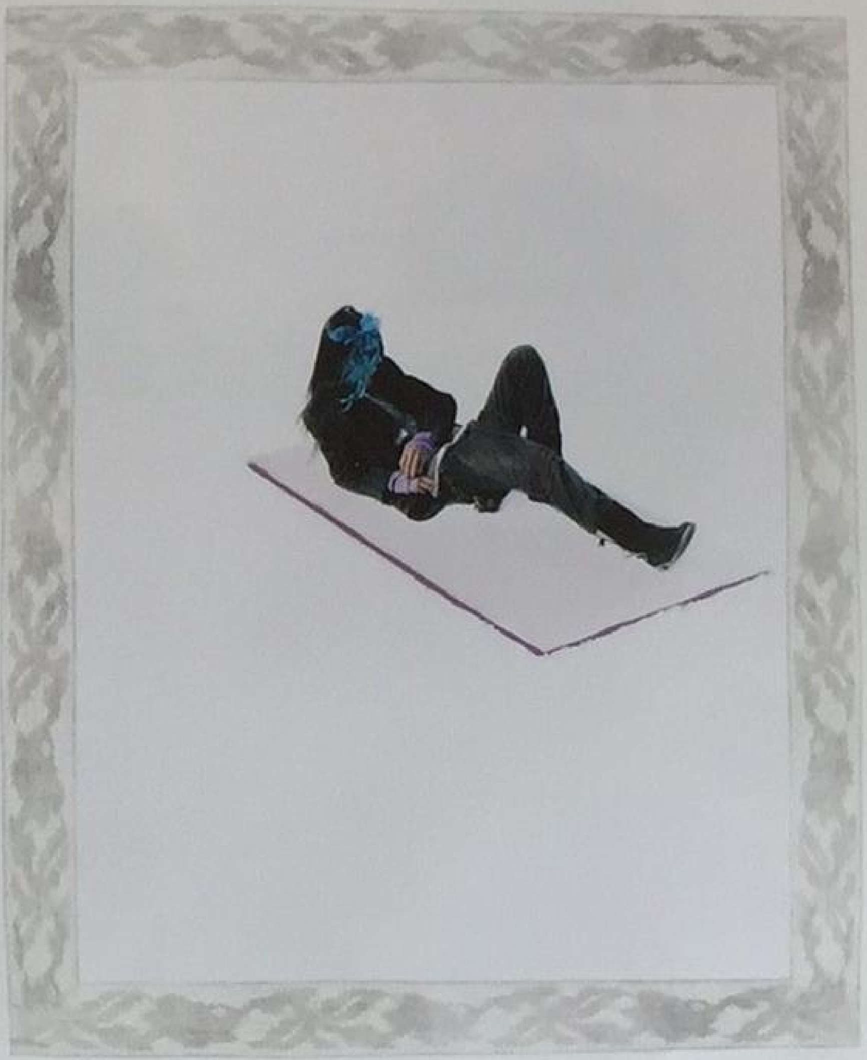


confusing yourself is a natural form.

ミリタリージャケット¥60,900、パンツ¥54,600、スタッズベルト¥25,200（すべてUNDERCOVERISM）
イエローグリーンのニット¥39,900、下に着たTシャツ¥13,650（ともにUNDER COVER）

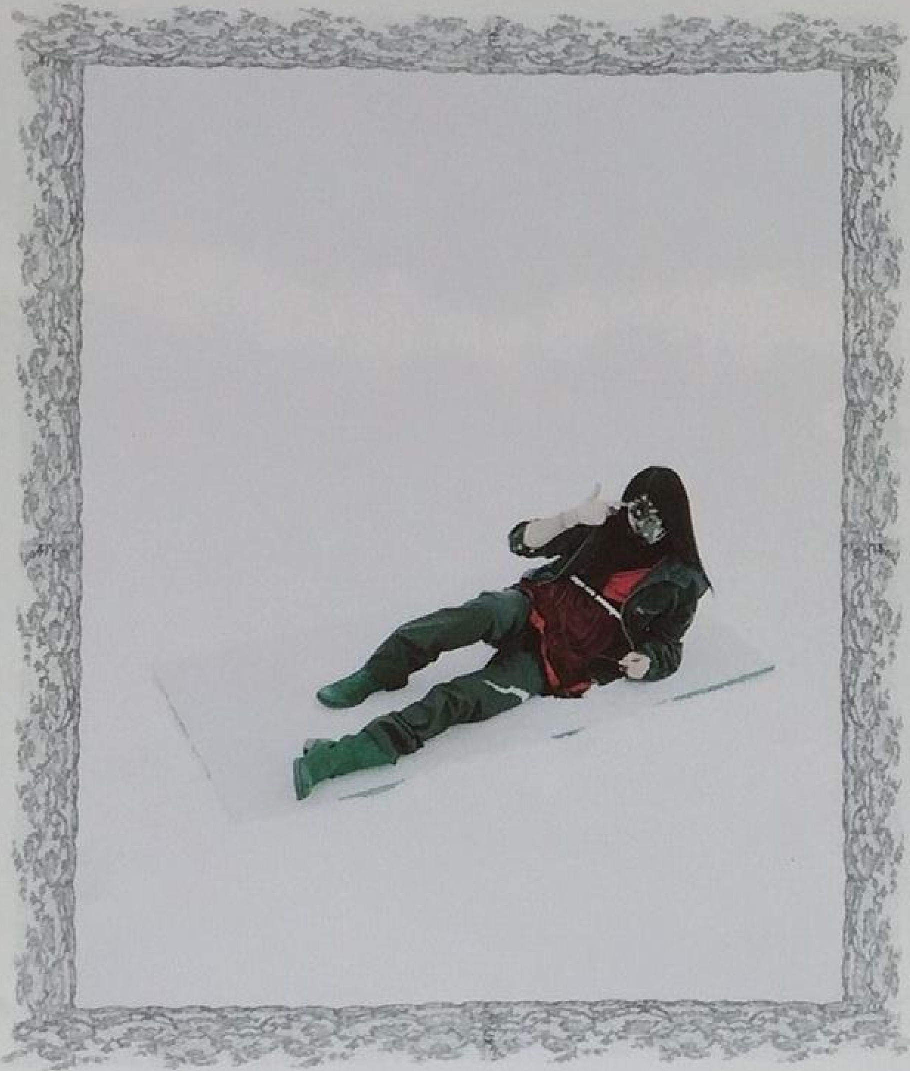
UNDERCOVERISM

Photos / NAKARU (eight peace)　Styling & Words / Mariko Onikada
Hair / Toru (eight peace)　Model / Ryan
Composition & Text / Toru Ukon, Yasuyuki Terusa (EXSe)
Special Thanks to NAGATO FARM (http://www.nagatofarm.com)



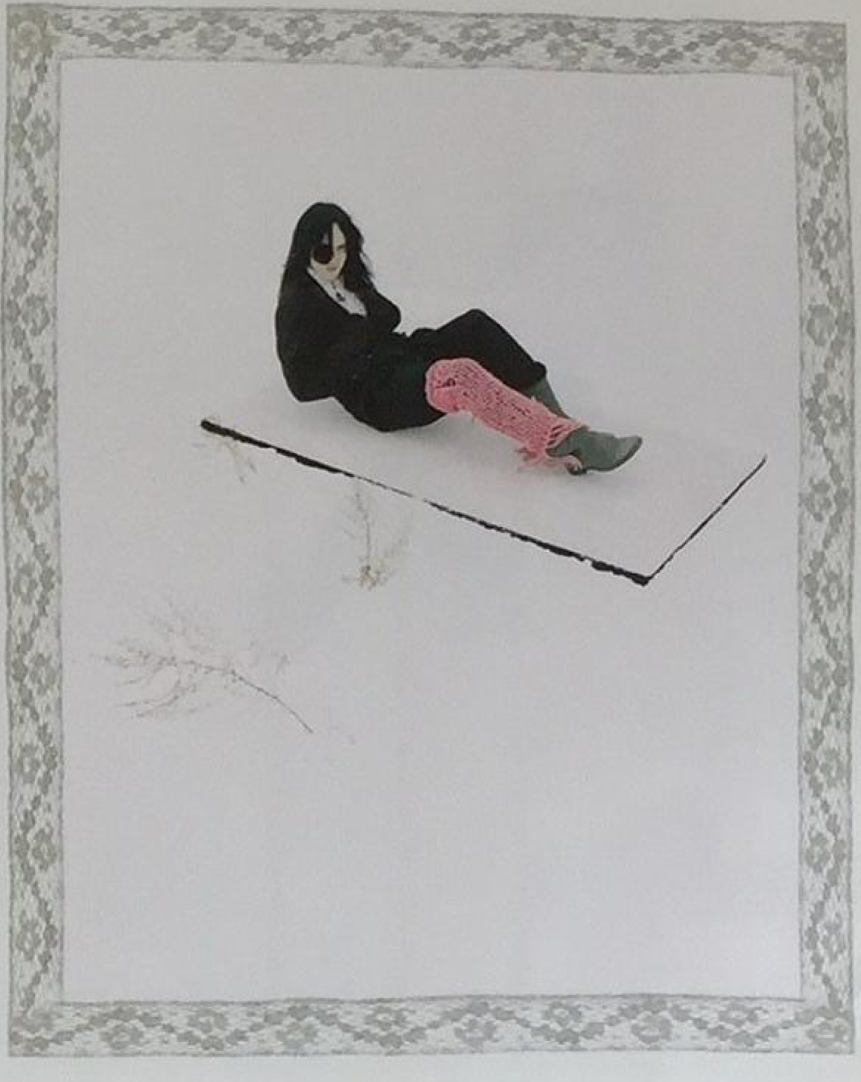
you are the past, present and future.

ストライプジャケット¥60,900、エンジニアブーツ¥67,200（ともにUNDERCOVERISM）
中に着たコーデュロイベスト¥50,400、Tシャツ¥11,550、レース付きコーデュロイパンツ¥37,800（すべてUNDER COVER）　ハンドウォーマー・スタイリスト私物



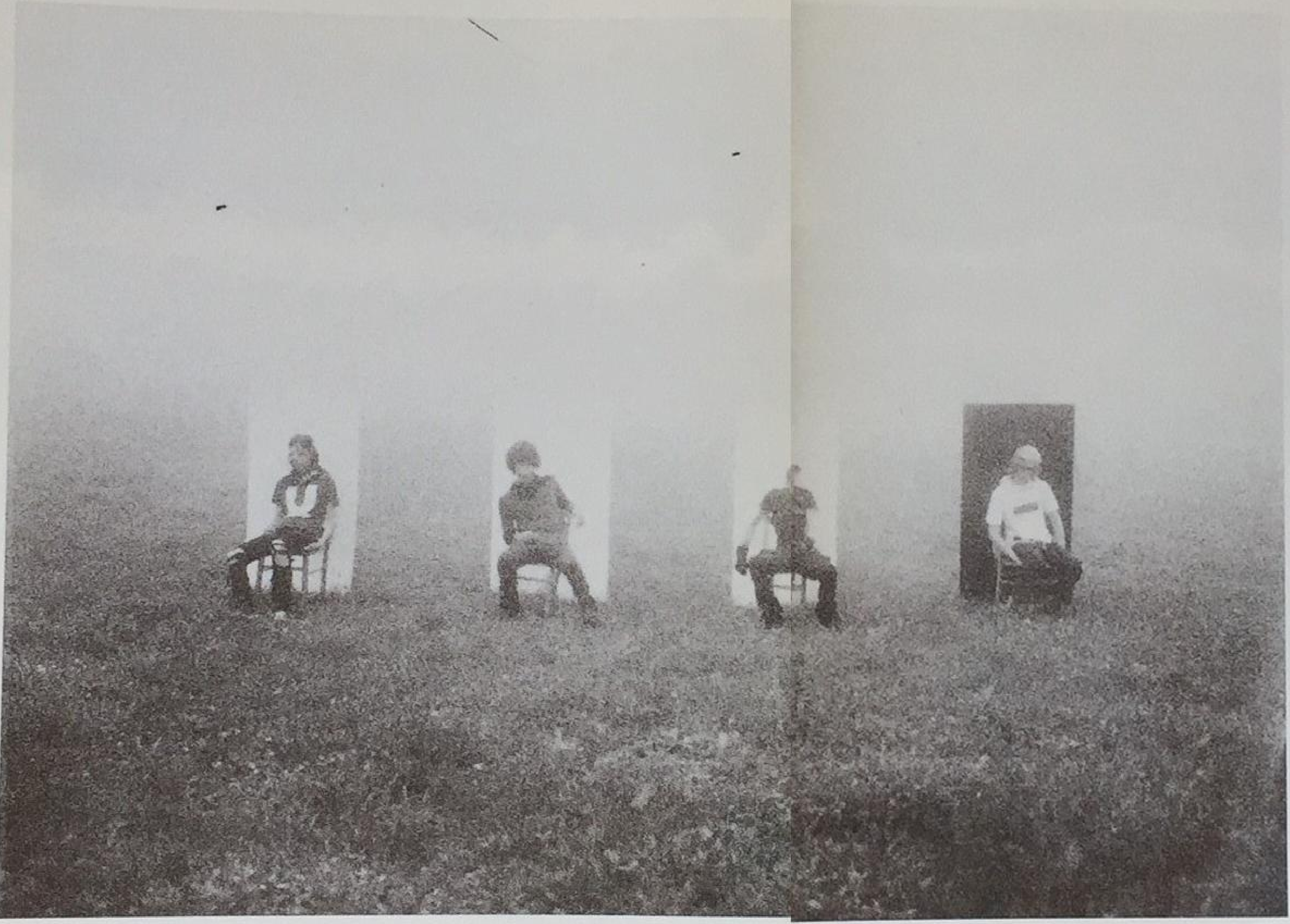
hope is the most graceful weapon.

コーデュロイブルゾン¥56,700、パンツ¥35,700、ワンピースの下に着たハイネックカットソー¥31,500、エンジニアブーツ¥67,200（すべてUNDERCOVERISM）
ボルドー×ブラックのワンピース¥39,900（UNDER COVER）　ブレスレット・モデル私物



change is the proof of life.

スウェット地のパッチワークジャケット¥60,900、同じくパンツ¥31,500、黒花&目玉のロザリオ¥17,850、貝&目玉のネックレス¥18,900、エンジニアブーツ¥67,200（すべてUNDERCOVERISM）
中に着たプルオーバー¥49,350（UNDER COVER）　レッグウォーマー・スタイリスト私物

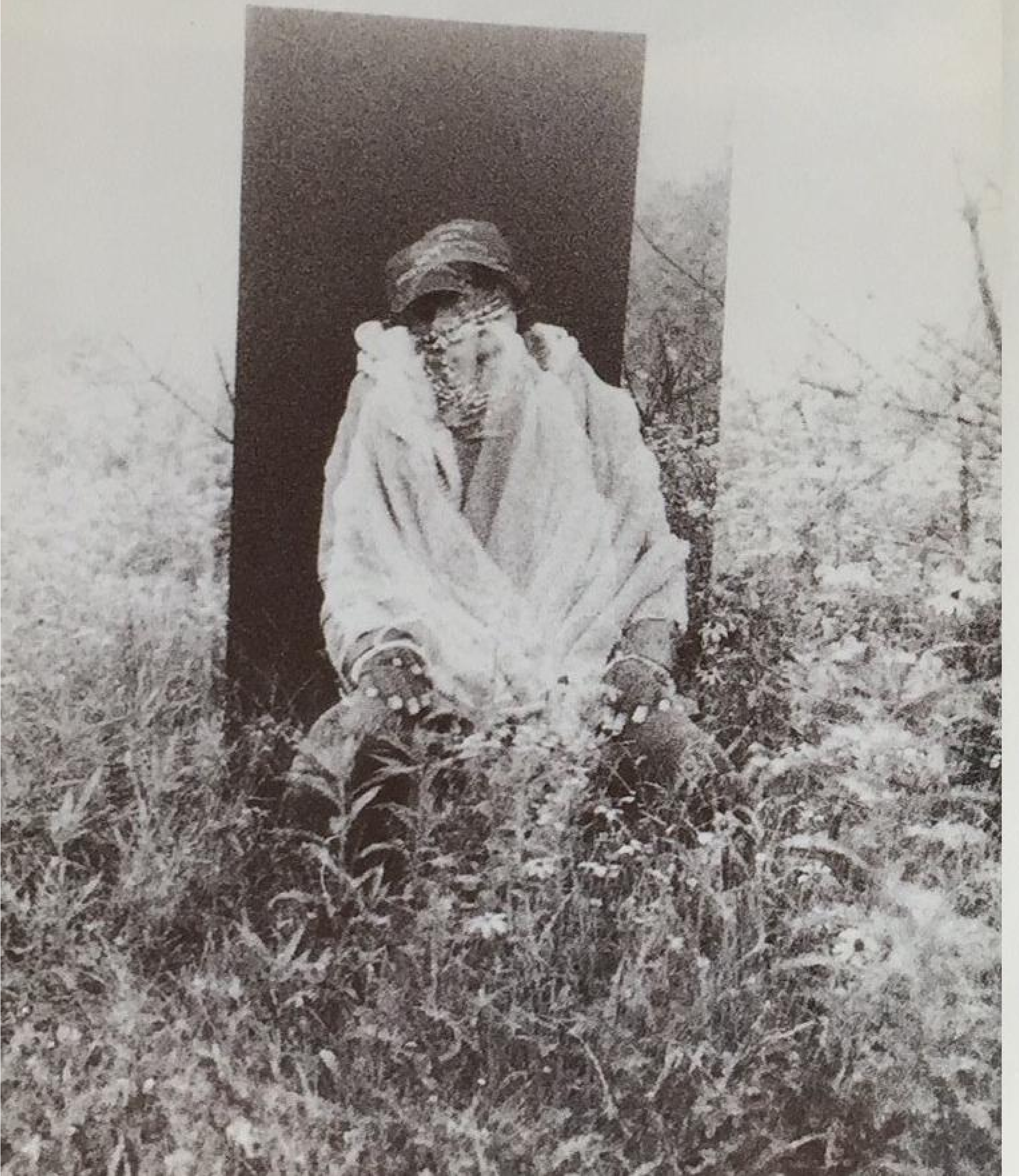


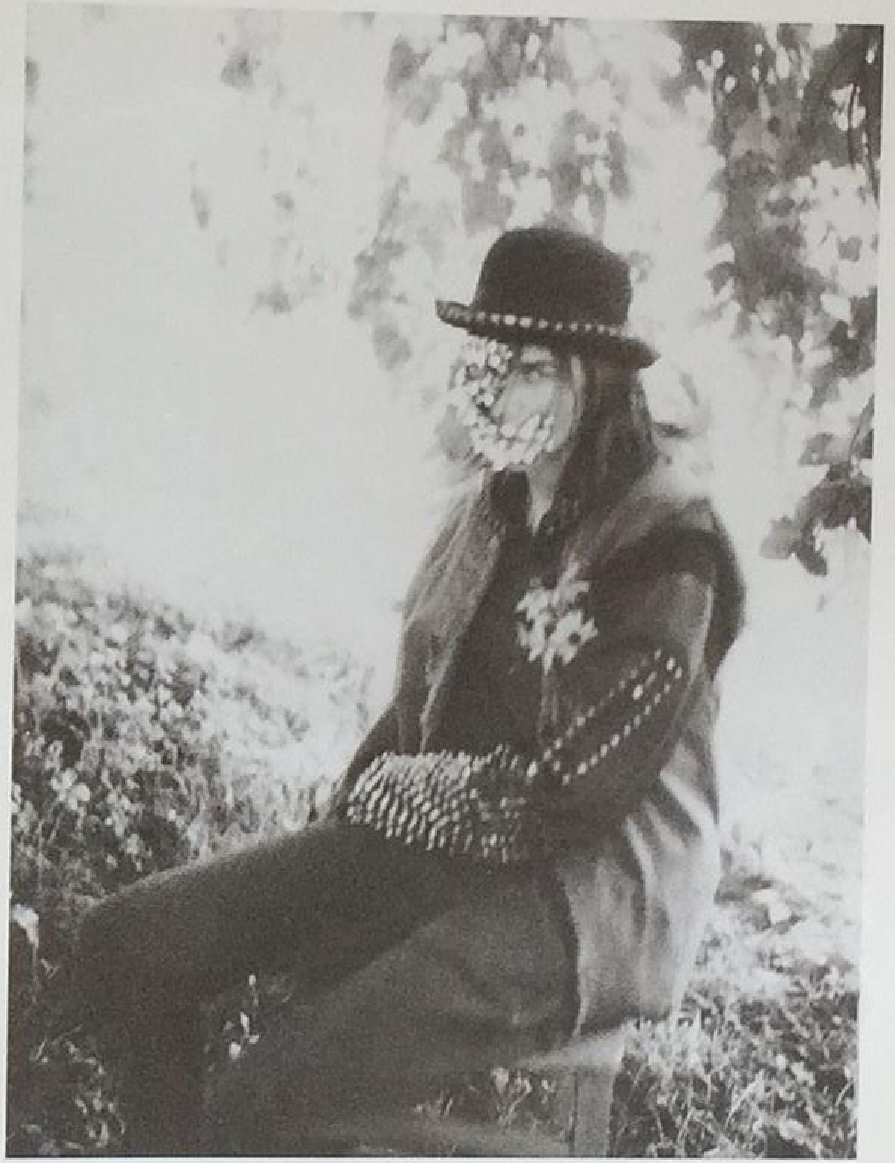
the aseptic room

undercoverism

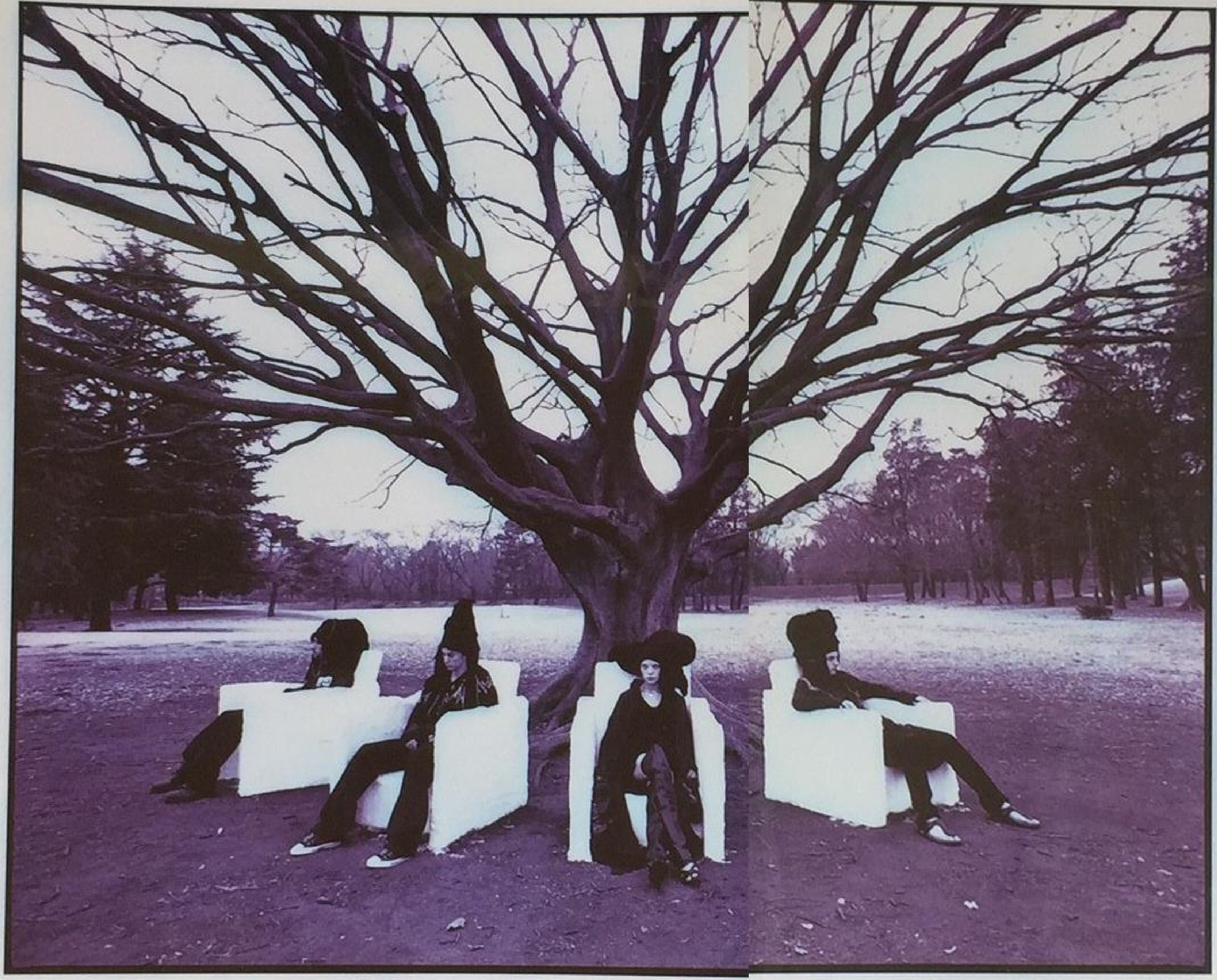
direction & styling jun takahashi
photos yasutomo ebisu
hair & make-up katsuya kamo (mod's hair)
models diego, joseph, andy, teddy
cooperation kronenberg
composition yasuyuki takase (eater)

from right : 1st t-shirt¥8,925 (AFFA) pants¥27,300 (AFFA) sneaker¥27,300 2nd t-shirt¥9,450 border cut & sewn (wear in)¥21,000 pants¥33,600 boots¥60,900 glove¥25,200
3rd : cut & sewn¥37,800 pants¥39,900 boots¥60,900 4th pants¥89,250 sneaker¥27,300 (all info UNDERCOVERISM) the other items : personal belongings





right : vest¥81,900 pants¥39,900 left : stole¥39,900 mouton blouson (wear in)¥168,000 pants¥39,900 glove¥22,050 (all info : UNDERCOVERISM) the other items : personal belongings

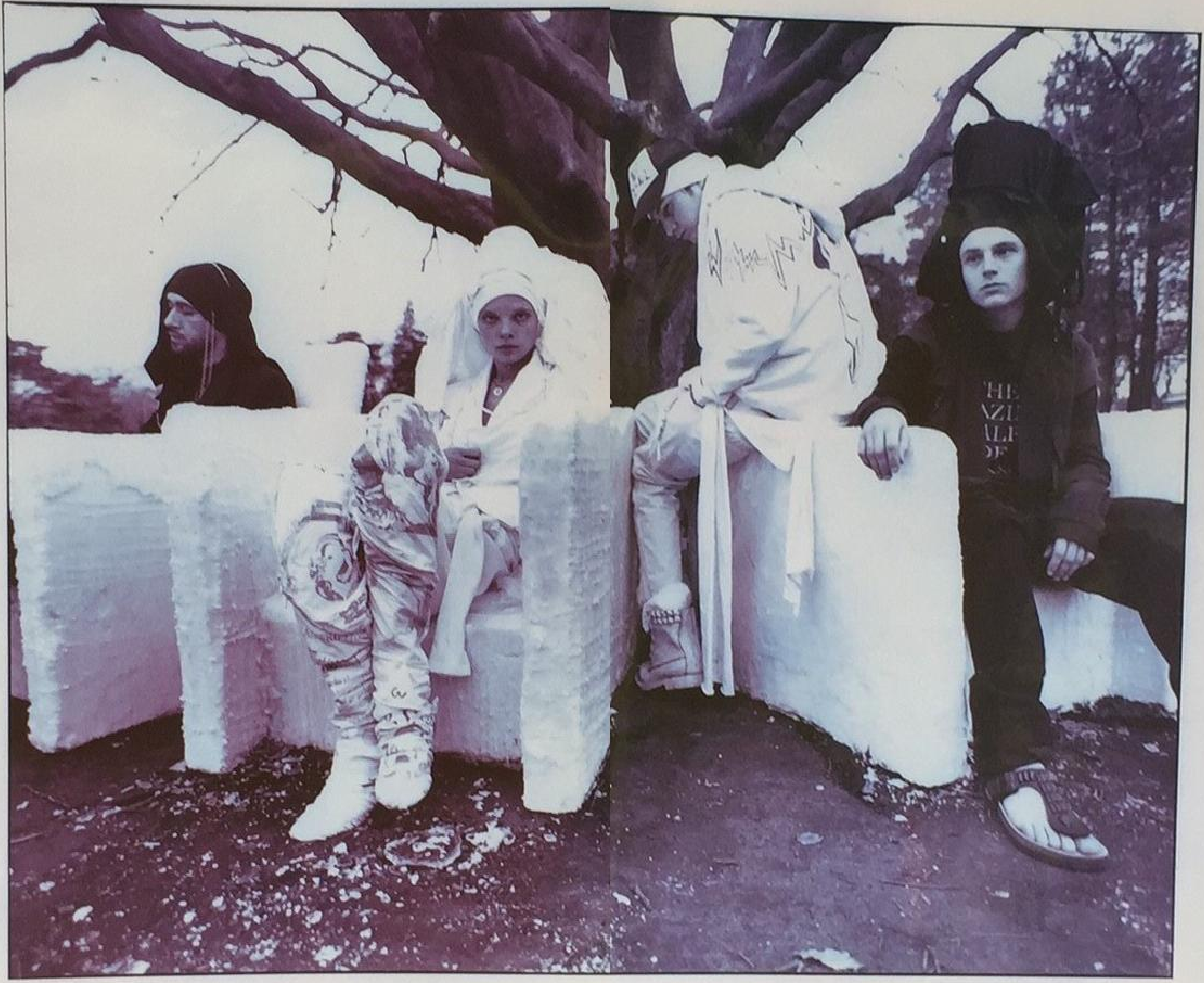


bkack mass

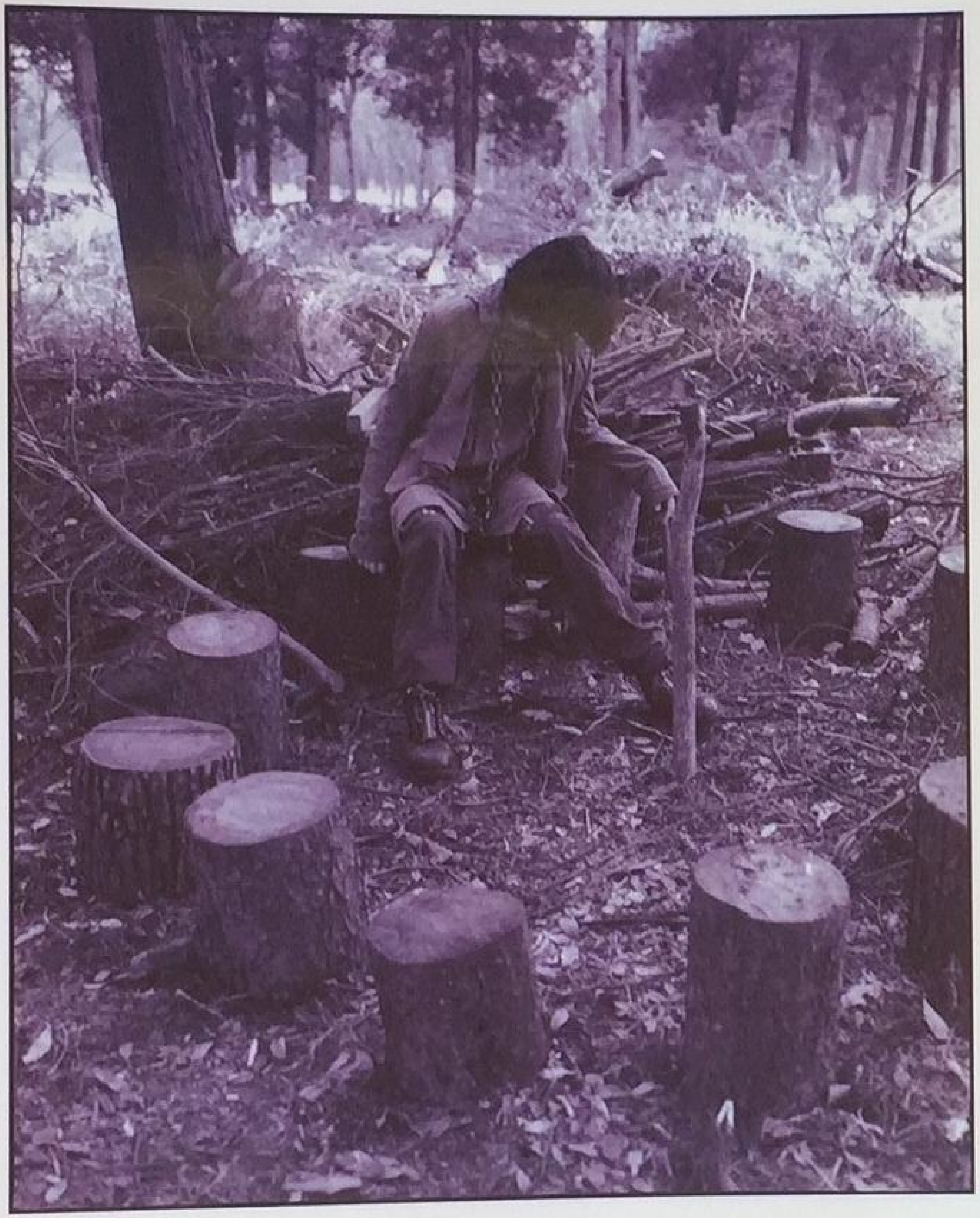
undercoverism

direction & styling Jun Takahashi
photos Yasutomo Ebisu
hair & make-up Katsuya Kamo
models Enz, Diego, Elena P., Andy
props Enz
edit Yasuyuki Takase (EATer)

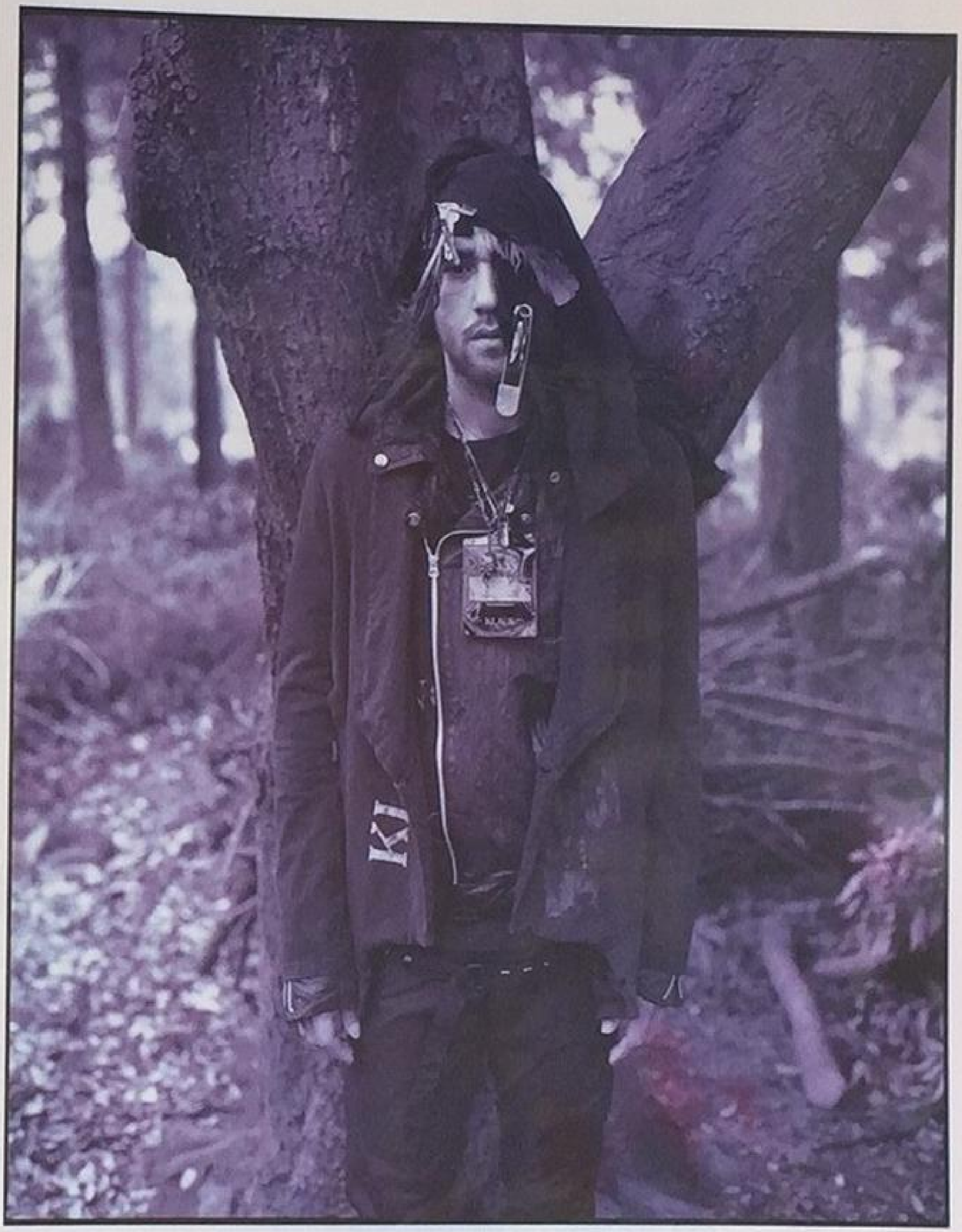
from right., 1st blouson¥42,000 coat (wear in)¥63,000 pants¥35,700 (BIRKENSTOCK) × (UNDER COVER) sandal¥26,250 (UNDERCOVERISM)
2nd. over knit¥71,400 one-piece¥60,900 boots¥79,800 (UNDER COVER) 3rd. blouson¥50,400 coat¥52,500 (wear in) cut & sewn¥35,700 pants¥31,500 shoes¥30,450
4th. blouson¥52,500 shirt¥35,700 pants¥37,800 boots¥77,700 (UNDERCOVERISM)



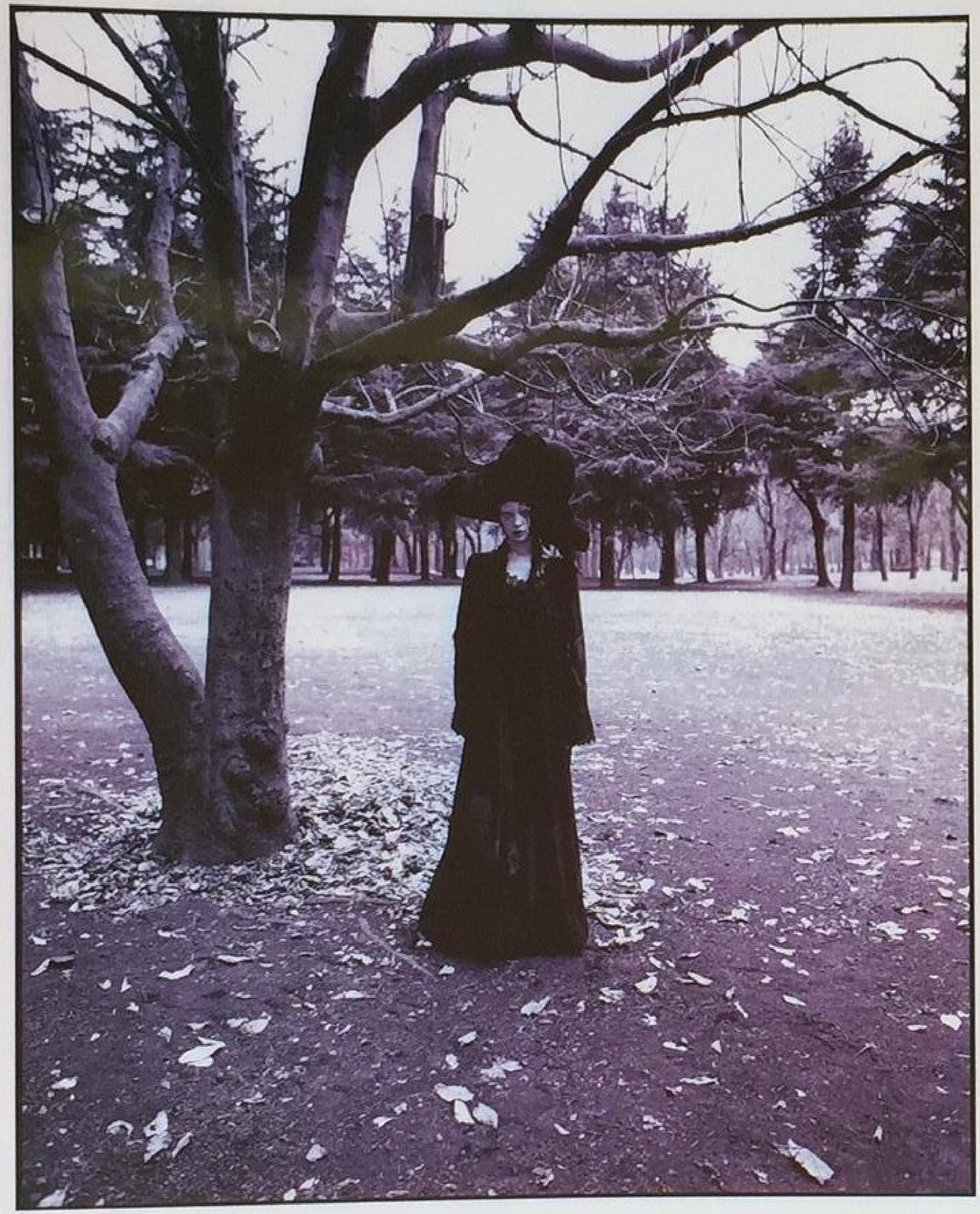
from right : 1st : cut & sewn¥48,300 shirt pants¥29,400 pants (wear in)¥35,700 (BIRKENSTOCK) × (UNDER COVER) sandal¥26,250 stole¥21,000
2nd : parka¥33,700 pants¥33,500 boots¥77,500 cap¥8,400 studs stole¥23,100 (UNDERCOVERISM)
3rd : jacket¥63,000 skirt¥29,400 wallet chain (on neck)¥21,000 42plate necklace¥10,290 white necklace¥14,700 boots : not for sale (UNDER COVER) 4th : jacket¥50,400 knit¥32,500 (UNDERCOVERISM)



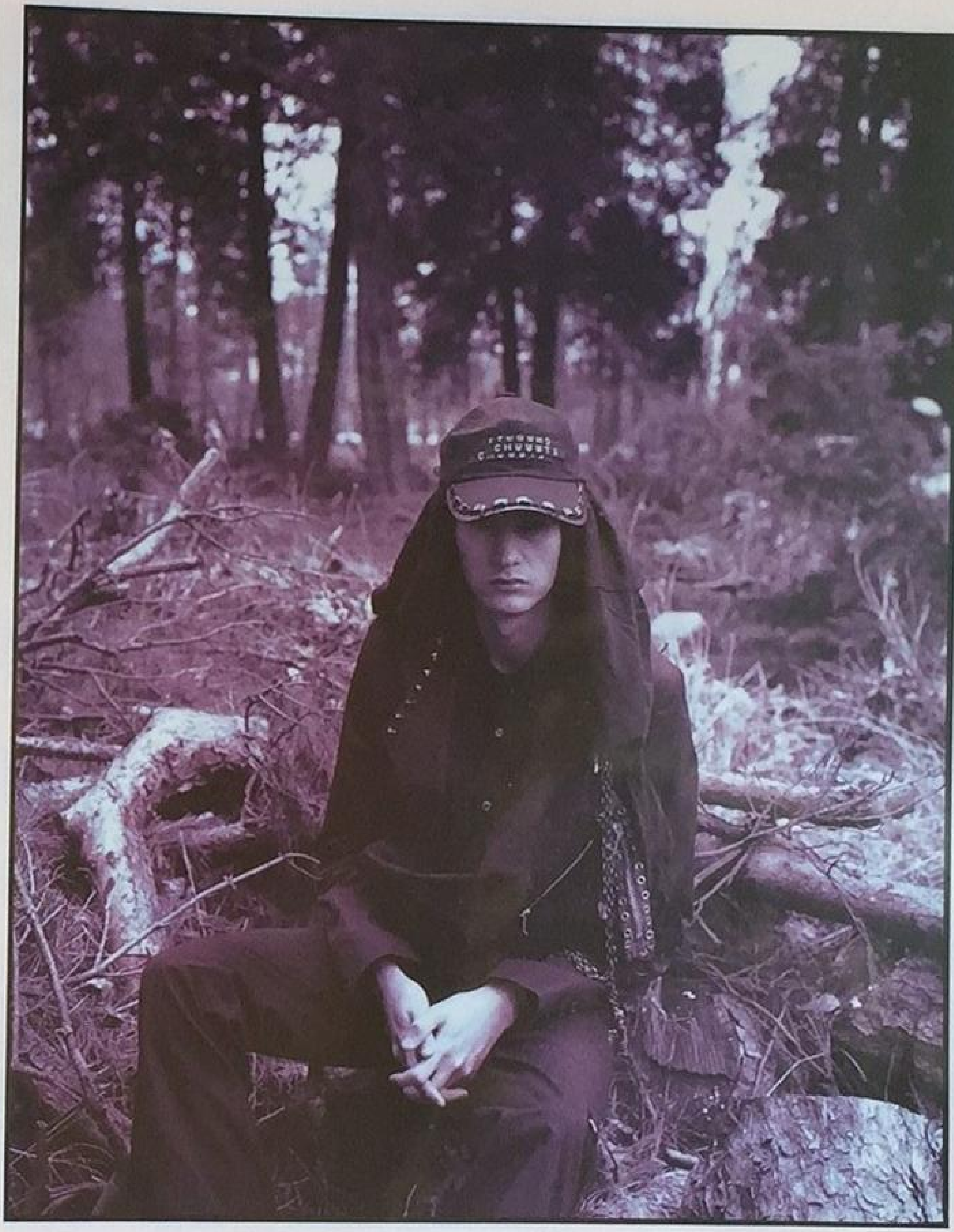
jacket¥58,800 coat (wear in)¥71,400 pants¥33,600 boots¥77,700 wallet chain (as neck)¥34,400 (UNDERCOVERISM)



jacket¥54,800 rabies jacket (wear in)¥165,000 t-shirt¥8,925 pants¥35,700 ashtray¥4,725 skull necklace¥18,900 crystal necklace¥29,400 (UNDERCOVERISM)



one-piece¥86,100 boots¥79,800 necklace each¥14,700 (UNDER COVER)



jacket¥60,900 shirt¥31,500 pants¥33,700 cap¥12,600 messenger bag¥55,600 wallet chain (with bag)¥21,000 (UNDERCOVERISM)

藤原ヒロシ×高橋 盾

二人がいま考えていること

藤原ヒロシと高橋盾、二人のいまの思いを知りたい、それぞれのクリエイションを支える意志を確かめたい。
こうして会う機会も、最近ではめったにないという二人。
一周年のアニバーサリーイシューに、初のスペシャル誌上対談が実現した。
二人によるコラボレーションが始動するというサプライズも！

Photos／Toru Kogure　Interview & Text／Yasuyuki Takase (EATer)

Paris【発表の場】

7月2日、パリ。05S/Sメンズコレクションの発表ウィーク初日、ナンバーナインのショー会場に藤原ヒロシと高橋盾はそれぞれ足を運んでいた。その間、交わした言葉はわずかだったが、二人にとって思いがけない、本当に久々の対面だった。

藤原ヒロシ（以下H）「コレクションを見に行くのは、すごく久しぶりですね。その時、たまたまパリにいたので、行ったんですけど」

高橋盾（以下J）「僕はメンズのパリコレは初めて。アンダーカバーの次のコレクションの会場の下見とか、いろいろあったんで」

H「僕は、すごく人が多いところは苦手なので。レディスのショーとかは、いつも行かないんだけど」

J「ウチのショーも来てくださいよ（笑）」

H「（笑）。すごい人だから」

J「確かに街に人は多いけど、いろんな会場があるだけじゃないですか？ そんなに、人がメチャクチャ多いって感じではないですよ」

藤原は自分が音楽を担当した時のアンダーカバーのショーも、会場では見ていないという。

H「東京で発表してた時は、いつもビデオとかDVDをもらってました」

J「ちょうどスノボが多いんですよね、時期的に（笑）」

H「次はいつだっけ？」

J「パリは10月頭ですね。もし来れたら」

H「10月だったら大丈夫かな。メンズのショーはやらないんだ？」

J「いや、興味あるんですけど。これ以上忙しくなるのがイヤかな。年に4回パリに行ってもいいんですけど、それでまた展示会もやるとなると……それは避けたいな」

H「僕のデザイナーは、みんなどうやってるんだろうね」

J「休む時間がないんじゃないですか。僕の場合は年に2回だから、コレクションが終わって、1ヵ月くらいはゆっくりできるんですけど。それがなくなるのはちょっと。もう充分（笑）。ウチの場合、自分で全部デザインしているので、これ以上は無理かな。ビジネス的なことでいうと、海外のメンズコレクションの時期に見せたほうがいいんだけど」

パリでは通常、コレクション発表後に展示会が開かれる。アンダーカバーはパリでレディスのコレクションを発表し、その直後の展示会でメンズの服も同時に見せている。

J「結局、メンズはメンズ、自分たちが一緒にしていても、バイヤーは一緒に見ないので。予算のたて方の問題じゃないですか。それがなければ――。だって、立ち上がりなんて、ほとんど一緒だから」

H「変えちゃえば？ そういうふうに」

J「まあ、変えられれば変えたいんですけどね」

H「ショーでも、メンズとレディスと一緒に見せちゃえば？ それはまた違うの？」

J「それはまた違いますね。テーマも違ってくるし、メンズはもっとシンプルだから、ショー全体のイメージも薄くなる。メンズ、レディスの演出もあるので」

アンダーカバーは02年10月からコレクション発表の場をパリに移した。この秋、10月に発表される05S/Sのコレクションで5回を数える。

H「もっとやってるイメージがあるね、パリで」

J「そうですね。もうだいぶ昔に感じますけど」

H「どう？ 変わった？ パリでやり始めて」

J「うーん……。作るものは……変わったかな、ちょっと。多少変わりましたね。それまで東京で作ってたものと比べて、ちょっと引く感じというか。前はデザインがてんこ盛りだったので、それをもうちょっと薄くしていくようになったかな」

H「そう？ 見てるほうにはあまり感じられないけどね」

J「（笑）。自分的には多少、調節は。海外ではどうしても、大人の人とか、余裕のある人しか買わないので。そこらへんのバランスで」

H「次の目標をどこに持つの？ パリコレに行くことも目標にしていたかどうか、わからないけど」

J「パリコレは目標にはしてなかったんですけど。それはもう、しょうがないというか。日本でやってても、反応は変わらないし、いろんな国の人に来てもらえない。東京にいて発信しても、海外まではなかなか届かないじゃないですか。だから全然、目標ではなかったですね。仕方なく。人が集まるところといったら、ウチの洋服的にはパリしかないんで」

H「その次は何かあるの？」

J「次っていうのは――ないっスね（笑）。これを続けるしかない。あと洋服以外のことはあるけど」

H「何か新しいものというか、違う目標がないと、結構ダラダラしたりしない？」

J「いや、それどころじゃないです」

H「（笑）」

J「新しいことを洋服でやっているので、それは毎回コレクションをやることでクリアできてるから」

H「わりと僕、見失いがちなんだよね、すべてにおいて……」

J「そうスか（笑）」

H「見失うね、なんでも。いまちょっと見失ってる。何やればいいんだろうって」

J「やることが毎回、別に決まってないですもんね？」

H「決まってなくて……。決まり出したり、動き出した時は、わりと面白い。それで、ある程度できてきて、評価ができちゃうと……」

J「でもそうですよ。それはウチの場合も一緒ですね。毎回やることがあって、時期が決まってるってだけで」

H「そこに向かっていけば、いいもんね」

J「そこに向かってるだけであって、その先に何かがあるっていうのでもない。確かに俺も、年に2回その時期が決まってるけど、それがなかったら逆に焦るかも」

H「退屈恐怖症なんだよ」

J「そうスね。退屈だと焦りますね」

H「（笑）」

Plan【次のこと】

H「目標をなくした時には、どうするの？」

J「まずコレクションをやるっていう目標があるので、内容は別として。それがなくなったら……」

H「コレクションは、誰に向けてやってる？」

J「誰っていうワケでもないですね。結局、無責任だけど、発表するのを見に来る人？ そこかな。どこなんだろ（笑）」

H「そこを見失うね、僕は」

J「最終的には、自分になってくると思うんですけど。自分で作って、どれくらい超えていけるか。それを見せることには、あまり意味がないのかも知れない。クリアしていくというか、もっと面白いものを作るというか。面白いものを作りたい、っていうところが、いちばん強いかも知れないですね。目標というよりは」

H「何をやっていても、なんのためにやってるんだろうってとこにぶつかっちゃうんだよね。最近。普通に会社に勤めてる人たちは、生活のためとか、お金のためとかだったりするワケじゃない？ でも僕らは、お金のためにやってるんじゃない。で、クリエイティブなことって、なんのためにやってるんだろうって」

J「それを見せたりするのは……」

H「それが自分の満足なんだよね？」

J「そうですね」

H「そこで満足できないんだよな……」

J「満足はできないですね」

H「僕は、誰かに褒められたいとか、そういう感覚がきっとどこかにあって。すごいね、いいねって誰かに声をかけてもらいたいんだけど、誰に声をかけてもらいたいかがわからない」

J「褒めてもらいたいというのは、絶対ありますよ。褒められればやっぱり嬉しいし、やる気になる。俺はそれが誰かといえば、周りの人かも知れない。ジャーナリストに褒められても、それはすごく距離があるし。褒められても、親身によかったという感じにはならない。たとえば、ヒロシ君とか周りの人に言われるのが、いちばん嬉しいかな。結局、狭いスね（笑）、視野が。でも、それじゃないですかね」

H「そうなのかなぁ」

J「やっぱり近い人に、本当によかったと思って、言われるのが嬉しいスよね。売ることや、評価はあくまでも結果であって、別にどうでもいい。やる気になって次に繋がっていけば、という感じになっちゃうかな。発表のカタチが決まってるから、答えは何かしら出るじゃないですか。それがあるから、焦らないのかも知れない。リミットもあるし、場所はパリだし、全部筋書きというかポイント、ポイントがあって、あとはやることだから。規則正しいの好きなんですよ。何時に起きて、何時にメシ喰ってとか。自分でそれを決めるのが好きなんで。こうダラダラするのがイヤなんですよ」

H「僕も予定が入ってると安心するかも。何時から何時まで予定があるとか。無理やりそういうのを入れてるのかも知れない。なんだかんだ言って、こうしていろいろ考えていても、時間はすぐに過ぎていくしね。プランがないから（笑）」

J「（笑）」

H「プランを立てないとね」

J「広くあるじゃないですか。たとえばどこか引っ越してとか、ゆっくりしてとか」

H「ないね。とりあえず、いまのところは、もっと予定を入れちゃいたいかな（笑）。予定を入れて忙しくしておきたい」

Exciting【得難いもの】

H「この前も知らない間に、アート展やってたね（『INTERMISSION』P30～33参照）。あんな大きな作品、よく描く時間があるなと思ったけど」

J「無理やり2ヵ月で（笑）。5月の末から2ヵ月間描いてて、その間は午前中にショーのミーティング、午後から描いてましたね。本当は、そこはわりと休める時期なんですけど、休まずに絵を描いてた」

H「あの作品はどうするの？ これからも何かやっていくの？」

J「11月に香港でエキシビションをやって、来年はアメリカとかヨーロッパで同じようにやりたい。もっといろんな国で見せたいので」

H「そういう目標があればいいよね」

J「そう。やりたいことは結構ありますね。ぬいぐるみも作ったから、いろんな国で見せたいし。あとは作る時間と、それを見せるとなると、特に海外でとなればお金もかかるので、その予算が出るかどうかという問題で。やりたくても、できないかも知れない」

H「僕の場合、見せたいという気持ちがあまりないんだよね。隠したいっていうのもあって。そのへんが難しい」

J「それはありますね。隠したいっていうのはあるな」

自分が作ったものを隠したいというのは、どういう理由だろう？

H「ひとつは、照れだね」

J「照れと、あとはすごくいいモノは見せるのがもったいない、っていうか。あまり外に出したくないって、なっちゃう場合もある」

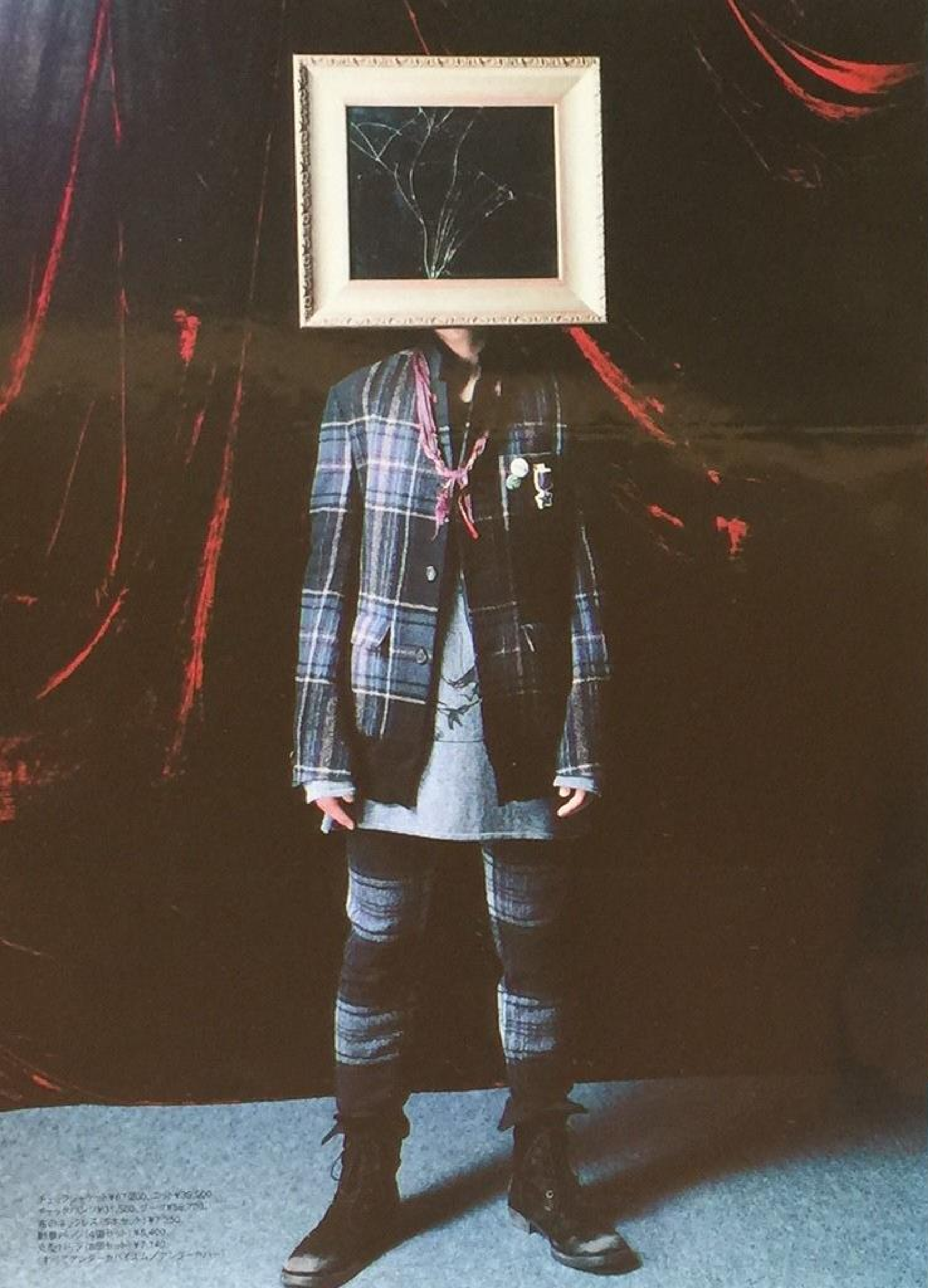
H「本当は、そのへんを自分でうまくコントロールしながら、バランスとってやらなきゃいけないし、やってるつもりなんだけど、たまにわかんなくなっちゃうんだよね。見失うというか……」

J「近々、何かあるんですか？」

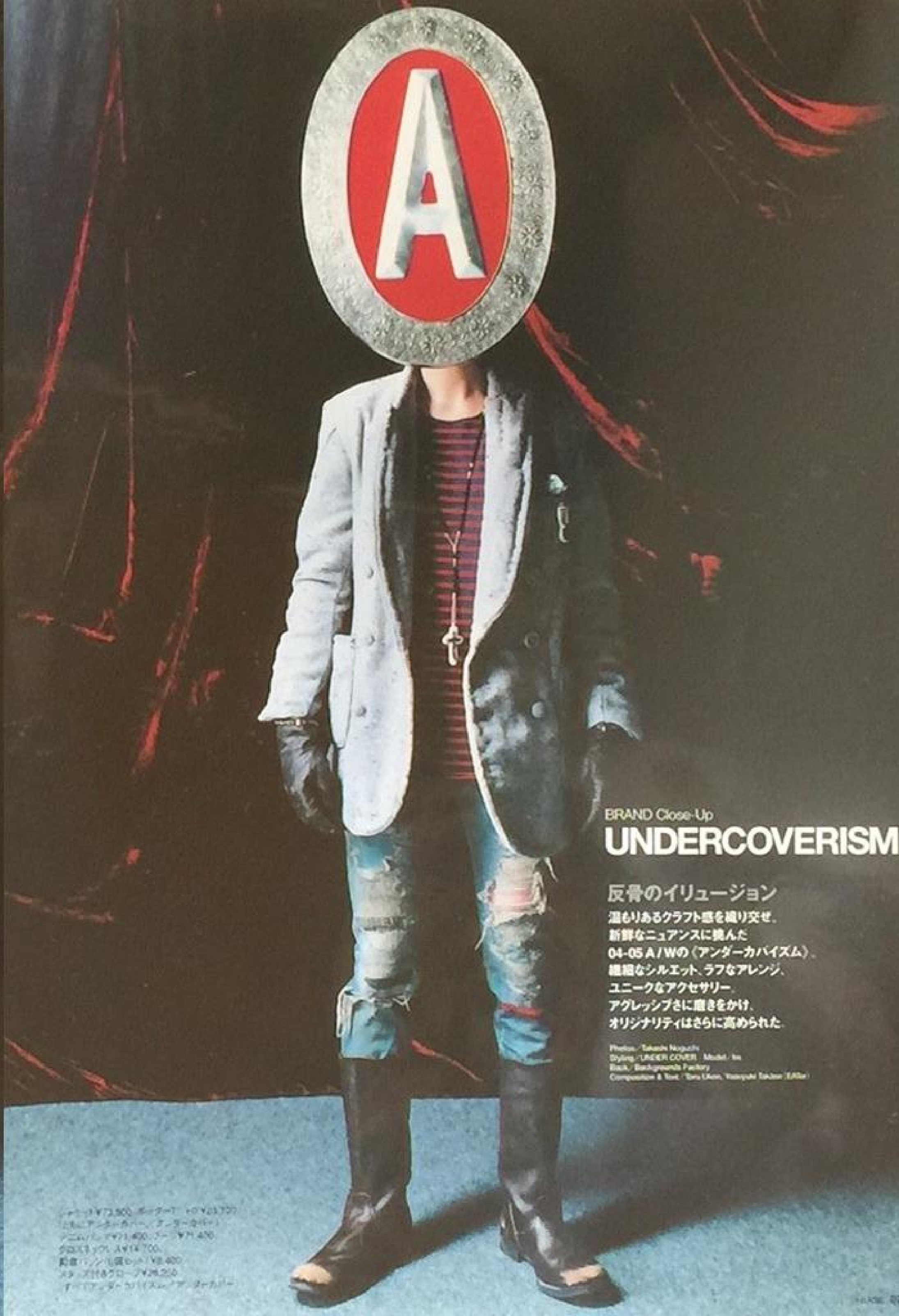
H「なんにもないよ。クラシックのアルバムくらいかな」

J「でも年に2回、洋服作ったりしてるじゃないですか？」

H「洋服はだから……どうなんだろ。もうそんなにエキサイティングなことじゃないね。もちろん、自分で着たいものも



チェックジャケット¥67,200、ニット¥39,900
チェックパンツ¥31,500、ブーツ¥58,[illegible]
石のネックレス（5本セット）¥7,350
動物バッジ（4個セット）¥8,400
[illegible]¥7,140
すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー



BRAND Close-Up

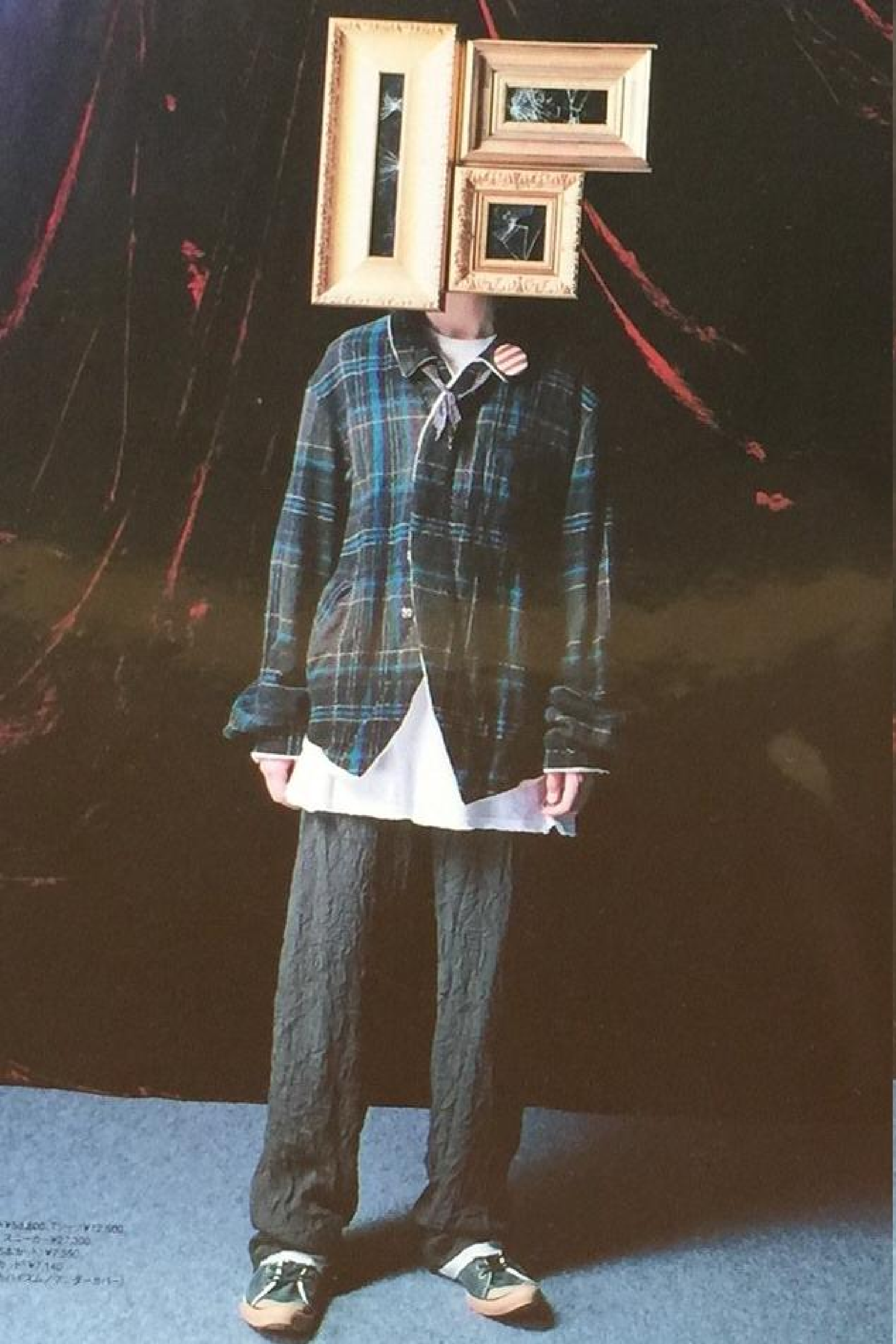
UNDERCOVERISM

反骨のイリュージョン

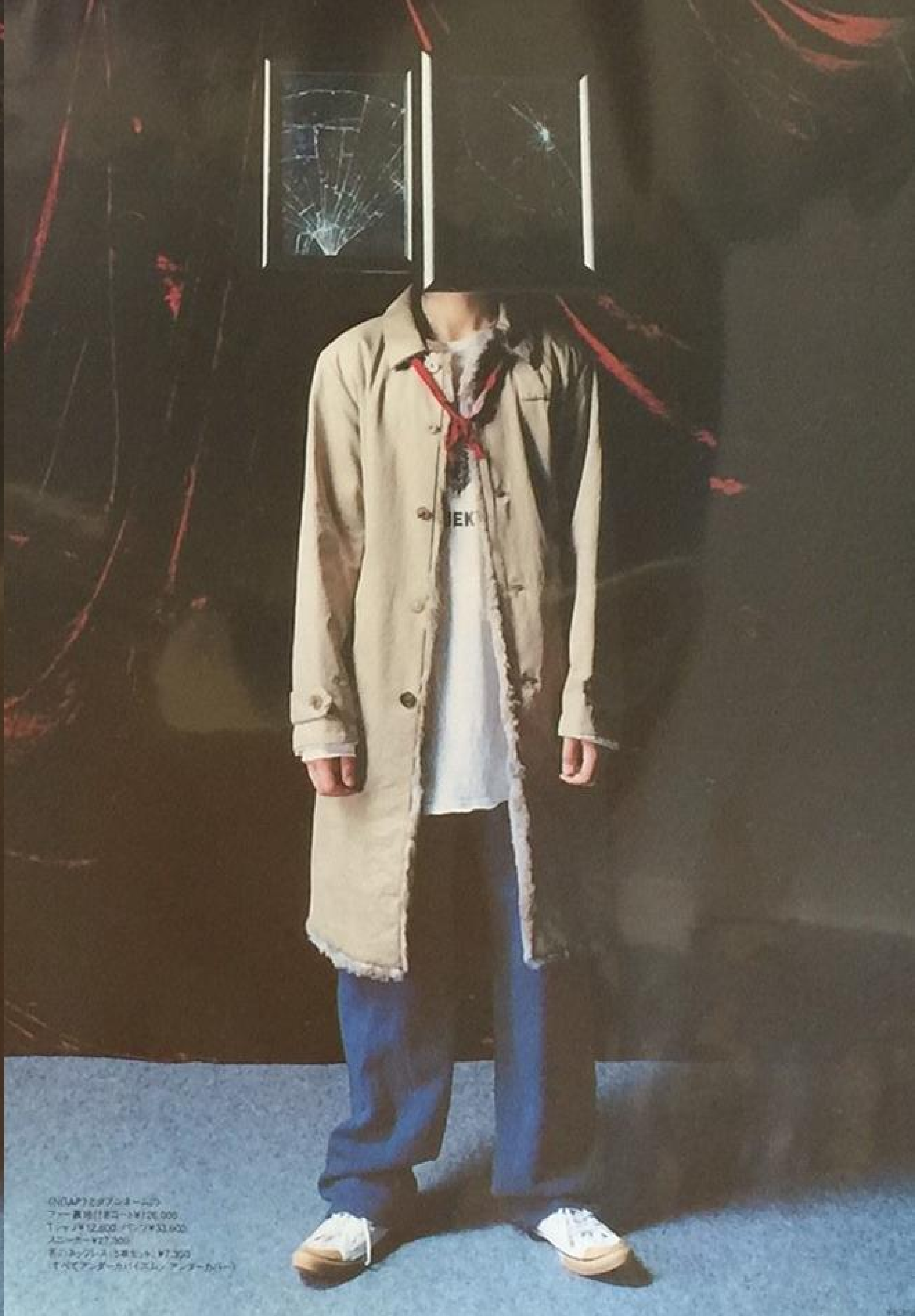
温もりあるクラフト感を織り交ぜ、
新鮮なニュアンスに挑んだ
04-05 A / Wの《アンダーカバイズム》。
繊細なシルエット、ラフなアレンジ、
ユニークなアクセサリー。
アグレッシブさに磨きをかけ、
オリジナリティはさらに高められた。

Photos／Takashi Noguchi
Styling／UNDER COVER　Model／[illegible]
Back／Backgrounds Factory
Composition & Text／[illegible]

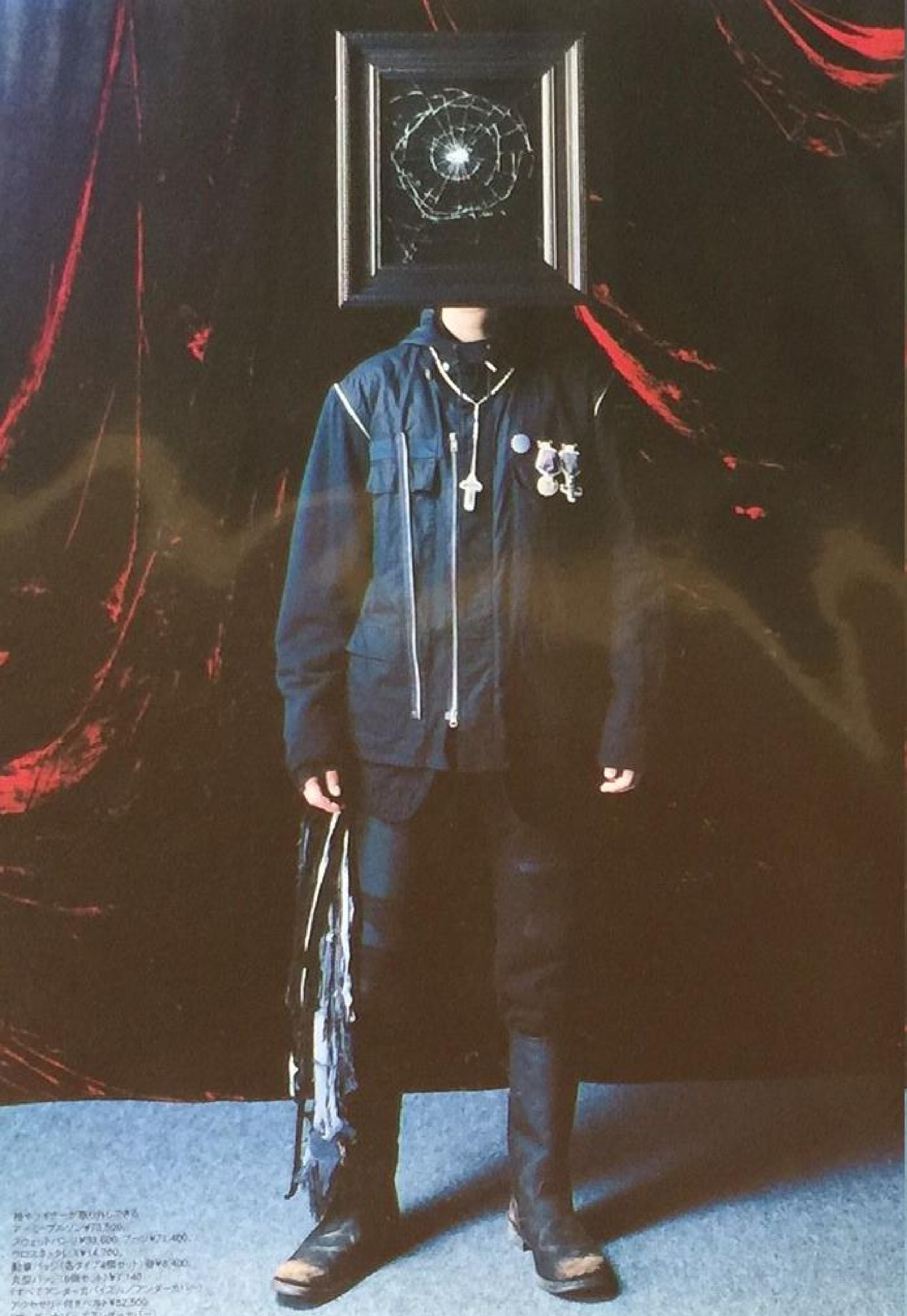
ジャケット¥73,500、ボーダーTシャツ¥23,[illegible]
[illegible]
デニムパンツ¥71,400、ブーツ¥71,400
[illegible]¥14,700
動物バッジ（[illegible]）¥8,400
[illegible]¥26,250
すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー



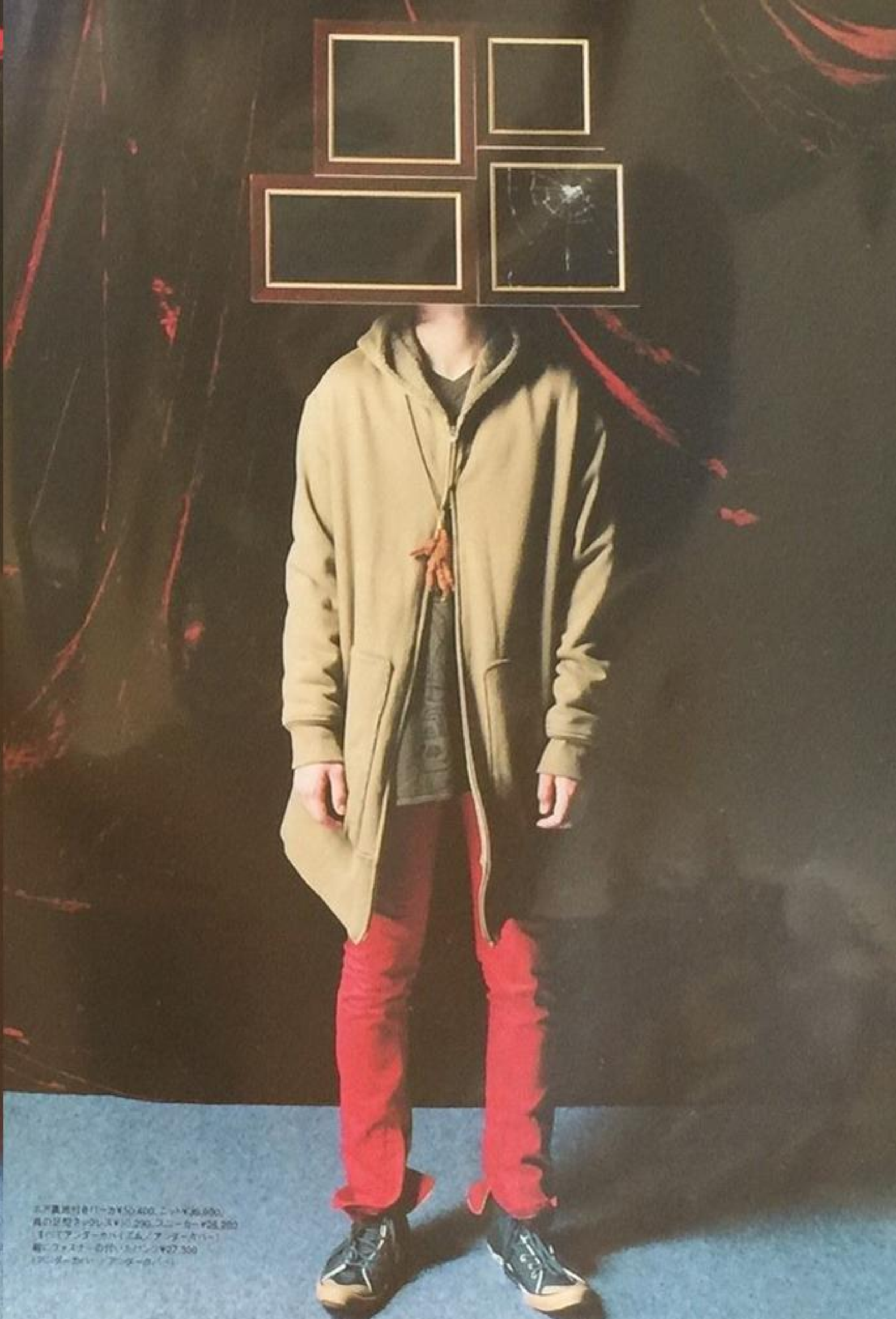
¥50,600 Tシャツ¥12,600
スニーカー¥27,300
[illegible]¥7,350
ト¥7,140
ハイズム/アンダーカバー)



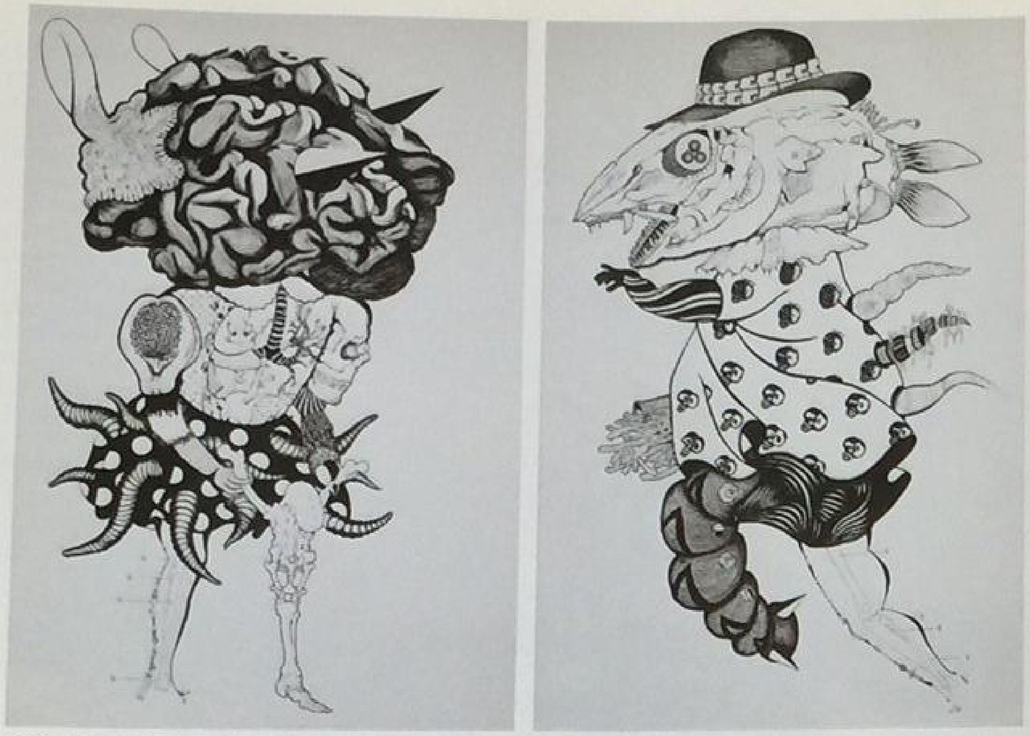
(NOAP)ミダブンネーム)
ファー裏地付きコート¥126,000
Tシャツ¥12,600 パンツ¥33,600
スニーカー¥27,300
革のネックレス(5本セット)¥7,350
(すべてアンダーカバーイズム/アンダーカバー)



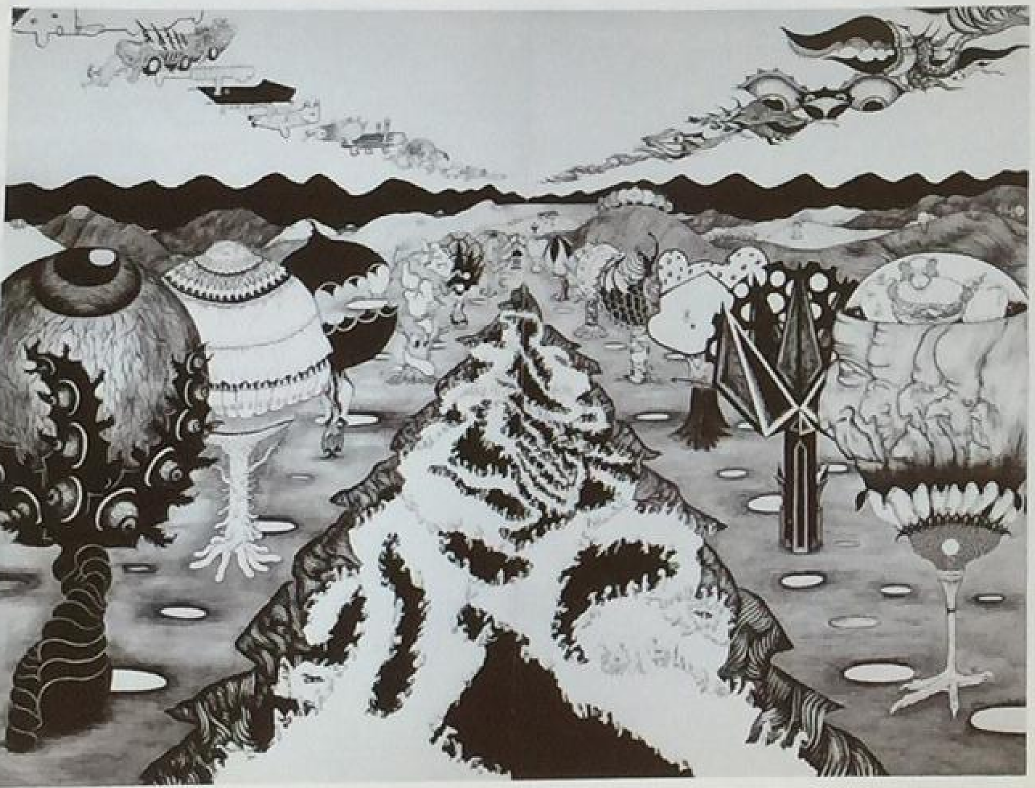
袖やジッパーが取り外しできる
アーミーブルゾン¥73,500、
スウェットパンツ¥30,600、ブーツ¥71,400、
クロスネックレス¥14,700、
勲章バッジ(各タイプ4個セット)各¥8,400、
丸型バッジ(6個セット)¥7,140
(すべてアンダーカバーイズム/アンダーカバー)
アクセサリー付きベルト¥52,500
[illegible]



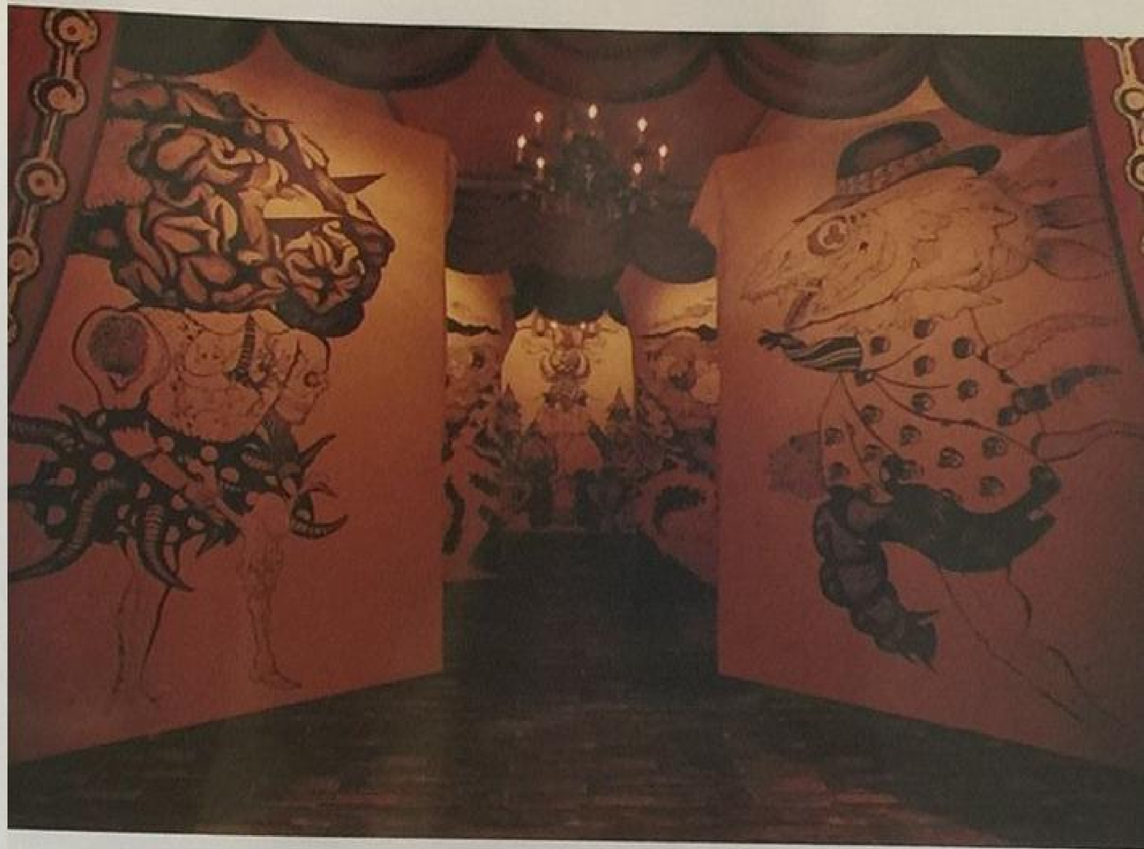
ボア裏地付きパーカ¥50,400、ニット¥36,900、
鳥の足型ネックレス¥10,290、スニーカー¥28,350
(すべてアンダーカバーイズム/アンダーカバー)
裾にファスナーの付いたパンツ¥27,300
(アンダーカバー/アンダーカバー)



右／"PRINCE OF BASEMENT"（2×3m）　左／"PRINCESS OF BASEMENT"（2×3m）
手前にディスプレイされた、対の作品。このキャンバス一枚が約2×3mある。実物を目前にすると、あらためてその迫力と緻密さに驚く



HOUSE OF UNDERGROUND ON ABOVE THE GROUND"（4×3m）続いて現れるさらにマッドなワールド。上空に描かれたモチーフは、右側がMADSAKI、左側が高橋によって描かれたもの



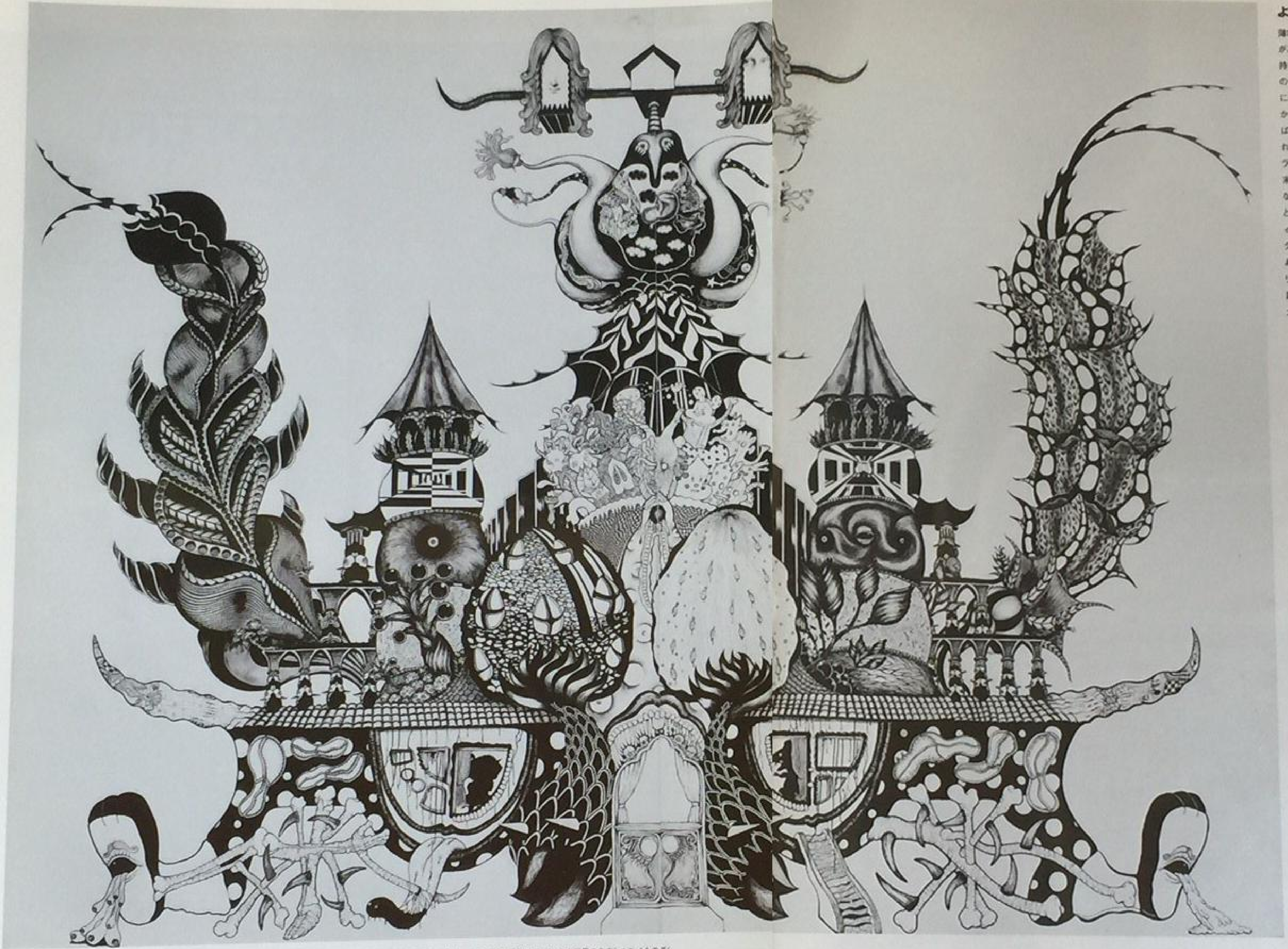
MADSAKI×高橋盾によるアートエキシビション

INTERMISSION

MADSAKIと高橋盾の二人が巨大なキャンバスに、共同で一枚の絵を描く。
"INTERMISSION"（幕間）と題されたアート展が6月19日～27日、SPACE FORCEにて開催された。
NYに拠点を持ち、かつて自転車メッセンジャーとして生死をさまよった経験もあるという
アートメッセンジャー・MADSAKI。
彼と高橋の出会いから、強烈なワールドが誕生した。

Photos／Yoshiki Kato　Text／Yasuyuki Takase（EATer）

上／会場での作品のセットアップもまさに舞台のよう。奥に向かって3層の構成
下／レセプション開始直前、会場の準備にあたるMADSAKI（左）と高橋盾（右）



"UNDERGROUND ON ABOVE THE GROUND"（4×3m） 一見、シンメトリックだが、左右の至るところがまるで違う。否応なく見入ってしまう作品。下のほうには、この世界の主のシルエットものぞく

ようこそPOPなサイコワールドへ

薄暗い舞台に浮かび上がった、一対の未知なる生物。彼らがこの世界の主だ。全体像は異様。体の各パーツが意志を持ち、蠢き、手を伸ばして絡み合っているようにも見える。その背後に待つのは、彼らが住む家と世界。巨大なキャンバスに二人でアートを描く新しい試みは、本人たちの予想すら遥かに超えた狂気のワールドを生み出すことになった。たとえばMADSAKIが大まかな構成を練り、ダイナミックに描く。それを受け、高橋が執拗なまでに細かく描き入れ、時にユーモラスなモチーフを加える。そうして繰り返されるセッションの末、描き出されたのは誰の計算も及ばない世界だった。様々な感情が複雑に入り乱れ、見る者を否応なく引きずり込む。とはいえ、彼らの作品に一貫しているのは、あくまでもポジティブなヴァイブレーションだということに気づく。誰もが抱えるダークな部分まで、あえて、ありのままさらけ出しているのである。「手抜きは一切なし」と声を揃える二人。彼らのギリギリの作業の上にしか成立しないアートピースだった。日本に続き、今冬には香港でエキシビションを開催。その後もアメリカやヨーロッパなどで公開していく予定だ。

ART PIECES
会場内には、40点を超える一点もののアートピースも展示。二人の共同作品だけでなく、それぞれの個人作品も発表された

「ソフト」と「ハード」が混合された美しさ

今季のテーマは "But Beautiful…"。人形を連想させる、手作り感あふれたディテールを強調したスタイルを展開。そのやわらかさとは反対に、ロックのハードさもプラスされたルックは、デニムやコートなどに色濃く反映されている。

（右）ブラックコート¥[illegible]、[illegible]¥37,800、柄シャツ¥34,650、"カギ"ネックレス¥8,400、銀鎖ネックレス参考商品 MICHELLE JAN※／UNDER COVER、赤ネックレスセット¥7,350、デニムパンツ¥38,850、ロングブーツ¥71,400、ハット¥44,100、すべてアンダーカバー

（左）ダメージ付フードコート¥115,500、ダメージ加工パンツ¥71,400、ロングブーツ¥56,700／すべてアンダーカバイズム、キャスケット¥21,000／アンダーカバー

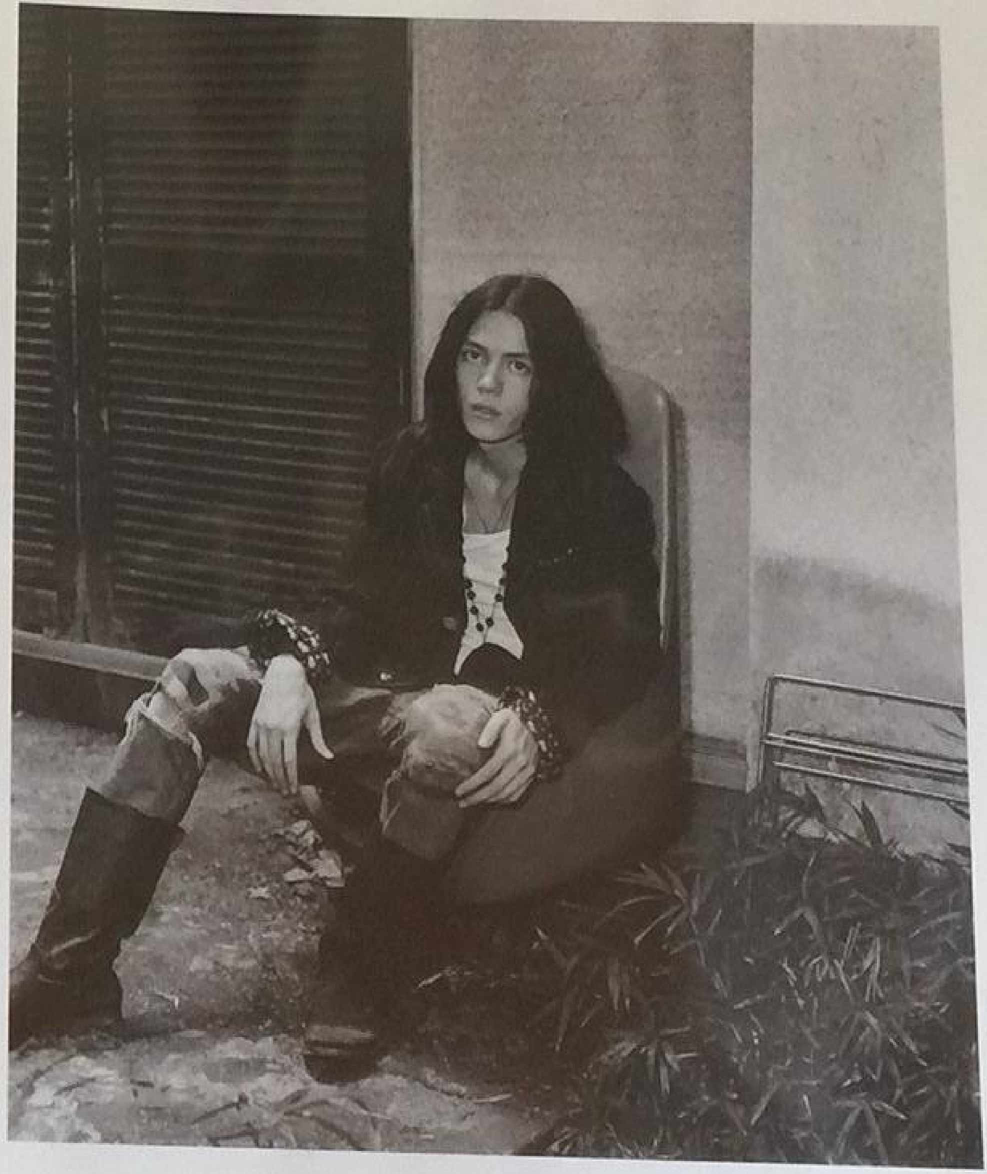
アンダーカバイズム、コム デ ギャルソン シャツ、
カバンド ズッカ、SOPHNET.…

超人気ブランド30
新作速報！

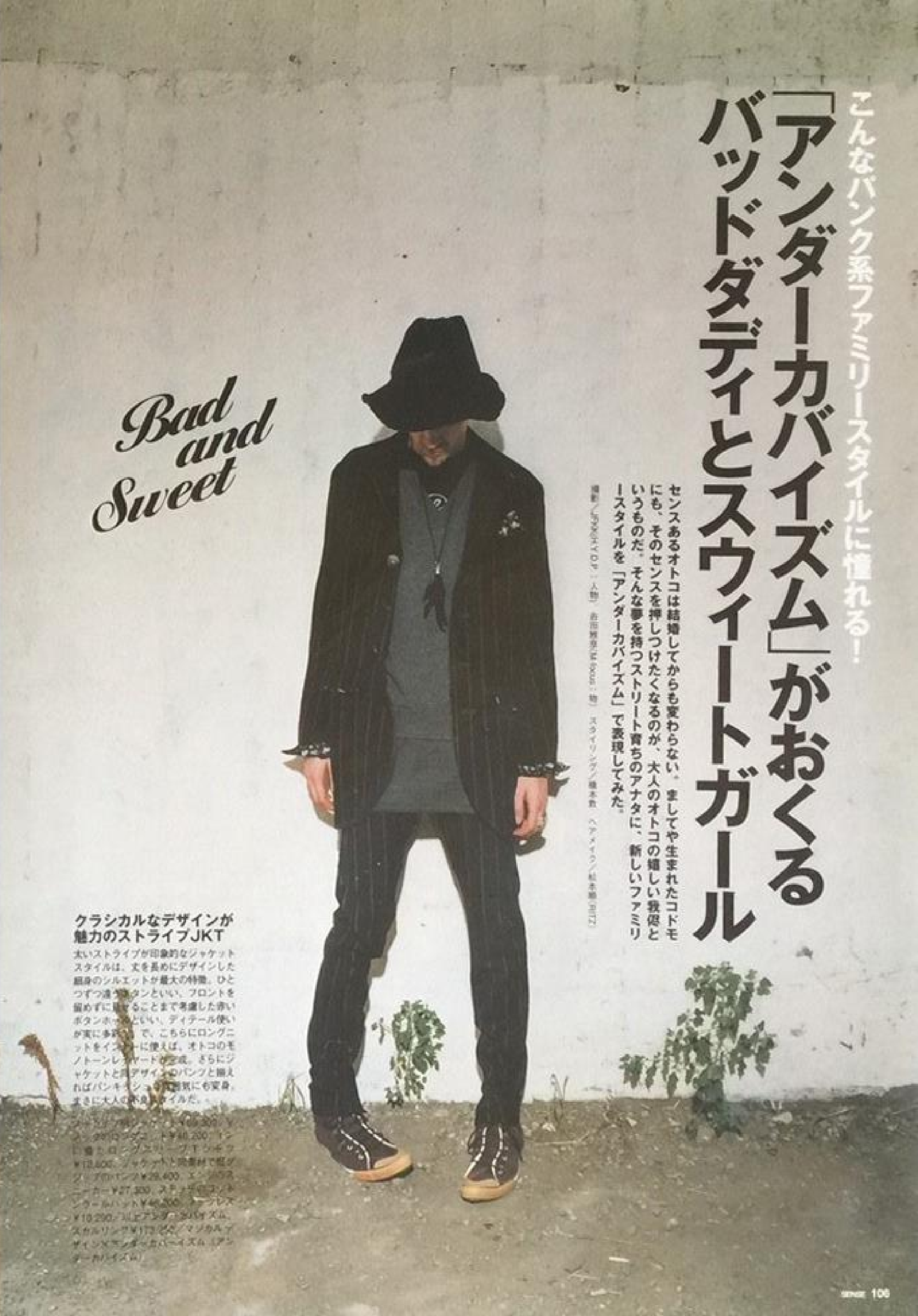
カジュアルを語るにおいて欠かせない注目ブランドの秋の新作をピックアップ
大人の目線でセレクトされた最新のコーディネイト実例を、今季のテーマとあわせて紹介する。

撮影／レイク・タホ　スタイリング／[illegible]　ヘアメイク（男性）／[illegible]（Cirque）　ヘアメイク（女性）／[illegible]（Tribute）　モデル／[illegible]、MAKOTO　[illegible]

UNDERCOVERISM



上／〈アンダーカバイズム〉のジャケット¥69,300、デニムパンツ¥71,400、ブーツ¥71,400（すべてアンダーカバー）
ユーズドのタンクトップ¥1,890、チェーンにボールの付いたロザリオ¥26,040（ともにヌードトランプ） その他ネックレス・私物
左ページ／〈N.HOOLYWOOD〉のストライプジャケット¥54,600、デニムパンツ¥14,700（ともにMister hollywood）
〈S2 W8〉のフーデッドダウンベスト¥29,800（ネペンテス） 〈ディオール オム〉のシャツ¥39,900、ネクタイ¥21,000（ともにステディ ステディ）



こんなパンク系ファミリースタイルに憧れる！

「アンダーカバイズム」がおくる バッドダディとスウィートガール

Bad and Sweet

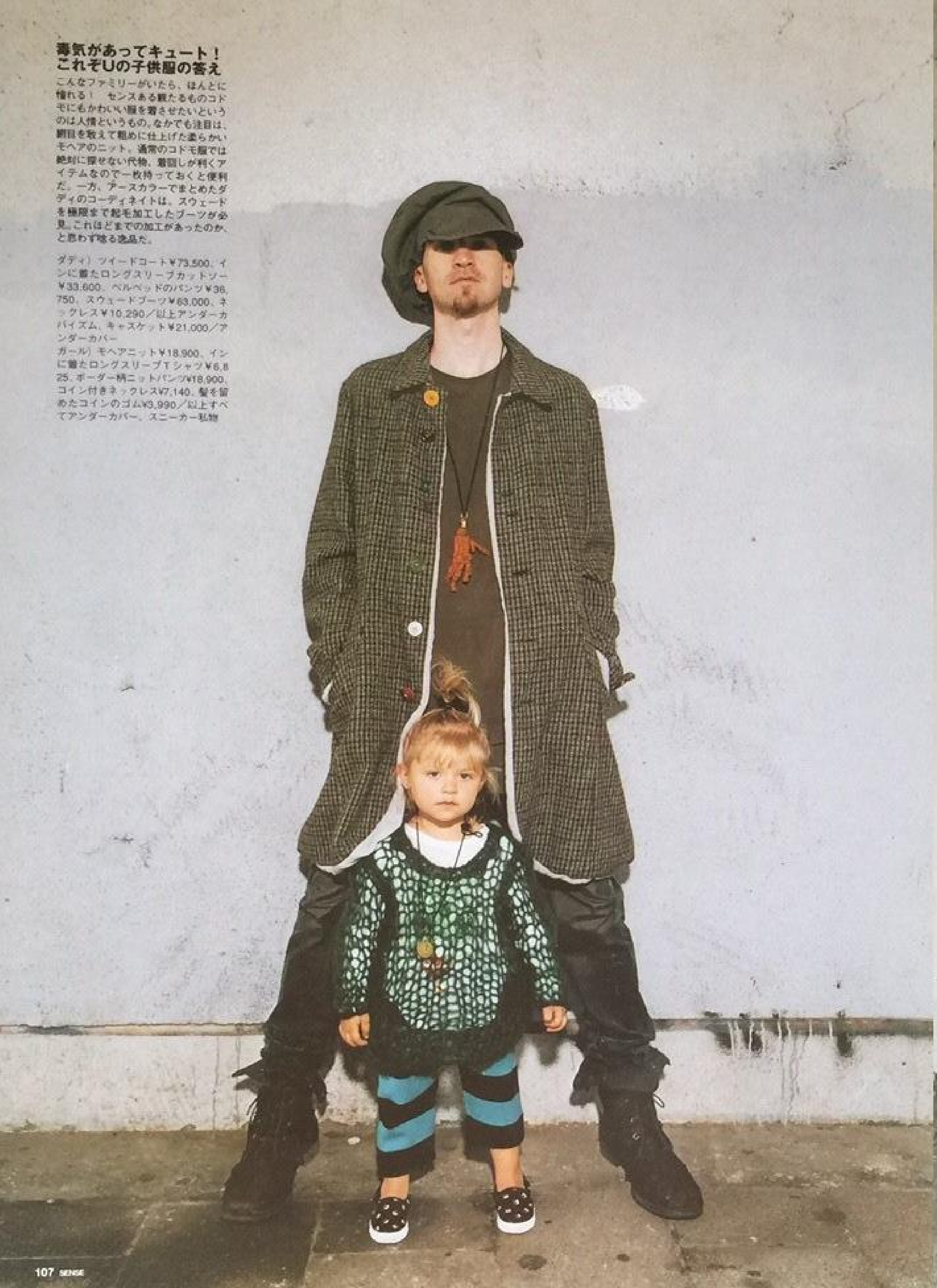
センスあるオトコは結婚してからも変わらない。ましてや生まれたコドモにも、そのセンスを押しつけたくなるのが、大人のオトコの嬉しい我侭というものだ。そんな夢を持つストリート育ちのアナタに、新しいファミリースタイルを「アンダーカバイズム」で表現してみた。

撮影／[illegible]（人物）　吉田雅彦[illegible]（物）　スタイリング／橋本敦　ヘアメイク／松本[illegible]

クラシカルなデザインが魅力のストライプJKT

太いストライプが印象的なジャケットスタイルは、丈を長めにデザインした細身のシルエットが最大の特徴。ひとつずつ違う[illegible]タンといい、フロントを留めずに[illegible]ることまで考慮した赤いボタンホー[illegible]といい、ディテール使いが実に多彩[illegible]で、こちらにロングニットをインナーに使えば、オトコのモノトーンレ[illegible]ヤードが完成。さらにジャケットと同デザインのパンツと揃えればパンキッシュ[illegible]雰囲気にも変身。まさに大人の[illegible]スタイルだ。

[illegible]¥65,300、V[illegible]ロングニット¥40,200、インに着たロングスリーブTシャツ¥12,600、ジャケットと同素材で仕立てたパンツ¥29,400、エンジニアスニーカー¥27,300、ステッチ[illegible]ウールハット¥46,200、ネックレス¥10,290／以上アンダーカバイズム、スカルリング¥17,[illegible]／マジカルデザイン×アンダーカバーイズム（アンダーカバイズム）

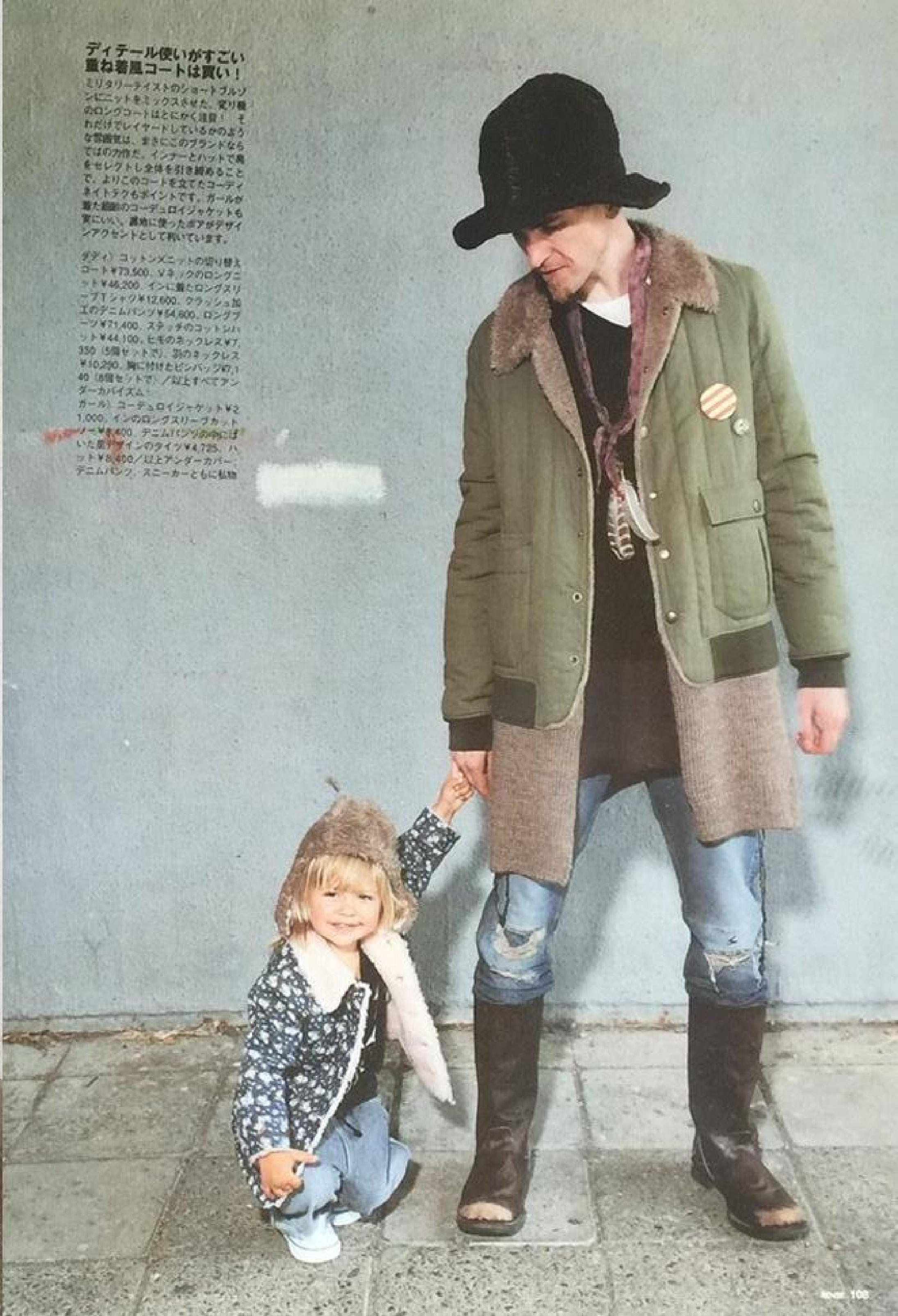


毒気があってキュート！ これぞUの子供服の答え

こんなファミリーがいたら、ほんとに憧れる！　センスある親たるものコドモにもかわいい服を着させたいというのは人情というもの。なかでも注目は、網目を敢えて粗めに仕上げた柔らかいモヘアのニット。通常のコドモ服では絶対に探せない代物。着回しが利くアイテムなので一枚持っておくと便利だ。一方、アースカラーでまとめたダディのコーディネイトは、スウェードを極限まで起毛加工したブーツが必見。これほどまでの加工があったのか、と思わず唸る逸品だ。

ダディ）ツイードコート¥73,500、インに着たロングスリーブカットソー¥33,600、ベルベッドのパンツ¥36,750、スウェードブーツ¥63,000、ネックレス¥10,290／以上アンダーカバイズム、キャスケット¥21,000／アンダーカバー

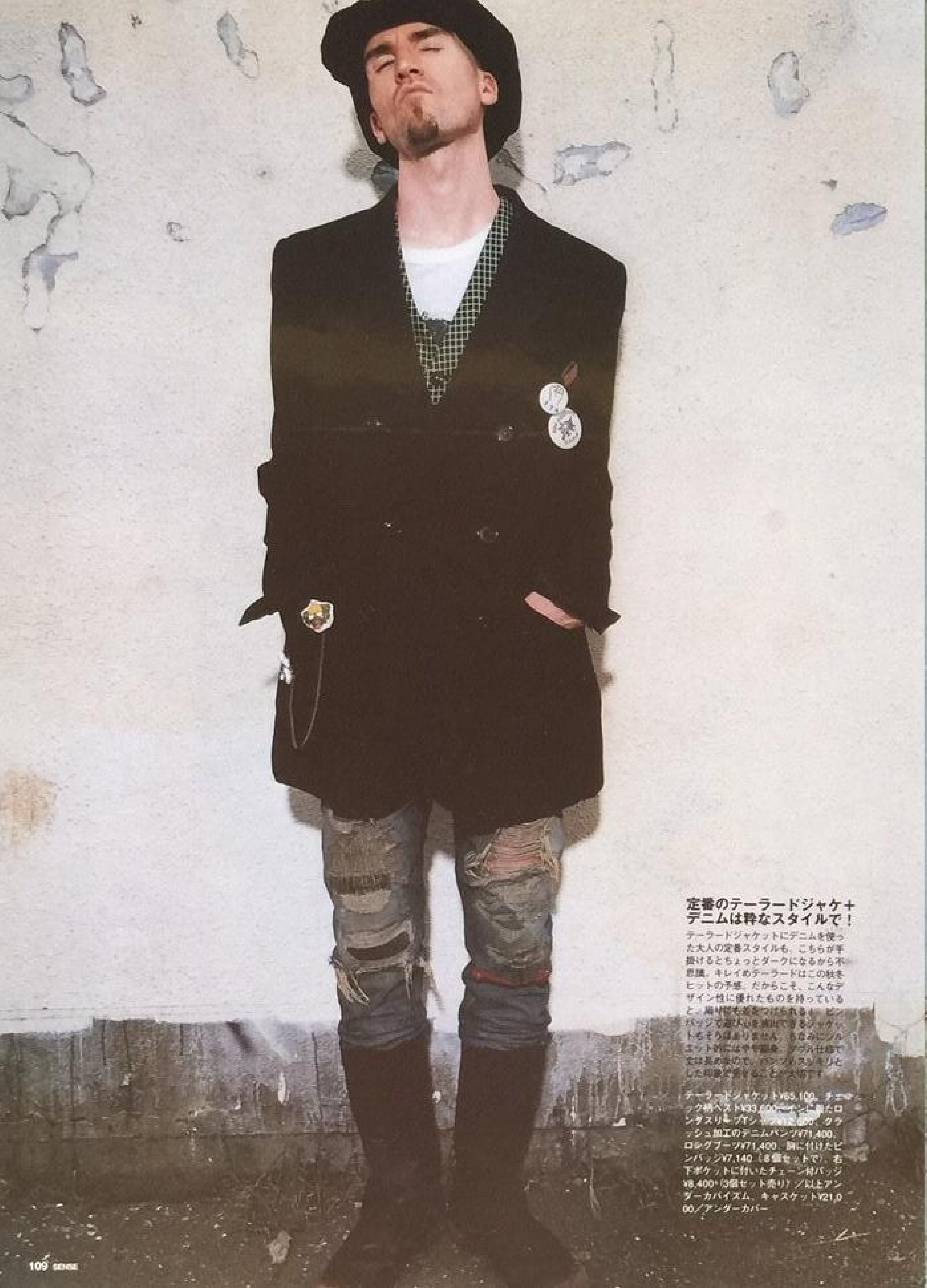
ガール）モヘアニット¥18,900、インに着たロングスリーブTシャツ¥6,825、ボーダー柄ニットパンツ¥18,900、コイン付きネックレス¥7,140、髪を留めたコインのゴム¥3,990／以上すべてアンダーカバー、スニーカー私物



ディテール使いがすごい重ね着風コートは買い！

ミリタリーテイストのショートブルゾンにニットをミックスさせた、変り種のロングコートはとにかく注目！ それだけでレイヤードしているかのような雰囲気は、まさにこのブランドならではの力作だ。インナーとハットで黒をセレクトし全体を引き締めることで、よりこのコートを立てたコーディネイトテクもポイントです。ガールが着た総柄のコーデュロイジャケットも実にいい。裏地に使ったボアがデザインアクセントとして利いています。

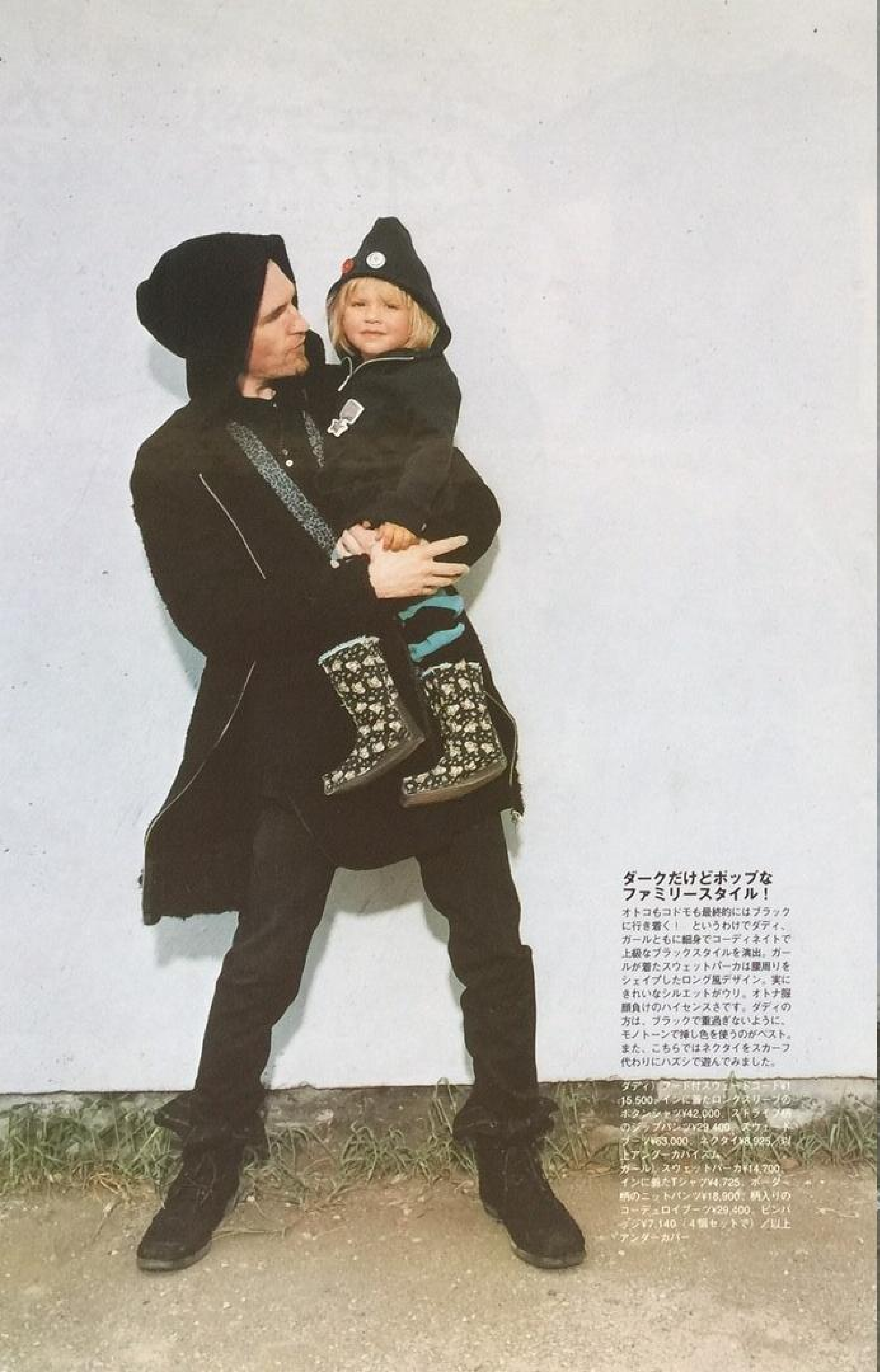
ダディ）コットン×ニットの切り替えコート¥73,500、Vネックのロングニット¥46,200、インに着たロングスリーブTシャツ¥12,600、クラッシュ加工のデニムパンツ¥54,600、ロングブーツ¥71,400、ステッチのコットンハット¥44,100、ヒモのネックレス¥7,350（5個セットで）、羽のネックレス¥10,290、胸に付けたピンバッジ¥7,140（8個セットで）／以上すべてアンダーカバイズム
ガール）コーデュロイジャケット¥21,000、インのロングスリーブカットソー¥8,400、デニムパンツの中にはいた星デザインのタイツ¥4,725、ハット¥8,400／以上アンダーカバー、デニムパンツ、スニーカーともに私物



定番のテーラードジャケ＋デニムは粋なスタイルで！

テーラードジャケットにデニムを使った大人の定番スタイルも、こちらが手掛けるとちょっとダークになるから不思議。キレイめテーラードはこの秋冬ヒットの予感。だからこそ、こんなデザイン性に優れたものを持っていると、周りにも差をつけられるはず。ピンバッジで遊び心を演出できるジャケットもそうはありません。ちなみにシルエット的にはやや細身。ダブル仕様で丈は長めなので、パンツはスッキリとした印象で合わせることが大切です。

テーラードジャケット¥65,100、チェック柄ベスト¥33,600、インに着たロングスリーブTシャツ¥12,600、クラッシュ加工のデニムパンツ¥71,400、ロングブーツ¥71,400、胸に付けたピンバッジ¥7,140（8個セットで）、右下ポケットに付いたチェーン付バッジ¥8,400（3個セット売り）／以上アンダーカバイズム、キャスケット¥21,000／アンダーカバー



ダークだけどポップなファミリースタイル！

オトコもコドモも最終的にはブラックに行き着く！　というわけでダディ、ガールともに細身でコーディネイトで上級なブラックスタイルを演出。ガールが着たスウェットパーカは腰周りをシェイプしたロング風デザイン。実にきれいなシルエットがウリ。オトナ顔負けのハイセンスさです。ダディの方は、ブラックで重過ぎないように、モノトーンで挿し色を使うのがベスト。また、こちらではネクタイをスカーフ代わりにハズシで遊んでみました。

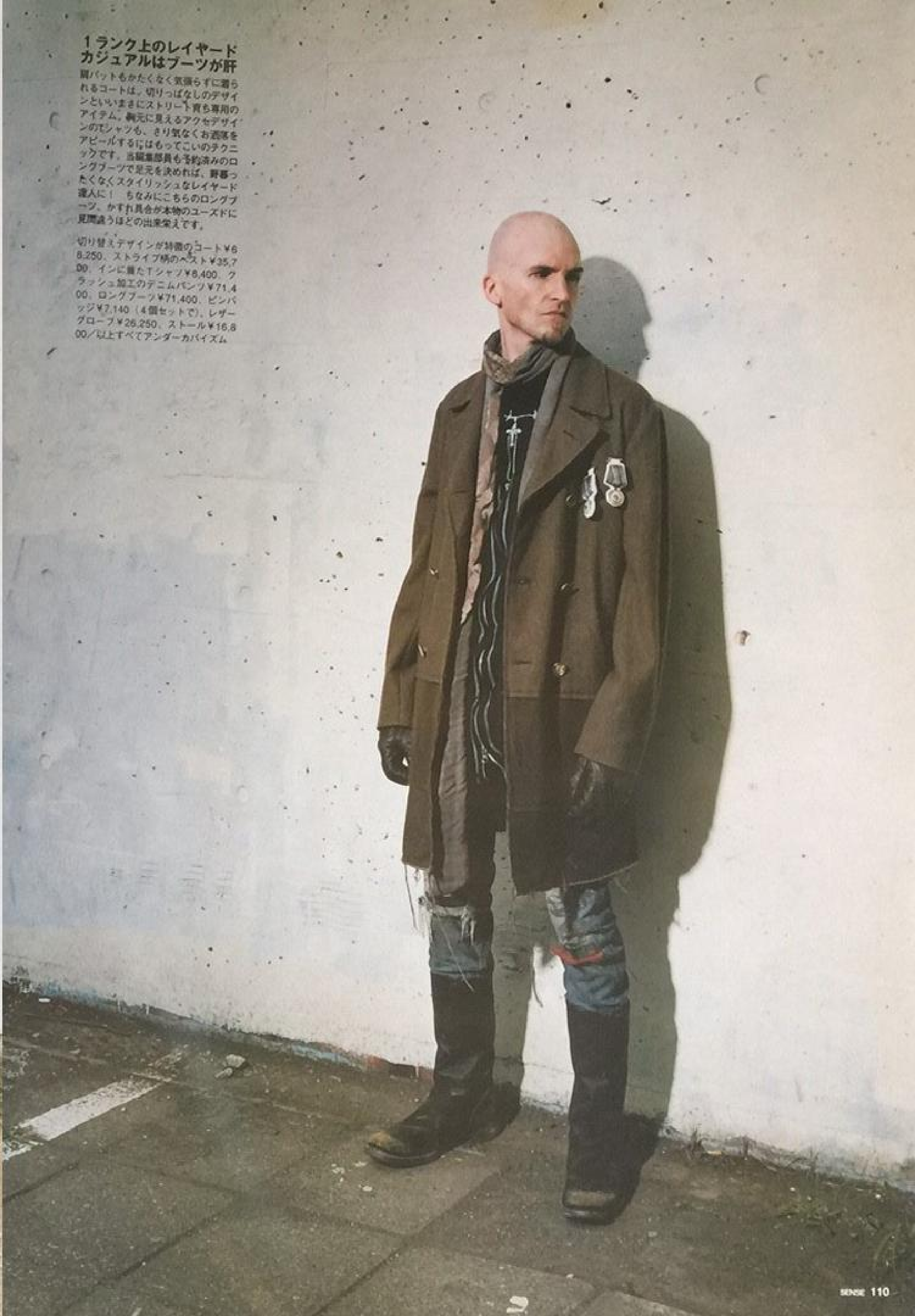
ダディ）フード付スウェットコート¥115,500、インに着たロングスリーブのボタンシャツ¥42,000、ストライプ柄のジップパンツ¥29,400、スウェードブーツ¥63,000、ネクタイ¥8,925／以上アンダーカバイズム

ガール）スウェットパーカ¥14,700、インに着たTシャツ¥4,725、ボーダー柄のニットパンツ¥18,900、柄入りのコーデュロイブーツ¥29,400、ピンバッジ¥7,140（4個セットで）／以上アンダーカバー

1ランク上のレイヤードカジュアルはブーツが肝

肩パットもかたくなく気張らずに着られるコートは、切りっぱなしのデザインといいまさにストリート育ち専用のアイテム。胸元に見えるアクセデザインのTシャツも、さり気なくお洒落をアピールするにはもってこいのテクニックです。当編集部員も予約済みのロングブーツで足元を決めれば、野暮ったくなくスタイリッシュなレイヤード達人に！　ちなみにこちらのロングブーツ、かすれ具合が本物のユーズドに見間違うほどの出来栄えです。

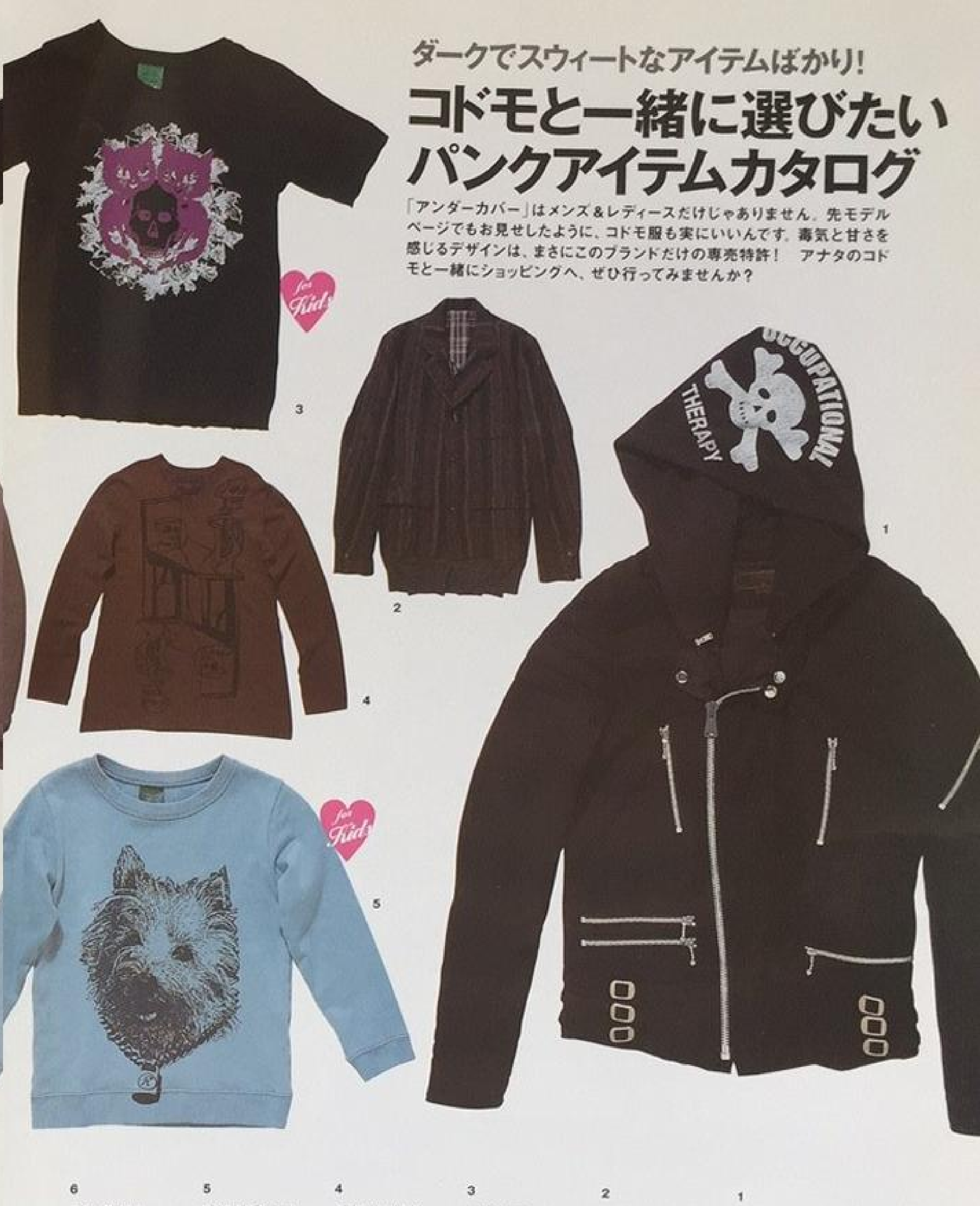
切り替えデザインが特徴のコート¥68,250、ストライプ柄のベスト¥35,700、インに着たTシャツ¥8,400、クラッシュ加工のデニムパンツ¥71,400、ロングブーツ¥71,400、ピンバッジ¥7,140（4個セットで）、レザーグローブ¥26,250、ストール¥16,800／以上すべてアンダーカバイズム



ダークでスウィートなアイテムばかり!

コドモと一緒に選びたいパンクアイテムカタログ

「アンダーカバー」はメンズ＆レディースだけじゃありません。先モデルページでもお見せしたように、コドモ服も実にいいんです。毒気と甘さを感じるデザインは、まさにこのブランドだけの専売特許！　アナタのコドモと一緒にショッピングへ、ぜひ行ってみませんか？



1
スウェットフード付ライダースブルゾン
アンダーカバイズムの得意とする切り替えデザインが最大の特徴。フードはスウェットでボディはコットンベース。しかも軽い！　多彩なジップ使いもカッコいいです。¥67,200

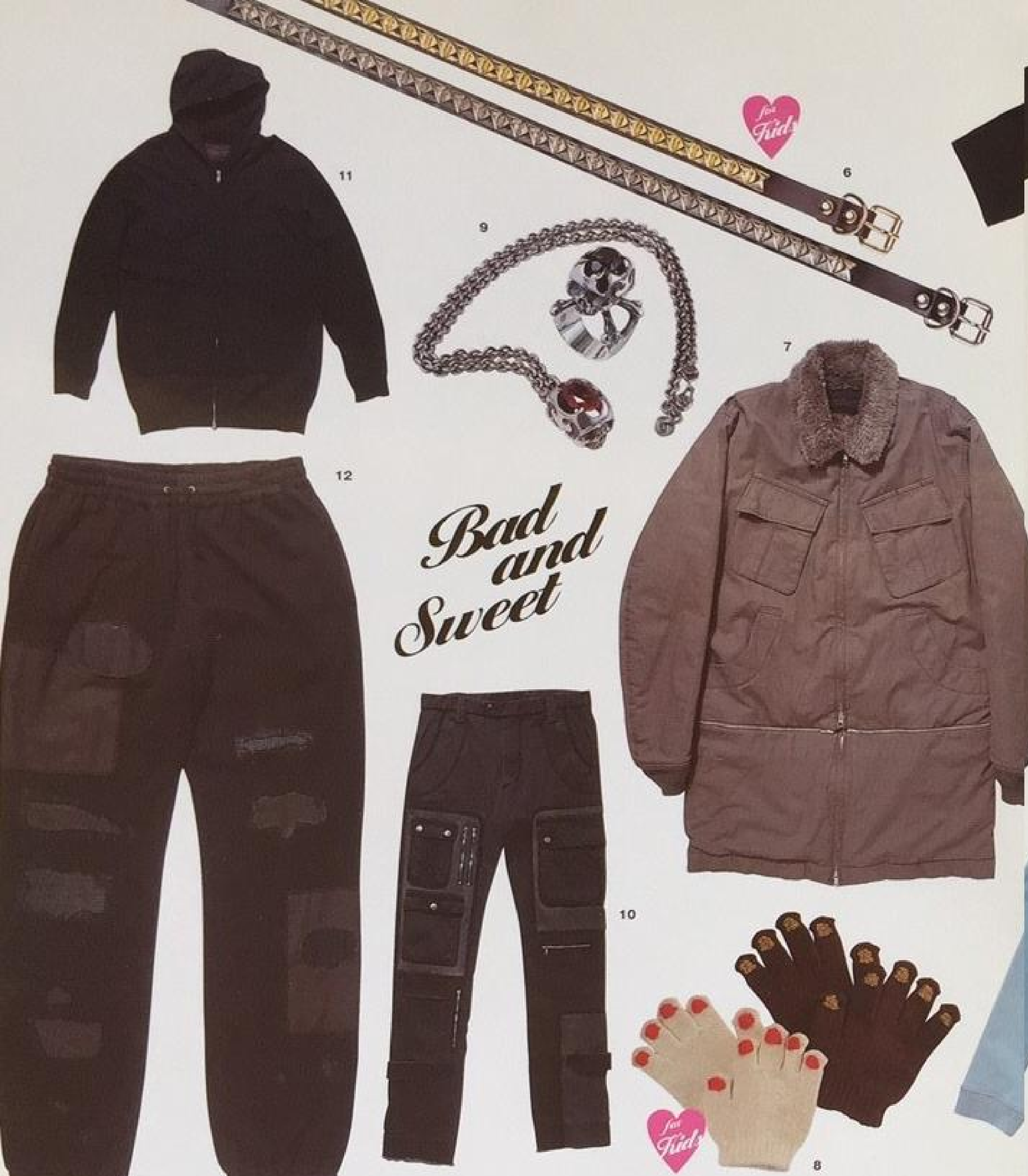
2
ウール×ニットのテーラードジャケット
襟部と背中の一部に薄手のニットをミックス。これにより、ただでさえ深みあるストライプウールが、ネオなクラシカルに見えるから不思議。ニット感覚で着られます。¥67,200

3
プリントTシャツ
実際にコドモがいる読者の方はご存知だと思いますが、コドモ服にはなぜか黒ベースのものが少ない。ましてやこんなプリントものはなおさら！　だからこそ買いです。¥4,725

4
スカルプリントのVネックロングニット
今季のコレクションテーマ「バッド・ビューティフル」からも連想しやすい、シルエットがきれいだが、プリントでダークさを表現しているロングニット。着心地も抜群。¥39,900

5
プリントスウェット
ヨーロッパテイストなドッグアートを全面にプリントしたスウェットは、薄手なので何かとかさばるコドモの重ね着スタイルにも、すんなりと合わせられます。¥10,500

6
スタッズベルト
オトナの特権ともいうべきスタッズものをコドモ服用にも作る、というあたりがここならでは！　ゴールドとシルバーの2タイプを用意。アナタのコドモはどっち？　各¥7,140



7
ミリタリー風のロングコート
裾に入ったジップで取り外し、付属のリブを付けるとショートブルゾンにもなってくれる非常に便利なロングコート。裏地には温かいボアを使用。オススメです。¥67,200

8
フェイクニットの手袋
マニキュアを塗ったデザインがキッチュでなんとも遊び心ある！　ガールがいるアナタは、2枚とも揃えるのがベスト。その日の気分によって色をセレクトさせてみては。各¥4,725

9
スカルリング＆スカルネックレス
マジカルデザインとの秋冬新作コラボがこちら。リング（¥71,400）にはスモーキークウォーツが。ネックレス(¥47,250）にはシンセティックルビーが埋め込んであります。

10
ミリタリー風のコットンパンツ
ポケットがパンツそのものに同化して見える斬新なパンツ。シルエットは細身なので、合わせる靴はロングブーツがオススメ。インにしてはくとさらにお洒落に決まる。¥48,300

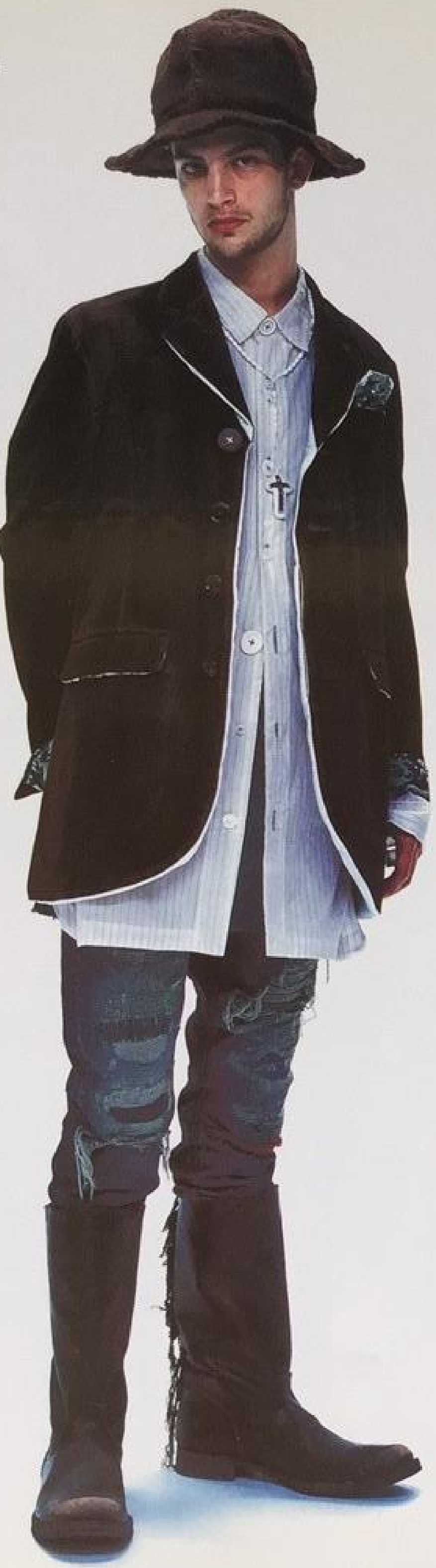
11
スウェットパーカ
ここの真骨頂ともいうべきのダークな印象のブラックのパーカ。見た目以上にシルエットは細め。ジャケットのインに使うといいかも。素材は主にコットンを使用。¥46,200

12
クラッシュ加工のスウェットパンツ
本誌編集部員も見た瞬間に予約を入れたアイテム。無駄に太くなく、でも細すぎずと絶妙なシルエットを実現。でも一番はこの加工技術。このレベル、他ではそうありません。¥33,600

クレジット表記について）for KIDSの商品はアンダーカバー。他はすべてアンダーカバイズムです。

UNDERCOVERISM

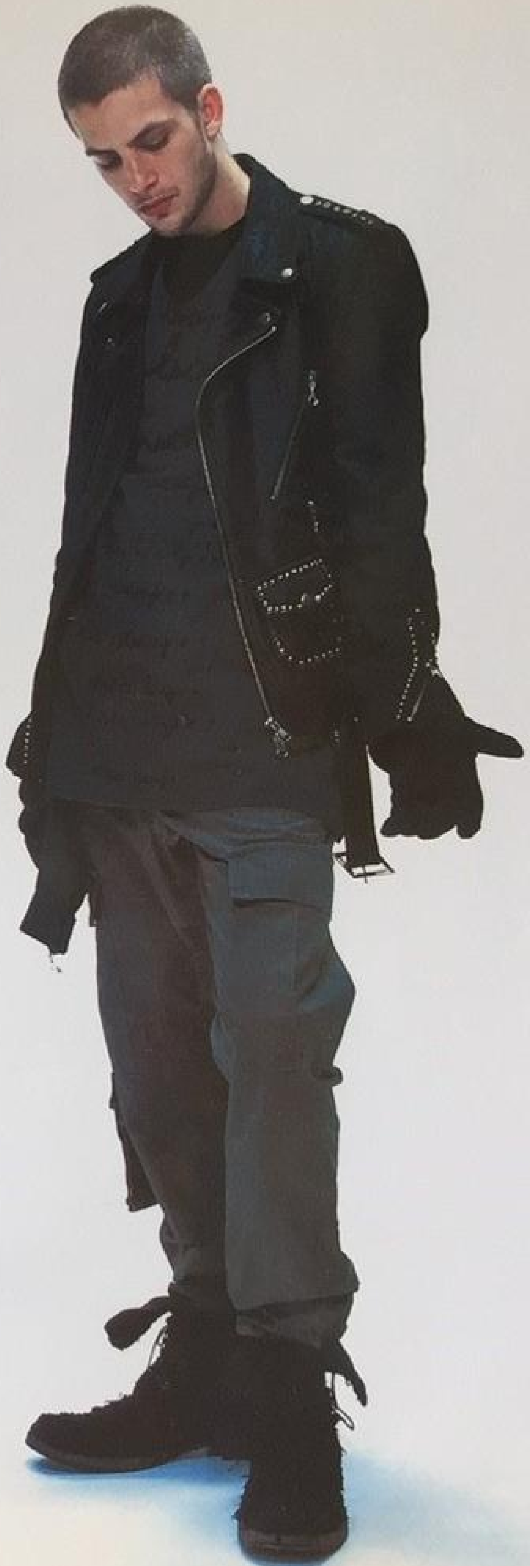
アンダーカバイズム



上級セレブカジュアルのお手本的コーディネイト

お洒落セレブ、ジャミロ・クワイを彷彿させるようなレイヤードスタイル＆コットンハットが渋い。パイピングがスパイスになっているジャケットは、サイドに大きくベンツが入っており、フロント・サイド・バックと、それぞれの面で見せる表情が違うのが特徴だ。メンズブランドは、レディースブランドに比べ、意外と着回しで使えるモノが少ないんですが、「アンダーカバイズム」は違う。ベースをレディースに置いてるので、レイヤードスタイルの計算、アイテム単体としての活用度などが他のブランドに比べ非常に高い！　お得意のダメージ加工を施したデニムパンツは、ユーズド加工の限界に挑戦したかのような、"破れ"感が絶妙です。

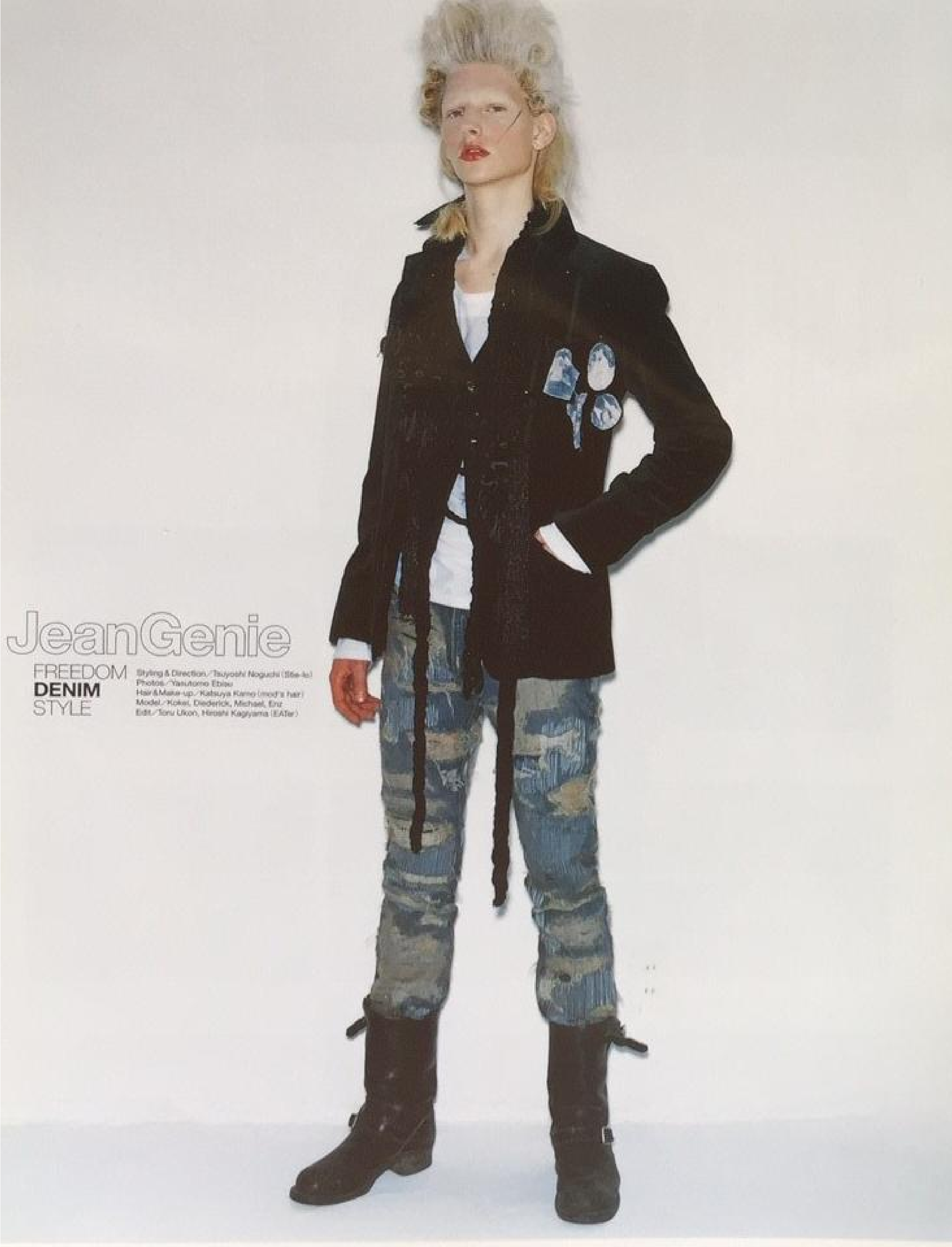
ベルベットジャケット¥69,300、ピンストライプのシャツ¥39,900、パッチワークのロングスリーブカットソー¥33,600、ダメージ加工のデニムパンツ¥71,400、布のクロスネックレス¥14,700、コットンハット¥44,100、後ろに飾りの付いたレザーロングブーツ¥73,500／以上すべてアンダーカバイズム（アンダーカバイズム）



永遠の定番として使いたいライダースブルゾンが最高

上質なライダースジャケットには特に定評がある「アンダーカバイズム」。レディースのコレクションテーマである、まさに"BUT BEAUTIFUL"のような雰囲気がこのアイテムだ。ポケットから袖まで打ち込まれたスタッズ、エポーレットに入った石など、ライダースをファッションに変えたデザインセンスは、見た瞬間、素直にカッコいいと言える代物。Wタイプなのに全然野暮ったくない！　本誌編集部員もヤラれました(笑)。ミリタリーパンツも、ライダースジャケット同様、細かいところまで計算され尽くされており、膝下を絞め、数多く入ったポケットが大きなデザインアクセントになっている。本誌編集部も大絶賛のスタイルです。

ユーズド加工レザーのライダースジャケット¥168,000、ウールを使用したVネックのロングスリーブニット¥39,900、プリントTシャツ¥8,400、ミリタリーパンツ¥44,100、ユーズド加工レザーのグローブ¥26,250、ラムのバックスキンの編み上げブーツ¥63,000／以上すべてアンダーカバイズム（アンダーカバイズム）

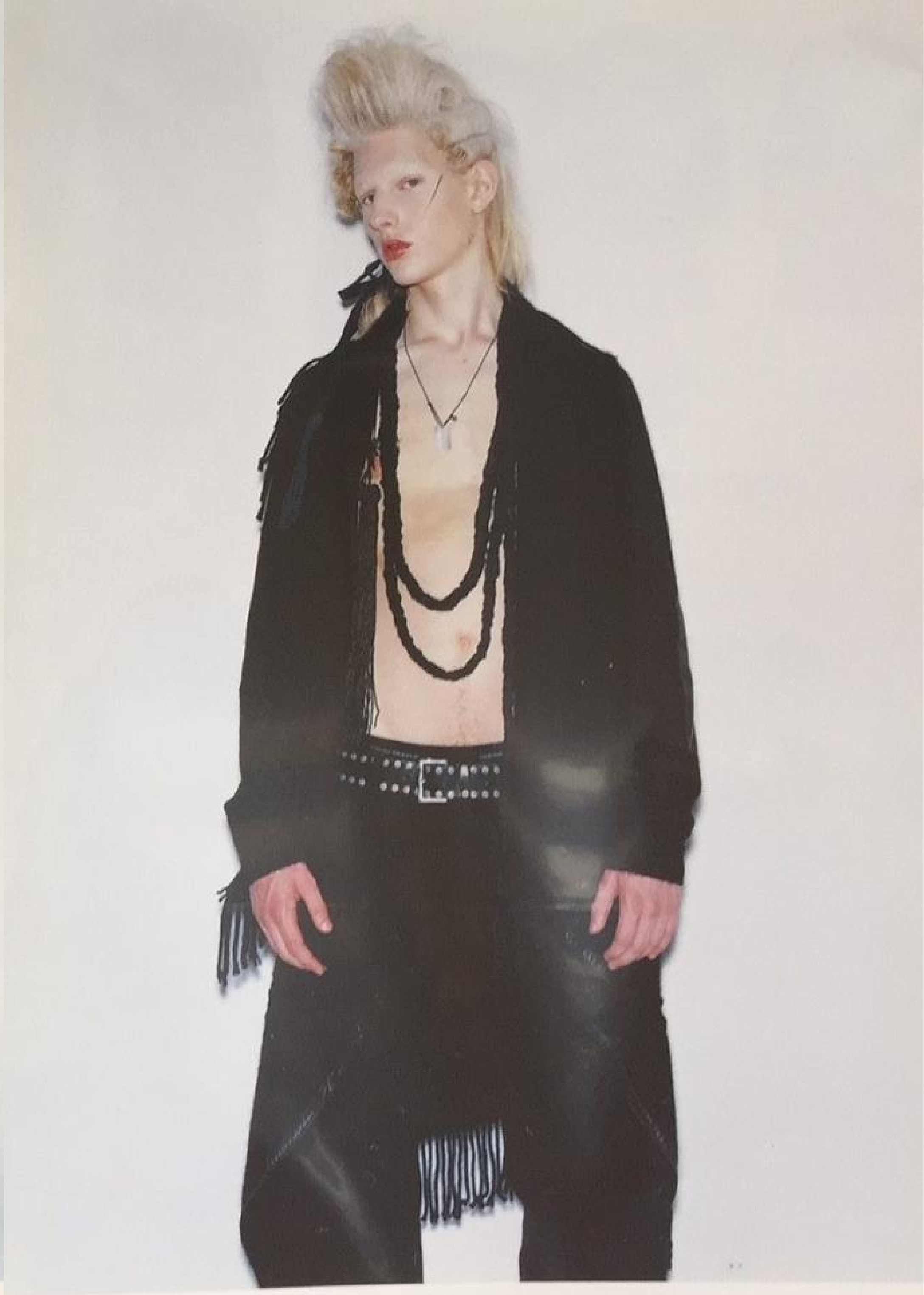


JeanGenie

FREEDOM
DENIM
STYLE

Styling & Direction／Tsuyoshi Noguchi (Sise-lo)
Photos／Yasutomo Ebisu
Hair & Make-up／Katsuya Kamo (mod's hair)
Model／Kokei, Diederick, Michael, Enz
Edit／Toru Ukon, Hiroshi Kagiyama (EATer)

〈UNDERCOVERISM〉のデニムパンツ¥89,250（UNDERCOVERISM）〈アンドゥムルメステール〉のジャケット¥126,000、ベスト¥52,500、ロングスリーブシャツ¥26,250、ワッペン各¥4,750、ネックレス¥63,000、首にかけたベルト¥178,500（すべてオリゾンティ） ユーズドのブーツ¥16,590（Linco）



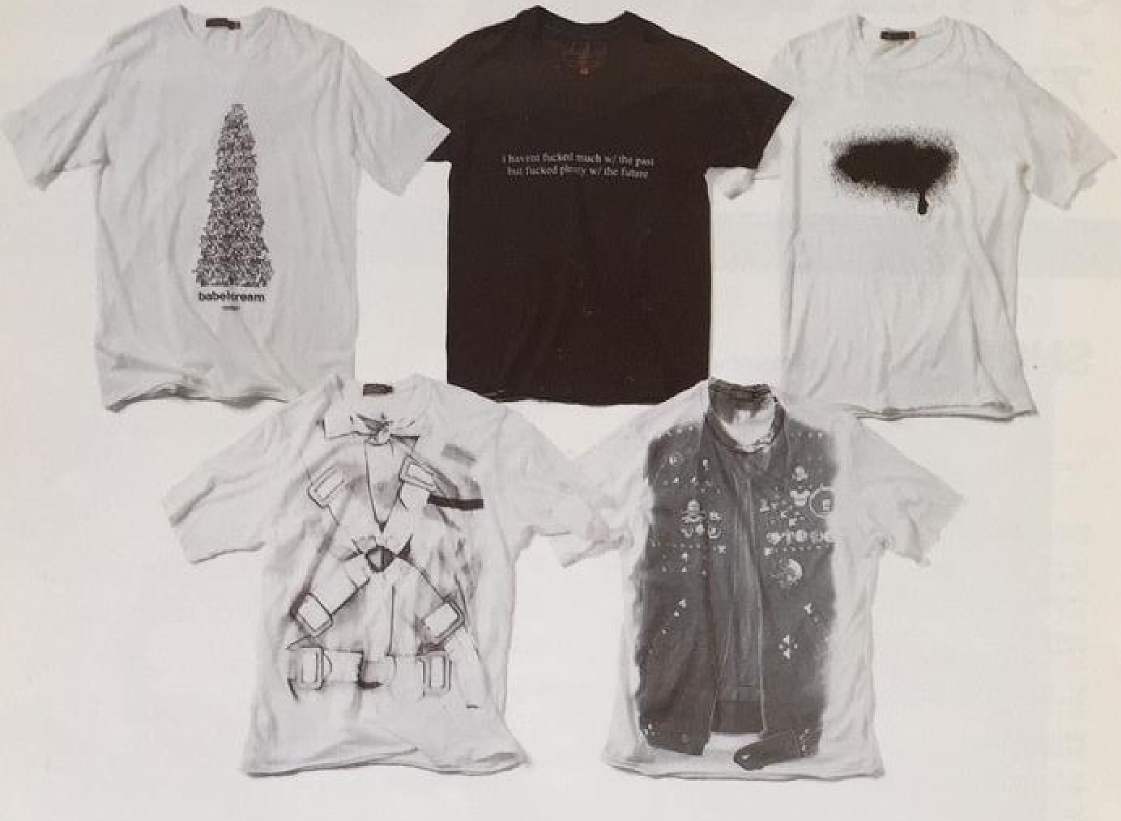
〈ナンバーナイン〉のストレッチデニムパンツ¥25,200（NUMBER (N)INE）〈UNDERCOVERISM〉のストールジャケット¥157,500、ネックレス¥14,700、〈アンドゥムルメステール〉の黒のネックレス¥63,000（オリゾンティ）〈ブレッジ〉のベルト・参考商品（ブレッジ）アンダーウエア¥6,090（すべてUNDERCOVERISM）

野口強の Tシャツ番長 入魂記

Fashion Direction／Tsuyoshi Noguchi (Stie-lo)　Text／Toru Ukon　Title／鵜舟
Photos／Koutaro Kikuta

#017　UNDERCOVERISM & AFFA

いよいよ、うっとうしい梅雨の季節がやってきました。雨が降ろうが槍が降ろうが、強さんが年中Tシャツなのは皆さんご存知でしょう。しかし、それだけではありません。実は足元もほぼ年中夏状態なのです。桜が散る頃にはすでにサンダル。一体何足持ってんだ？　というくらい毎日違った色のビルケンシュトック・ラムゼスを履いています（しかも、ほとんどスタッズ付き）。当然、雨でもビルケン。先日も演出家の若槻ヨッチャン善雄氏に「寒くないの？」と訊ねられ、一言「全然」と答えていました。水たまりも何のその、ズンズン大股で跨いで行きます。そろそろ、この企画も「Tシャツ番長」から「サンダル番長」に変えようか、という話もありましたが、秒で「却下」と言われました（まぁ、確かにそんなにサンダルの種類はないもんね）。そんなサンダル番長が今月ピックアップしたのは、高橋盾氏が手がける二つのブランド。中でも〈AFFA〉は本誌の藤原浩氏との対談から復活した懐かしのブランド。先日展示会で発表したばかりのTシャツをゲットするあたり、サンダル履きでもフットワークの良さは変わりありません。脱帽っす。


babeldream
i havent fucked much w/ the past
but fucked plenty w/ the future

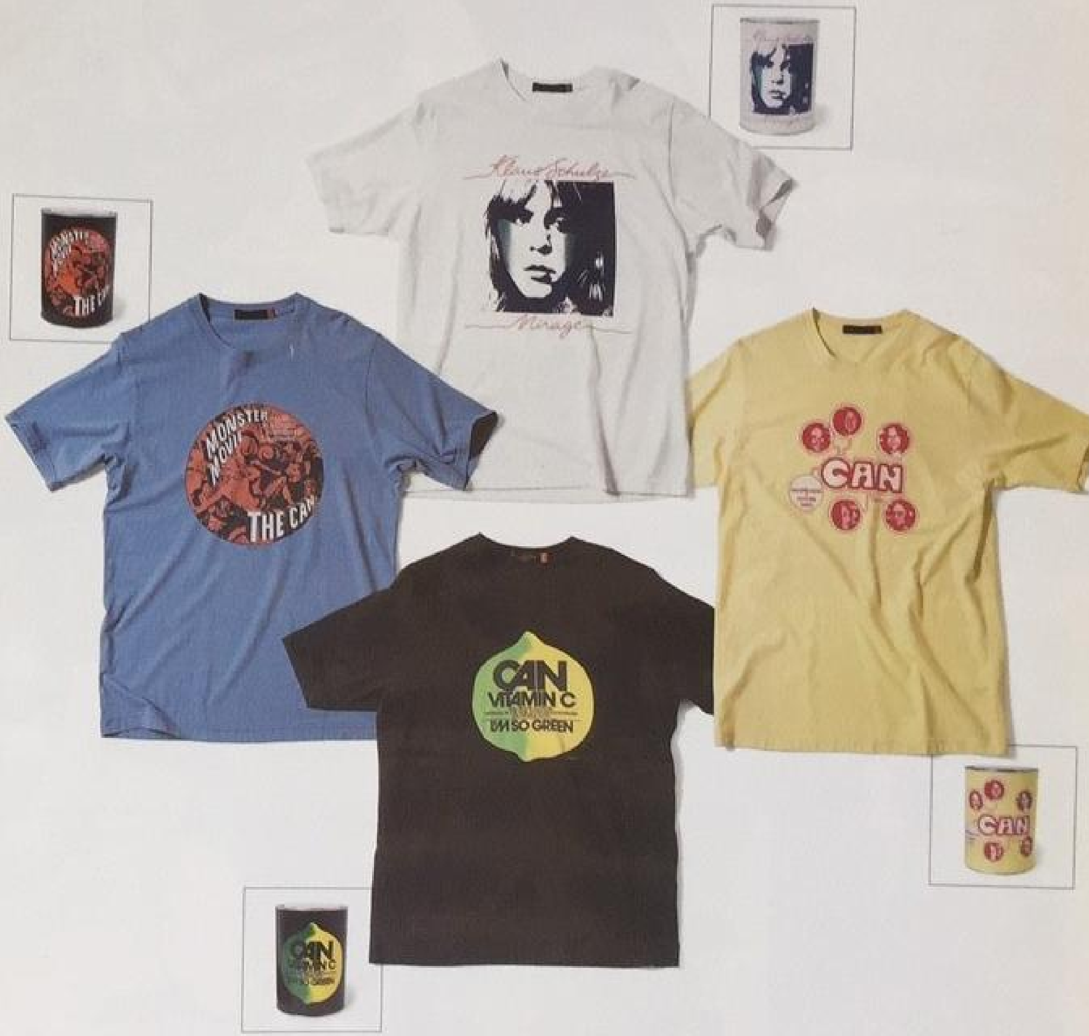
上段左から＿〈UNDERCOVERISM〉のTシャツ¥8,925、¥9,500、¥8,925
下段左から＿〈AFFA〉の転写プリントTシャツ、ともに¥12,600（すべてUNDERCOVERISM）

野口強の Tシャツ番長 入魂記

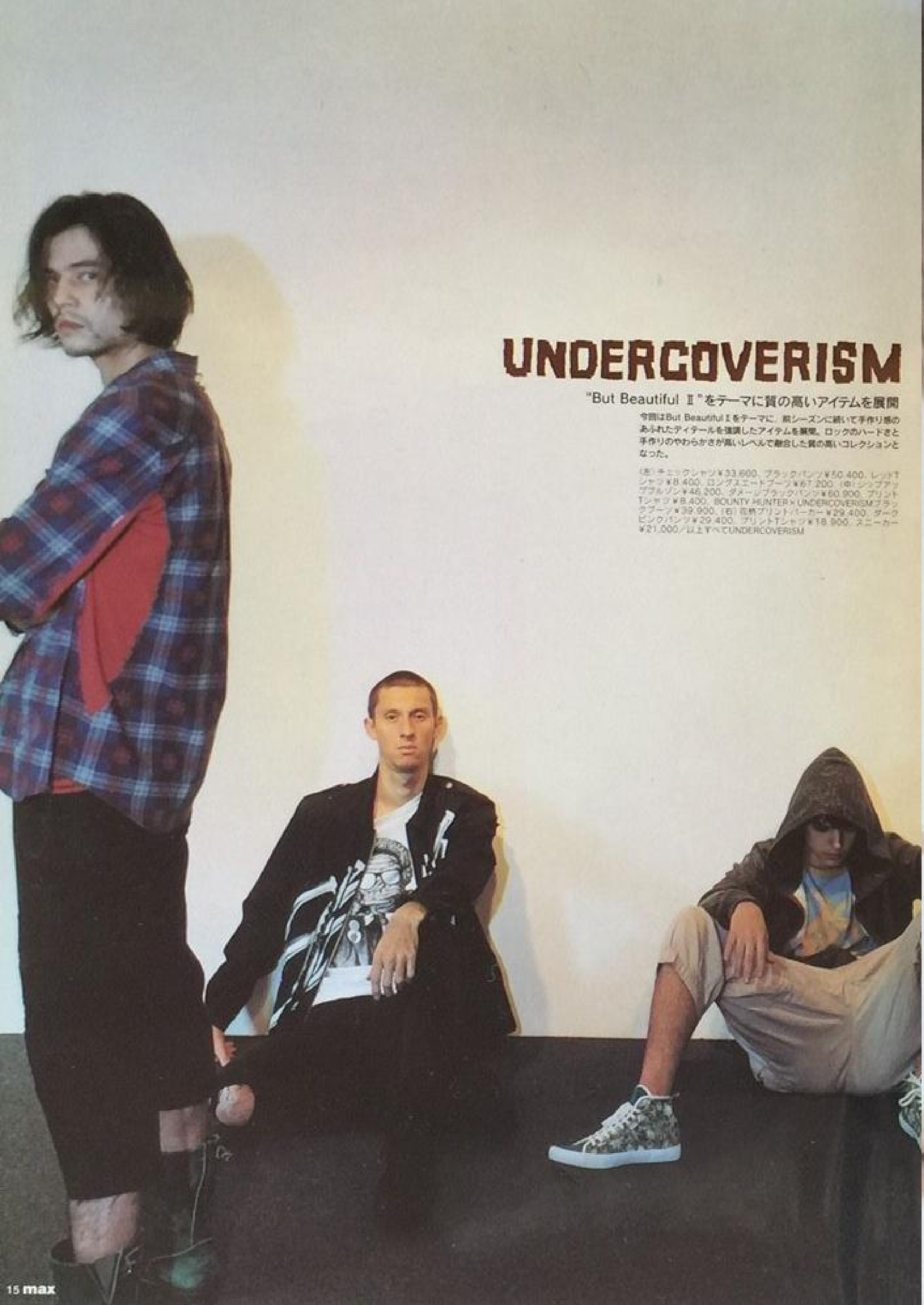
Fashion Direction／Tsuyoshi Noguchi (Stie-lo)　Text／Toru Ukon　Title／鵜舟
Photos／Koutaro Kikuta

#021　UNDERCOVERISM × CAN, KLAUS SCHULZE

突然強さんから提案された。「そろそろTシャツ番長もリニューアルしようよ」。Tシャツの代わりに何をやるのか尋ねると、出てきたのが「Yシャツ番長」。Yシャツって…。強さんがYシャツ着たとこ、見たことないっス。「いやいや、おたくの編集部にいるじゃん。Tシャツやスウェットの下からいつもYシャツの襟出している、予備校生スタイルのおじさんが」。うーん、誰のことやらさっぱり不明。当編集部には、そんなダサイ人はおりません。よって、却下。Tシャツ番長は未来永劫、連載継続です。で、今月は未来ではなく、過去にタイムスリップ。1968年にケルンでデビューしたジャーマン・ロックの雄「CAN」のTシャツ。バンド解散して30年も経った現在、あのアナーキーなバンドのTシャツを何と"オフィシャル"として復活させたのは〈アンダーカバイズム〉の高橋盾氏。ホルガー・シューカイ、イルミン・シュミット等の他にダモ鈴木という日本人からなるこの伝説のロックバンド。その初期のアルバムなどをモチーフにしたヴィジュアルをTシャツに落とし込んだ。同じく、70年代のドイツのバンドであるクラウス・シュルツの「ミラージュ」をモチーフにしたプリントも同時リリース。強さんとYシャツの関係は薄いけど、モードとロックの関係はますます深まりつつある昨今です。



「UNDERCOVERISM」のTシャツ、すべて特製TIN CAN入りで¥10,500
このページの商品に関するお問い合わせはすべてUNDERCOVERISM ☎03-5778-4805

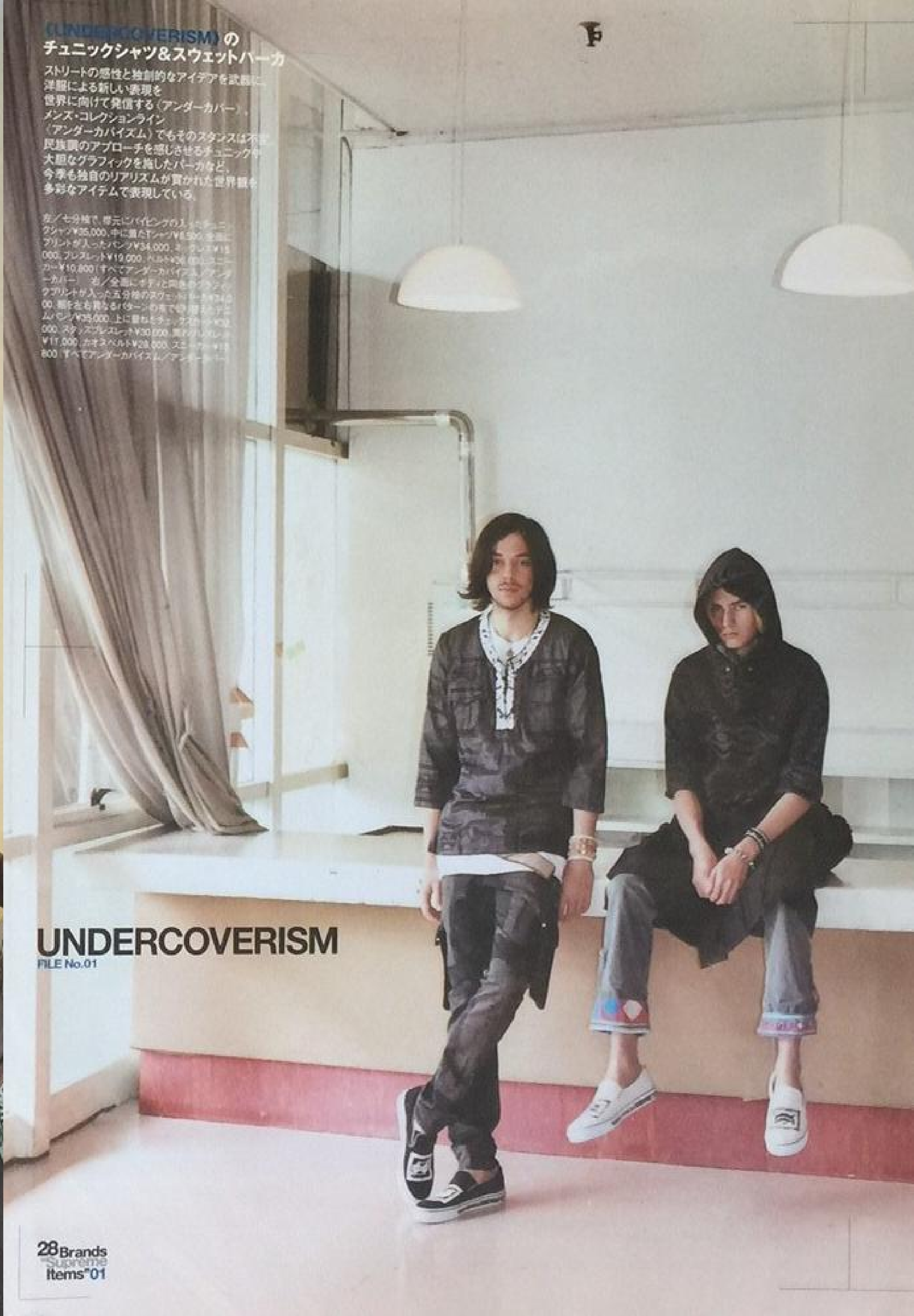


UNDERCOVERISM

“But Beautiful Ⅱ”をテーマに質の高いアイテムを展開

今回はBut Beautiful Ⅱをテーマに、前シーズンに続いて手作り感のあふれたディテールを強調したアイテムを展開。ロックのハードさと手作りのやわらかさが高いレベルで融合した質の高いコレクションとなった。

(左)チェックシャツ¥33,600、ブラックパンツ¥50,400、レッドTシャツ¥8,400、ロングスエードブーツ¥67,200 (中)ジップアップブルゾン¥46,200、ダメージブラックパンツ¥60,900、プリントTシャツ¥8,400、BOUNTY HUNTER×UNDERCOVERISMブラックブーツ¥39,900、(右)花柄プリントパーカー¥29,400、ダークピンクパンツ¥29,400、プリントTシャツ¥18,900、スニーカー¥21,000／以上すべてUNDERCOVERISM

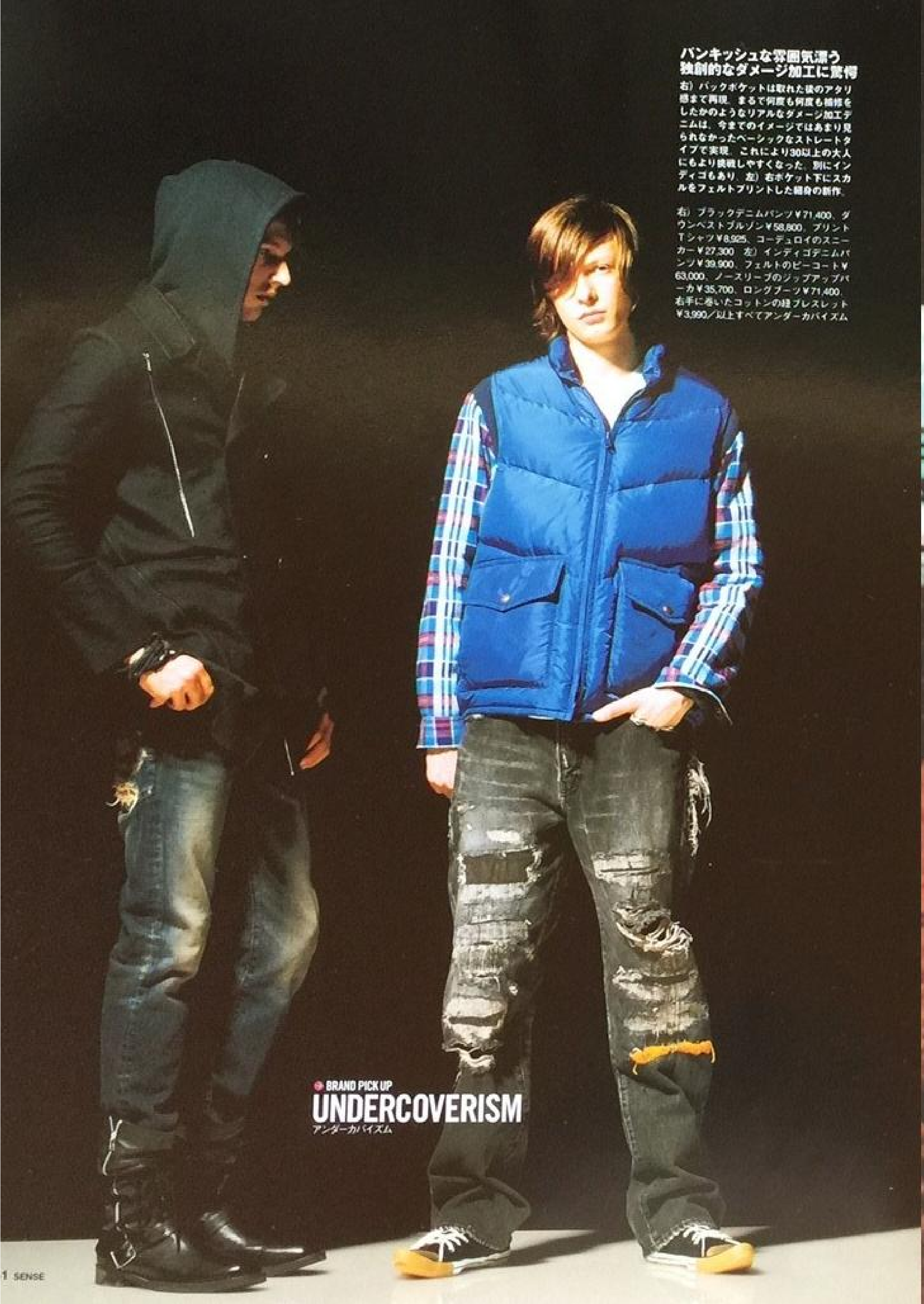


〈UNDERCOVERISM〉の チュニックシャツ＆スウェットパーカ

ストリートの感性と独創的なアイデアを武器に、洋服による新しい表現を世界に向けて発信する〈アンダーカバー〉。メンズ・コレクションライン〈アンダーカバイズム〉でもそのスタンスは不変。民族調のアプローチを感じさせるチュニックや大胆なグラフィックを施したパーカなど、今季も独自のリアリズムが貫かれた世界観を多彩なアイテムで表現している。

左／七分袖で、襟元にパイピングの入ったチュニックシャツ¥35,000、中に重ねたTシャツ¥6,500、全面にプリントが入ったパンツ¥34,000、ネックレス¥1[illegible]000、ブレスレット¥19,000、ベルト¥[illegible]、スニーカー¥10,800（すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー） 右／全面にボディと同色のグラフィックプリントが入った五分袖のスウェットパーカ¥34,000、[illegible]パターンの[illegible]デニムパンツ¥35,000、上に重ねたチェックスカート¥[illegible]000、スタッズブレスレット¥30,000、[illegible]¥17,000、カオスベルト¥28,000、スニーカー¥[illegible]800（すべてアンダーカバイズム／アンダーカバー）

UNDERCOVERISM
FILE No.01



パンキッシュな雰囲気漂う独創的なダメージ加工に驚愕

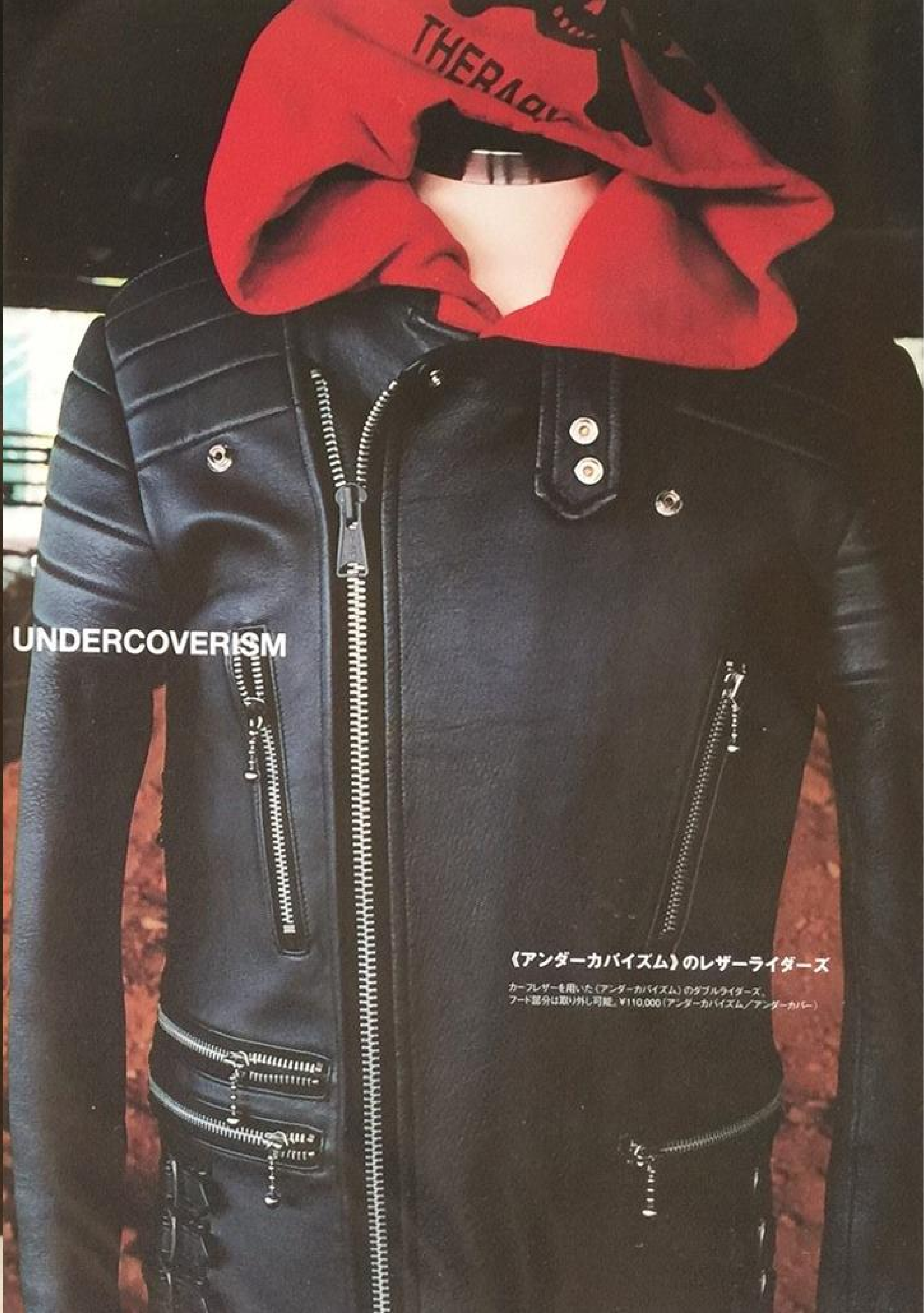
右）バックポケットは取れた後のアタリ跡まで再現。まるで何度も何度も補修をしたかのようなリアルなダメージ加工デニムは、今までのイメージではあまり見られなかったベーシックなストレートタイプで実現。これにより30以上の大人にもより挑戦しやすくなった。別にインディゴもあり。左）右ポケット下にスカルをフェルトプリントした細身の新作。

右）ブラックデニムパンツ¥71,400、ダウンベストブルゾン¥58,800、プリントTシャツ¥8,925、コーデュロイのスニーカー¥27,300　左）インディゴデニムパンツ¥39,900、フェルトのピーコート¥63,000、ノースリーブのジップアップパーカ¥35,700、ロングブーツ¥71,400、右手に巻いたコットンの紐ブレスレット¥3,990／以上すべてアンダーカバイズム

BRAND PICK UP

UNDERCOVERISM

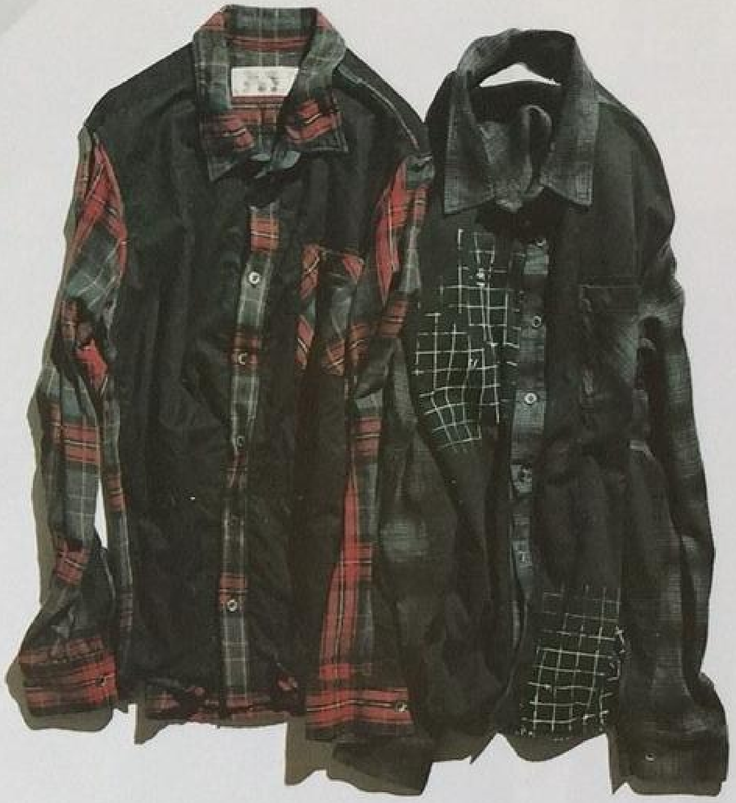
アンダーカバイズム



UNDERCOVERISM

《アンダーカバイズム》のレザーライダーズ

カーフレザーを用いた〈アンダーカバイズム〉のダブルライダーズ。
フード部分は取り外し可能。¥110,000（アンダーカバイズム／アンダーカバー）

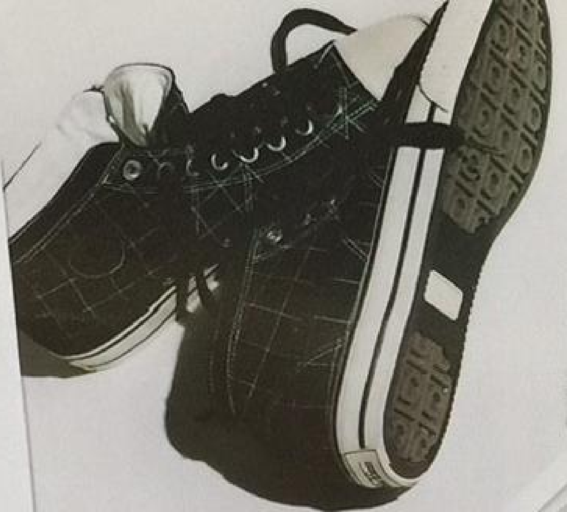


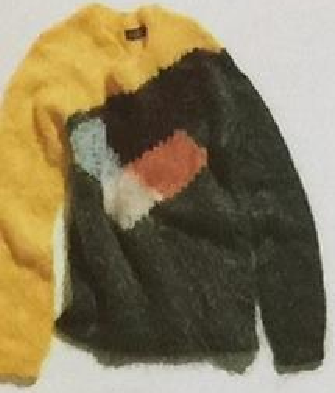
AFFA
re-rising

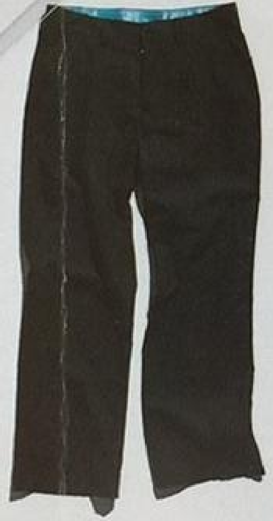
藤原ヒロシと高橋盾によるレーベル〈AFFA〉が
長き休止期間を経て、ついに再始動。
今から一年前、本誌での二人の対談に端を発した
プロジェクトが現実のものとなった。
Anarchy Forever, Forever Anarchy
――その意志が変わることはない。

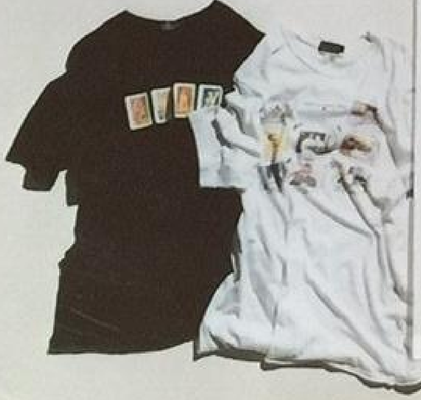
Photos／Yoshio Kato　Composition／Yasuyuki Takagi (TEAM)

right page.. **check shirt** : **gray×black ¥33,600／gray×red ¥33,600**
left page.. **sneaker** (double-name with〈VISVIM〉) **¥27,300**
mohair knit ¥33,600　striped pants ¥27,300
t-shirt : **white ¥12,600／black ¥12,600**（すべて〈AFFA〉／UNDERCOVERISM）

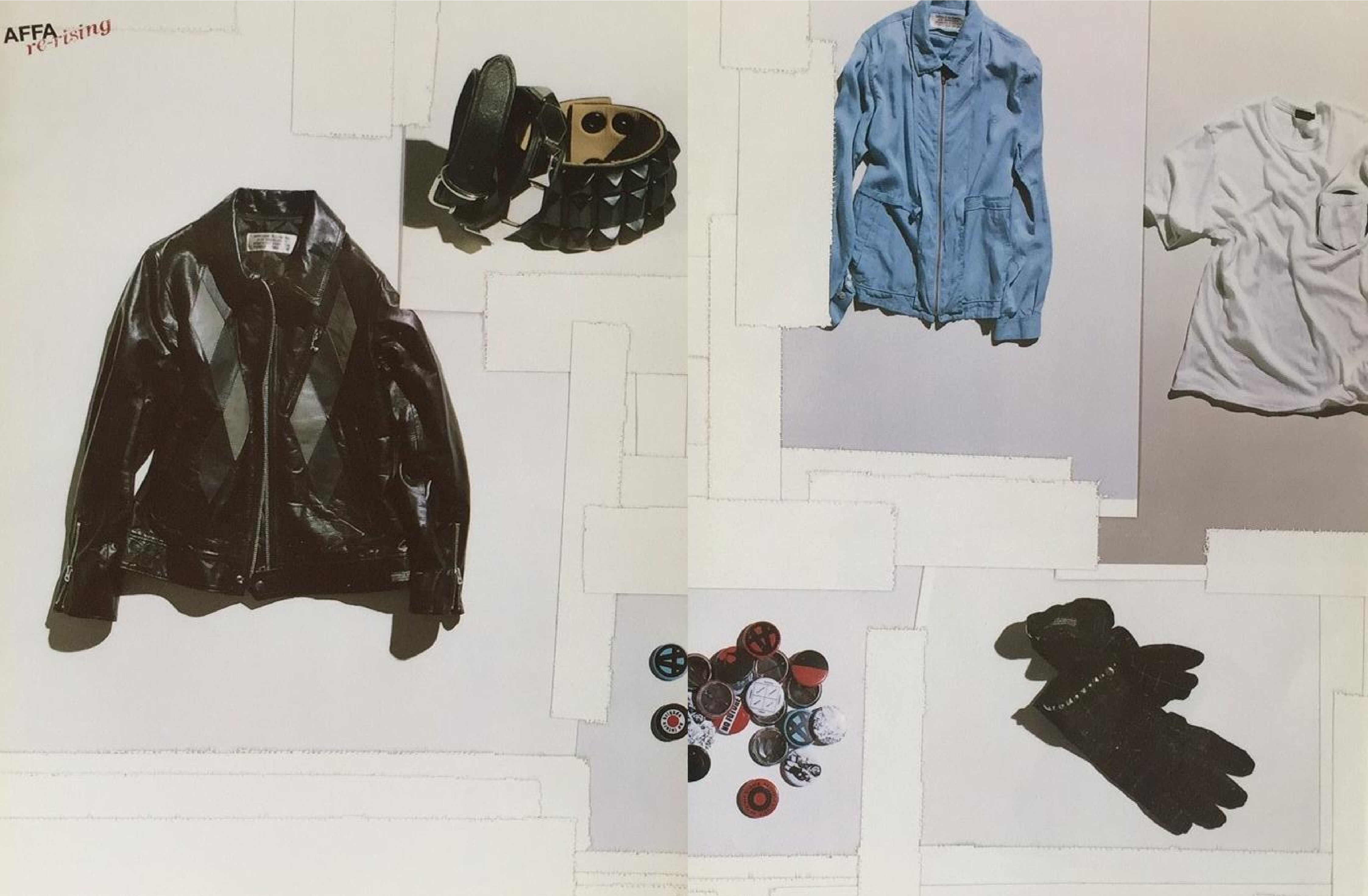






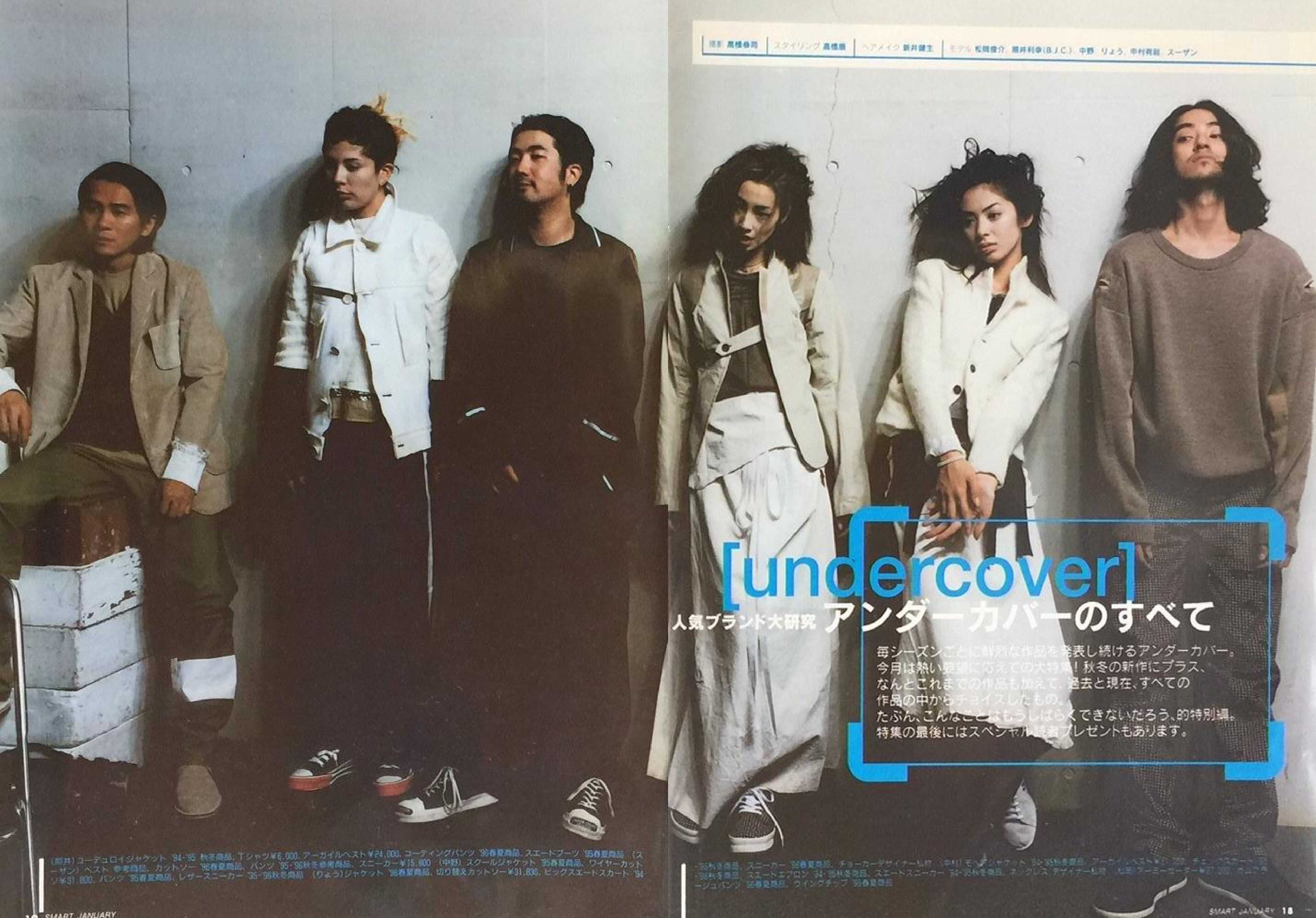


AFFA *re-rising*



right page… **pocket t-shirt ¥8,400 swingtop ¥33,600 glove ¥22,050**
a set of badges : 120pieces ¥18,900 (1piece ¥210)
left page… **wristband** (double-name with 〈PEEL&LIFT〉) : **silver×black ¥13,650／black×black ¥16,800**
leather blouson ¥89,250 〔すべて〈AFFA〉／UNDERCOVERISM〕

撮影 高橋恭司　スタイリング 高橋靖　ヘアメイク 新井健生　モデル 松岡俊介、照井利幸(B.J.C.)、中野、りょう、中村有起、スーザン

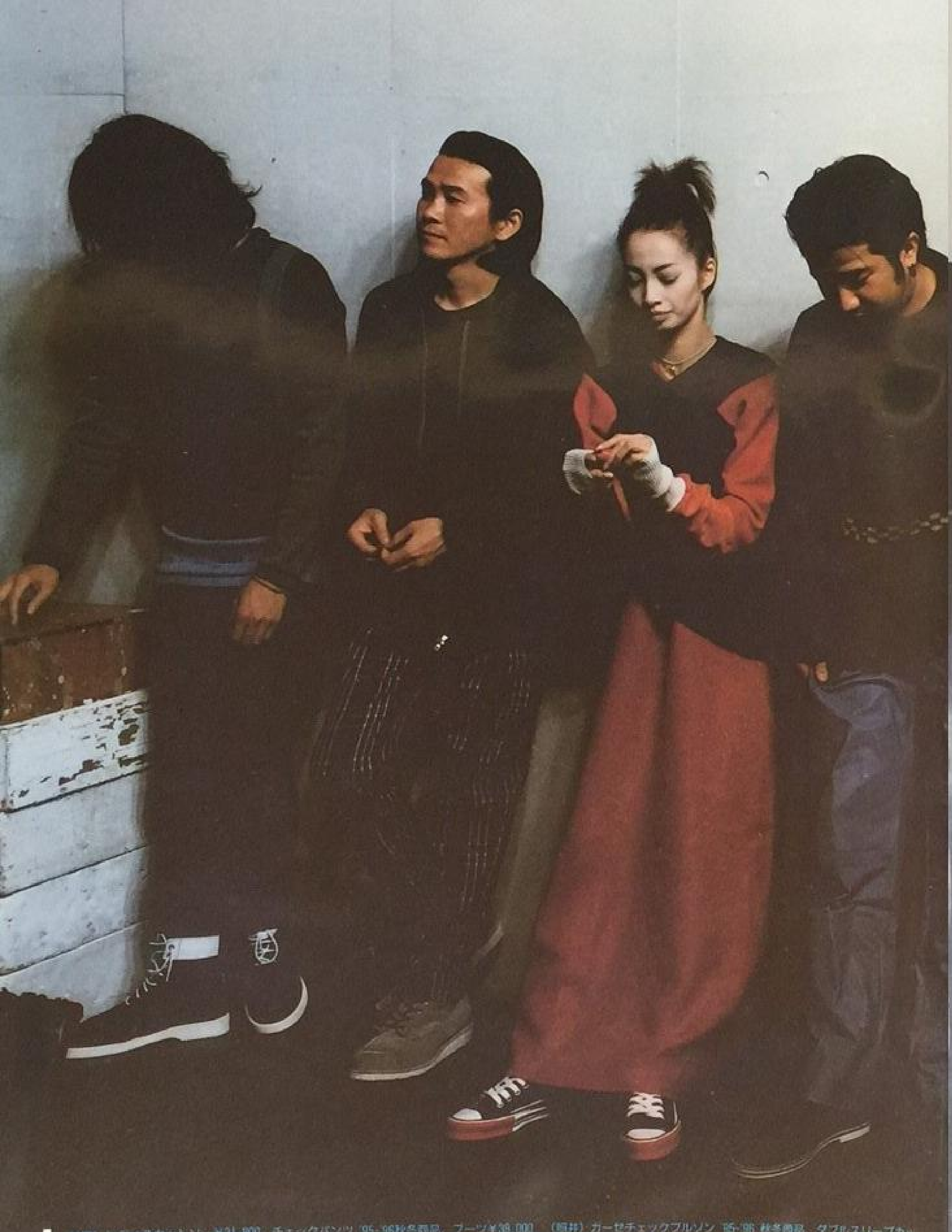


[undercover]

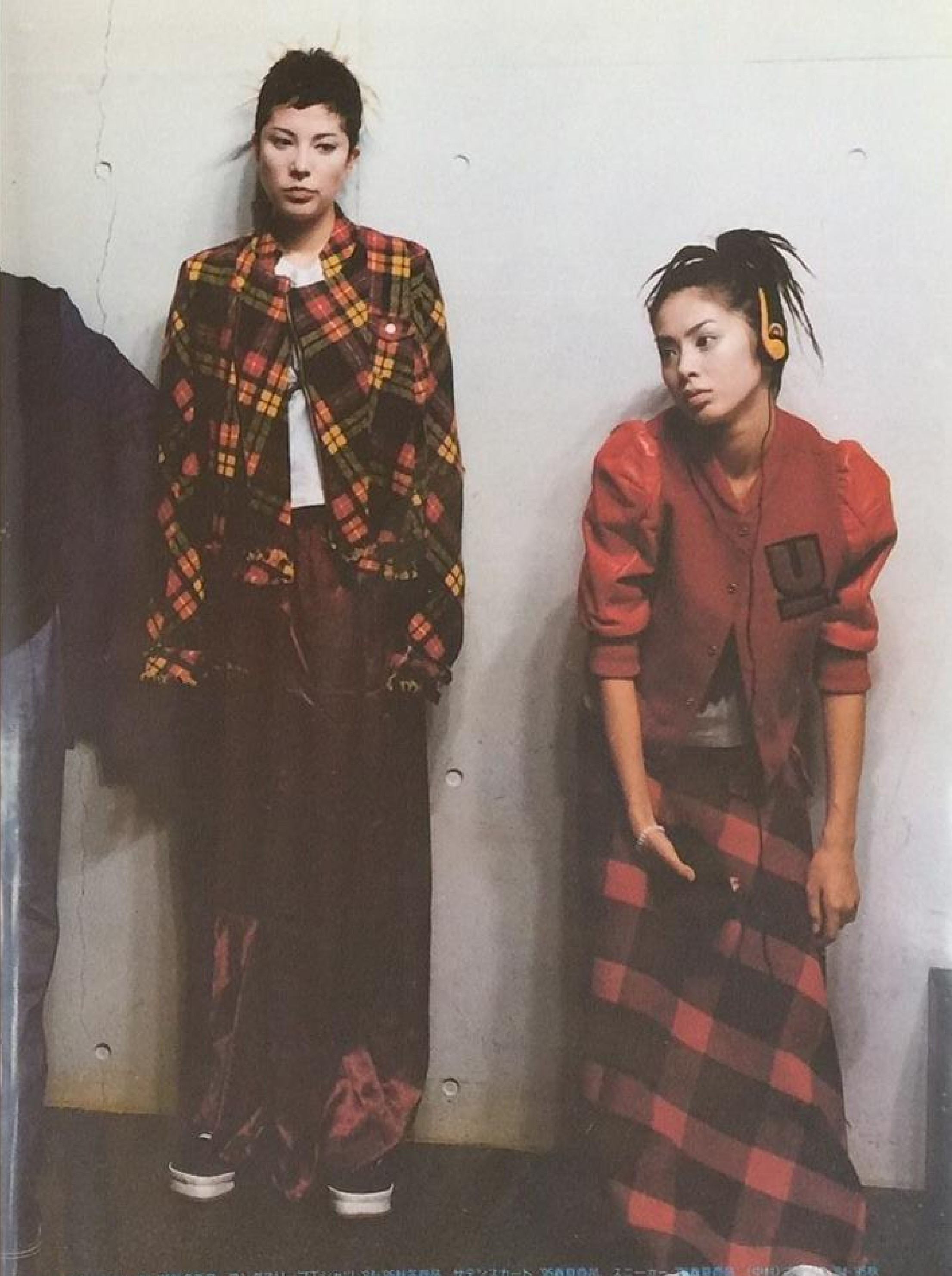
人気ブランド大研究 アンダーカバーのすべて

毎シーズンごとに鮮烈な作品を発表し続けるアンダーカバー。
今月は熱い要望に応えての大特集！秋冬の新作にプラス、
なんとこれまでの作品も加えて、過去と現在、すべての
作品の中からチョイスしたもの。
たぶん、こんなことはもうしばらくできないだろう、的特別編。
特集の最後にはスペシャル読者プレゼントもあります。

(照井)コーデュロイジャケット '94-'95 秋冬商品、Tシャツ¥6,000、アーガイルベスト¥24,000、コーティングパンツ '96春夏商品、スエードブーツ '95春夏商品 (スーザン)ベスト 参考商品、カットソー '96春夏商品、パンツ '95-'96秋冬参考商品、スニーカー¥15,800 (中野)スクールジャケット '95春夏商品、ワイヤーカットソー¥31,800、パンツ '95春夏商品、レザースニーカー '95-'96秋冬商品 (りょう)ジャケット '96春夏商品、切り替えカットソー¥31,830、ビッグスエードスカート '94-'95秋冬商品、スニーカー '96春夏商品、チョーカーデザイナー私物 (中村)モヘアジャケット '94-'95秋冬商品、アーガイルベスト¥31,000、チェックスカート '95-'96秋冬商品、スエードエプロン '94-'95秋冬商品、スエードスニーカー '94-'95秋冬商品、ネックレス デザイナー私物 (松岡)アーミーセーター¥27,000、カムフラージュパンツ '95春夏商品、ウイングチップ '95春夏商品



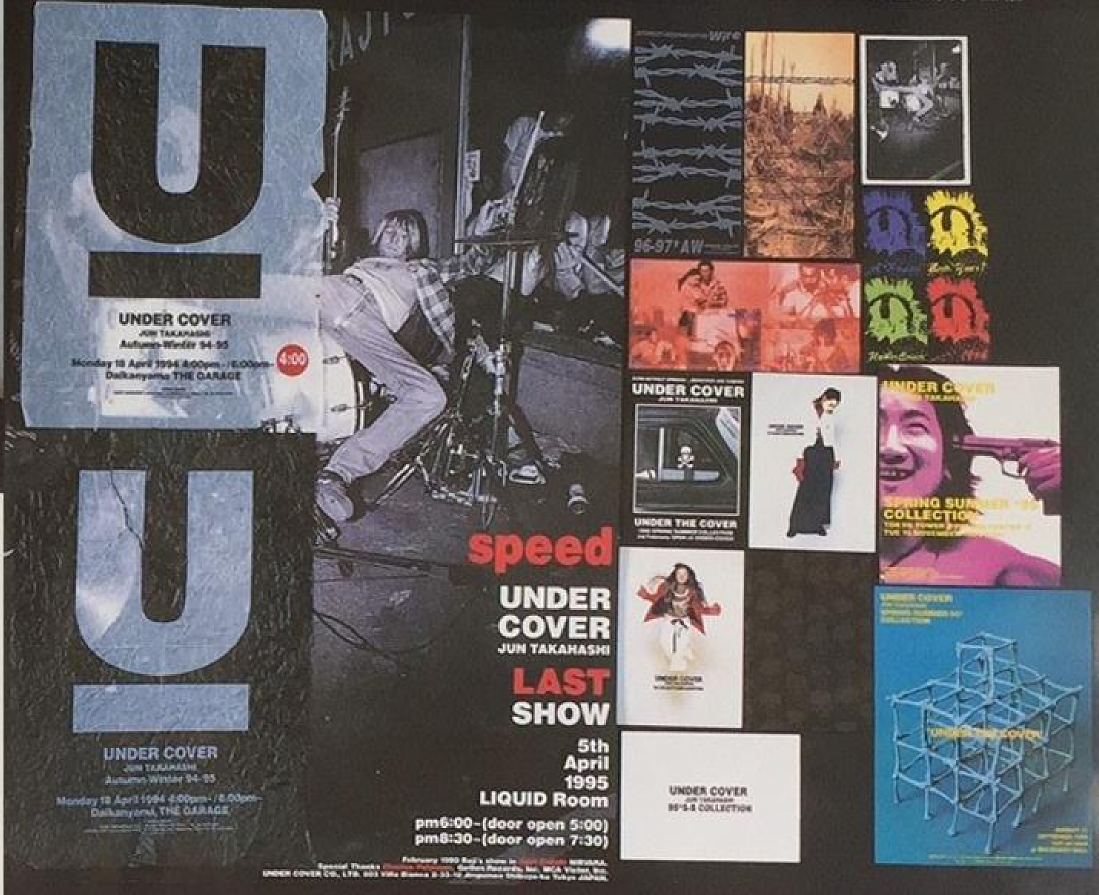
（松岡）レディスカットソー¥31,800、チェックパンツ '95-'96秋冬商品、ブーツ¥38,000 （桜井）ガーゼチェックブルゾン '95-'96 秋冬商品、ダブルスリーブカットソー '96春夏商品、タータンチェックパンツ¥24,000、スエードブーツ '96春夏商品 （りょう）カットソー '95-'96秋冬参考商品、モヘアワンピース '94-'95秋冬商品、スニーカー¥15,800 （中野）フェルトジャケット '95-'96秋冬商品、セーター¥36,000、レザーパンツ '95-'96秋冬商品、スエードブーツ '95春夏商品 （スーザン）



チェックジャケット '94-'95秋冬商品、ロングスリーブTシャツ '94-'95秋冬商品、サテンスカート '95春夏商品、スニーカー '95春夏商品 （中村）[illegible] '94-'95秋冬商品、ノースリーブ '96春夏商品、チェックスカート '95-'96秋冬商品、レザースニーカー '95-'96秋冬商品

[undercover] 高橋盾ロングインタヴュー

撮影／高橋恭司（人物）、渡辺浩（物）、イラスト／高橋盾、取材・文／編集部


UNDER COVER
JUN TAKAHASHI
Autumn-Winter 94-95
Monday 18 April 1994 4:00pm-/6:00pm-
Daikanyama THE GARAGE
4:00
speed
UNDER COVER
JUN TAKAHASHI
LAST SHOW
5th April 1995
LIQUID Room
pm6:00-(door open 5:00)
pm8:30-(door open 7:30)
96-97 AW
UNDER COVER
UNDER THE COVER
SPRING SUMMER '96 COLLECTION
UNDER COVER 95'S-S COLLECTION

—ピストルズのことから聞かせて下さい。最初に聞いたのっていつですか？

「えーっと、小学校5年の時ですか。音的にはクラッシュとか聞いてたんですけど。ピストルズはまず名前がすごいなって思って」

—小学生には刺激が強いですよね。

「名前とレコードジャケット、ロゴが黄色とピンクの、あれがショックで。パンクがどうのとはわからずに聞いてましたね。まわりにそういう友達もいたし」

—でも、そういうのってクラスの中では少数派でしょう。

「そうですね。中一くらいで洋楽が流行ったけど、デュランとかニューロマンティックとかで、パンク聞いてる奴は少なかった」

—日本のバンドは？

「やっぱりアナーキーとかスターリンとか」

—もしかしたらゴリゴリのパンク少年だったのかな？

「う〜ん、そこまでじゃないと思うけど、でもやっぱり好きでかっこいいと思ってたのがパンクだったんで」

—その頃はどんなファッションでした？

「あんま覚えてないな。買い物はしてたけど。ただ自分で選んで買ってたっていう。わりと小さい頃から自分で選ばせてもらってたんで」

—そのくらいだと親が"これ着な"みたいな。

「そう、そういうのがいやで自分で買ってた記憶があるんで」

—好みがあったんだ。

「ありましたね」

—どういうのが？

「赤が好きでしたね。普通それぐらいの年の男の子はいやがりますよね。あと、シルバーのジャケットとか好きでした。親もよく分かんなかったんじゃないですか（笑）」

—バンドは？

「中学の時やってました。コピーで、何やってたかな、忘れちゃった」

—その頃の興味というと音楽と洋服と…。

「絵と、あと映画。小学校の頃から松田優作が好きだったんで、友達と見に行って。『探偵物語』とかがっかりして帰ってきましたけど（笑）。村川監督の『凶弾』とかすごい好きでしたね」

—絵は好きで描いてたんですか。

「小さい頃から教室に行かされてたんですよ。小学校1年生から6年間。自分で描くのも好きだったんで」

—じゃあコンクールで賞獲ったりとか。

「すごい獲ってました。賞状いっぱいあります」

—中学生くらいって夜遊び覚えたりするじゃない、そういうのは？

「友達の家に泊まってたぐらい。田舎だから夜出るところもないし」

—バイクで走ったりとかは。

「そういうのはいっさい。不良の友達多かったけど、仲良かった奴もそういうの嫌いだったし。"何だよあれ"みたいな。今だにそうですけど。つっぱり全盛の時期でしたけど、そういう格好もしなかったし」

—でもパンクファッションてあんまり売ってなかったでしょう。

「売ってないですね。だから最初はボロボロのジーパンにボーダーのTシャツとか。頭立てて、リストバンドしてたぐらい。ガーゼシャツとか初期のパンクな感じは高校後半。東京でセディショナリーズの再発とか買うようになって」

—高校時代は何に熱中してたんですか。

「ただのパンクですよ（笑）」

—（笑）何、ただのパンクって。

「同級生に珍しくパンク好きが多かったんですよ。物壊すとか、直接的な」

—デストロイ野郎？

「うん。で、ヤンキー的なつっぱりはいなくて、もっとロンドン的というか、そこがよかったのかな。そういう友達と音楽聞いたり遊んだり、悪さばっかりしてました」

—成績はよかったんですか？

「良かったです。高校入るまで普通かな。第2志望の高校だったんだけど、勉強すれば成績上

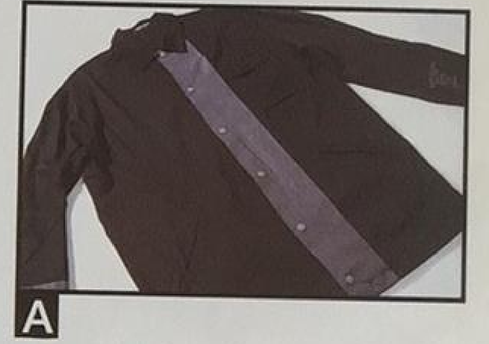
special present for smart boys

サンプルから1点物まで

［〆切り/12月24日(火)必着
発表/3月号(1月24日発売)］

アンダーカバー
スペシャル読者プレゼント

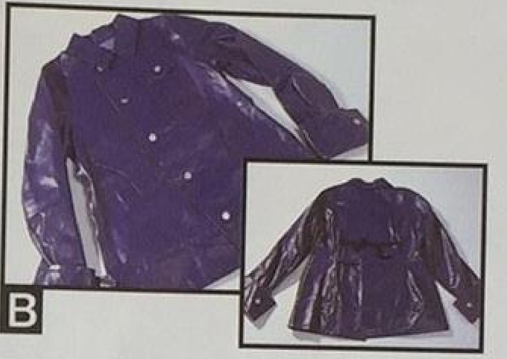
photo by
HIROSHI WATANABE



A

**A／ウィンドブレーカー
（１名様）**

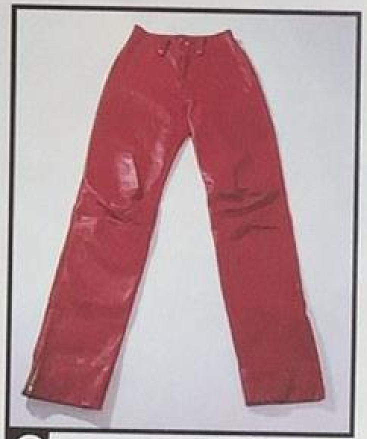
'95春夏コレクションのメンズ・ウィンドブレーカー。黒×グレーのコットン素材で袖にロゴがプリントされている。



B

**B／レザー・ブルゾン
（１名様）**

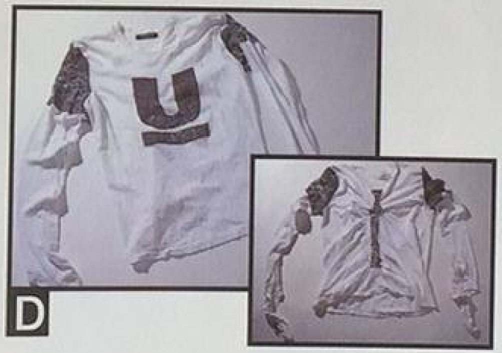
'95〜'96秋冬コレクションのショーサンプル。紫のレザー・ブルゾンは、全部で５着しか作ってない貴重品。



C

**C／レザー・パンツ
（１名様）**

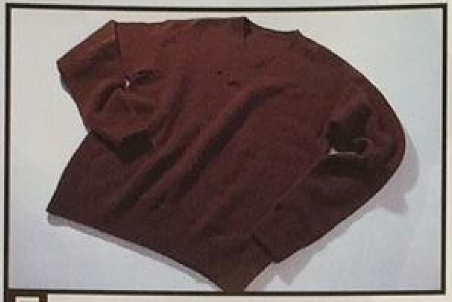
'95〜'96秋冬コレクションのショーサンプル。赤はこの１着のみ。ただしレディースサイズ（ウエスト67㎝、レングス90㎝）。



D

**D／ロングTシャツ
（１名様）**

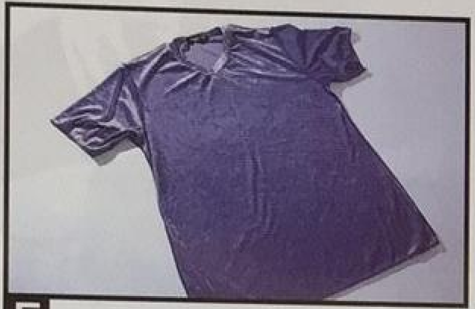
'94〜'95秋冬コレクションのショーサンプル。ロゴがプリントされたデザイン性の高いロングTee。



E

**E／Vネック・セーター
（１名様）**

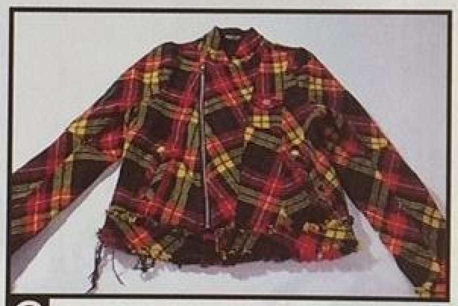
'95〜'96秋冬コレクションのショーサンプル。色は茶。フロントや袖に最初から穴の開いてるデザイン。



F

**F／ベロアTシャツ
（１名様）**

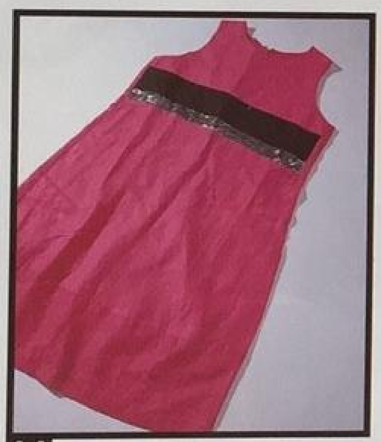
'95春夏コレクション用のみで作られたベロア素材のVネックTシャツ。色は、鮮やかな薄紫色。



G

**G／チェック・ブルゾン
（１名様）**

'94〜'95秋冬コレクションのショーサンプル。タータンチェック柄のショート・ブルゾンは、レディースサイズ。



H

**H／ワンピース
（１名様）**

'96春夏コレクションの撮影用サンプル。コレクション・キットにも出ていない幻のピンク。これも１着しかない物。

応募要項

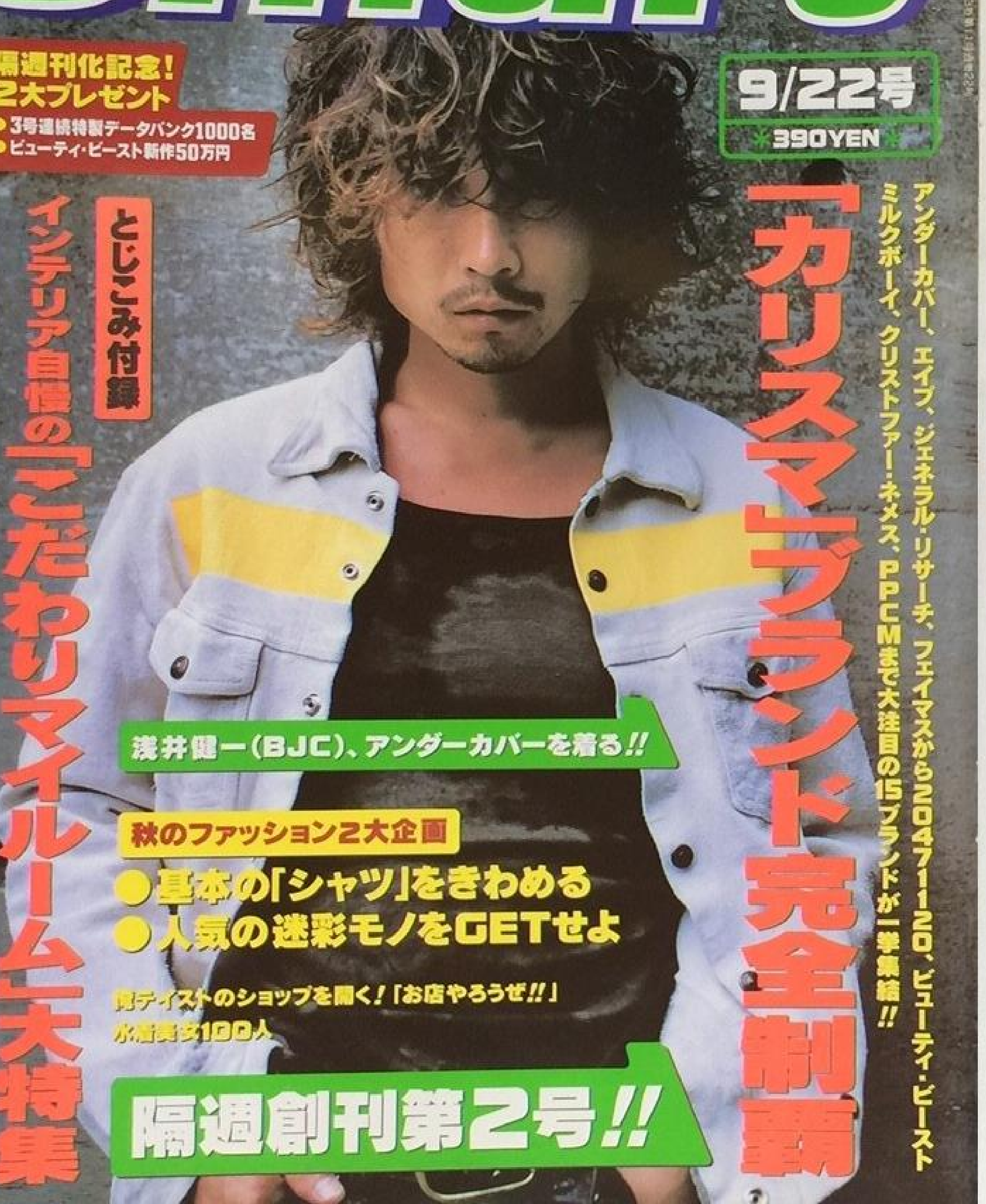
プレゼントご希望の方は、巻末のアンケートハガキに希望商品のアルファベットを記入して下さい。一人につき１点です。アンケートハガキ以外での応募は無効となります。当選者への発送は１月下旬〜２月上旬予定。

カリスマブランド大特集／こだわりマイルーム拡大版

smart

9/22号
390YEN

隔週刊化記念！
2大プレゼント
- 3号連続特製データバンク1000名
- ビューティ・ビースト新作50万円



「カリスマ」ブランド完全制覇

アンダーカバー、エイプ、ジェネラル・リサーチ、フェイマスから20471120、ビューティ・ビースト ミルクボーイ、クリストファー・ネメス、PPCMまで大注目の15ブランドが一挙集結!!

とじこみ付録

インテリア自慢の「こだわりマイルーム」大特集

ミュージシャン、モデル、タレントから読者まで総勢20人の部屋大公開！

浅井健一（BJC）、アンダーカバーを着る!!

秋のファッション2大企画
- 基本の「シャツ」をきわめる
- 人気の迷彩モノをGETせよ

俺テイストのショップを開く！「お店やろうぜ!!」
水着美女100人

隔週創刊第2号!!

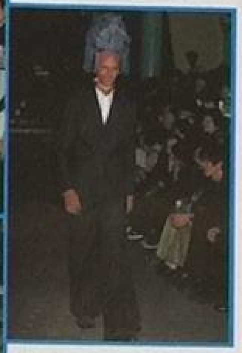
'97～'98 東京コレクション &ファッションスナップ!!

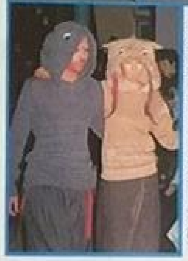
春たけなわ！ とくれば、すでに秋冬コレクションのシーズンとなるのがファッション界の常識。そこで早速リポート&せっかくだからショーに集まった人たち（含むオシャレ有名人、略して「おしゃユメ」）をスナップしちゃいました

取材・文／入江謙介（コレクション）編集部、大嶋雄美子、長尾ようこ、編集部（スナップ）
撮影／亀山清紀、岡田誠、佐貫直樹、張誠剛

20471120

トライヴェンティから20471120とブランド名が変わり今回は「花やしき」を会場に。園内のアトラクションを取り込んだショーを見せた。恐竜の皮革を思わせるディテールなどアクを残しながらも、得意のテイラーリングで「着られる服」であることを証明してみせた。





左／円満堂さん（学生）、中／沢野一義さん（モデル）、右／大崎さん（学生）
「[illegible]」

集まった人がとにかく派手！恐るべし20471120

右／梶原ジエポ、左／菊地さはる（キャンディ・ストリッパー）
「キューティで連載中です。ヨロシク」

りょう さん
「将来の夢は古着もDCもインド系も選んで入れるバイヤー。20471120は色使いが好き」

山田太一さん（学生）
「今日は、目立ってGO！です。靴はドクター中松のピョンピョンなんとかで歩きにくくてスゴク疲れるよ～」

シンゴさん
「20471120まるごと好き!!今日はムチャクチャ楽しみですよ！」

右／寿美代さん、左／五十嵐さん
「20471120大好き！こんなヘンなブランド、他にないよ」（寿美代）「今日はスペイシーで意外な感じ」（五十嵐）

宣教師さん
「20471120はカワイイところが好き。今日は見えないけど、20471120のリストバンド（ヒョウ柄とか）を3つしてます」

関繁さん（学生）
「コンバースのスニーカーは自分でペイントした。20471120のピョーマくん、大好きです」

UNDER COVER
アンダー カバー

ショー開催は二年ぶりのアンダーカバー。M・マンソン風など、様々なタイプのモデルを使い、着る人の「存在感」をアピールした。従来通りのハードコアな雰囲気に、エスニックなプリントなどが加わり、メンズではしっかりとした作りのスーツに冴えを見せた。

久々のショーとあって、有名人&業界人多数！

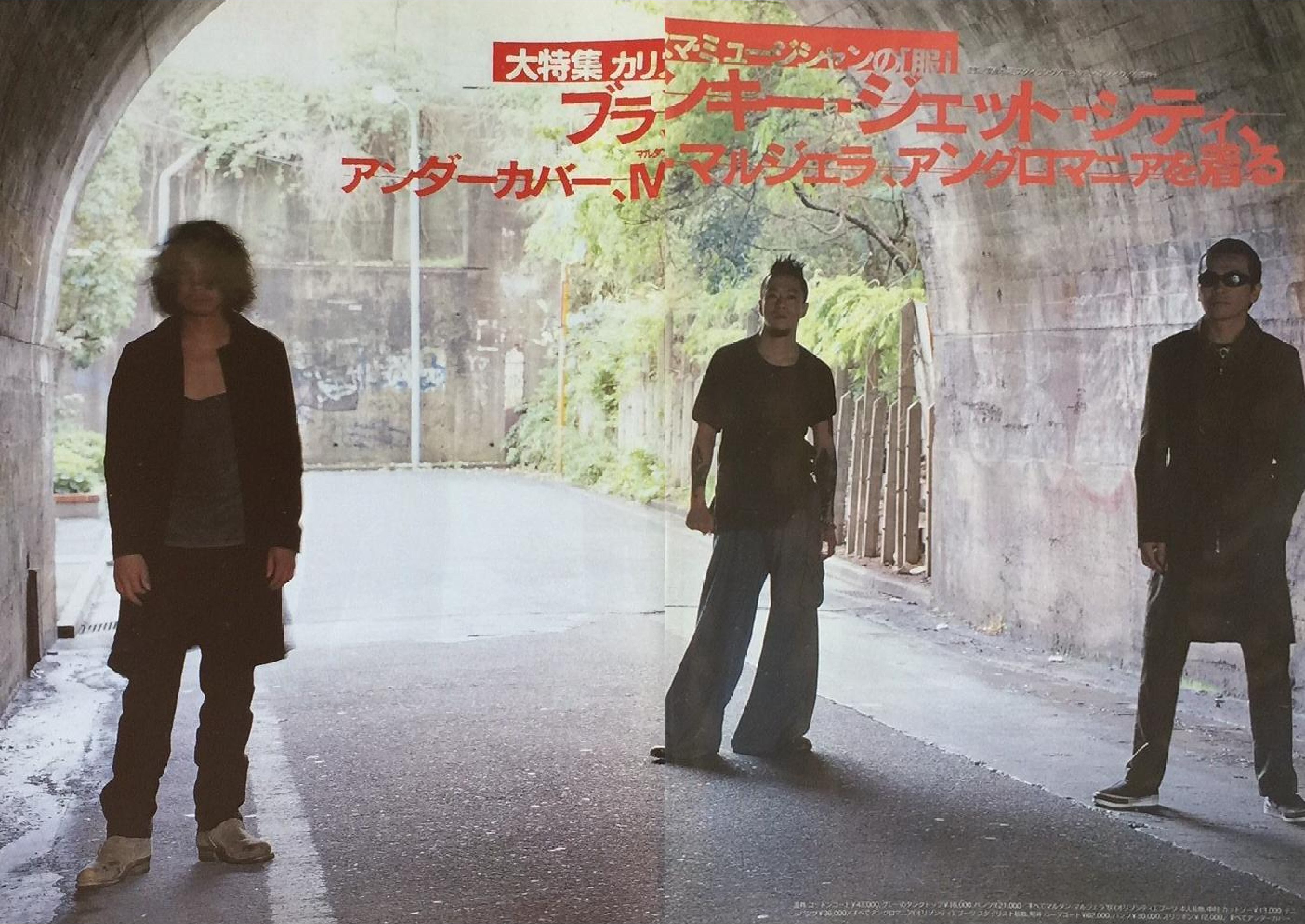
TATSUさん（アメイク）、サエさん（モデル）
とってもオシャレなサエちゃんとTATSUさんをコレクション前に発見。友達とみんなで来てました。

清水朱里さん（モデル）
シンプルなデニムの着こなしがカワイイ朱里ちゃん。モデル仲間と一緒に来てました。

小島聖さん（女優）
アンダーカバーのショーのスタッフとして参加していた聖ちゃん。スタッフTシャツを着てました。

小嶺麗奈さん（女優）
アンダーカバーのTシャツを着ていた麗奈さん。ロングスカートとの合わせもらしくコーディネイトしてました。

千秀公久さん（ELT）
おしゃれでカッコイイと評判の千秀さん。ショーが始まるまで[illegible]デニムの着こなしがサスガです。



大特集 カリスマ・ミュージシャンの【服】！

ブランキー・ジェット・シティ、アンダーカバー、Mマルジェラ、アングロマニアを着る

[illegible]

浅井：コットンコート¥43,000、グレーのタンクトップ¥16,000、パンツ¥21,000（すべてマルタン・マルジェラ☎（オリジナリティ））ブーツ 本人私物 中村：カットソー¥11,000 デニムパンツ¥36,000（すべてアングロマニア☎（オリジナリティ））ブーツ スタイリスト私物 照井：レザーコート¥67,000、パンツ¥30,000、ボタン¥12,000（すべてアンダーカバー

アンダーカバー、A.P.C.、アニエス ベー、ポール・スミス、ヘルムート ラング…。
超人気ブランドのコート＆ブルゾンを一挙公開！

「冬のアウター」完全制覇。

撮影／レイク・タホ　スタイリング／熊谷隆志　ヘアメイク／[illegible](HAPP'S)　モデル／鈴木一真、ユアン、アラタ、KEE、ダニエル

ムートンのコート¥220,000(アンダーカバー)、中に着たニット¥33,000／ヘルムート ラング(バスストップ)

COVER STAFF
ART DIRECTION & DESIGN / Prime Direction
PHOTOGRAPHER / 高橋恭司 Kyoji Takahashi
STYLIST / 熊谷隆志 Takashi Kumagai
Hair&Make-up / 小西紳士 Shinji Konishi
MODEL / ブランキー・ジェット・シティ BLANKEY JET CITY

洋服のクレジットに関してはP.18参照

06

24

32

59

113

126

smart

CONTENTS 6/15 No.38

06 ユージ・ヤマダ、リップ・ヴァン・ウィンクル、ネイバーフッド、ヘクティク……
Tシャツ最終決戦200
12 Tシャツ最終カタログ
18 特集 カリスマ・ロッカーの「服」
ブランキー・ジェット・シティが着る
アンダーカバー、M・マルジェラ、アングロマニア
24 シアターブルック、清春、ギターウルフ、スカパラ…
おしゃれミュージシャンのこだわりアイテム初公開
32 イッセイ・ミヤケ、アトウ、ラッドミュージシャン…
東京コレクション密着リポート
43 98 Swimwear Collection
48 smart VIP room——細野晴臣
52 サングラス、帽子、サンダル…
夏の必須アイテム全角度研究
58 girls clip #06 オリビア
59 シルバーアクセ大特集
●クロムハーツ徹底解剖
●A&G、ローリー・ロドキン・ゴシック、ガボール、カムホート、クレイジーピッグ…の新作紹介
92 人気ブランド研究——YMC、イネド・オム
100 GO! GO! HEAVEN
106 SHOP LIST
108 FASHION NEWS
113 ON THE STREET
120 インテリア自慢のこだわりマイルーム
126 おしゃれなヌード ちんかめ
134 MUSIC
140 Three of US 最終回!
142 NIGO's INGAGI
144 **ワールドワイドラヴ！**
新作を総額50万円読者プレゼント

EDITOR IN CHIEF
[illegible]
EDITOR
[illegible]
CONTRIBUTING EDITOR
[illegible]

ART DIRECTION & DESIGNER
PRIME DIRECTION
DESIGNER
[illegible](LAND FISH)
[illegible]

1998年6月15日発行
発行人／蓮見清一　編集局長／関川 誠
発行所／宝島社　東京都千代田区一番町25
03-3234-4621(営業部)
03-3239-0259(編集部)
03-3234-3917(広告部)
印刷／凸版印刷株式会社

男もできるダイヤ入り'98秋冬ジュエリーを、一足お先にスクープ。

前号の『モードの向こう側』で掲載したJONIO&ジャスティンの対談読んでくれた？〈アンダーカバー〉デザイナーの高橋盾（JONIO）と、ジュエリーデザイナーのジャスティン・デイビス。そう、この豪華な2人によるシルバーアクセが誕生するって話のこと。

その時は肝心のアクセの写真が無かったけど（ゴメン）、サンプルが上がってきたので、遂にその全容を明らかにする。

今回のバージョンは、JONIOがイメージを伝え、ジャスティンが製作したもの。そのJONIOからのデザインの注文は、「うちのロゴマークがシンプルに入っていて、ダイヤ入り」。何と、たったこれだけ……。

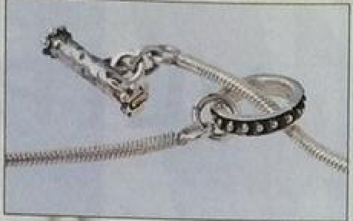
そして、サンプルを見ながら感想を聞いてみると、「思っていた以上に満足しています。うまくジャスティンなりのシンプルさに仕上げてくれました。洋服はユニセックスって好きじゃないけど、このアクセなら男のコ、女のコ関係ないですね」（JONIO）

7月末に発売予定のこのゴージャスなアクセは少数限定。「本当に気に入った人にだけ、身に着けて欲しい」とのことだ。では、ディテールへクリック。

UNDER COVER by Royal Order

ジャスティン・デイビス
〈ロイヤル オーダー〉デザイナー

「今回のアクセはボクが〈アンダーカバー〉の作品を見て、惚れ込んだことがきっかけ。知人のジョン・ガリアーノの作品と同じように、クチュールな印象を受けたんだ。実際会ってみると、人柄もスマートで素晴らしいしね。ボクはいつもハードジュエリーをじゃらじゃらつけているけど、ジュンとのアクセはすごくシンプルなものにしたかったんだ」

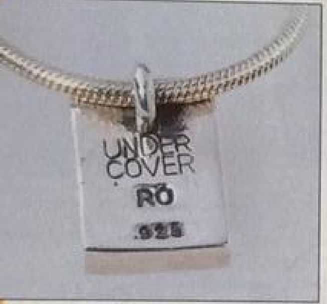


トップのシンプルさとは逆に、ターグルはややハードな感じを。

ターグルもかなりかっこいい仕上がり。ペンダントトップとは違って、ハードなイメージを醸し出している。ここには、〈ロイヤルオーダー〉ならではの雰囲気が見られる。そして、ターグルとトップを結ぶチェーンは、スネークタイプを使用。「チェーンももっと普通のタイプかな、と思ってたけど、このスネークいいですよね」とJONIOも満足。

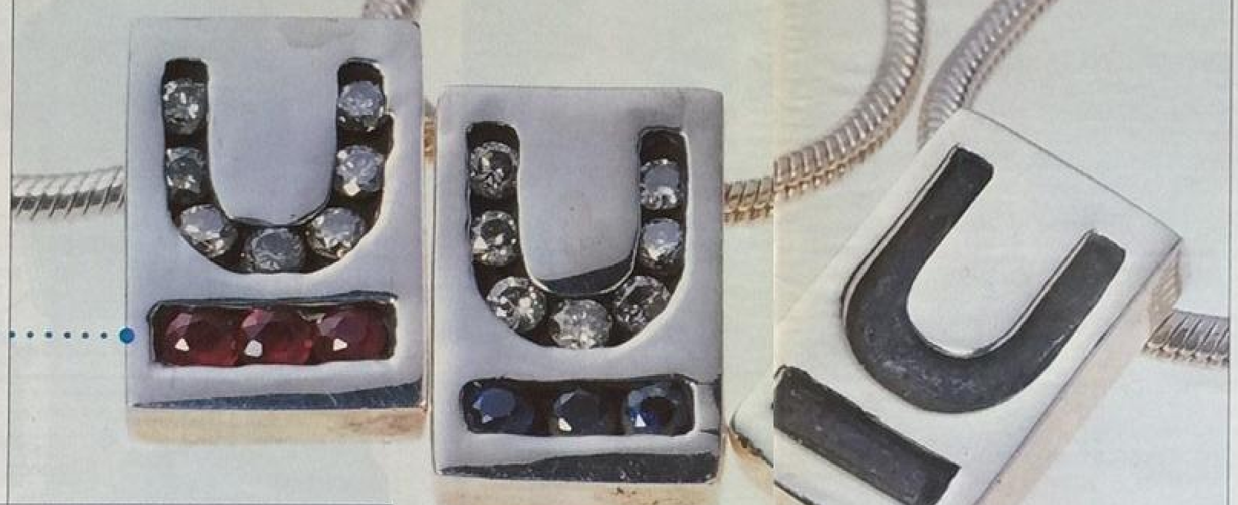
高橋 盾
〈アンダーカバー〉デザイナー

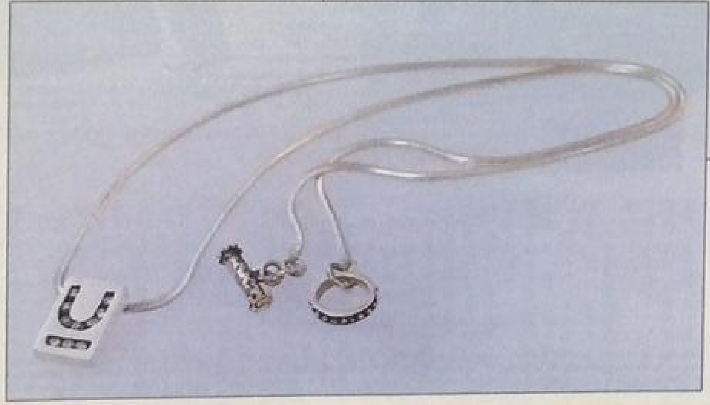
「今までのジャスティンのアクセを見ていると、ハードで今っぽい感じじゃないですか。そういうのも好きなんですけど、今回のものはシンプルなタイプにしたかった。それを伝えたら、こんな良いものが出来上がってきたんです。こっちのことをよくわかっててくれてたんだな、と思いましたね。これくらい無駄がなければ、男女どっちでもできますよね」



ペンダントトップの裏に刻まれた、憧れの2ブランドのダブルネーム。

きっちりと、〈アンダーカバー〉〈ロイヤルオーダー〉（RO）のダブルネームが入っている。文字のバランスも、さりげなくていい。ちなみに、ネームの下の925とは、シルバーの純度のこと。アメリカでは925が主流で、日本では930がよく採用されている。もちろん、どちらもハイクオリティ。これは〈ロイヤルオーダー〉の本拠地ロサンジェルス製。



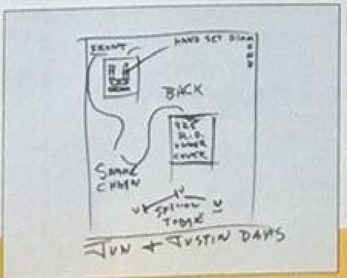


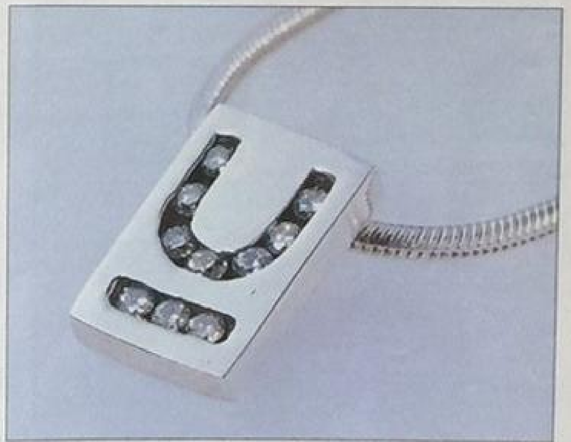
ネックレスのメンズモデルと、チョーカーのレディスの2型あり。

トップのデザインはまったく同じで、ネックレス、チョーカーと、チェーンの長さが異なる2型あり。プライスはオールダイヤ、ダイヤ×ルビー、ダイヤ×サファイアは各12万8000円。シルバーのみ（ジュエリーなし）は4万5000円。'98秋冬アイテムなので、発売は7月末の予定。㊟アンダーカバー青山本店☎03・3407・1232

ベストデザインをあれこれ考え、費やした製作日数は通常の7倍。

これがこのアクセサリーのデザイン画（特別に公開してくれたもの）。「ロイヤル オーダーのジュエリーは、プレーンなものだと3日くらいでできちゃうんだけど、これには3週間も費やしたんだよ」とジャスティン。トップの大きさ、セットするダイヤモンドの数など、スペシャルなものをクリエイトするため、あれこれ悩んだのだろう。





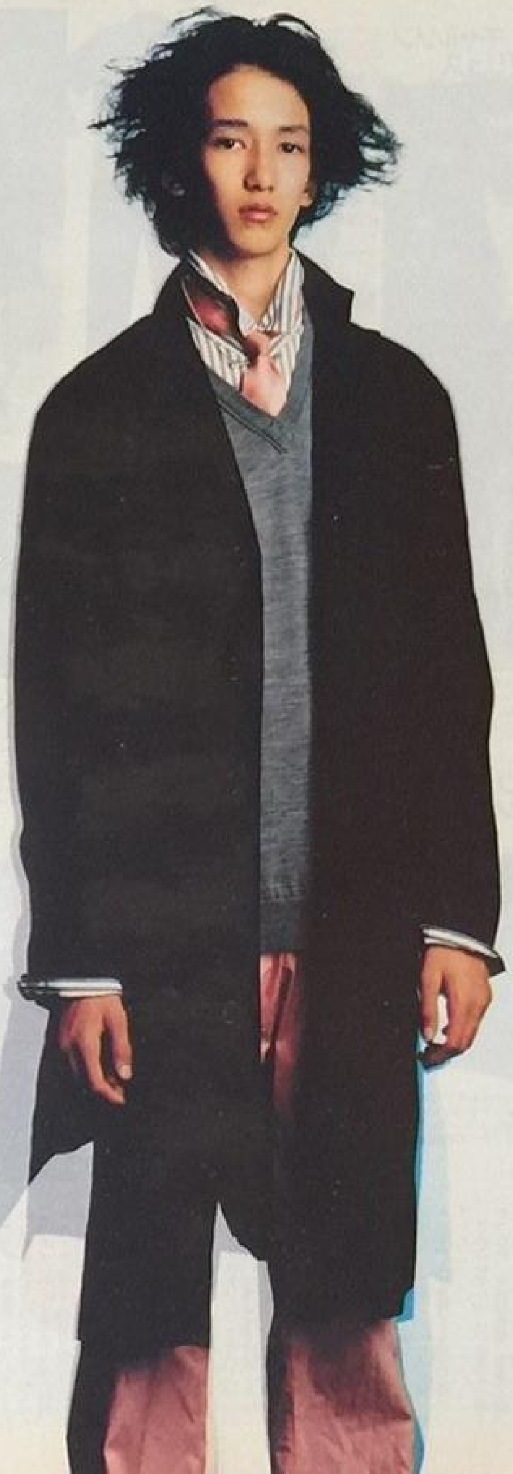
ダイヤモンド入りのメインモデル。ゴージャス&クール。欲しい……。

「シンプルな雰囲気で、アンダーカバーのマークにダイヤ入り」。このJONIOのオーダーに応えて、プロダクツ化となったモデルがこれ。シルバーはハンドメイドで、しかもUの中に7個、下のラインに3個入れたダイヤモンドはハンドセットでしか入れられないという、きめ細かいワークが要求される。当然、ダイヤのクオリティも高い等級のもの。

撮影／安達征哉　取材・文／横田光晴　取材協力／ジャック・オブ・オール・トレーズ

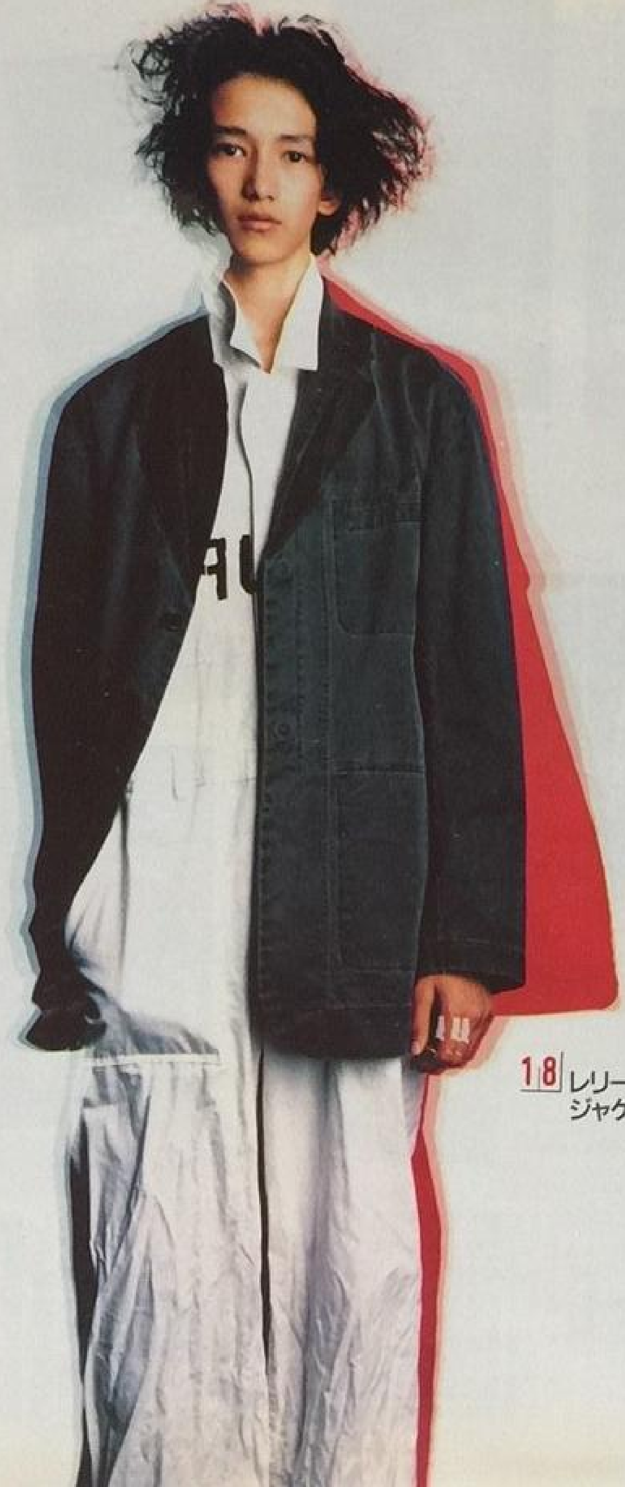
アンダーカバーの新作は、「ワーキング クラス ヒーロー」。

撮影／ローズマリー　スタイリスト／高木康行　ヘア＆メイク／新井健生



17 ドクターコート

前シーズンの〝エクスチェンジ〟が印象的だったアンダーカバー。しかし、この春夏も期待通りというか、逆に誰も予想できなかったようなコレクションを発表した。全体のアイテムはワークテイストをベースにしているが、一番の特徴はRELIEF（浮き彫り）をテーマにしていること。左ページのジャケットを見れば分かるように、着古したジーンズの裾や脇に出る凹凸による色落ち、いわゆる〝あたり〟をモチーフに作られている。ジャケットで説明するならば、すべてのポケットやボタンを内側に隠し、ラベル部分や背裏なども全部〝あたり〟で表現されているのだ。この**レリーフモチーフ**のアイテムはジャケットに限らず、コートやシャツ、パンツまですべてが揃う。また全体のアイテムは「**ワーキング クラス ヒーロー**」という言葉からも分かるように、作業着をベースにアレンジされている。このページの**ドクターコート**も医者の白衣（ブラックなのだが）とネクタイ姿の組み合わせであり、左のオールインワンも工員たちが昼休みにツナギの上にジャケットを羽織ったようなスタイル。さらに〝エクスチェンジ〟のシリーズは春夏も続行されている。



18 レリーフモチーフのジャケット

（P98）ドクターコート4万2000円、サマーウールのニットベスト2万2000円、ストライプのシャツ2万2000円、ネクタイ6000円〈UNDER COVER〉のネックレス4万8000円、パンツ2万8000円（以上アンダーカバー）
（P99）レリーフモチーフのコットンジャケット6万円、プリント入りオールインワン4万2000円（以上アンダーカバー／NOWHERE☎03-5474-0204）

夏のヒットアイテム/デザイナーの素顔/GIRLS SMART

smart

6/28号
★390YEN★

1999年6月28日発行 [illegible]

ヘクティクの新作を
特別読者プレゼント

いま、これが売れている

夏の最新ヒットアイテム

ポロ、ヘンプもの、ノースリーブ、ラグランスリーブ、タンクトップ、プルオーバー、ベースボールシャツ、ショートパンツ…

人気デザイナーの素顔

ヒステリックグラマー、キョーイチフジタ、ヤブヨム、ラッドミュージシャン、ユージヤマダ、リュウイチロウシマザキ

●異種ブランド格闘技戦●

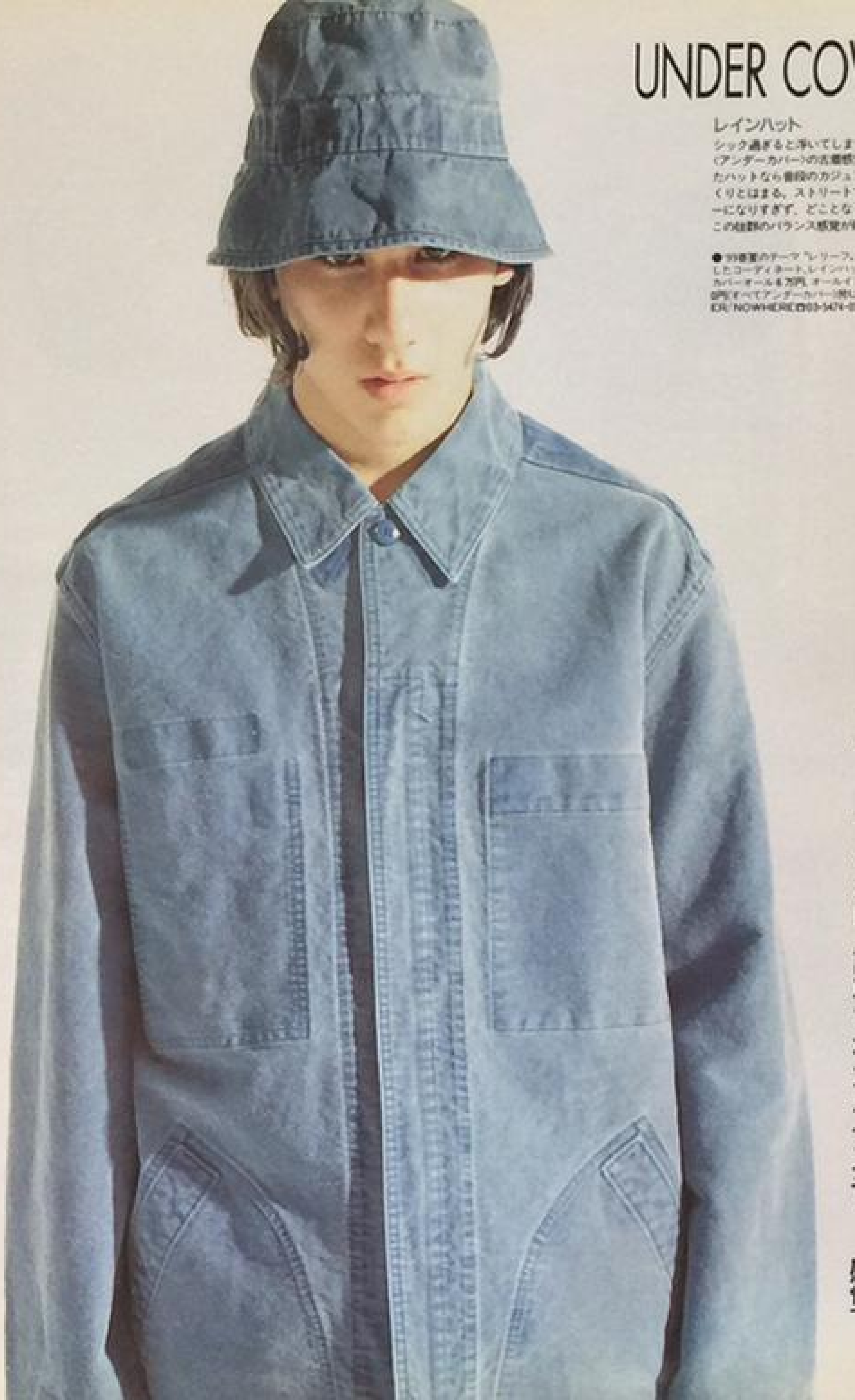
これが最強ストリート・ミックス

ジェネラル・リサーチ、テンダーロイン、VANS、アディダス、ナイキ…

特別とじこみBOOK
X-GIRL、サイラス、コズミック・ワンダーからAPE、ネイバーフッドまで
「女の子のためのスマートスタイル」
GIRLS SMART

1万円～30万円プライス別
かっこいいMTB&BMX大調査

村上淳/HIKAGE/イエロー・モンキー



UNDER COVER

レインハット

シック過ぎると浮いてしまいがちな帽子。〈アンダーカバー〉の古着感覚を取り入れたハットなら普段のカジュアルにもしっくりとはまる。ストリートでもダーティーになりすぎず、どことなく品が漂う。この絶妙のバランス感覚が最大の魅力だ。

●'99春夏のテーマ"レリーフ"をモチーフにしたコーディネート。レインハット1万2000円、カバーオール6万円、オールインワン6万7400円(すべてアンダーカバー)/UNDER COVER/NOWHERE☎03-5474-0264

ストリートでもモードでもない、計算されたミクスチャー感覚。

Tシャツ¥7,000／SHANTI(VANDALIZE) パンツ¥28,000／VANDALIZE ベルト¥36,500／[illegible] スニーカー¥12,600／ADIDAS [illegible]

SHANTII IS OUR GOAL
How are We Doing?

村上淳

「映画とシャンティが今の生活の中心かな。家のこともやりつつ」

撮影／[illegible]、スタイリング／村上淳

取材・文／[illegible]

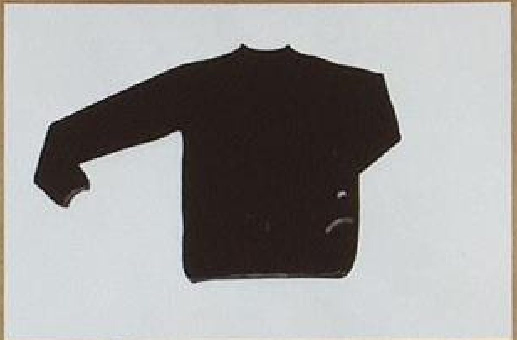
Tシャツ¥7,000／SHANTI(VANDALIZE) パンツ¥14,800 [illegible] UNDER COVER [illegible]

Q57 AMBIVALENCE Tee
BUILD & DESTROY
¥ 14,000
9
ベージュ | 茶

Q59 N.C.B.C Tee
¥ 6,000
9
ホワイト
サンド
チャコール

Q64 モヘア付プルオーバー
¥ 20,000
9

Q58 WE DON'T CARE Tee
¥ 6,000
9
ホワイト
オレンジ

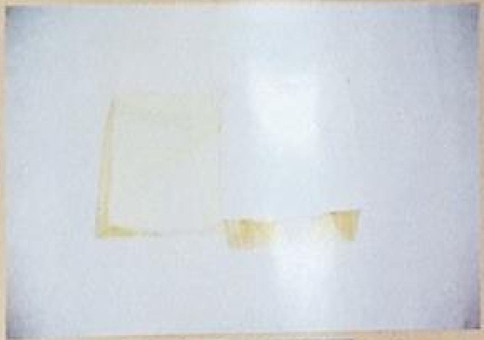


Q63 ハイネックプルオーバー
(パイピング)
¥ 24,000
9
TOPグレー
ブラック

Q68 編み柄ロングエプロン
¥ 24,000
9
サンドベージュ
ブラック

Q25 AMBIVALENCE
Vネックワンピース
¥ 38,000
8
ブラック | チャコール

Q38 SAY NOTHING Tee
8
¥ 8,000
ホワイト
サンド
オリーブ



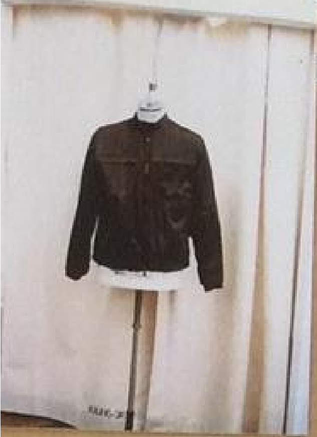
Q42 編み柄ショートエプロン
8
¥ 20,000
ホワイト
サンドベージュ
ブラック

BATES MOTEL

Q39 BATES MOTEL Tee
8
¥ 6,000
ブラック
サンド

Q55 EXCHANGE
フリースブルゾン
¥ 38,000
ブラック
濃茶
ライトグレー

Q200 スタンドカラー ブルゾン

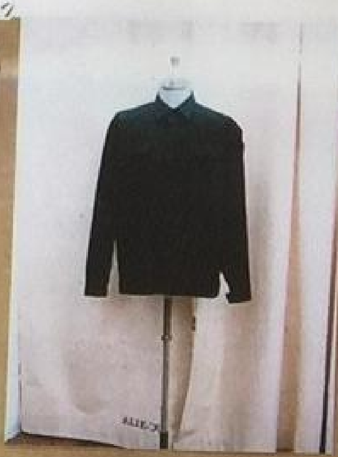


¥ 72,000

7

L ブラック ブラック

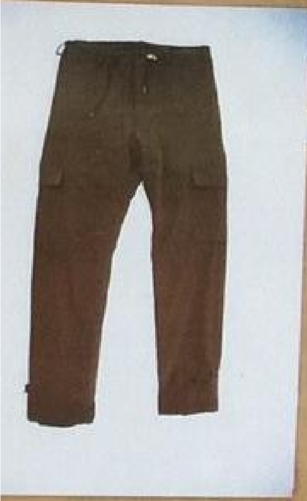
Q201 シャツ



¥ 23,000

7

L ブラック



Q206 AMBIVALENCE

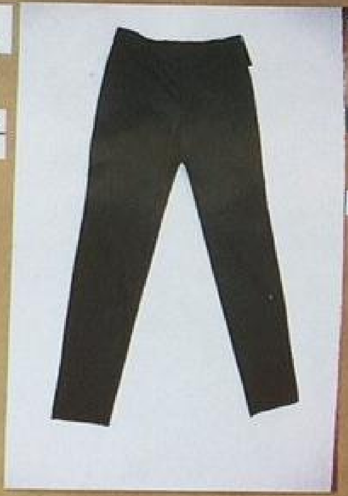
アーミーパンツ(Wキャンバス)

¥ 48,000

7

M ブラック ブラック

チャコール カーキ



Q208 ストレートパンツ

¥ 28,000

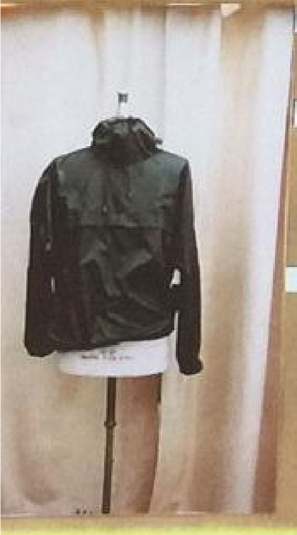
7

M ブラック

チャコール

L ブラック

チャコール



Q210 ナイロンパーカー

¥ 21,000

7

M ブラック

濃茶

カーキ

淡ベージュ

ダークグリーン

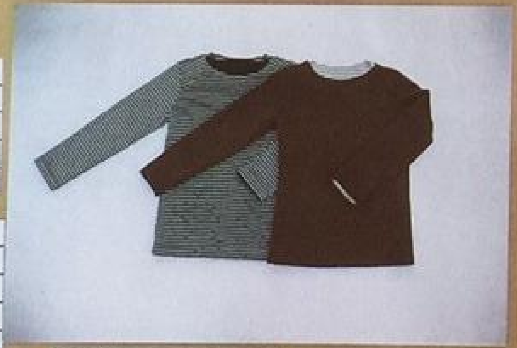
L ブラック

濃茶

カーキ

淡ベージュ

ダークグリーン



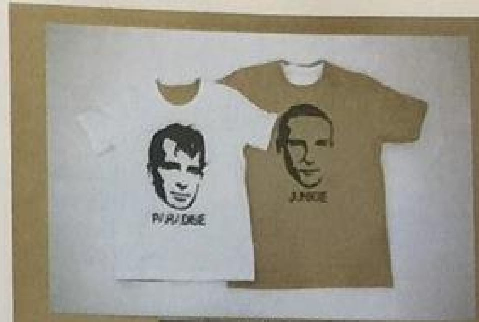
Q211 AMBIVALENCE

プルオーバー(ボーダー)

¥ 21,000

7

チャコールブラック	濃チャコール
ベージュ緑	濃茶
○ベージュホワイト	Nベージュ



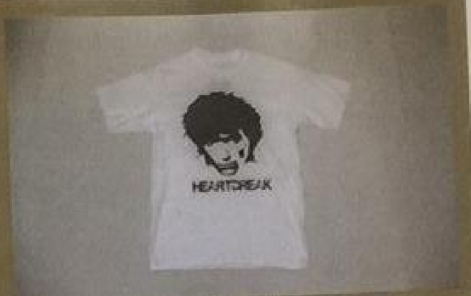
[illegible] AMBIVALENCE Tee

JUNKIE & PARADISE

¥ 14,000

ホワイト ベージュ

10

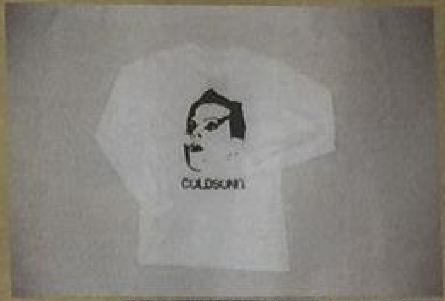


Q81 HEARTBREAK Tee

¥ 8,000

ホワイト

10

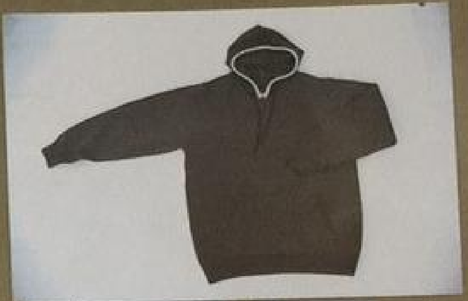


Q82 COLDSONG ロングTee

¥ 10,000

ホワイト

10



Q88 フード付プルオーバー

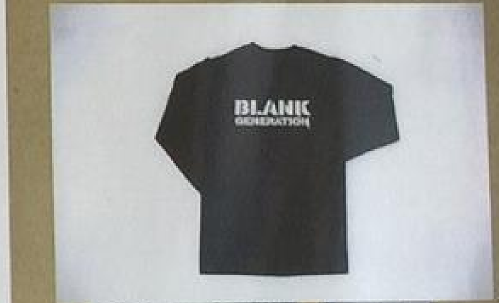
(パイピング)

¥ 27,000

10

グレー ブラック

カーキ



Q97 BLANK GENERATION

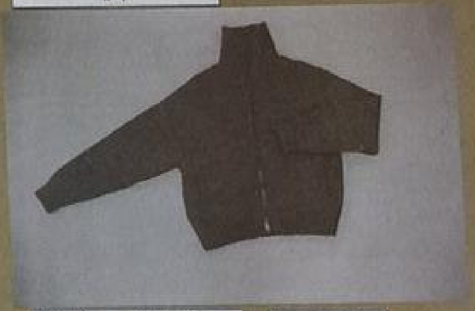
ロングTee

¥ 10,000

11

ホワイト

ブラック



Q99 ハイネックブルゾン

¥ 32,000

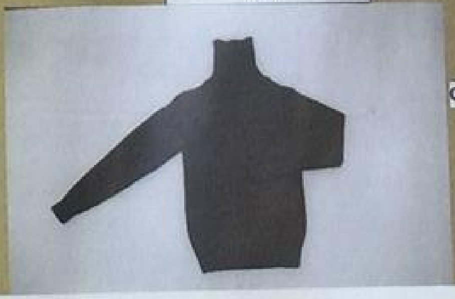
TOPグレー

グレー

TOPブラウン

チャコール

11



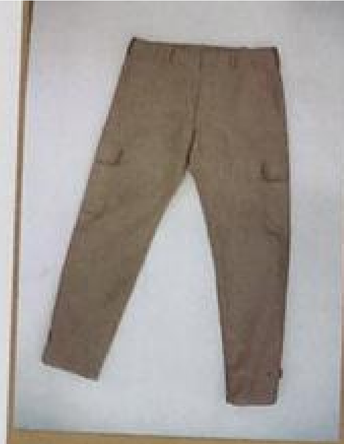
Q100 タートルプルオーバー

¥ 28,000

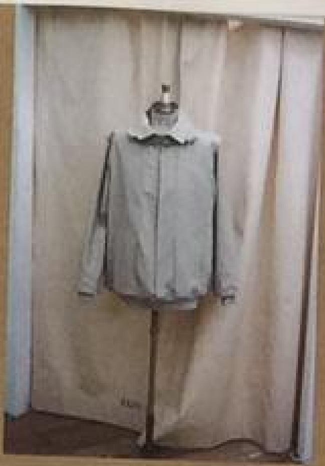
グレー

チャコール

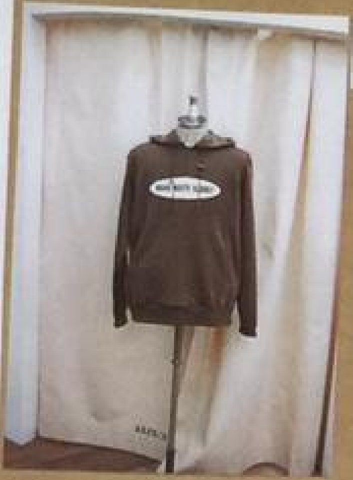
11



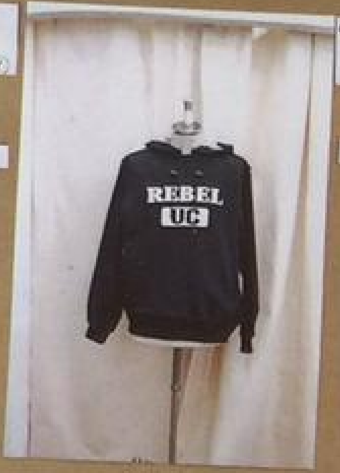
Q223 アーミーパンツ(コードクロス)
¥ 30,000
8
M
濃茶



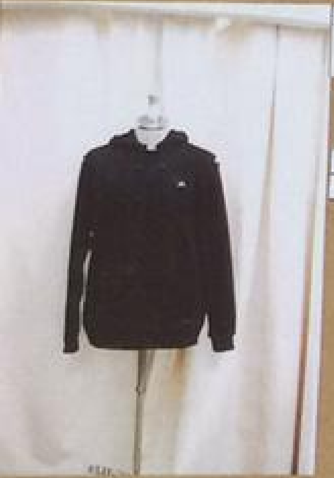
Q225 EXCHANGE
アーミーブルゾン
¥ 80,000
M
カーキグレー [illegible]
ベージュ
緑茶 [illegible]
L
緑茶
カーキグレー



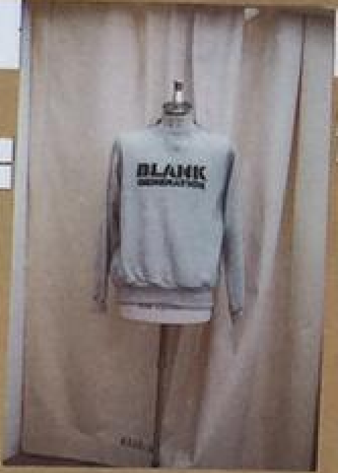
Q226A EXCHANGE
パーカー
MAKE HASTE SLOWLY
¥ 32,000
8
M
トップチャコール



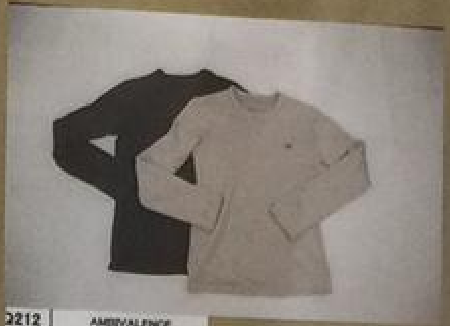
Q226B EXCHANGE
パーカー
REBEL UC
¥ 32,000
M
ブラック
トップチャコール
トップ霜グレー



Q226C EXCHANGE
パーカー
象刺しゅう
¥ 32,000
8
M
ブラック
トップチャコール

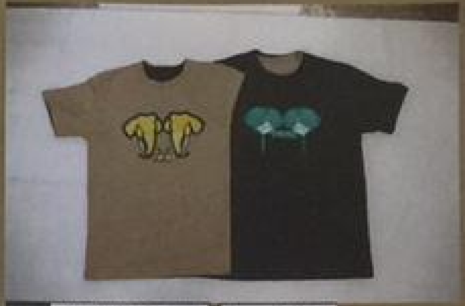


Q227B EXCHANGE
スウェット
BLANK GENERATION
¥ 28,000
8
M
ブラック



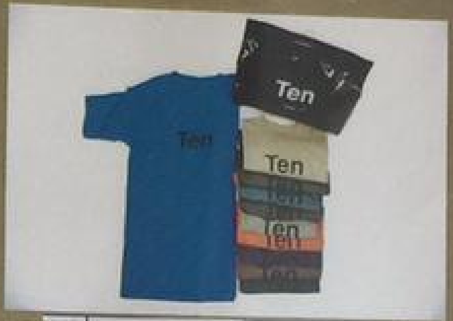
Q212 AMBIVALENCE
プルオーバー(無地)
¥ 18,000
7

M	トップチャコール	チャコールグレー
	濃茶	グレーブラウン
	トップグレー	霜グレー
L	トップチャコール	チャコールグレー

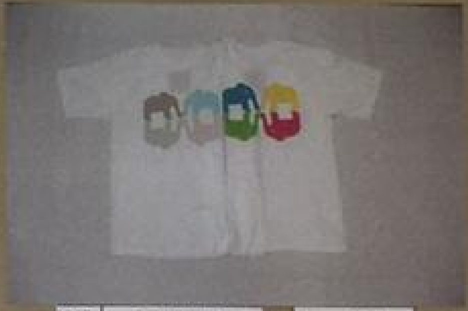


AMBIVALENCE Tee TWINS ¥ 14,000
7

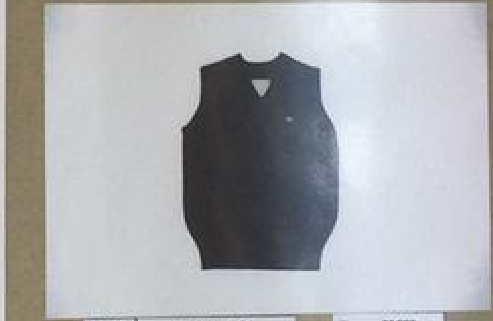
M	ベージュ [illegible]	カーキ [illegible]
L	ベージュ	カーキ



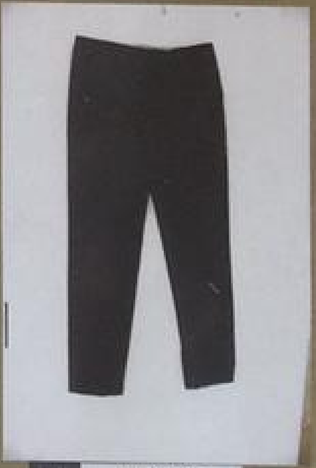
Q214 UNDER COVER10周年 Tee
Ten
¥ 30,000
7
M [illegible]
L [illegible]



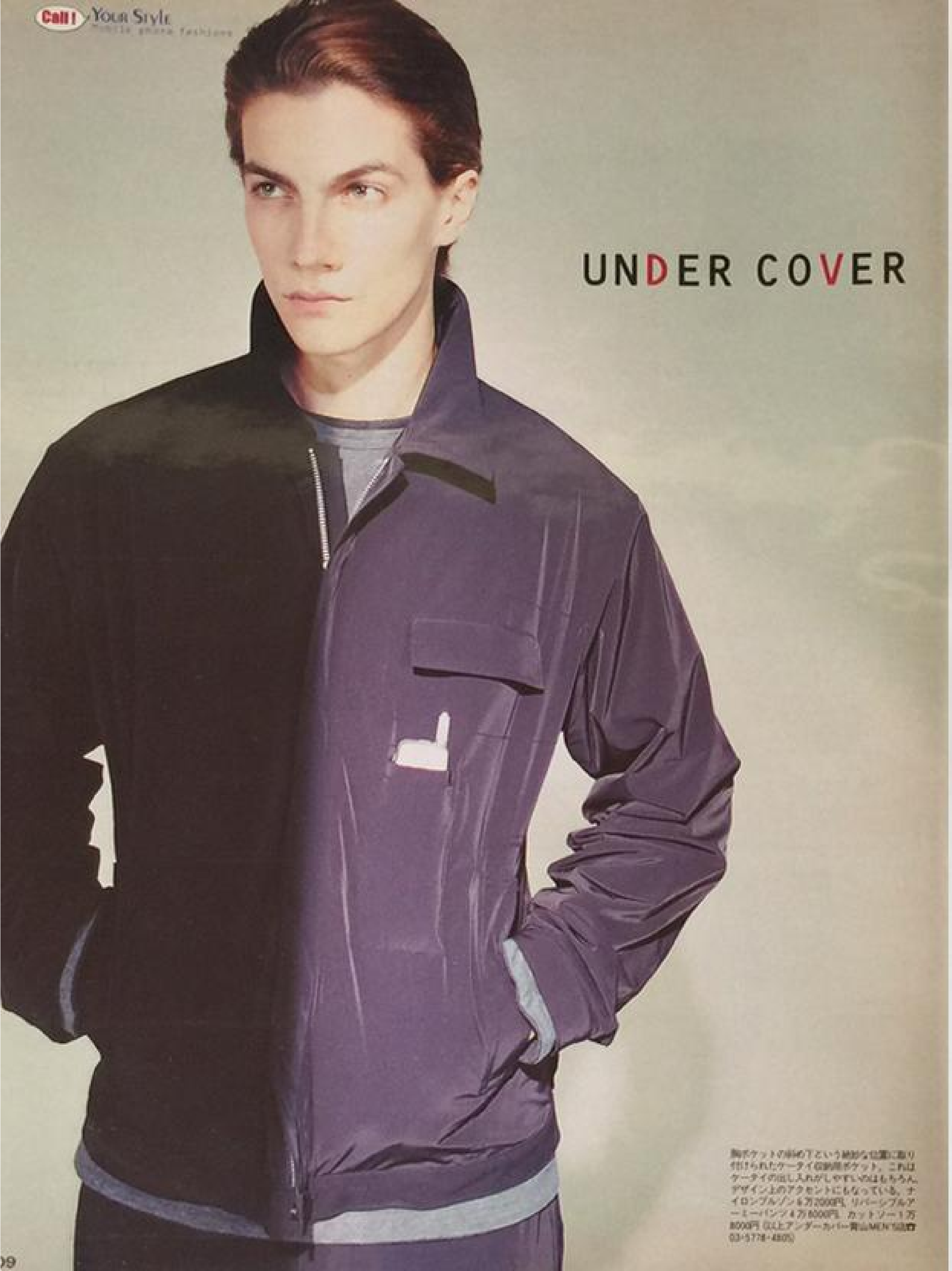
Q215 4 ELEPHANTS Tee ¥ 6,000
7
M ホワイト×蛍光色
ホワイト×濃色
L ホワイト×蛍光色
ホワイト×濃色



Q216 カシミヤ100%ベスト
(刺しゅう)
¥ 28,000
7
M チャコール
ブラック

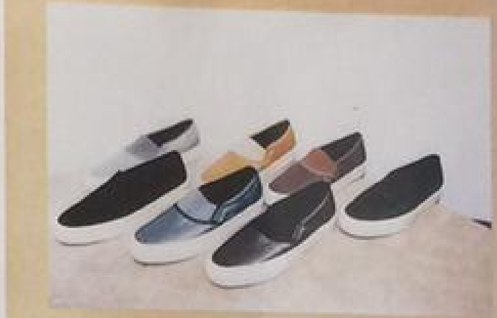


Q221 AMBIVALENCE
ストレートパンツ
¥ 48,000
M トップチャコール カーキグレー
8



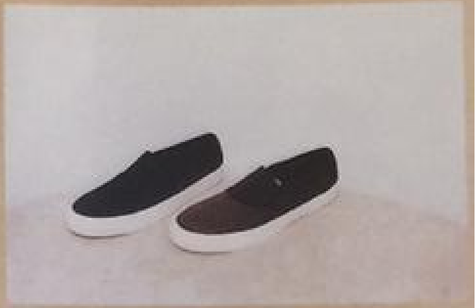
UNDER COVER

胸ポケットの斜め下という絶妙な位置に取り付けられたケータイ収納用ポケット。これはケータイの出し入れがしやすいのはもちろん、デザイン上のアクセントにもなっている。ナイロンブルゾン4万2000円、リバーシブルアーミーパンツ4万8000円、カットソー1万8000円（以上アンダーカバー青山MEN'S店☎03-5778-4805）



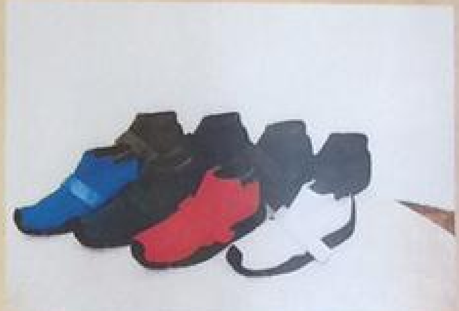
Q313	メッシュスリッポン	¥ 14,000	8

25.5	ブラック
26.5	ライトグレー
	ブラウン
	ブラック
	シルバー＋ブラック
27.5	ブラック



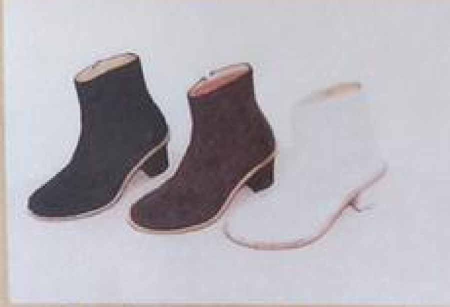
Q314	スリップオン	¥ 13,000	8

25.5	ブラウン
	ブラック
26.5	ベージュ
	ブラウン
	カーキグリーン
	ブラック
27.5	ブラウン
	ブラック



Q324	ボンディングスニーカー	¥ 28,000	9

25.5	チョコ
	チャコール
	ブラック
26.5	ライトグレー
	チョコ
	チャコール
	ブラック
27.5	チョコ
	チャコール
	ブラック



Q332	アンゴラモヘアシャギーブーツ	¥ 38,000	1

24.5	ライトグレー
	ブラック

ジップアップの[illegible]は、カーディガンに、ジャケット[illegible]リバーシブルのTシャツ1万4000円（以上アンダーカバー／アンダーカバー青山Men's☎03-5778-4805）メガネ2万円／[illegible]オプティシャン・ロイド☎03-3473-0533

FASHION LaB

#005

UNDER COVER

■

Photographer／Rosemary
Hair&Make／Tomita Sato
Model／Asobu

〈アンダーカバー〉この秋冬のテーマは
アンビバレンス（両面感情併存）。
つまり洋服の表と裏では
まったく別の表情を見せるというもの。
まるでその変化は
「ジキル博士とハイド氏」のように。

レザーコートを裏返しにすると、写真[illegible]な、スエードにニットブルゾンを[illegible]たようなデザインに変化する。コート[illegible]00円 リバーシブルのTシャツ1万4000円[illegible]3万7000円（以上、アンダーカバー／アンダーカバー青山Men's☎03-5778-4805）

UNDER COVER ― アンダーカバー松山店

ウッディな雰囲気の中に洗練されたデザインのアイテムたちが映える！

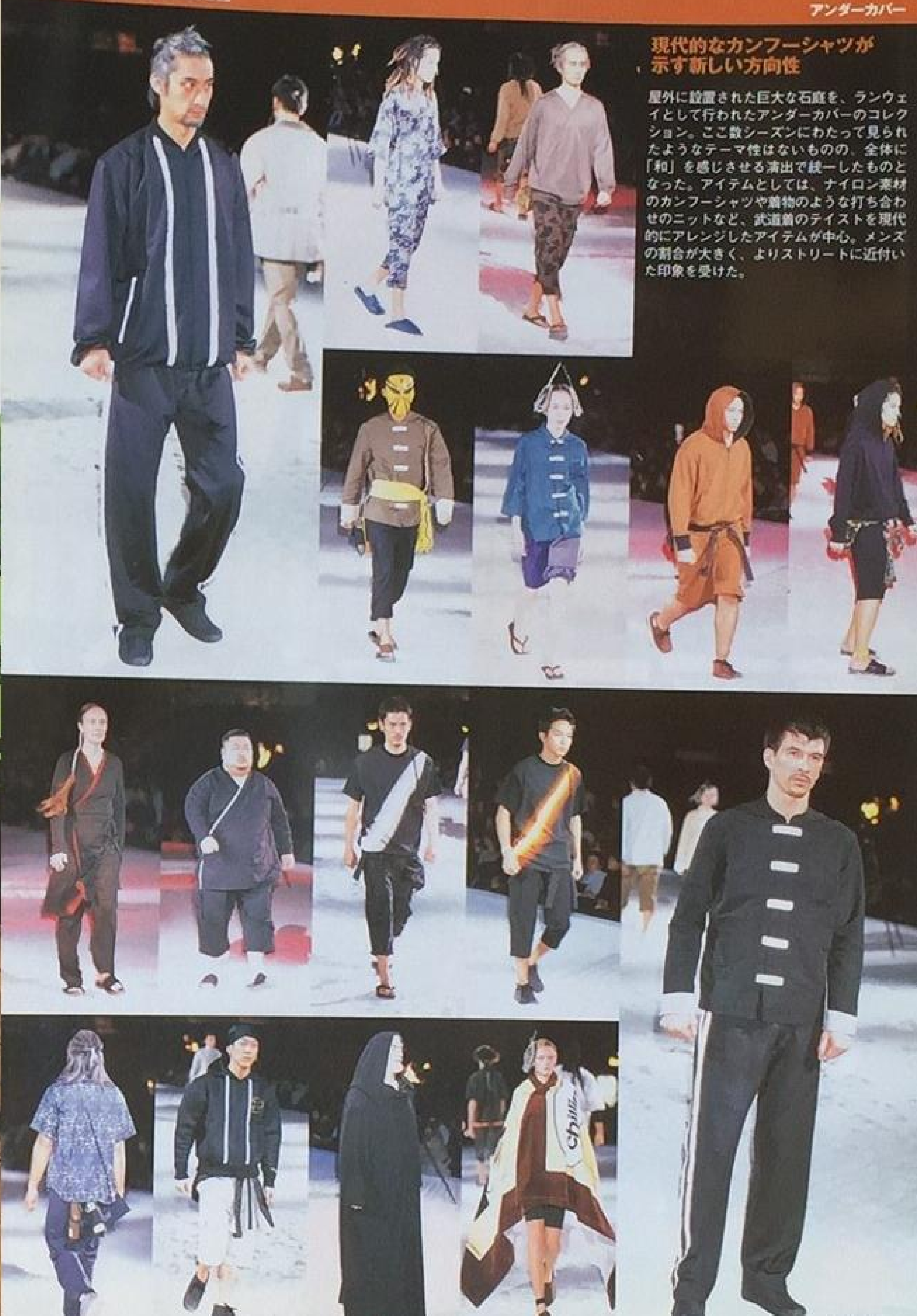
●愛媛県松山市三番町4-11-3 第2内海ビル1F ☎089-934-2155 平日12:00～20:00、日祝日11:00～20:00 無休 通販／可 取扱いブランド／アンダーカバー、シャンティ、AFFA

MATSUYAMA
松山

[illegible]¥5,000、KAWS[illegible]ブルゾン¥50,000、[illegible]¥32,000、[illegible]¥8,500（以上アンダーカバー）、[illegible]¥16,000、[illegible]¥8,000、[illegible]¥38,000、[illegible]¥22,000、[illegible]¥37,000（以上アンダーカバー）、[illegible]¥30,000、[illegible]¥25,000（以上アンダーカバー）[illegible]

現代的なカンフーシャツが示す新しい方向性

屋外に設置された巨大な石庭を、ランウェイとして行われたアンダーカバーのコレクション。ここ数シーズンにわたって見られたようなテーマ性はないものの、全体に「和」を感じさせる演出で統一したものとなった。アイテムとしては、ナイロン素材のカンフーシャツや着物のような打ち合わせのニットなど、武道着のテイストを現代的にアレンジしたアイテムが中心。メンズの割合が大きく、よりストリートに近付いた印象を受けた。



SCOOP!!

アンダーカバーの春夏コレクションにてクロサワを偲ぶ。

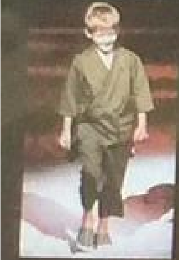
昨年の10月30日土曜日、〈アンダーカバー〉2000年春夏コレクションは、成城にある東宝スタジオにて、縦41m、横12・6mの巨大なオープンセットを舞台に、ひとりの少年の登場によって始まった。ランウェイには日本庭園を連想させる白砂利が敷き詰められ、松明に火がともされ、老若男女合わせて38人のモデルが次々に出現。今回は〈W〉tapsディレクターの西山徹氏が、デザイナーの高橋盾氏をサポートし、NYからは、フューチャラ2000やカウズらが生地の柄やデザインを提供し、服やバッグのプリントとして使われていた。服的に目立ったのは、なんと言っても、この写真に見られる作務衣シリーズ、そしてカンフーだ。

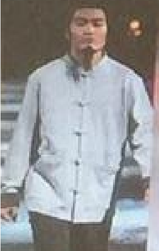
と、ここまで冷静にコレクションを振り返ってきたが、今回のショーで一番印象的だったことは別にある。

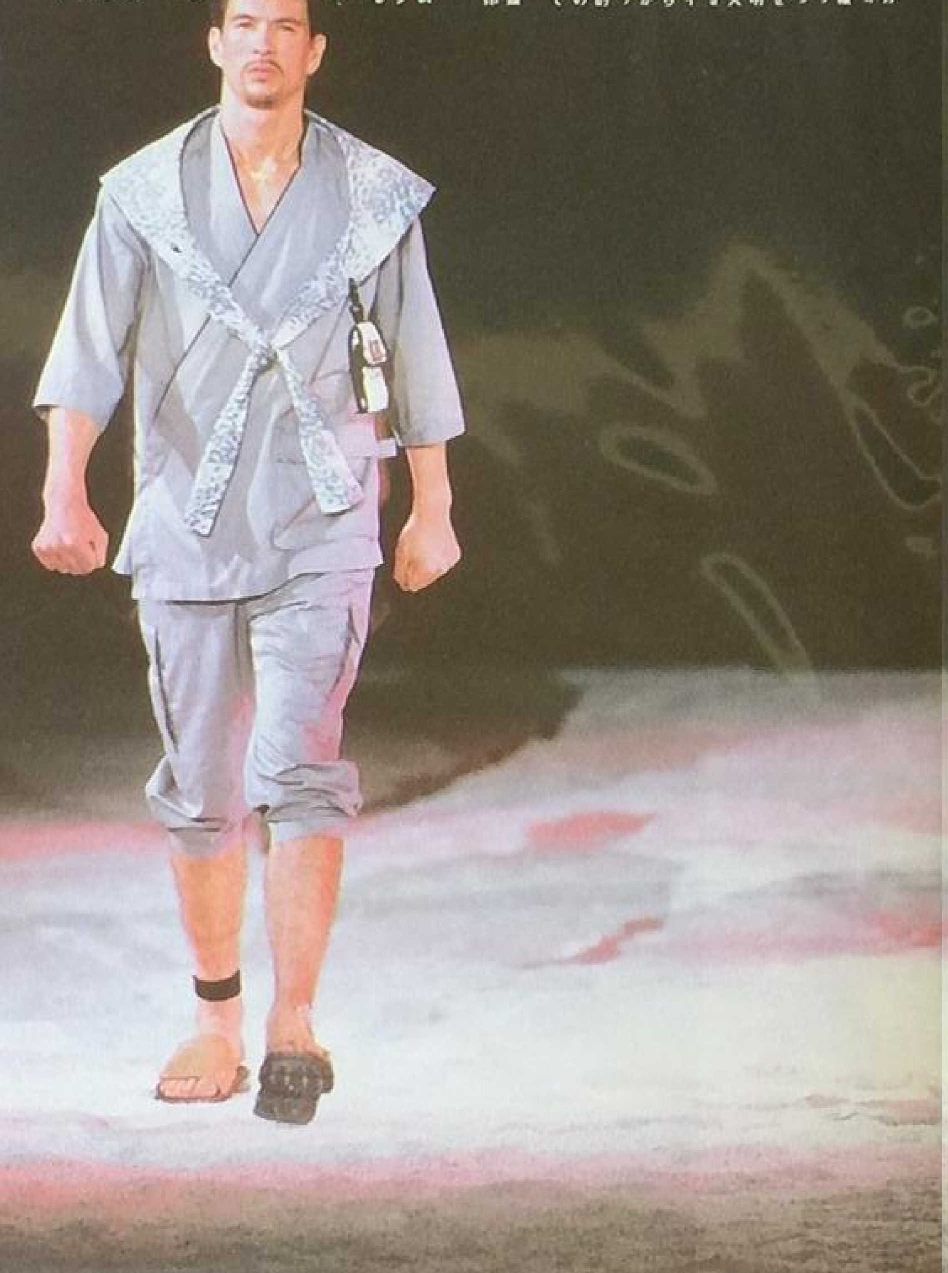
『赤ひげ』という映画の存在だ。

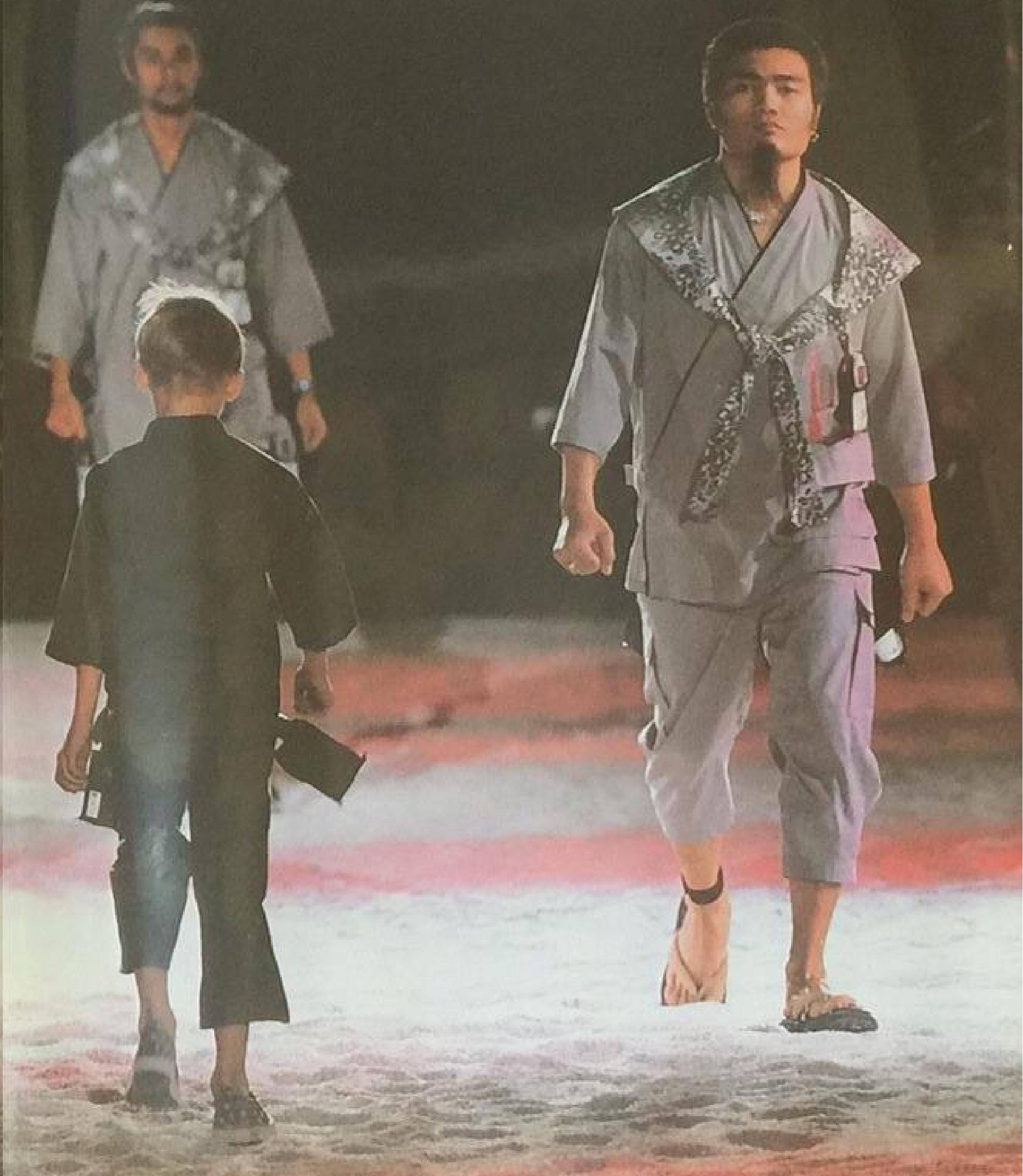
〈アンダーカバー〉からショーの招待状が届いた時、ピンと来たが、東宝スタジオといえば、黒澤監督ゆかりの地。そして今回の武士的な着こなしを見たとき、『七人の侍』だと早合点していたが、後日、プレスの方から話を聞くと、どうやらあの作務衣は『赤ひげ』らしいのだ。黒澤映画は『姿三四郎』から『まあだだよ』まですべて見ていたと思っていたら、なぜか『赤ひげ』だけは見逃していた。急いでチェックしてみれば、確かに『赤ひげ』で「御仕着せ」と呼ばれる作務衣を着ているのだ。

というわけで僕は、圧倒的に今回のショーを支持したい。それは『赤ひげ』という極上な映画の存在に気づかせてくれたからであり、それだけでも十分なのである。









右 [illegible]さん
[illegible]¥40,000 [illegible]¥26,000 [illegible]¥38,000（以上全てアンダーカバー）
左 [illegible]さん
[illegible]¥30,000 [illegible]
¥62,000（以上全てアンダーカバー）

[illegible]さん
[illegible]
[illegible]さん
[illegible]

アンダーカバーの[illegible]が堀江に堂々オープン!

関西では京都に続き2店舗目となるアンダーカバー直営店が7／28、堀江にオープン。古木床に青で統一されたラック、木製格子で覆われた外壁で死角効果を演出するなどブランドコンセプトをそのまま体感できる空間。そして、気になる秋冬のテーマは"Melting Pot"（人種の坩堝）。単体に様々な異素材を同居させたアンバランスさを見事に調和させている。メンズ、レディース、キッズとファン待望の文句ナシ完全ラインナップ。

大阪府大阪市西区北堀江1-17-15
21北堀江 ☎06-4390-6194
営12:00～20:00 [illegible]
[illegible]
アンダーカバー コレクターズ

メッセージ入りブルゾン

[illegible]

テーピング補強の安心設計

[illegible]¥30,000（アンダーカバー）

ブラックユーモアなシルク

[illegible]

ナイロン入りで[illegible]もバッチリ!

秋冬のテーマ、メルティングポットのアイテム。[illegible]全4色¥44,000（アンダーカバー）

遊び心たっぷりのパンツ

[illegible]¥38,000（アンダーカバー）

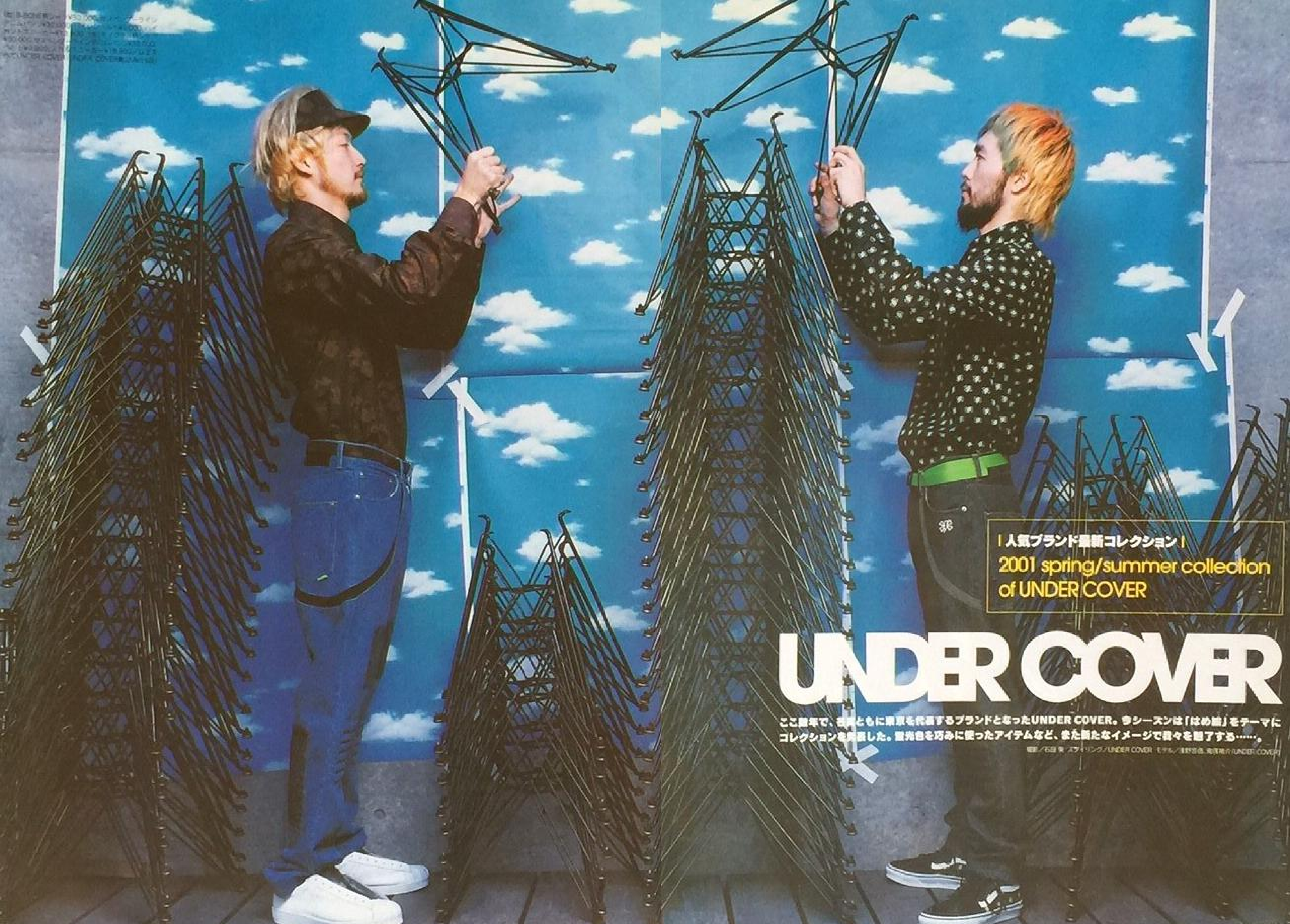
[illegible]

[illegible]（アンダーカバー）

[illegible]

[illegible]

アンダーカバー大阪店 UNDER COVER OSAKA



[illegible]

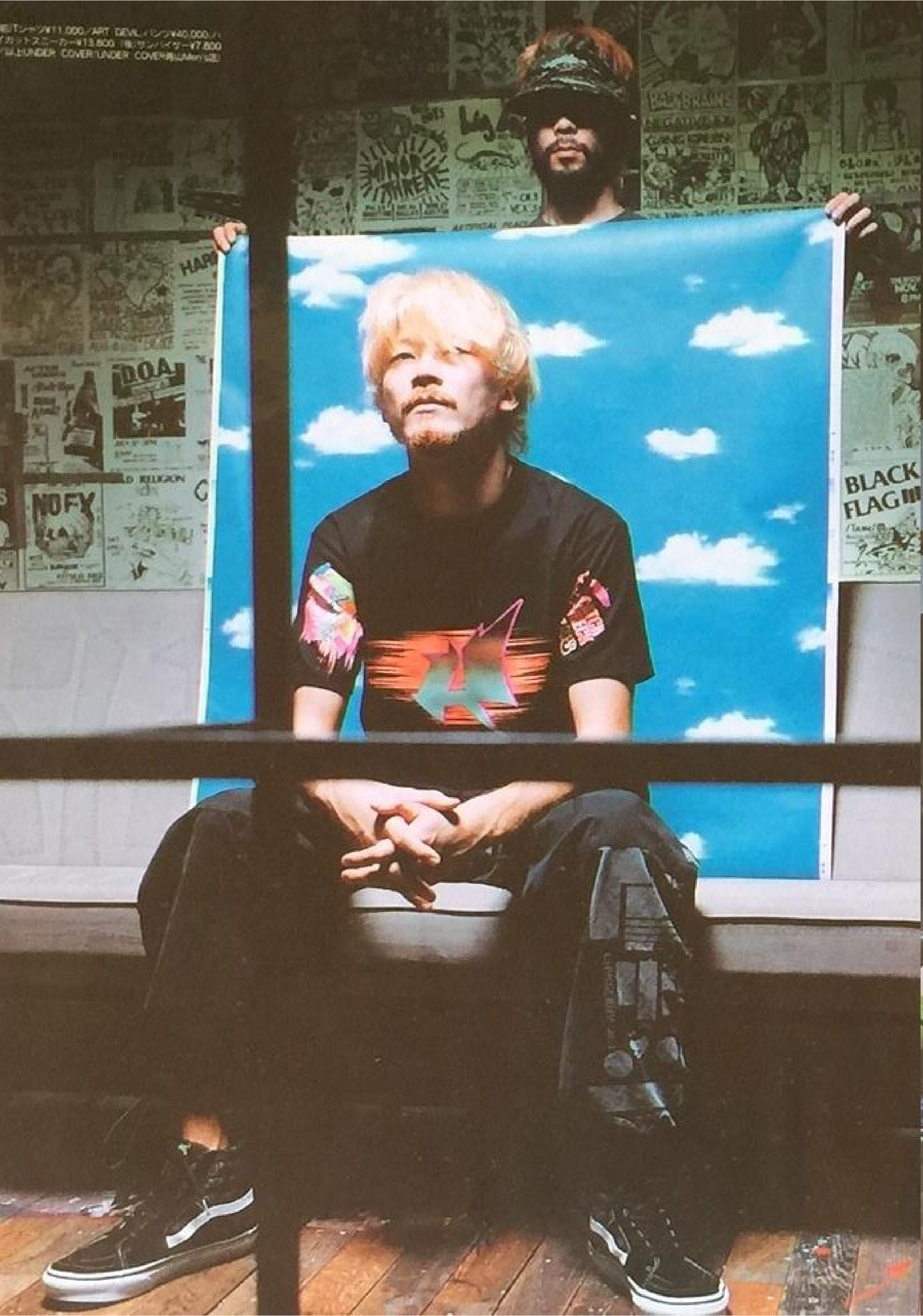
| 人気ブランド最新コレクション |

2001 spring/summer collection of UNDER COVER

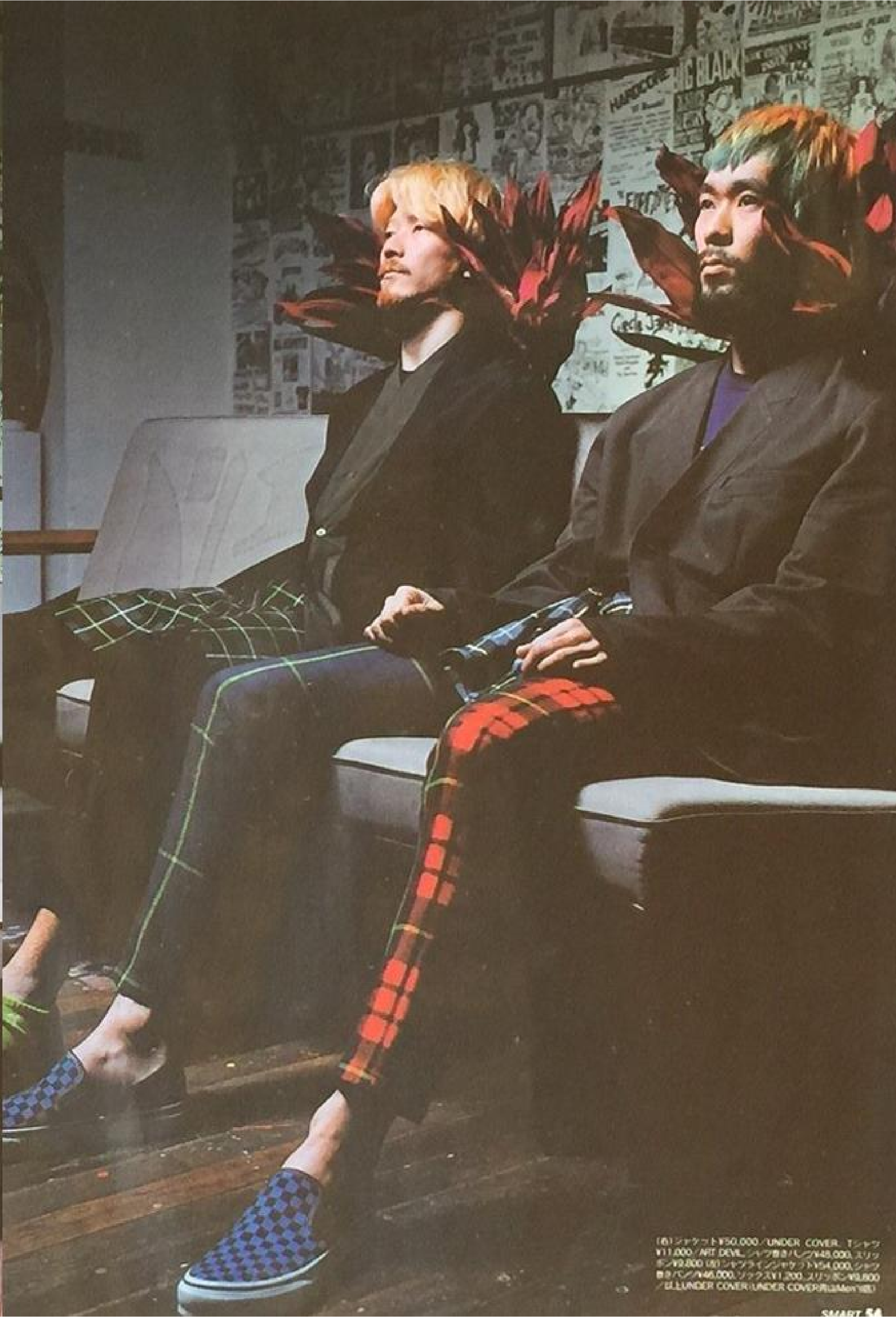
UNDER COVER

ここ数年で、名実ともに東京を代表するブランドとなったUNDER COVER。今シーズンは「はめ絵」をテーマにコレクションを発表した。蛍光色を巧みに使ったアイテムなど、また新たなイメージで我々を魅了する……。

撮影／石田 [illegible]　スタイリング／UNDER COVER　モデル／[illegible]（UNDER COVER）


MINOR THREAT
BAD BRAINS
NEGATIVE FX
GANG GREEN
D.O.A
NOFX
BLACK FLAG

Tシャツ¥11,000／ART DEVIL、パンツ¥40,000／ハ
カットスニーカー¥13,800（後）サンバイザー¥7,800
以上UNDER COVER／UNDER COVER青山Men's店

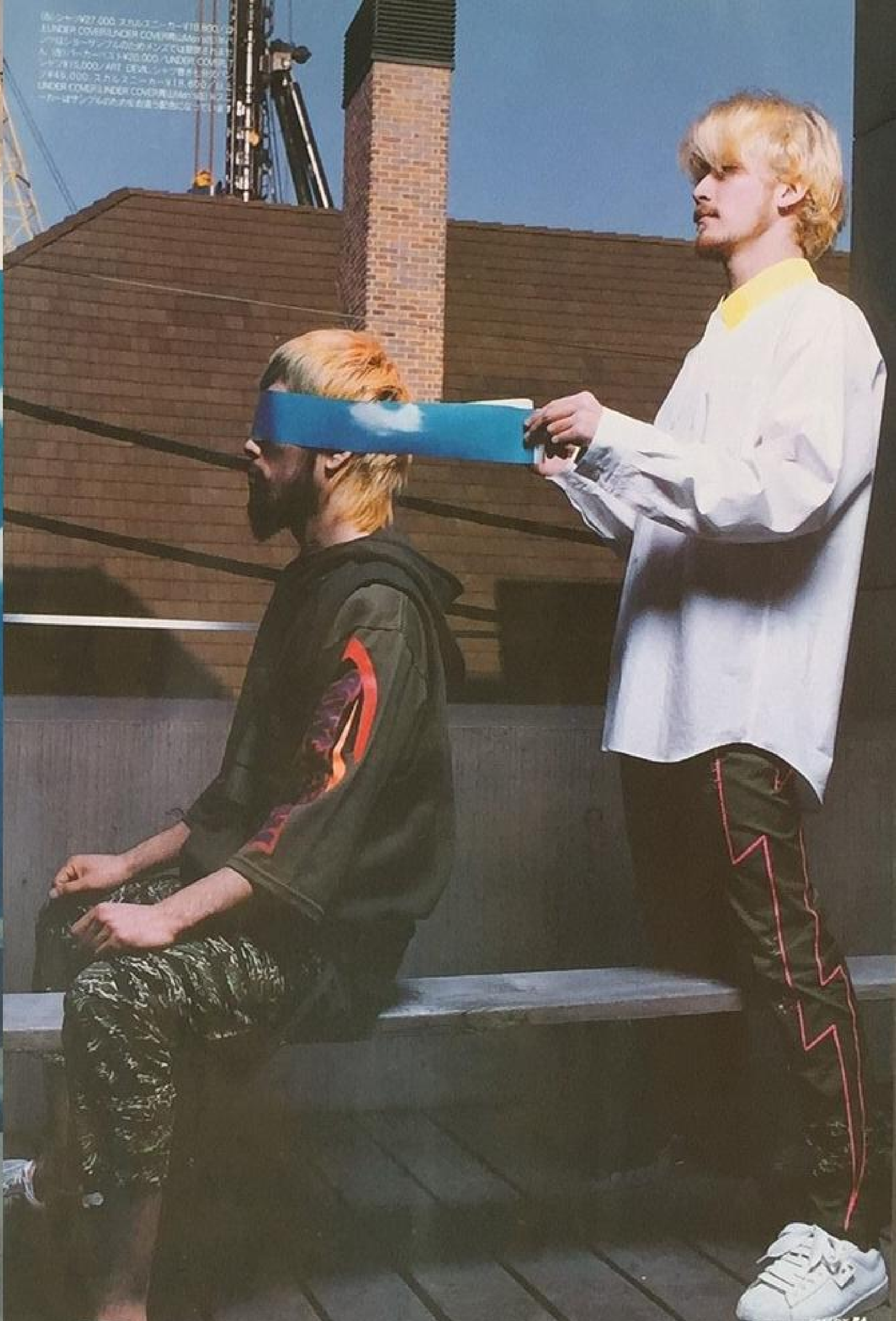

HARDCORE
BLACK

（右）ジャケット¥50,000／UNDER COVER、Tシャツ¥11,000／ART DEVIL、シャツ巻きパンツ¥48,000、スリッポン¥9,800（左）シャツライン入ジャケット¥54,000、シャツ巻きパンツ¥46,000、ソックス¥1,200、スリッポン¥9,800／以上UNDER COVER／UNDER COVER青山Men's店

Tシャツ¥11,000、七分丈Tシャツ¥15,000／ともにART DEVIL
切り替え七分丈パンツ¥45,000、ケースセットベルト¥28,000
／ともにUNDER COVER（UNDER COVER青山Men's店）

PRESENTS
N NITE
X'mas Special 2000
THE MODS
SUPERHYPE
MICHELLEGUN ELEPHANT

（左）シャツ¥27,000、スカルスニーカー¥18,800／ど
UNDER COVER（UNDER COVER青山Men's店）
[illegible]
ん（右）パーカー[illegible]¥20,000／UNDER COVER
シャツ¥15,000／ART DEVIL、[illegible]
ツ¥45,000、スカルスニーカー¥18,800／ど
UNDER COVER（UNDER COVER青山Men's店）
ーカーはサンプルのため[illegible]



09

08

07

12

10

11

07 [illegible]、タオル。こうしたものにこそ こだわりを。UNDER COVERなら[illegible]はない。[illegible]¥3,200、カーキ¥2,400 **08** 大人な人にオススメしたい、上品な[illegible]のハットとサンバイザー。プレートも[illegible]こも。サンバイザー¥7,800、ハット¥10,800 **09** 数多くリリースされるなかから、厳選された2パターンのTシャツ。どちらもグラフィティをモチーフにしたもの。各¥7,000 **10** メッシュ地のジップアップパーカーは[illegible]な色合い、コーディネートにうまく取り入れたい。ベスト¥35,000、ブルゾン¥40,000 **11** U線とバックに入ったプリントがポイントになっている七分丈パンツ。単調になりがちなコーディネートのアクセントに。各¥45,000 **12** 携帯電話をはじめ、各種ケースがセットになっているベルト。ファッション性、機能性ともに優れた逸品。¥28,000／以上すべてUNDER COVER(UNDER COVER青山Men's店)

03

02

01

06

05

04

01 カモフラージュとグラフィティの競演！ ストリートの「今」を好調に表わしたフーデッドブルゾンと言えるだろう。¥45,000 **02** 蛍光イエローの衿をよく見ると……。このシャツを見れば、今シーズンのテーマである[illegible]がよくわかるはずだ。¥27,000 **03** 細かく入ったパターンは今シーズンのモチーフのひとつ、B-BONE。黒地に白と蛍光グリーンのB-BONEが映える一枚だ。¥30,000／以上UNDER COVER **04** SKATE-TH(スケシン)とのコラボレーションブランド、ART DEVILからリリースされたTシャツがこれ。各¥11,000／ART DEVIL **05** タイガーデザートがベースとなったメッシュ地のアイテム。七分丈プルオーバーシャツ¥22,000 ュートパンツ¥21,000 **06** UNDER COVERからリリースされると、トラックスーツもスポーティーなだけでは終わらない。ブルゾン¥24,000、パンツ¥22,000／以上UNDER COVER(UNDER COVER青山Men'

撮影／

UNDER COVER

interview with Jun Takahashi

「モードでストリートを煽りたい」

高橋 盾（UNDER COVER）インタビュー

『smart』には4年ぶりの登場となる高橋 盾。UNDER COVERというブランドはもちろん
デザイナーである彼もまた“one and only”な存在と言える。最近聴いてる音楽から次
コレクションについてまで。彼自身の言葉から、その独自な世界に迫りたい

撮影／石田 東　取材・文／編

―最近聴いてる音楽とかから、入っていきたいんですけど。

「最近はですね、ずっとロックを聴いてなくてブレイクビーツとかヒップホップ、あとはトランスよりのものを聴いたりとか」

―具体的にはどんなところを？

「コンピレーションが多いですね。あと、omレコードってレーベルのものとか」

―いつ頃から、そうなっていったんですか？

「だんだんですね。ロックでおもしろいものがなくなってきて、ヒップホップ聴くようになって、それからそういう方向に」

―昔のロックとかパンクは聴かないんですか？

「パンク、聴かないですね」

―ブレイクビーツとかにパンクとの共通点を感じますか？

「全部一緒ですよ。トランスもすべて区別なく、自分のなかではすべて一緒です」

―音楽と洋服づくりって、どれくらいリンクするものですか？

「いや、リンクするシーズンとしないシーズンがあって。するときもある。ファッションショーで音と曲が重要だったりとか。音も先にイメージされてたりとか。そういうときは割と関わってくるんですけど、デザインには直接関係ないです」

―今回のテーマは「はめ絵」ですよね？

「そうです。最近はどういうテクニックを使ってやるかっていう方向で考えています。抽象的じゃなくて、もっと具体的な技法だったりとか。そういうところから考えて。だから、特別これがやりたかったっていうんではなく、自分たちと世間が何をやってないかっていう方向から考えましたね」

―蛍光色を使ったアイテムが多いですね。

「たまたま蛍光モノが気になってて。で、最近蛍光が入った服とか見ないし、新鮮かな、と」

―スニーカーはバンズとのコラボレートで？

「チェッカー柄の蛍光色がほしくて。どうせやるなら、もともとやってるところとやるのが早いかと」

―『smart』には4年ぶりの登場ですが、

「それは『smart』的な空白で――」

―もちろんそうなんですが（笑）。

「単刀直入に言うと、雑誌がカタログ化してるのがヤダなと思って。それが出なくなったきっかけかな。もっとクオリティが高い雑誌が出てくるのを待ってたというか。今も待ってます（笑）」

―で、出てこないからしょうがねえなって（笑）。

「最近そういうこだわり自体なくなってきてるんだけど。でも、つくる側のクオリティがアップしないと、見る側のクオリティもアップしないんで。洋服つくるのにこれだけ神経使ってるんだから」

―その頃にショップも原宿から青山に移りました。

「もっと広い層の人が来て、もっとゆっくり見られる場所にしたかったんで」

―常に列ができてましたしね。

「それはありがたいことなんですけど、ね」

―「裏原宿」や「カリスマ」なんて言葉が一般化したのもその頃です。今振り返るとどうですか？

「あれはあれでそうなったんだし。僕とNIGOで始めて、そういう状況ができちゃったのは確かだから。でも、本人たちはそんなこと考えず、先に先に進んでるんで」

―一時休んでいたコレクションも復活して。ドレープ、エクスチェンジ、レリーフ、アンビバレンスとシーズン毎にワンテーマを設けてましたが。

「再開したフリッツのコレクション（97−98A／W）で非常に煮詰まったんです。で、一回テーマをひとつに絞ってやってみようと。でも形はシンプルにして。『エクスチェンジ（98−99A／W）』のときに、そういう方向が自分にあっていることとハイレベルなものができたということが確信できました」

―特に印象に残ってるものって何ですか？

「レリーフ（99S／S）かな。いちばん好きだし、洋服の完成度が高かったかな、と」

―コレクションをやると、いろいろなところでコレクション評が書かれますが、そういうのは見たりするんですか？

「見ますよ、全部目は通すかな。でも、自分の意見を聞いてる人が少ないじゃないですか。僕はショーの説明だけ聞いて。だから、そんな気にならない。まあ、褒められればうれしいですけど（笑）」

―東京の新しいブランドのなかでもUNDER COVERは一番手にいて、そのシーズンを占うものになってるようですが？

「そういう立場にいさせてもらってること、そういう視点で見てもらってることは、すごいうれしいことですね。素直に」

―ここまで期待されてるんだから外しちゃマズイよなって、安全な方にいくことは？

「それはないですね。プレッシャーにはならないです。ただ単にもっといいものをつくるっていう純粋な考えなんで。自分のなかで、次はこないだよりいいものをつくってレベルアップさせるだけだから。それが期待に応えるというか、内容的にいいものをつくろうとしてるところは一緒だと思うんですけど。奇抜なものをつくるっていうのはそういう考えだとでてこないんで。逆に期待を裏切りたいなっていうのもあるし、いい意味で。だから、テーマを選ぶのも厳しくなってくるし、ショーの見せ方もこだわりが強くなってくるし。本当に真剣にやるようになってきてる」

―それは服だけじゃなくて、コレクション全体について？

「ファッションショーっていうのは服を見せるためだけじゃなくて、トータルで自分の見せたいイメージを見せるエンターテイメントだと思ってるんで。いかに楽しんでもらうかってこと。見ておもしろかったとか感動したとか、そういうものが残らないとファッションショーだと思わないんで。だから、どこまでクオリティの高いエンターテイメントなものが見せられるかっていう。それがいちばん大変だし、楽しくもある。それをやるために生きてるみたいな（笑）。好きなんですよね、ファッションショーっていうもの自体が。プロデュースするっていうか。演出決めて、音楽決めて、コーディネイト決めて、モデル、メイク……。トータルで考え

―次回も楽しみですね。

「いや、おもしろくなりますよ。って毎回いろんな人に言ってるんですけど（笑）」

―具体的には？

「あんまり言えないんですが（笑）。でも、自分のなかで一曲目の曲は決まってて。考えるとすごい興奮する」

―“Show must go on.”っていう感じですね。

「ショーの前に絶対、失敗する夢を見ますけど。デザインしたものと違う洋服とか出てきて。犬とかが着てたり。違うじゃん、違うじゃんって。そういう夢は絶対見る」

―どこで安心するんですか？

「当日ですか？　自分の中でうれしいのは、コレクションが終わって楽屋にいろんな人が来るときとか」

―なるほど。

「関係ない人が見て、『すごいよかった』って言ってくれるような、素直に、感覚的にいいなって言ってくれるのがいいよね。（W）tapsのTETとかはすごい理解してくれてる。まるっきり世界は違うじゃないですか。でも、すごい理解してくれてる。数少ない理解者のひとりっていうか。シンちゃん（SKATETHING）もNIGOもそうだし。僕はもっと煽りたいですよね、モードで。モードでストリートを煽るっていう。結構難しいですけど。原宿の周りでそういうモードな服つくってる人っていないじゃないですか」

―NIGOさんとかたまに会ったりしてるんですか？

「NIGO会いますよ。電話もあるし。たまに飯食い行ったりとか、少人数で。そういう関係でずっと来てて。それが保たれてて。お互いリスペクトしてる。だけど、洋服もう少し力入れてほしいなっていう（笑）。僕はすごい言いますけどね、やっぱり。NIGOは僕のつくるものに対して、暖かく見守ってくれる（笑）。でも、やっぱりすごいですよね。TETとかシンちゃんとかNIGOの

UNDER COVER

01 spring/
mmer collection
UNDER COVER

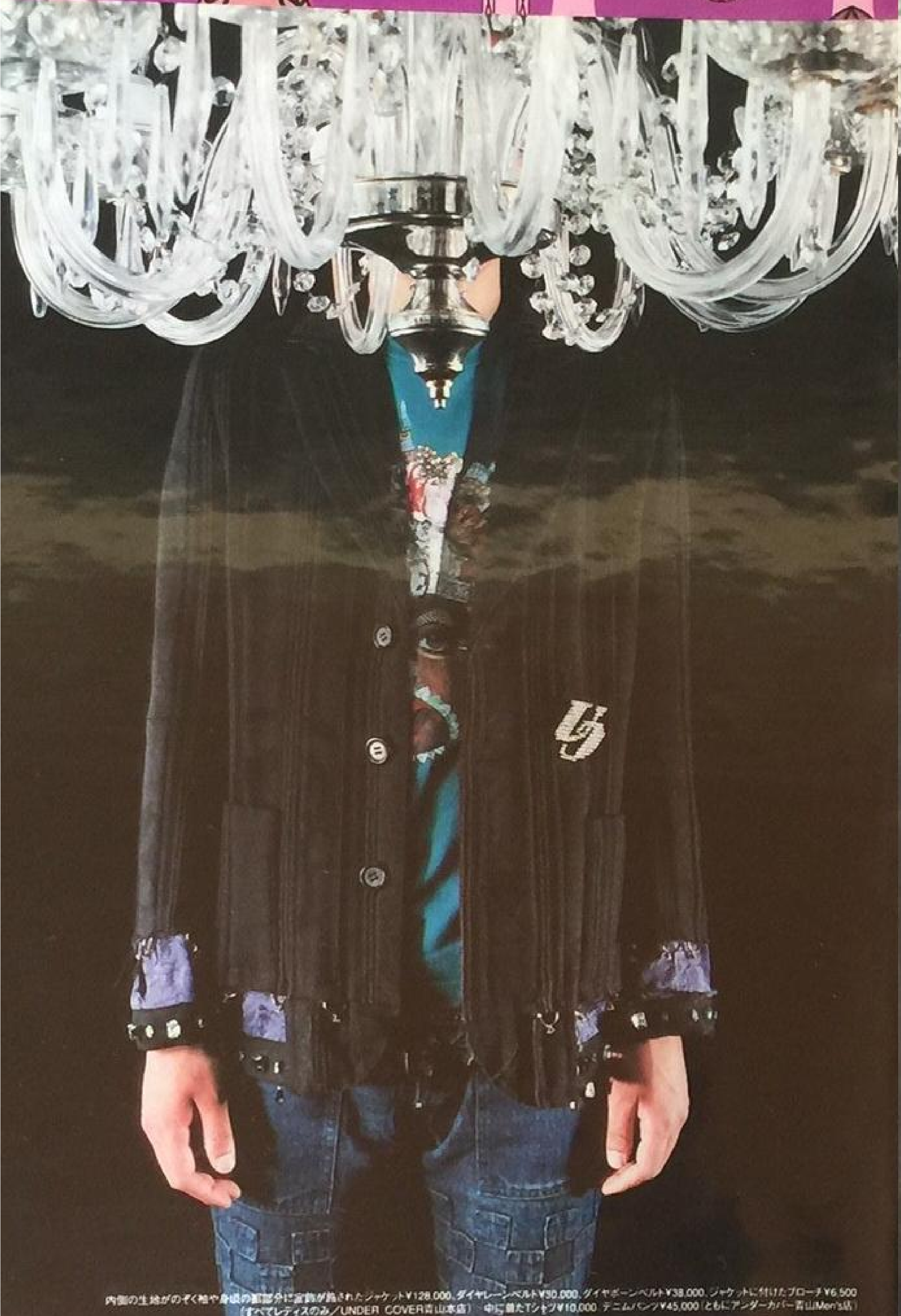
THE
DARK SIDE

UNDERCOVER

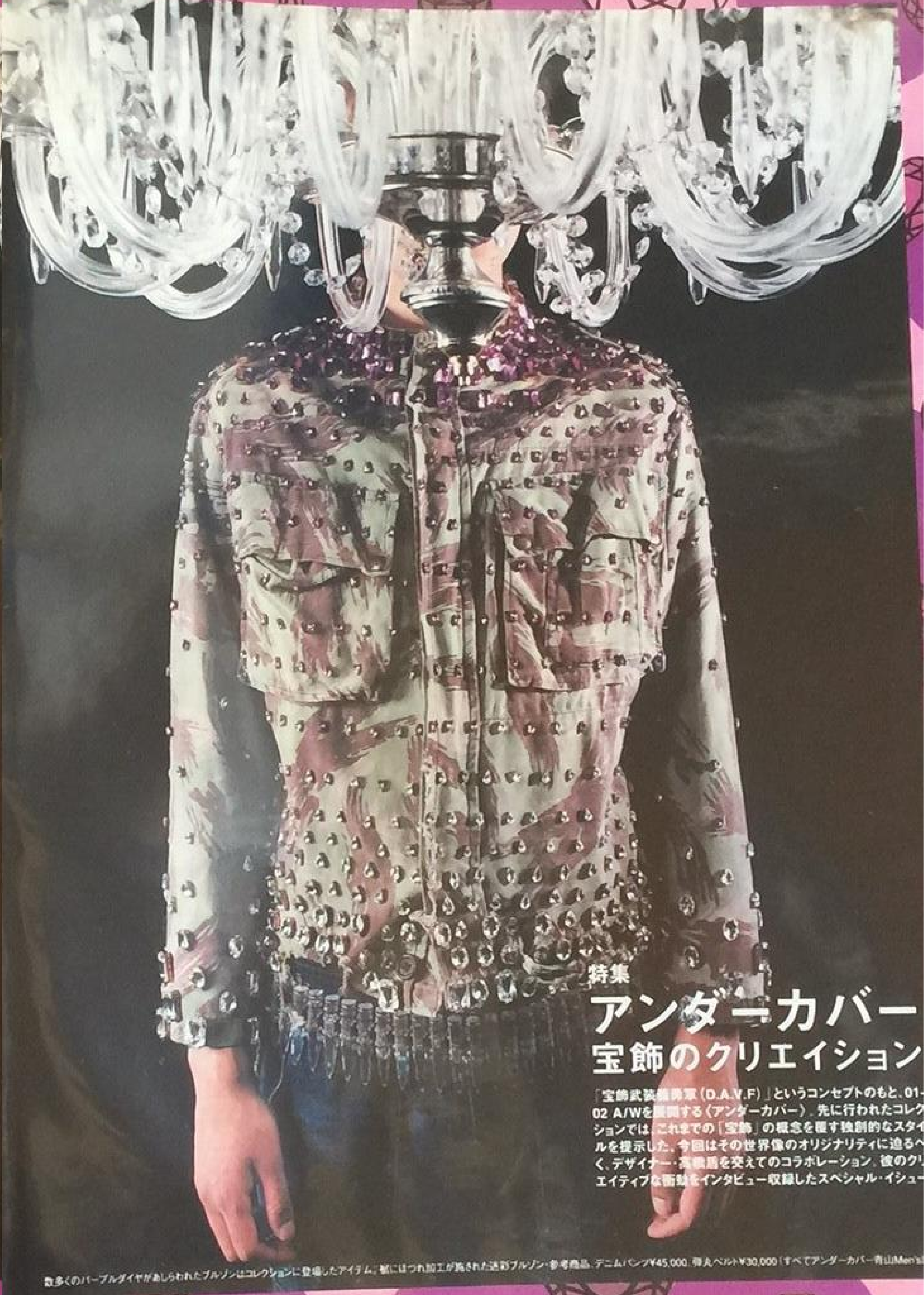
D.A.V.F

Decorated Armed Voluntary Forces

PHOTOGRAPHS TAKASHI NOGUCHI (MODE)/
AKIHIRO NAGATA (ITEM)
ARTWORK JUN TAKAHASHI
TEXT YASUYUKI TAKASE (EATer)



内側の生地がのぞく袖や身頃の裾部分に宝飾が施されたジャケット¥128,000、ダイヤレーンベルト¥30,000、ダイヤボーンベルト¥38,000、ジャケットに付けたブローチ¥6,500（すべてレディスのみ／UNDER COVER青山本店） 中に着たTシャツ¥10,000 デニムパンツ¥45,000（ともにアンダーカバー青山Men's店）



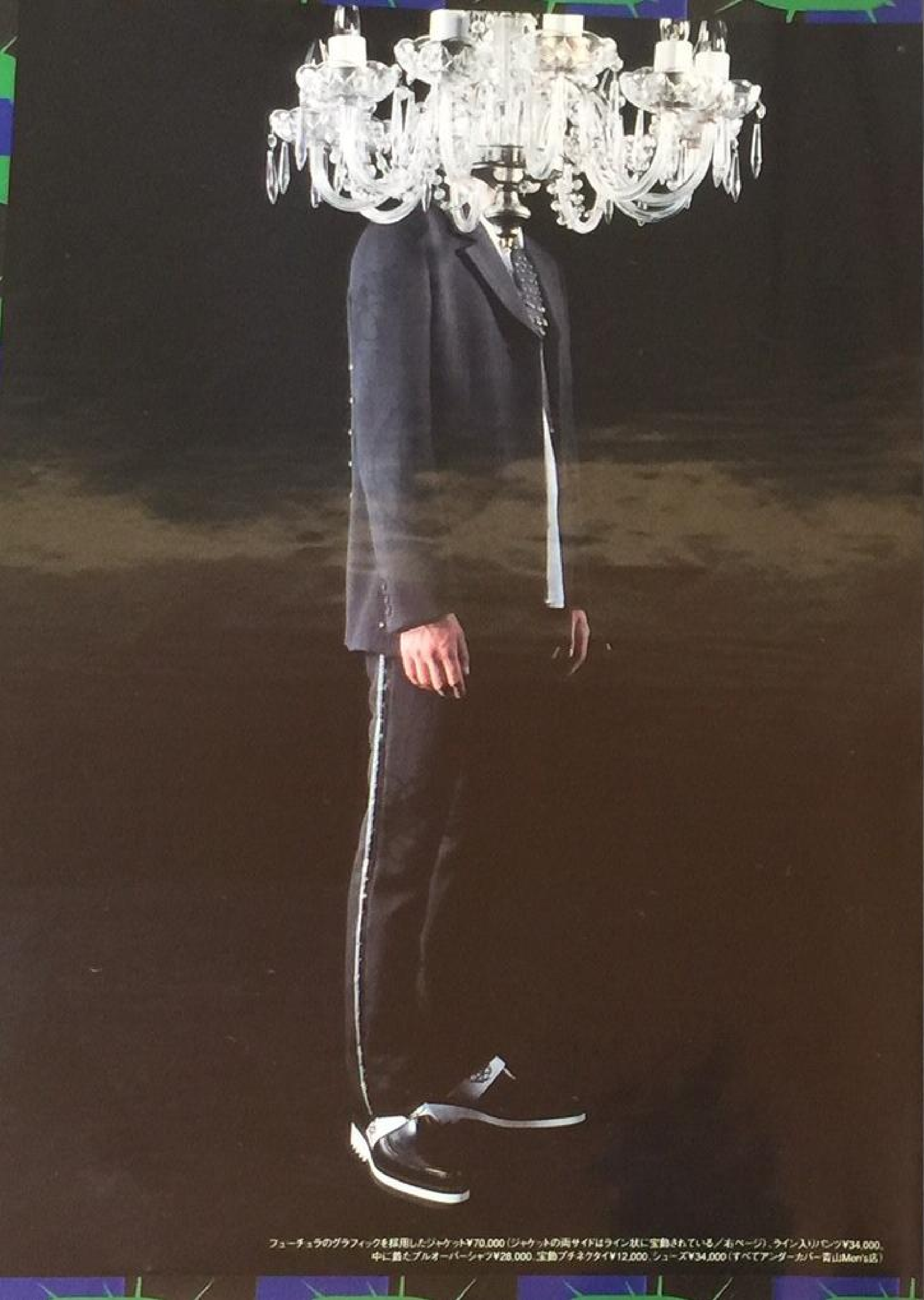
特集

アンダーカバー

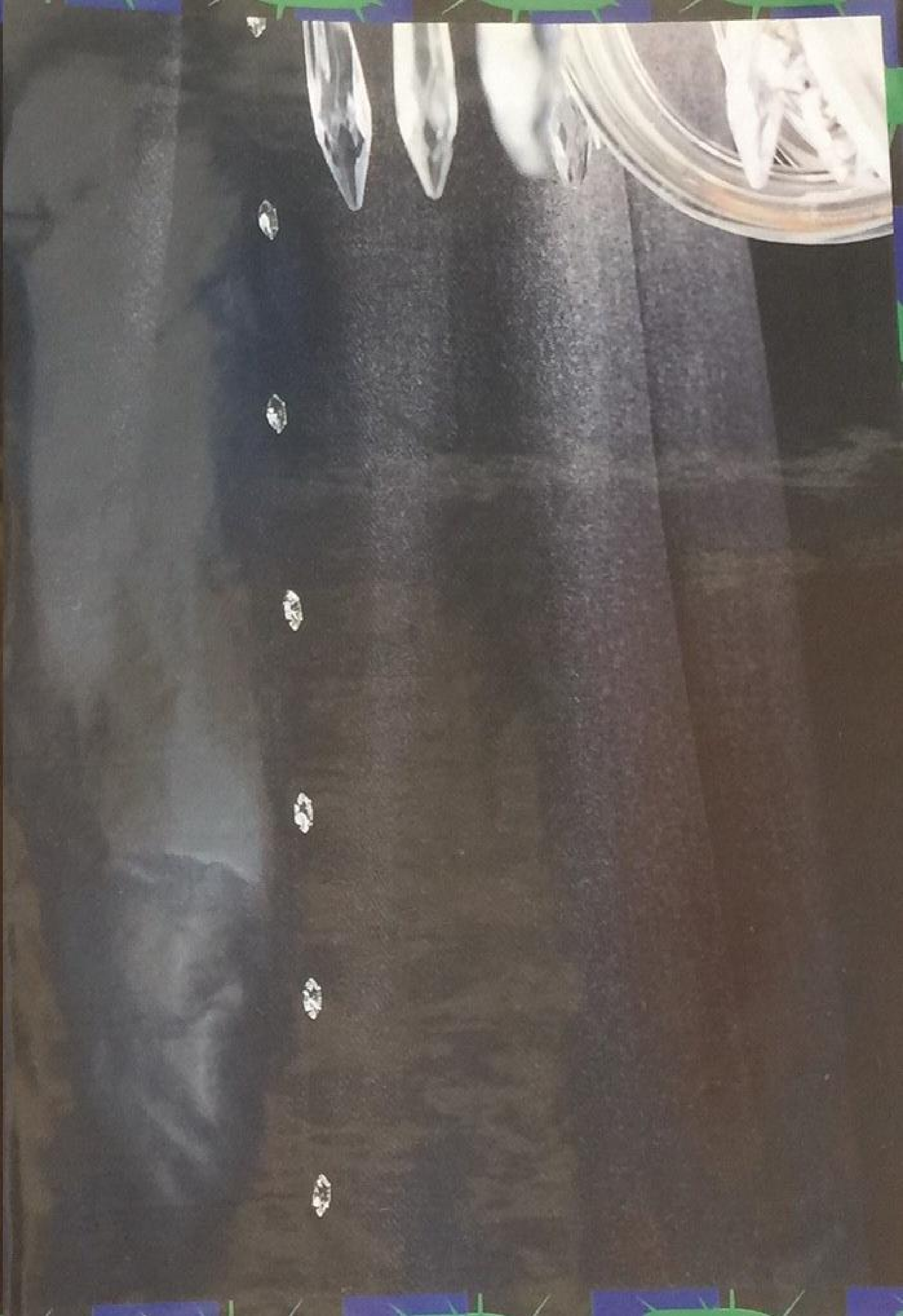
宝飾のクリエイション

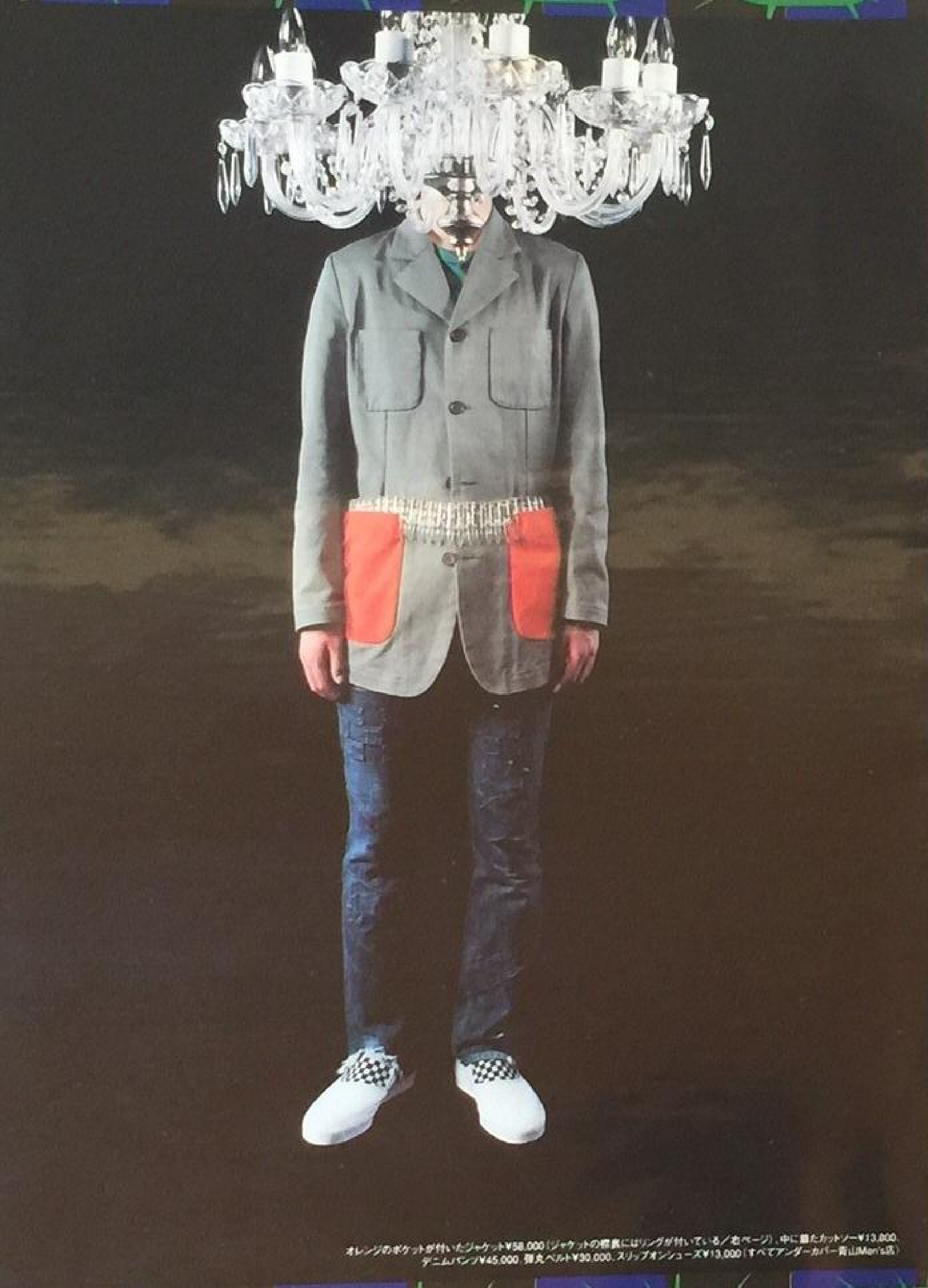
「宝飾武装義勇軍（D.A.V.F）」というコンセプトのもと、01-02 A/Wを展開する〈アンダーカバー〉。先に行われたコレクションでは、これまでの「宝飾」の概念を覆す独創的なスタイルを提示した。今回はその世界像のオリジナリティに迫るべく、デザイナー・高橋盾を交えてのコラボレーション、彼のクリエイティブな衝動をインタビュー収録したスペシャル・イシュー

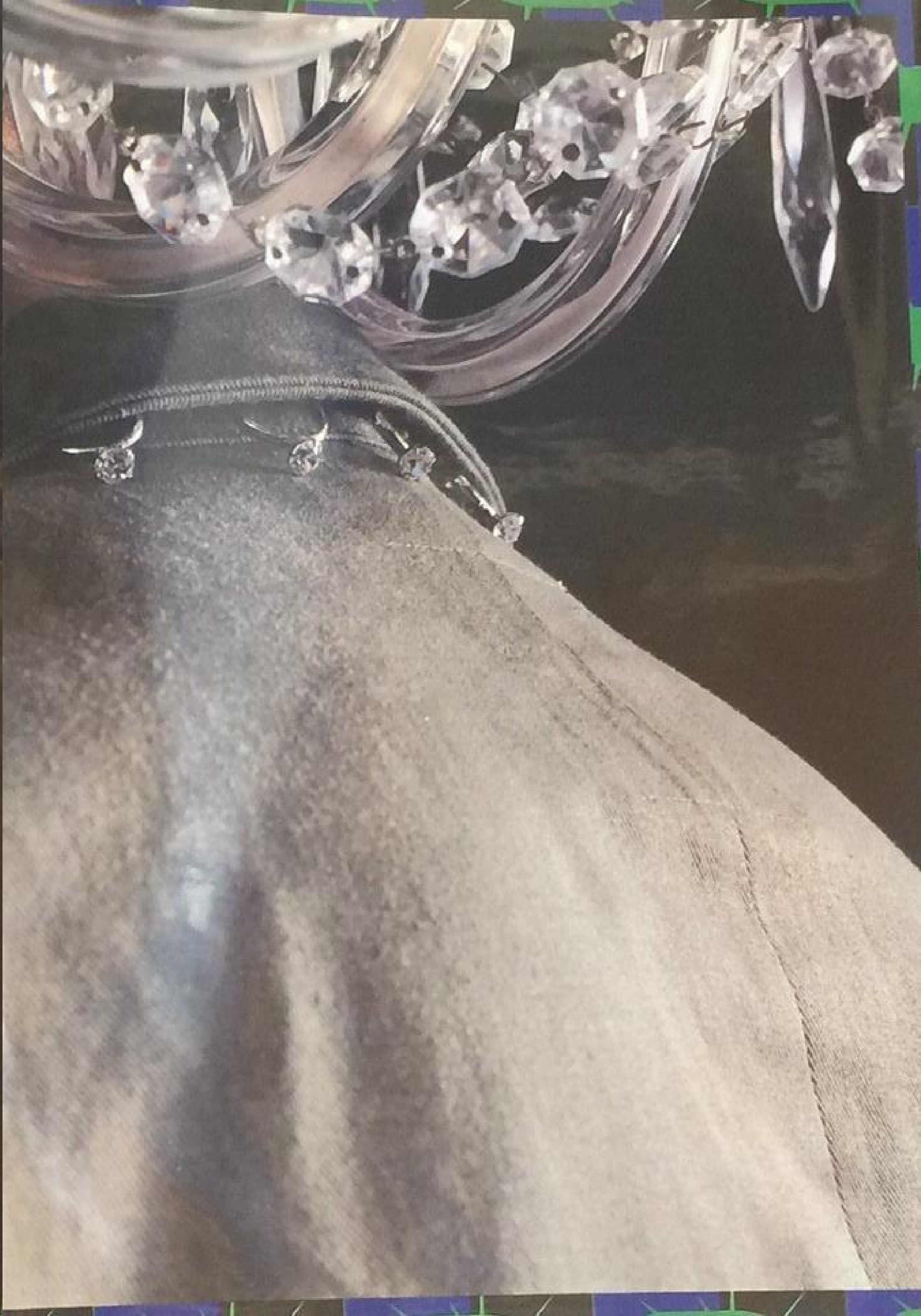
数多くのパープルダイヤがあしらわれたブルゾンはコレクションに登場したアイテム。裾にはつれ加工が施された迷彩ブルゾン・参考商品、デニムパンツ¥45,000、弾丸ベルト¥30,000（すべてアンダーカバー青山Men's



フューチュラのグラフィックを採用したジャケット¥70,000（ジャケットの両サイドはライン状に宝飾されている／右ページ）、ライン入りパンツ¥34,000、
中に着たプルオーバーシャツ¥28,000、宝飾プチネクタイ¥12,000、シューズ¥34,000（すべてアンダーカバー青山Men's店）





オレンジのポケットが付いたジャケット¥58,000（ジャケットの襟裏にはリングが付いている／右ページ）、中に着たカットソー¥13,000、
デニムパンツ¥45,000、弾丸ベルト¥30,000、スリップオンシューズ¥13,000（すべてアンダーカバー青山Men's店）